

世田谷区障害者(児)実態調査

結果報告書

平成27年3月

世 田 谷 区

目次

第1章 調査の概要

1. 調査の目的	1
2. 調査の種類および調査対象者	1
3. 調査の設計	1
4. 調査方法	1
5. 調査期間	2
6. 回収結果	2
7. 報告書の見方	2

第2章 障害者（児）実態調査の結果

1. ご本人について	3
2. 日常生活に関することについて	19
3. 介助の状況について	27
4. 医療と健康について	48
5. 住まいや暮らし方について	56
6. 社会参加や日中活動について	67
7. その他の日中活動について	93
8. 相談や福祉の情報について	111
9. 障害福祉のサービス等の利用状況と利用意向について	122
10. 災害対策について	132
11. 障害理解について	136
12. 差別の解消や権利擁護について	138
13. 区の障害者施策への意見や提案等	142

第3章 サービス提供事業者調査の結果

1. 事業所の概要について	158
2. 事業運営の概要について	171
3. サービス提供体制について	179
4. サービスの質の向上のための取り組みについて	186
5. 今後の事業展開について	194
6. 障害者総合支援法に対する意見等	201

資 料

1. 障害者（児）実態調査調査票	204
2. サービス提供事業者調査調査票	214

第1章 調査の概要

1. 調査の目的

本調査は、平成27年度からの新たなノーマライゼーションプラン（障害者計画）・障害福祉計画を策定するための基礎資料を得ることを目的として実施しました。

2. 調査の種類および調査対象者

調査種別	調査対象者
①障害者（児）実態調査	身体障害者、知的障害者、精神障害者、発達障害者、高次脳機能障害者、難病患者
②サービス提供事業者調査	区内の障害福祉サービス事業者及び障害者施設、介護保険サービスで訪問介護を提供している区内事業者及び区内施設を有する法人、区内に住所を有する障害者にサービスを提供している区外入所施設

3. 調査の設計

調査種別	項目	内容
①障害者（児）実態調査	ア 対象者数	3,000人
	イ 抽出方法	無作為抽出
	ウ 調査地域	区内全域
②サービス提供事業者調査	ア 対象者数	200事業者
	イ 抽出方法	無作為抽出
	ウ 調査地域	区内の障害福祉サービス事業者及び障害者施設、介護保険サービスで訪問介護を提供している区内事業者及び区内施設を有する法人、区内に住所を有する障害者にサービスを提供している区外入所施設

4. 調査方法

調査種別	発送	回収
①障害者（児）実態調査	郵送	郵送
②サービス提供事業者調査	郵送	郵送

5. 調査期間

平成 26 年 1 月 31 日～2月 17 日

6. 回収結果

調査種別	①発送数（通）	②回収数（通）	③回収率（%）
①障害者（児）実態調査	3,000	1,391	46.4
②サービス提供事業者調査	200	97	48.5

7. 報告書の見方

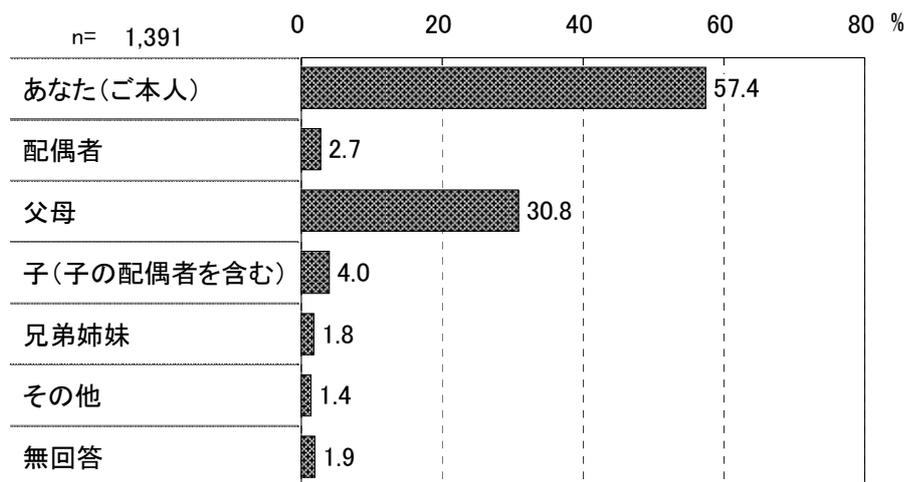
- ①集計した数値（%）は小数点第2位を四捨五入し、小数点第1位まで表示しています。そのため、質問に対する回答の選択肢が1つだけの場合、選択肢の数値（%）をすべて合計しても、100.0%にならない場合があります。
- ②回答者数を分母として割合（%）を計算しているため、複数回答の場合には、各選択肢の割合を合計すると100%を超えることがあります。
- ③回答が少数である場合の比率については、特定の意向が強く反映される場合があることにご留意ください。
- ④回答については修正等を行わず、回収したものをそのまま集計しています。

第2章 障害者（児）実態調査の結果

1. ご本人について

○この調査に回答した方と、ご本人との関係をうかがいます。（1つに○）

この調査の回答者については、「あなた（ご本人）」が57.4%、「父母」が30.8%などとなっています。



【年齢区分別】

「あなた（ご本人）」では、“40～64歳”と“65～74歳”で8割近くと割合が高くなっています。また、「父母」では年齢区分が高くなるにつれて割合が低くなる傾向にあります。

	n	あなた（ご本人）	配偶者	父母	子（子の配偶者を含む）	兄弟姉妹	その他	無回答
合計	1,391	57.4	2.7	30.8	4.0	1.8	1.4	1.9
0～5歳	40	-	2.5	87.5	7.5	-	2.5	-
6～17歳	197	9.6	-	87.8	2.5	-	-	-
18～39歳	326	51.5	-	45.7	0.9	0.6	0.3	0.9
40～64歳	444	78.8	1.6	14.0	1.6	1.6	1.4	1.1
65～74歳	175	77.7	8.0	2.3	3.4	6.3	2.3	-
75歳以上	188	65.4	8.5	0.5	17.0	2.1	3.7	2.7
無回答	21	9.5	-	19.0	-	4.8	-	66.7

【障害種別】

「あなた（ご本人）」では“精神障害”と“難病（特定疾病）”で8割を超え割合が高くなっています。また、「父母」では“知的障害”で7割半ば、“発達障害”でほぼ7割と割合が高くなっています。

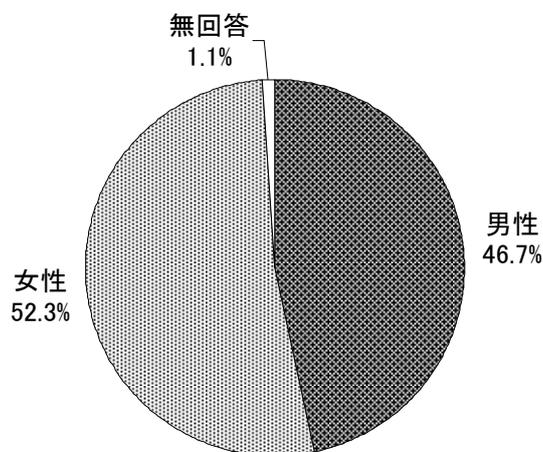
(%)

	n	あなた（ご本人）	配偶者	父母	子（子の配偶者を含む）	兄弟姉妹	その他	無回答
合計	1,391	57.4	2.7	30.8	4.0	1.8	1.4	1.9
身体障害	600	51.3	5.0	32.3	6.8	2.0	1.3	1.2
知的障害	435	14.5	0.2	76.1	1.8	4.1	2.5	0.7
発達障害	146	24.0	-	69.9	4.8	0.7	0.7	-
精神障害	223	81.6	0.4	14.3	0.4	0.9	1.3	0.9
高次脳機能障害	26	46.2	11.5	26.9	7.7	3.8	3.8	-
難病（特定疾病）	340	85.0	3.2	5.3	4.7	0.3	0.9	0.6
その他	33	48.5	6.1	39.4	-	-	3.0	3.0
無回答	25	40.0	4.0	-	-	-	-	56.0

問1 あなたの性別をお答えください。（1つに○）

性別については、「男性」が46.7%、「女性」が52.3%となっています。

n= 1,391



【年齢区分別】

65歳以上で「女性」が6割を超えています。

(%)

	n	男性	女性	無回答
合計	1,391	46.7	52.3	1.1
0～5歳	40	50.0	50.0	-
6～17歳	197	56.9	42.6	0.5
18～39歳	326	53.7	46.3	-
40～64歳	444	47.7	52.3	-
65～74歳	175	37.7	62.3	-
75歳以上	188	33.5	66.5	-
無回答	21	4.8	28.6	66.7

【障害種別】

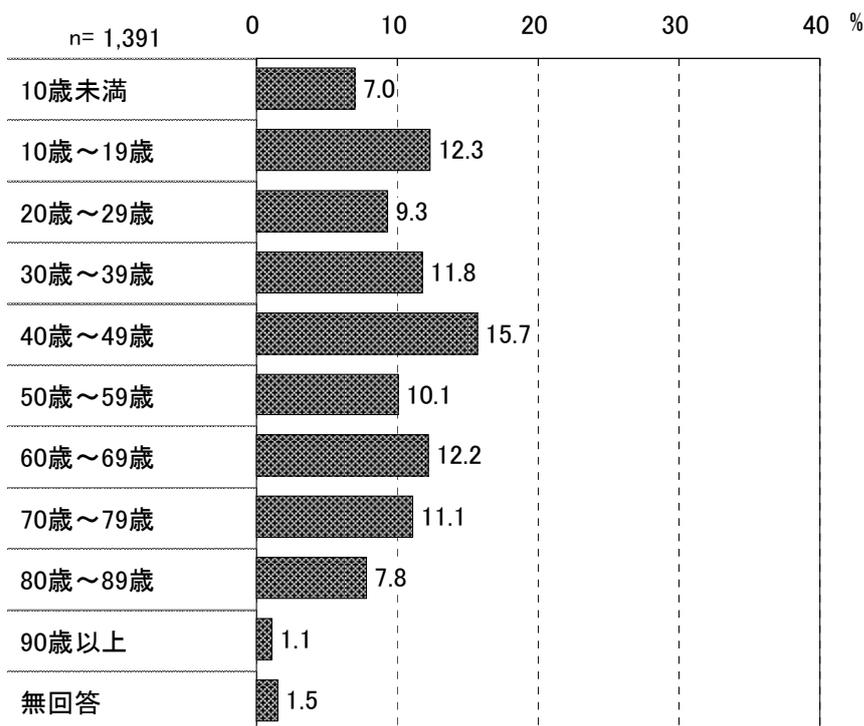
“発達障害”では「男性」が6割半ば、“難病（特定疾病）”では「女性」が7割近くとなっています。

(%)

	n	男性	女性	無回答
合計	1,391	46.7	52.3	1.1
身体障害	600	44.0	55.7	0.3
知的障害	435	55.4	44.4	0.2
発達障害	146	64.4	34.9	0.7
精神障害	223	58.7	41.3	-
高次脳機能障害	26	46.2	53.8	-
難病（特定疾病）	340	31.5	68.5	-
その他	33	45.5	54.5	-
無回答	25	20.0	28.0	52.0

問2 あなたの年齢をお答えください。（数字を記入）

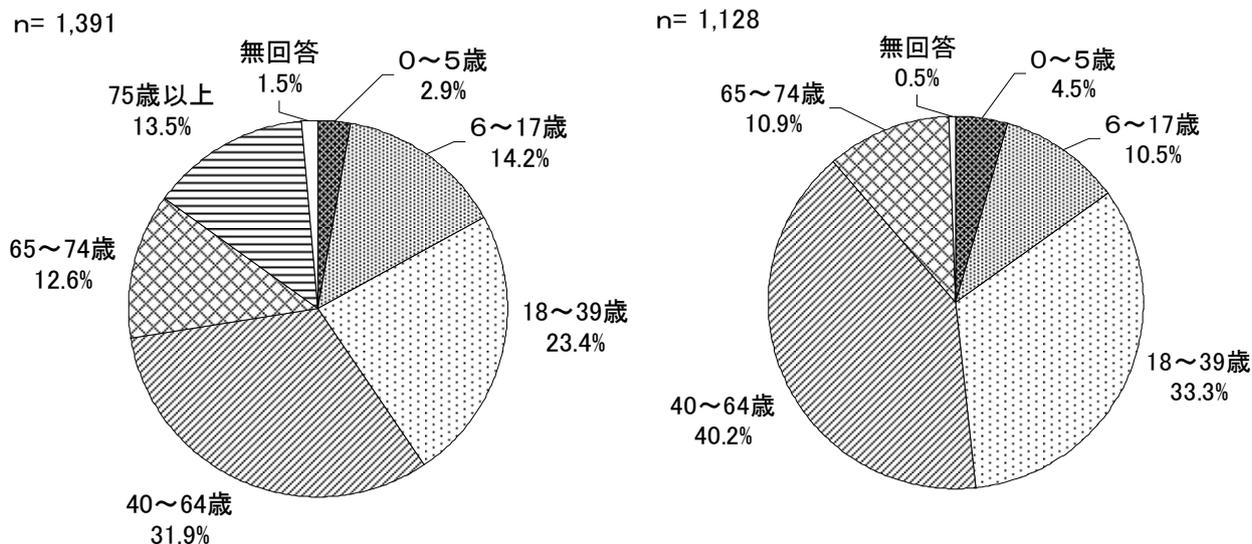
年齢については、「40～49歳」が最も多く15.7%、次いで「10～19歳」が12.3%、「60～69歳」が12.2%などとなっています。



【年齢区分別】

「0～5歳」が2.9%、「6～17歳」が14.2%、「18～39歳」が23.4%、「40～64歳」が31.9%、「65～74歳」が12.6%、「75歳以上」が13.5%となっています。

【参考：第3期世田谷区障害福祉計画障害者児実態調査】



【障害種別】

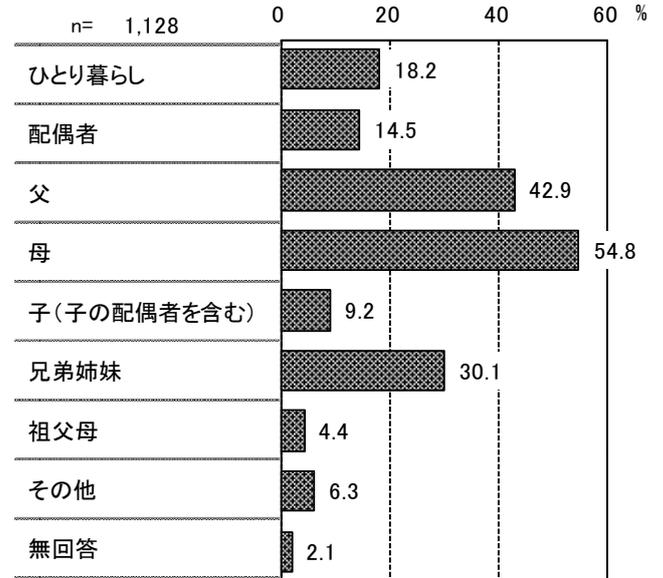
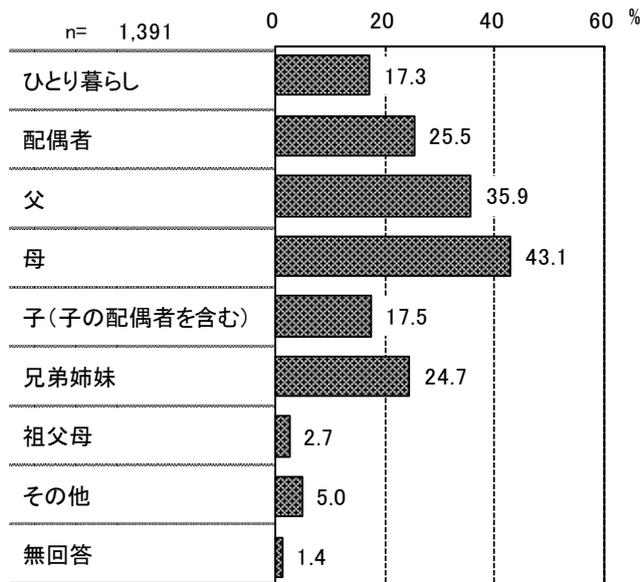
“身体障害”では「75歳以上」で2割半ばと最も割合が高くなっています。“知的障害”では「6～17歳」と「18～39歳」で3割を超え、“発達障害”では「6～17歳」と「18～39歳」で4割前後と他の年齢と比べて割合が高くなっています。“精神障害”では「40～64歳」で6割近くを占めています。また、“高次脳機能障害”と“難病（特定疾病）”では「40～64歳」で4割前後となっています。

	n	0～5歳	6～17歳	18～39歳	40～64歳	65～74歳	75歳以上	無回答
合計	1,391	2.9	14.2	23.4	31.9	12.6	13.5	1.5
身体障害	600	4.0	16.7	14.7	21.5	17.8	24.5	0.8
知的障害	435	3.9	32.6	35.4	22.3	3.4	1.1	1.1
発達障害	146	8.2	43.8	37.0	10.3	0.7	-	-
精神障害	223	0.4	3.6	29.6	57.0	6.7	2.7	-
高次脳機能障害	26	3.8	11.5	26.9	38.5	11.5	3.8	3.8
難病（特定疾病）	340	0.6	2.6	21.2	42.1	19.1	14.4	-
その他	33	12.1	12.1	24.2	15.2	6.1	30.3	-
無回答	25	-	-	8.0	24.0	12.0	4.0	52.0

問3 あなたは、どなたと一緒に住んでいますか。(あてはまるものすべてに○)

同居者については、「母」が最も多く43.1%、次いで「父」が35.9%、「配偶者」が25.5%、「兄弟姉妹」が24.7%などとなっています。また、「ひとり暮らし」は17.3%となっています。

【参考：第3期世田谷区障害福祉計画障害者児実態調査】



【障害種別】

「母」では“知的障害”で8割を超え、“発達障害”で9割近く、「父」では“知的障害”でほぼ7割、“発達障害”で7割半ばと割合が高くなっています。また、「配偶者」では“難病(特定疾病)”で5割を超え、「ひとり暮らし」では“精神障害”で4割を超え割合が高くなっています。

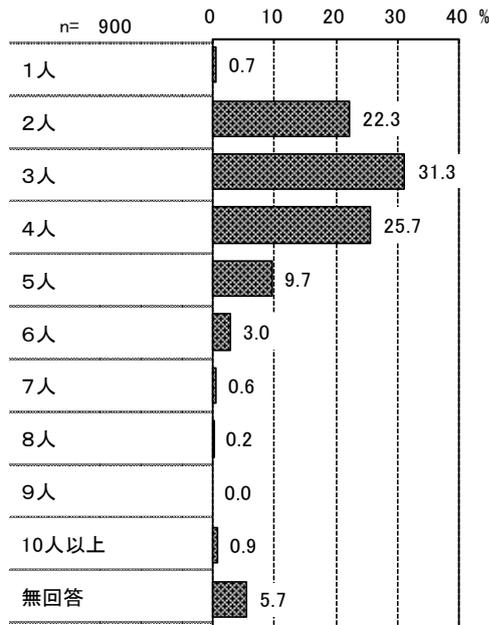
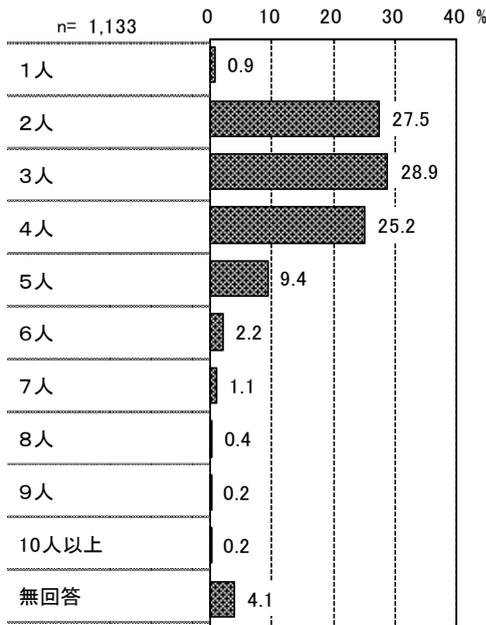
	n	ひとり暮らし	配偶者	父	母	子(子の配偶者を含む)	兄弟姉妹	祖父母	その他	無回答
合計	1,391	17.3	25.5	35.9	43.1	17.5	24.7	2.7	5.0	1.4
身体障害	600	14.5	31.2	33.3	38.3	22.2	23.8	2.7	5.2	0.5
知的障害	435	4.6	2.3	69.7	81.4	3.4	49.9	5.1	6.4	0.2
発達障害	146	6.8	3.4	75.3	87.0	4.1	53.4	4.8	1.4	-
精神障害	223	41.3	8.5	29.6	39.5	5.4	17.5	0.9	3.6	-
高次脳機能障害	26	11.5	23.1	46.2	57.7	15.4	42.3	11.5	3.8	-
難病(特定疾病)	340	20.0	51.8	11.5	16.8	34.4	6.5	1.5	4.4	0.3
その他	33	18.2	21.2	42.4	42.4	18.2	24.2	3.0	6.1	3.0
無回答	25	28.0	4.0	12.0	8.0	-	-	-	-	56.0

《問3で「2」～「8」のいずれかをお答えの方におたずねします》

問3-1 あなたと同居しているご家族は、あなたを含め合計で何人ですか。(数字を記入)

本人を含めた同居家族の人数については、「3人」が最も多く 28.9%、次いで「2人」が 27.5%、「4人」が 25.2%などとなっています。

【参考：第3期世田谷区障害福祉計画障害者児実態調査】



【障害種別】

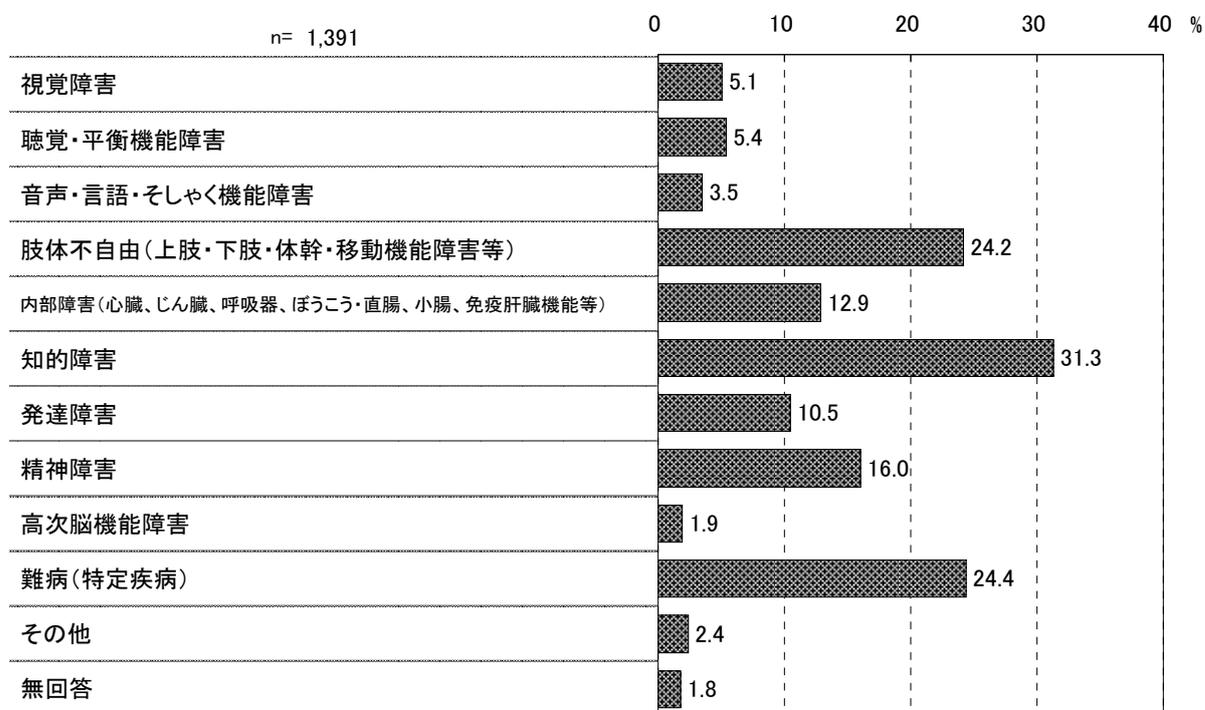
「3人」では“精神障害”で4割近く、「2人」では“難病（特定疾病）”で4割近くと他の障害と比べてやや割合が高くなっています。

	n	0人	1人	2人	3人	4人	5人
合計	1,133	-	0.9	27.5	28.9	25.2	9.4
身体障害	511	-	1.4	30.7	26.0	23.9	10.6
知的障害	415	-	0.5	10.6	31.8	35.4	11.8
発達障害	137	-	-	8.8	31.4	35.8	20.4
精神障害	131	-	-	32.1	38.2	14.5	5.3
高次脳機能障害	24	-	-	29.2	16.7	37.5	12.5
難病（特定疾病）	271	-	1.5	39.1	27.7	19.6	7.4
その他	26	-	-	23.1	26.9	42.3	-
無回答	4	-	-	-	75.0	-	-

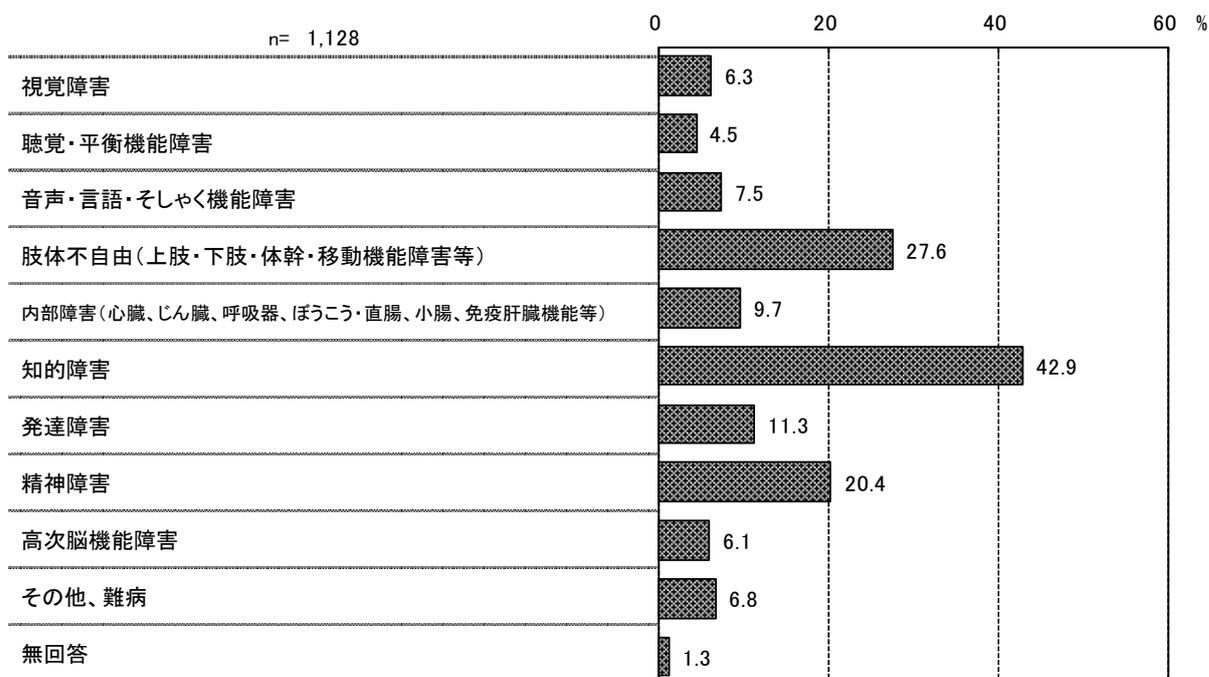
	n	6人	7人	8人	9人	10人以上	無回答
合計	1,133	2.2	1.1	0.4	0.2	0.2	4.1
身体障害	511	2.7	1.0	0.2	-	0.2	3.3
知的障害	415	2.2	1.2	0.5	0.2	0.2	5.5
発達障害	137	1.5	-	-	-	-	2.2
精神障害	131	0.8	0.8	2.3	-	0.8	5.3
高次脳機能障害	24	-	-	-	-	-	4.2
難病（特定疾病）	271	2.2	0.4	-	0.4	-	1.8
その他	26	-	-	-	-	-	7.7
無回答	4	-	-	-	-	-	25.0

問4 あなたの障害は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

障害の種類については、「知的障害」が、最も多く 31.3%、次いで「難病（特定疾病）」が 24.4%、「肢体不自由（上肢・下肢・体幹・移動機能障害等）」が 24.2%などとなっています。



【参考：第3期世田谷区障害福祉計画障害者児実態調査】



【年齢区分別】

「肢体不自由（上肢・下肢・体幹・移動機能障害等）」では、“75 歳以上”で4割を超え他の年齢区分と比べて割合が高くなっています。また、「知的障害」では、“6～17 歳”で7割を超え特に割合が高くなっています。「発達障害」では“0～5歳”と“6～17 歳”で3割以上、「精神障害」では“40～64 歳”で3割近くと他の年齢区分と比べて割合が高くなっています。

(%)

	n	視覚障害	聴覚・平衡機能障害	音声・言語・しゃく機能障害	肢体不自由（上肢・下肢・体幹・移動機能障害等）	内部障害（心臓、じん臓、呼吸器、ぼうこう・直腸、小腸、免疫臓機能等）	知的障害	発達障害	精神障害	高次脳機能障害	難病（特定疾病）	その他	無回答
合計	1,391	5.1	5.4	3.5	24.2	12.9	31.3	10.5	16.0	1.9	24.4	2.4	1.8
0～5歳	40	7.5	15.0	-	35.0	15.0	42.5	30.0	2.5	2.5	5.0	10.0	-
6～17歳	197	4.1	9.6	6.6	34.0	13.2	72.1	32.5	4.1	1.5	4.6	2.0	-
18～39歳	326	4.3	3.7	3.1	17.2	5.8	47.2	16.6	20.2	2.1	22.1	2.5	0.6
40～64歳	444	4.5	2.0	3.2	13.3	9.7	21.8	3.4	28.6	2.3	32.2	1.1	1.4
65～74歳	175	8.0	5.7	4.0	33.7	17.1	8.6	0.6	8.6	1.7	37.1	1.1	1.7
75歳以上	188	5.9	9.0	2.7	42.6	28.2	2.7	-	3.2	0.5	26.1	5.3	0.5
無回答	21	4.8	9.5	-	9.5	9.5	23.8	-	-	4.8	-	-	61.9

【障害の重複】

「知的障害」では“発達障害”が6割半ば、“音声・言語・そしゃく機能障害”が5割を超え割合が高くなっています。難病（特定疾病）では“内部障害（心臓、じん臓、呼吸器、ぼうこう・直腸、小腸、免疫肝臓機能等）”が3割近くと他の障害と比べて割合が高くなっています。「肢体不自由（上肢・下肢・体幹・移動機能障害等）」では“音声・言語・そしゃく機能障害”が6割を超え割合が高くなっています。

(%)

	n	視覚障害	聴覚・平衡機能障害	音声・言語・そしゃく機能障害	肢体不自由（上肢・下肢・体幹・移動機能障害等）	内部障害（心臓、じん臓、呼吸器、ぼうこう・直腸、小腸、免疫肝臓機能等）	知的障害
合計	1,391	5.1	5.4	3.5	24.2	12.9	31.3
視覚障害	71	100.0	16.9	15.5	21.1	7.0	28.2
聴覚・平衡機能障害	75	16.0	100.0	13.3	26.7	10.7	28.0
音声・言語・そしゃく機能障害	49	22.4	20.4	100.0	61.2	12.2	51.0
肢体不自由（上肢・下肢・体幹・移動機能障害等）	337	4.5	5.9	8.9	100.0	8.6	31.2
内部障害（心臓、じん臓、呼吸器、ぼうこう・直腸、小腸、免疫肝臓機能等）	179	2.8	4.5	3.4	16.2	100.0	17.9
知的障害	435	4.6	4.8	5.7	24.1	7.4	100.0
発達障害	146	4.8	3.4	8.2	20.5	7.5	65.1
精神障害	223	4.5	2.7	3.6	7.2	2.2	11.7
高次脳機能障害	26	7.7	-	15.4	38.5	7.7	15.4
難病（特定疾病）	340	3.8	1.5	1.5	10.6	14.4	3.2
その他	33	6.1	-	6.1	33.3	-	21.2
無回答	25	-	-	-	-	-	-

	n	発達障害	精神障害	高次脳機能障害	難病（特定疾病）	その他	無回答
合計	1,391	10.5	16.0	1.9	24.4	2.4	1.8
視覚障害	71	9.9	14.1	2.8	18.3	2.8	-
聴覚・平衡機能障害	75	6.7	8.0	-	6.7	-	-
音声・言語・そしゃく機能障害	49	24.5	16.3	8.2	10.2	4.1	-
肢体不自由（上肢・下肢・体幹・移動機能障害等）	337	8.9	4.7	3.0	10.7	3.3	-
内部障害（心臓、じん臓、呼吸器、ぼうこう・直腸、小腸、免疫肝臓機能等）	179	6.1	2.8	1.1	27.4	-	-
知的障害	435	21.8	6.0	0.9	2.5	1.6	-
発達障害	146	100.0	15.8	2.1	4.1	2.7	-
精神障害	223	10.3	100.0	0.9	3.1	1.3	-
高次脳機能障害	26	11.5	7.7	100.0	11.5	7.7	-
難病（特定疾病）	340	1.8	2.1	0.9	100.0	0.6	-
その他	33	12.1	9.1	6.1	6.1	100.0	-
無回答	25	-	-	-	-	-	100.0

【年齢区分別重複障害】

年齢区分別の重複障害の状況は下表の通りです。

(%)

		n	視覚障害	聴覚・平衡機能障害	音声・言語・そしやく機能障害	肢体不自由(上肢・下肢・体幹・移動機能障害等)	内部障害(心臓、じん臓、呼吸器、ぼうこう・直腸、小腸、免疫臓機能等)	知的障害	発達障害	精神障害	高次脳機能障害	難病(特定疾病)	その他	無回答
視覚障害	小計	71	100.0	16.9	15.5	21.1	7.0	28.2	9.9	14.1	2.8	18.3	2.8	-
	0～5歳	3	100.0	66.7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	6～17歳	8	100.0	62.5	62.5	75.0	25.0	75.0	62.5	37.5	12.5	12.5	12.5	-
	18～39歳	14	100.0	14.3	14.3	35.7	7.1	57.1	14.3	21.4	7.1	14.3	7.1	-
	40～64歳	20	100.0	10.0	10.0	5.0	5.0	30.0	-	20.0	-	15.0	-	-
	65～74歳	14	100.0	7.1	14.3	14.3	-	-	-	-	-	-	35.7	-
	75歳以上	11	100.0	-	-	9.1	9.1	-	-	-	-	-	18.2	-
	無回答	1	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
聴覚・平衡機能障害	小計	75	16.0	100.0	13.3	26.7	10.7	28.0	6.7	8.0	-	6.7	-	-
	0～5歳	6	33.3	100.0	-	16.7	-	16.7	-	-	-	-	-	-
	6～17歳	19	26.3	100.0	21.1	31.6	21.1	52.6	15.8	5.3	-	-	-	-
	18～39歳	12	16.7	100.0	16.7	16.7	-	33.3	8.3	8.3	-	8.3	-	-
	40～64歳	9	22.2	100.0	22.2	22.2	-	44.4	-	33.3	-	-	-	-
	65～74歳	10	10.0	100.0	-	30.0	10.0	10.0	10.0	10.0	-	20.0	-	-
	75歳以上	17	-	100.0	11.8	29.4	11.8	-	-	-	-	11.8	-	-
	無回答	2	-	100.0	-	50.0	50.0	50.0	-	-	-	-	-	-
音声・言語・そしやく機能障害	小計	49	22.4	20.4	100.0	61.2	12.2	51.0	24.5	16.3	8.2	10.2	4.1	-
	0～5歳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	6～17歳	13	38.5	30.8	100.0	76.9	23.1	76.9	53.8	23.1	7.7	7.7	7.7	-
	18～39歳	10	20.0	20.0	100.0	90.0	20.0	70.0	30.0	10.0	20.0	-	10.0	-
	40～64歳	14	14.3	14.3	100.0	35.7	7.1	50.0	14.3	28.6	-	7.1	-	-
	65～74歳	7	28.6	-	100.0	57.1	-	14.3	-	-	-	14.3	42.9	-
	75歳以上	5	-	40.0	100.0	40.0	-	-	-	-	-	-	-	-
	無回答	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
肢体不自由(上肢・下肢・体幹・移動機能障害等)	小計	337	4.5	5.9	8.9	100.0	8.6	31.2	8.9	4.7	3.0	10.7	3.3	-
	0～5歳	14	-	7.1	-	100.0	14.3	42.9	28.6	7.1	7.1	7.1	-	-
	6～17歳	67	9.0	9.0	14.9	100.0	9.0	56.7	23.9	7.5	1.5	9.0	3.0	-
	18～39歳	56	8.9	3.6	16.1	100.0	8.9	75.0	14.3	3.6	5.4	8.9	3.6	-
	40～64歳	59	1.7	3.4	8.5	100.0	5.1	18.6	1.7	6.8	1.7	13.6	-	-
	65～74歳	59	3.4	5.1	6.8	100.0	5.1	8.5	1.7	6.8	3.4	10.2	3.4	-
	75歳以上	80	1.3	6.3	2.5	100.0	11.3	1.3	-	-	1.3	12.5	6.3	-
	無回答	2	-	50.0	-	100.0	50.0	100.0	-	-	50.0	-	-	-
内部障害(心臓、じん臓、呼吸器、ぼうこう・直腸、小腸、免疫臓機能等)	小計	179	2.8	4.5	3.4	16.2	100.0	17.9	6.1	2.8	1.1	27.4	-	-
	0～5歳	6	-	-	-	33.3	100.0	33.3	-	-	-	16.7	-	-
	6～17歳	26	7.7	15.4	11.5	23.1	100.0	46.2	23.1	3.8	3.8	7.7	-	-
	18～39歳	19	5.3	-	10.5	26.3	100.0	63.2	15.8	5.3	-	31.6	-	-
	40～64歳	43	2.3	-	2.3	7.0	100.0	11.6	-	4.7	2.3	34.9	-	-
	65～74歳	30	-	3.3	-	10.0	100.0	-	-	-	-	36.7	-	-
	75歳以上	53	1.9	3.8	-	17.0	100.0	-	-	1.9	-	26.4	-	-
	無回答	2	-	50.0	-	50.0	100.0	50.0	-	-	-	-	-	-
知的障害	小計	435	4.6	4.8	5.7	24.1	7.4	100.0	21.8	6.0	0.9	2.5	1.6	-
	0～5歳	17	-	5.9	-	35.3	11.8	100.0	41.2	-	-	-	5.9	-
	6～17歳	142	4.2	7.0	7.0	26.8	8.5	100.0	38.7	4.9	0.7	2.8	1.4	-
	18～39歳	154	5.2	2.6	4.5	27.3	7.8	100.0	17.5	4.5	1.3	3.2	1.9	-
	40～64歳	97	6.2	4.1	7.2	11.3	5.2	100.0	5.2	11.3	-	1.0	-	-
	65～74歳	15	-	6.7	6.7	33.3	-	100.0	6.7	6.7	-	6.7	6.7	-
	75歳以上	5	-	-	-	20.0	-	100.0	-	-	-	-	-	-
	無回答	5	-	20.0	-	40.0	20.0	100.0	-	-	20.0	-	-	-
発達障害	小計	146	4.8	3.4	8.2	20.5	7.5	65.1	100.0	15.8	2.1	4.1	2.7	-
	0～5歳	12	-	-	-	33.3	16.7	58.3	100.0	8.3	-	8.3	8.3	-
	6～17歳	64	7.8	4.7	10.9	25.0	9.4	85.9	100.0	12.5	1.6	6.3	3.1	-
	18～39歳	54	3.7	1.9	5.6	14.8	5.6	50.0	100.0	13.0	3.7	1.9	1.9	-
	40～64歳	15	-	-	13.3	6.7	-	33.3	100.0	46.7	-	-	-	-
	65～74歳	1	-	100.0	-	100.0	-	100.0	100.0	-	-	-	-	-
	75歳以上	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	無回答	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
精神障害	小計	223	4.5	2.7	3.6	7.2	2.2	11.7	10.3	100.0	0.9	3.1	1.3	-
	0～5歳	1	-	-	-	100.0	-	-	100.0	100.0	-	100.0	-	-
	6～17歳	8	37.5	12.5	37.5	62.5	12.5	87.5	100.0	100.0	12.5	12.5	12.5	-
	18～39歳	66	4.5	1.5	1.5	3.0	1.5	10.6	10.6	100.0	1.5	3.0	1.5	-
	40～64歳	127	3.1	2.4	3.1	3.1	1.6	8.7	5.5	100.0	-	2.4	0.8	-
	65～74歳	15	-	6.7	-	26.7	-	6.7	-	100.0	-	-	-	-
	75歳以上	6	-	-	-	-	16.7	-	-	100.0	-	-	-	-
	無回答	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高次脳機能障害	小計	26	7.7	-	15.4	38.5	7.7	15.4	11.5	7.7	100.0	11.5	7.7	-
	0～5歳	1	-	-	-	100.0	-	-	-	-	100.0	-	-	-
	6～17歳	3	33.3	-	33.3	33.3	33.3	33.3	33.3	33.3	100.0	33.3	33.3	-
	18～39歳	7	14.3	-	28.6	42.9	-	28.6	28.6	14.3	100.0	-	14.3	-
	40～64歳	10	-	-	-	10.0	10.0	-	-	-	100.0	10.0	-	-
	65～74歳	3	-	-	33.3	66.7	-	-	-	-	100.0	33.3	-	-
	75歳以上	1	-	-	-	100.0	-	-	-	-	100.0	-	-	-
	無回答	1	-	-	-	100.0	-	100.0	-	-	100.0	-	-	-
難病(特定疾病)	小計	340	3.8	1.5	1.5	10.6	14.4	3.2	1.8	2.1	0.9	100.0	0.6	-
	0～5歳	2	-	-	-	50.0	50.0	-	50.0	50.0	-	100.0	-	-
	6～17歳	9	11.1	-	11.1	66.7	22.2	44.4	44.4	11.1	11.1	100.0	-	-
	18～39歳	72	2.8	1.4	-	6.9	8.3	6.9	1.4	2.8	-	100.0	1.4	-
	40～64歳	143	2.1	-	0.7	5.6	10.5	0.7	-	2.1	0.7	100.0	-	-
	65～74歳	65	7.7	3.1	4.6	9.2	16.9	1.5	-	-	1.5	100.0	-	-
	75歳以上	49	4.1	4.1	-	20.4	28.6	-	-	-	-	100.0	2.0	-
	無回答	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
その他	小計	33	6.1	-	6.1	33.3	-	21.2	12.1	9.1	6.1	6.1	100.0	-
	0～5歳	4	-	-	-	-	-	25.0	25.0	-	-	-	100.0	-
	6～17歳	4	25.0	-	25.0	50.0	-	50.0	50.0	25.0	25.0	-	100.0	-
	18～39歳	8	12.5	-	12.5	25.0	-	37.5	12.5	12.5	12.5	12.5	100.0	-
	40～64歳	5	-	-	-	-	-	-	-	20.0	-	-	100.0	-
	65～74歳	2	-	-	-	100.0	-	50.0	-	-	-	-	100.0	-
	75歳以上	10	-	-	-	50.0	-	-	-	-	-	10.0	100.0	-
	無回答	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

問5 あなたが、現在お持ちの手帳の等級は何級または何度ですか。(あてはまるものすべてに○)

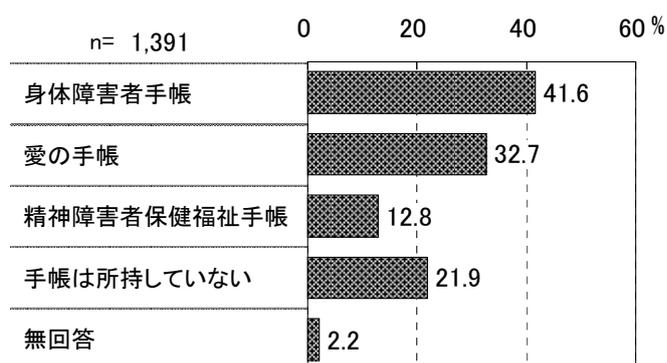
所持している手帳の種類については、「身体障害者手帳」が最も多く41.6%、次いで「愛の手帳」が32.7%、「精神障害者保健福祉手帳」が12.8%となっています。

身体障害者手帳の等級については「1級」と「2級」を合わせた『重度障害者』が56.9%と過半数を占め、「3級」と「4級」を合わせた『中等度障害者』が33.6%、「5級」と「6級」を合わせた『軽度障害者』が8.5%となっています。

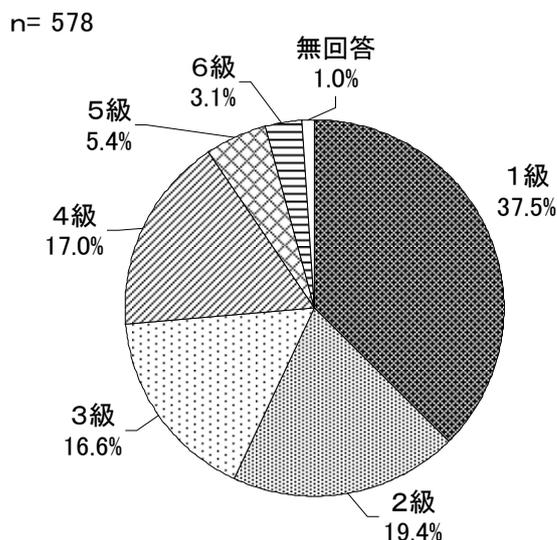
愛の手帳の等級については、「1度」が5.3%、「2度」が37.4%、「3度」が26.8%、「4度」が29.7%となっています。

精神障害者保健福祉手帳の等級については、「1級」が5.1%、「2級」が68.5%、「3級」が25.3%となっています。

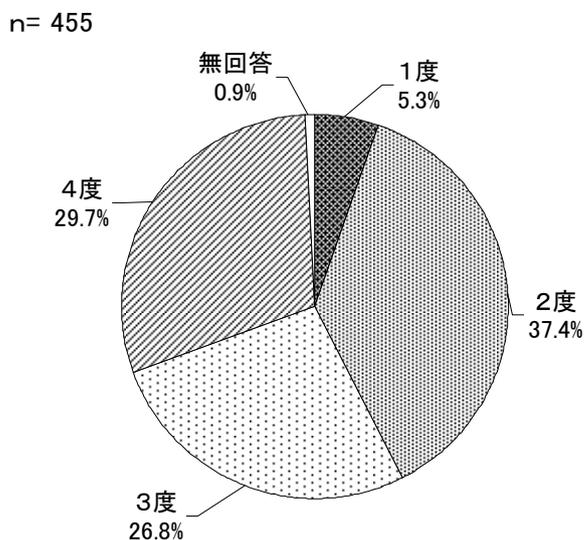
【所持している手帳】



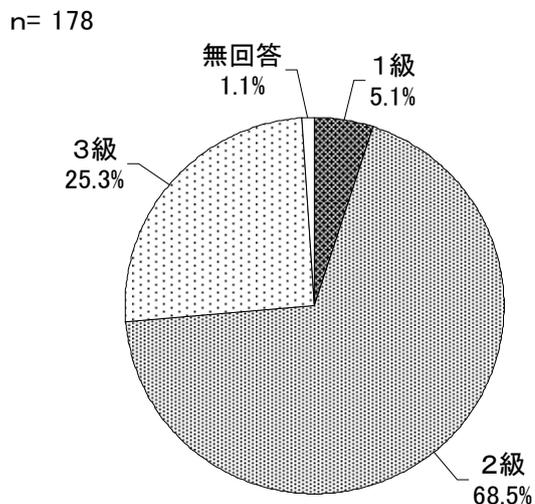
【身体障害者手帳の等級】



【愛の手帳の等級】



【精神障害者保健福祉手帳の等級】



【年齢区分別】

「身体障害者手帳」では“75歳以上”で8割近く、「愛の手帳」では“6～17歳”で7割半ばと割合が高くなっています。また、「精神障害者保健福祉手帳」では“40～64歳”で2割強と他の年齢区分と比べて割合が高くなっています。

(%)

	n	身体障害者 手帳	愛の手帳	精神障害者 保健福祉手 帳	手帳は所持 していない	無回答
合計	1,391	41.6	32.7	12.8	21.9	2.2
0～5歳	40	52.5	45.0	-	5.0	2.5
6～17歳	197	50.3	74.1	0.5	1.5	-
18～39歳	326	25.8	49.1	18.1	25.2	-
40～64歳	444	27.7	23.0	23.4	31.5	1.1
65～74歳	175	55.4	10.9	5.7	29.1	3.4
75歳以上	188	78.7	3.2	2.1	13.8	2.7
無回答	21	28.6	19.0	-	-	61.9

《問4で「10」とお答えの方におたずねします》

問6 あなたの難病（特定疾病）は何ですか。

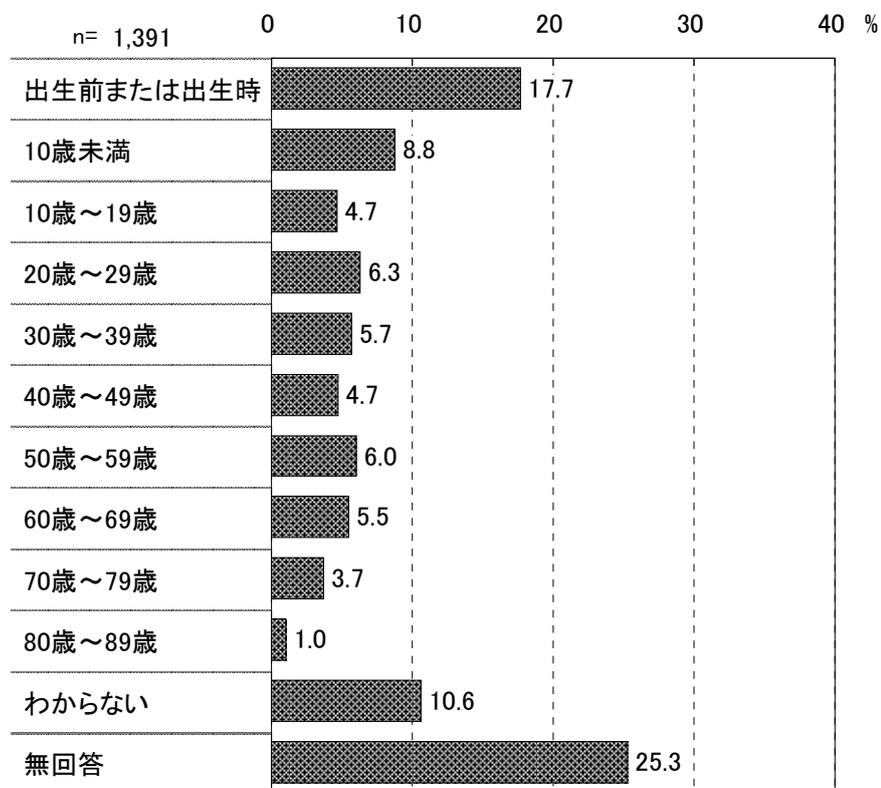
難病の種類については、「潰瘍性大腸炎」が最も多く17.6%、次いで「全身性エリテマトーデス」が8.8%などとなっています。

選択肢	割合
01 ペーチェット病	1.8
02 多発性硬化症	2.9
03 重症筋無力症	4.4
04 全身性エリテマトーデス	8.8
05 スモン	0.0
06 再生不良貧血	0.6
07 サルコイドーシス	1.8
08 筋萎縮性側索硬化症	0.6
09 筋皮症	3.8
093 皮膚筋炎・多発性筋炎	2.9
10 特発性血小板減少性紫斑病	2.6
11 結節性動脈周囲炎 結節性多発動脈炎 顕微鏡的多発血管炎	0.0
12 潰瘍性大腸炎	17.6
13 高安病(大動脈炎症候群)	1.2
14 ビュルガー病	0.3
15 天疱瘡	0.6
16 脊髄小脳変性症	0.9
17 クローン病	3.5
18 劇症肝炎	0.0
19 悪性関節リウマチ	2.4
20 パーキンソン病関連疾患 進行性核上性麻痺 大脳皮質基底核変性症 パーキンソン病	3.8
21 アミロイドーシス(原発性アミロイド症)	0.0
22 後縦靭帯骨化症	1.5
23 ハンチントン病	0.3
24 モヤマヤ病(ウィリス動脈輪閉塞症)	1.2
25 ウェゲナー肉芽腫症	0.3
26 特発性拡張型(うっ血型)心筋症	1.5
27 多系統萎縮症 線上体黒質変性症 オリーブ橋小脳萎縮症	0.3
28 表皮水疱症(接合部型及び栄養障害型)	0.3
29 膿疱性乾癬	0.0
30 広範脊柱管狭窄症	0.6
31 原発性胆汁性肝硬変	1.8
32 重症急性膵炎	0.3
33 特発性大腿骨頭壊死症	0.9
34 混合性結合組織病	1.5
35 原発性免疫不全症候群	0.0
36 特発性間質性肺炎	0.6
37 網膜色素変性症	1.2
38 プリオン病	0.3
39 肺動脈性肺高血圧症	0.0
40 神経線維腫症(I型/II型)	0.6
41 亜急性硬化性全脳炎	0.0

選択肢	割合
42 バッド・キアリ症候群	0.0
43 慢性血栓性肺高血圧症	0.3
44 ラインゾーム病(ファブリー病含む)	0.3
45 副腎白質ジストロフィー	0.0
46 家族性高コレステロール血症(ホモ接合体)	0.6
47 脊髄性筋萎縮症	0.0
48 球脊髄性筋萎縮症	0.0
49 慢性炎症性脱髄性多発神経炎	0.0
50 肥大型心筋症	0.6
51 拘束型心筋症	0.0
52 ミトコンドリア病	0.0
53 リンパ脈管筋腫症(LAM)	0.3
54 重症多形滲出性紅斑(急性期)	0.0
55 黄色靭帯骨化症	0.6
56 間脳下垂体機能障害 PRL分泌異常症 ゴナドトロピン分泌異常症 ADH分泌異常症 下垂体性TSH分泌異常症 クッシング病 先端巨大症 下垂体機能低下症	2.1
74 進行性筋ジストロフィー	0.3
76 ウィルソン病	0.6
765 脊髄空洞症	0.3
77 悪性高血圧	0.0
78 人工透析を必要とする腎不全	6.8
80 骨髄繊維症	0.0
81 ネフローゼ症候群	0.9
83 母斑症	0.6
84 シェーグレン症候群	3.2
85 多発性嚢胞腎	0.3
86 特発性門脈圧亢進症	0.6
863 原発性硬化性胆管炎	0.0
866 肝内結石症	0.0
87 ミオトニー症候群	0.3
88 特発性好酸球增多症候群	0.3
883 アレルギー性肉芽腫性血管炎	0.6
89 強直性脊椎炎	0.9
91 びまん性汎細気管支炎	0.3
94 遺伝性(本態性)ニューロパチー	0.6
95 遺伝性QT延長症候群	0.0
96 先天性ミオパチー	0.3
961 成人スティル病	0.3
97 網膜脈絡膜萎縮症	0.0
98 自己免疫性肝炎	2.1
99 先天性血液凝固因子欠乏症等	0.6
無回答	4.4
回答者数	340

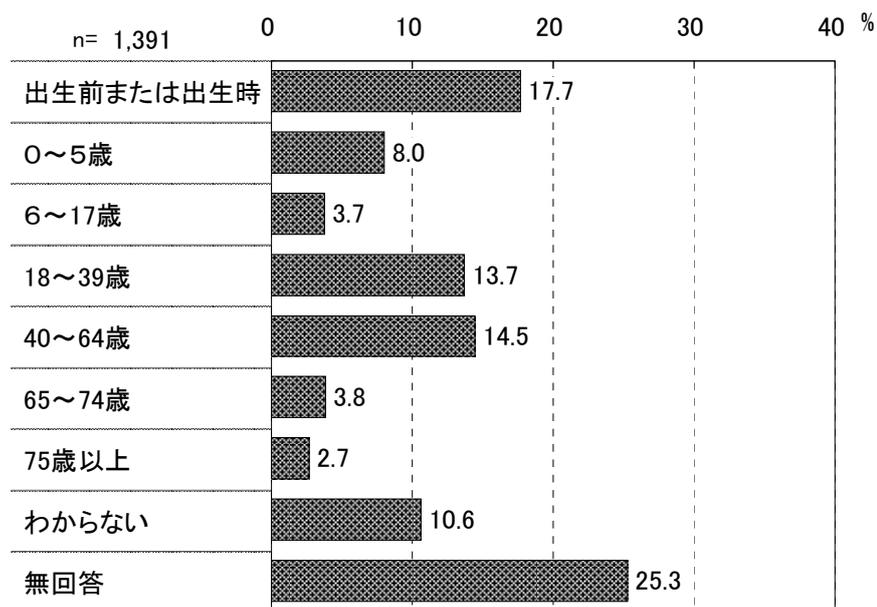
問7 主な障害が発生したのは、あなたが何歳のときですか。(1つに○)

主な障害が発生した時期については、「出生前または出生時」が17.7%、「10歳未満」が8.8%などとなっています。



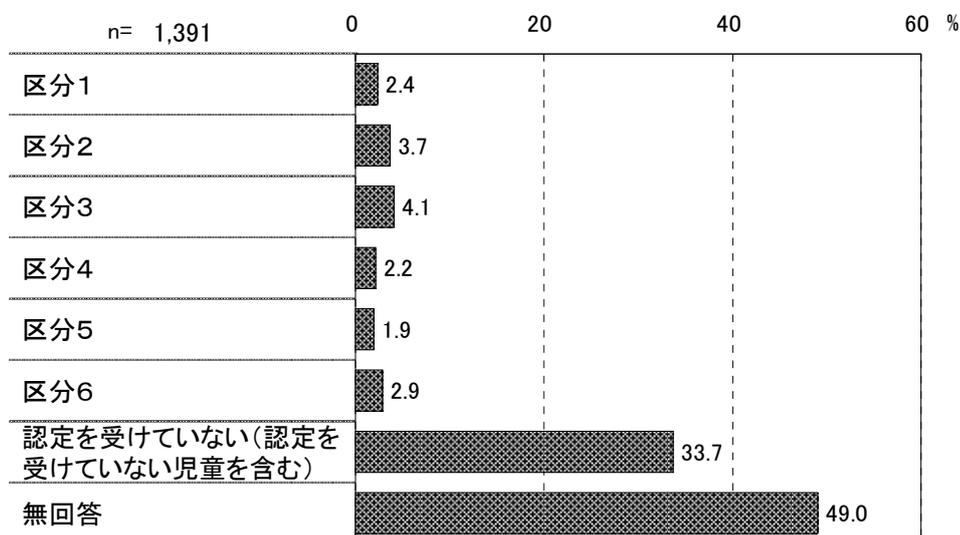
【年齢区分別】

「出生前または出生時」が17.7%、「40～64歳」が14.5%、「18～39歳」が13.7%などとなっています。



問8 あなたの障害者総合支援法での障害程度区分は次のどれですか。(1つに○)

障害者総合支援法での障害程度区分については、「認定を受けていない」が33.7%となっています。



【年齢区分別】

「区分6」では“18～39歳”で1割近くと他の年齢区分と比べて割合が高くなっています。

	n								(%)	
		区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	認定を受けていない(認定を受けていない児童を含む)	無回答	
合計	1,391	2.4	3.7	4.1	2.2	1.9	2.9	33.7	49.0	
0～5歳	40	-	-	-	-	-	-	47.5	52.5	
6～17歳	197	2.0	1.0	5.6	0.5	-	-	37.6	53.3	
18～39歳	326	1.2	5.8	7.4	2.1	5.5	8.9	31.0	38.0	
40～64歳	444	4.1	5.0	2.5	3.6	1.8	1.6	35.8	45.7	
65～74歳	175	1.7	1.1	3.4	1.1	0.6	1.1	34.9	56.0	
75歳以上	188	2.7	3.7	2.7	2.1	-	1.1	28.7	59.0	
無回答	21	-	-	-	-	-	-	4.8	95.2	

【障害種別】

「区分3」では“高次脳機能障害”で1割を超え、他の障害と比べてやや割合が高くなっています。

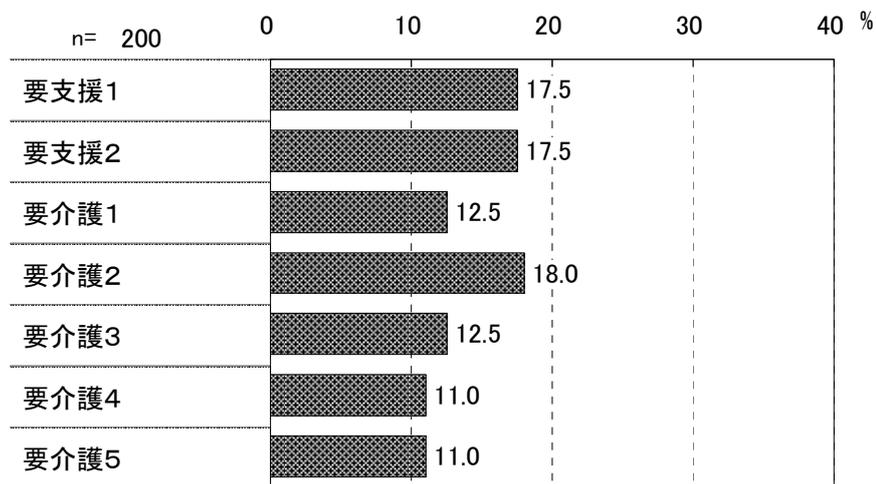
(%)

	n	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	認定を受けていない (認定を受けていない 児童を含む)	無回答
合計	1,391	2.4	3.7	4.1	2.2	1.9	2.9	33.7	49.0
身体障害	600	3.8	2.7	4.3	2.2	1.3	5.0	29.0	51.7
知的障害	435	1.6	6.4	8.0	5.3	5.5	7.4	23.2	42.5
発達障害	146	0.7	2.7	4.1	2.7	2.7	4.8	28.8	53.4
精神障害	223	2.2	5.8	3.1	2.2	0.9	0.9	22.9	61.9
高次脳機能障害	26	3.8	3.8	11.5	-	-	7.7	19.2	53.8
難病(特定疾病)	340	2.4	1.2	3.8	-	-	1.2	63.2	28.2
その他	33	-	3.0	3.0	3.0	-	6.1	33.3	51.5
無回答	25	-	-	-	-	-	-	8.0	92.0

《介護保険を受けている方におたずねします》

問9 あなたの介護保険制度の要介護度は次のどれですか。(1つに○)

要介護度については、200人の回答が得られ、「要介護2」が最も多く18.0%、次いで「要支援1」と「要支援2」がともに17.5%となっています。

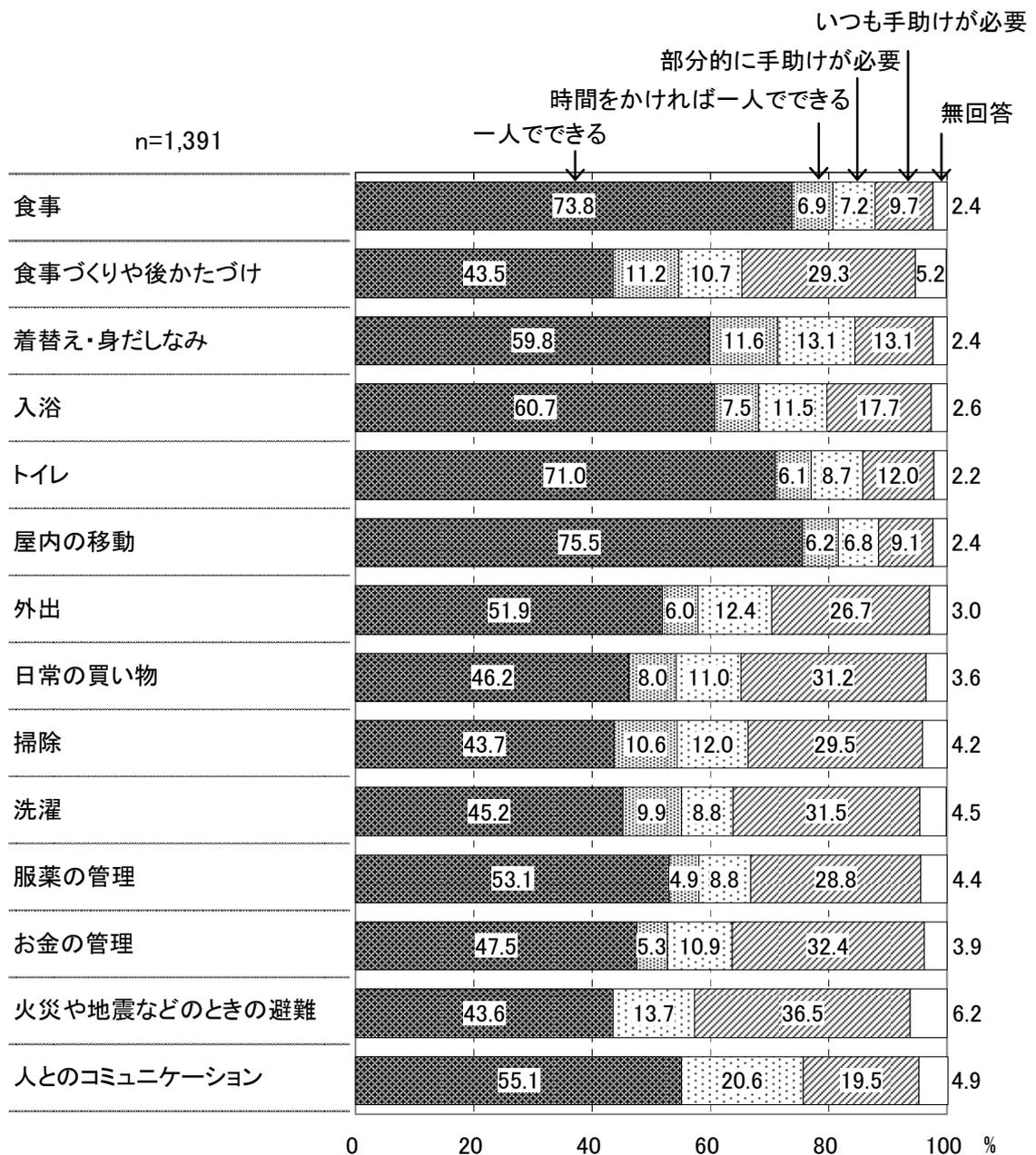


2. 日常生活に関することについて

問 10 あなたは、次の項目について一人ですることができますか。(それぞれ1つに○)

補装具や特別な技術、用具等を使用してできる場合も、「できる」とします。

日常生活に関することを一人でできるかについては、「食事」「トイレ」「屋内の移動」で「一人でできる」が7割を超え、「着替え・身だしなみ」と「入浴」で6割前後、「外出」「服薬の管理」「人とのコミュニケーション」で5割を超えています。一方、「日常の買物」「洗濯」「お金の管理」「火災や地震などのときの避難」で「いつも手助けが必要」が3割を超えています。



【障害種別－食事】

食事について、障害種別にみると、「一人でできる」では“難病（特定疾病）”で8割半ばと割合が高くなっています。一方、「部分的に手助けが必要」では“知的障害”と“発達障害”で1割半ばと他の障害と比べて割合が高くなっています。また、「いつも手助けが必要」では“身体障害”“知的障害”“発達障害”で2割近くと他の障害と比べて割合が高くなっています。

(%)

	問10①食事					
	n	一人でできる	時間をかければ一人でできる	部分的に手助けが必要	いつも手助けが必要	無回答
合計	1,391	73.8	6.9	7.2	9.7	2.4
身体障害	600	63.8	7.3	8.8	18.2	1.8
知的障害	435	58.9	5.7	15.2	19.8	0.5
発達障害	146	63.0	3.4	15.1	17.8	0.7
精神障害	223	78.9	10.8	5.4	3.6	1.3
高次脳機能障害	26	65.4	7.7	11.5	15.4	-
難病（特定疾病）	340	85.3	5.3	3.5	4.4	1.5
その他	33	54.5	12.1	3.0	27.3	3.0
無回答	25	36.0	8.0	-	4.0	52.0

【障害種別－食事づくりや後かたづけ】

食事づくりや後かたづけについて、障害種別にみると、「一人でできる」では“難病（特定疾病）”で7割を超え割合が高くなっています。一方、「部分的に手助けが必要」では“知的障害”で2割近くと他の障害と比べて割合が高くなっています。また、「いつも手助けが必要」では“知的障害”と“発達障害”で6割近くと割合が高くなっています。

(%)

	問10②食事づくりや後かたづけ					
	n	一人でできる	時間をかければ一人でできる	部分的に手助けが必要	いつも手助けが必要	無回答
合計	1,391	43.5	11.2	10.7	29.3	5.2
身体障害	600	38.0	9.2	8.0	39.3	5.5
知的障害	435	10.8	8.3	18.6	58.6	3.7
発達障害	146	19.2	6.2	13.0	57.5	4.1
精神障害	223	51.6	19.3	11.2	15.7	2.2
高次脳機能障害	26	19.2	15.4	15.4	46.2	3.8
難病（特定疾病）	340	72.9	7.4	4.4	12.1	3.2
その他	33	39.4	12.1	6.1	36.4	6.1
無回答	25	16.0	20.0	-	4.0	60.0

【障害種別－着替え・身だしなみ】

着替え・身だしなみについて、障害種別にみると、「一人でできる」では“難病（特定疾病）”で8割近くと割合が高くなっています。一方、「部分的に手助けが必要」では“知的障害”で2割半ば、“発達障害”と“高次脳機能障害”でも2割を超え他の障害と比べて割合が高くなっています。また、「いつも手助けが必要」では“知的障害”で2割半ば、“身体障害”と“発達障害”でも2割を超え他の障害と比べて割合が高くなっています。

(%)

	問10③着替え・身だしなみ					
	n	一人でできる	時間をかければ一人でできる	部分的に手助けが必要	いつも手助けが必要	無回答
合計	1,391	59.8	11.6	13.1	13.1	2.4
身体障害	600	48.7	12.7	14.0	22.8	1.8
知的障害	435	35.9	11.3	26.4	25.1	1.4
発達障害	146	43.2	10.3	24.0	21.9	0.7
精神障害	223	71.3	14.8	7.2	5.4	1.3
高次脳機能障害	26	34.6	19.2	23.1	19.2	3.8
難病（特定疾病）	340	78.8	9.1	4.4	6.8	0.9
その他	33	60.6	9.1	-	27.3	3.0
無回答	25	40.0	8.0	-	-	52.0

【障害種別－入浴】

入浴について、障害種別にみると、「一人でできる」では“難病（特定疾病）”でほぼ8割と割合が高くなっています。一方、「部分的に手助けが必要」では“知的障害”で2割を超え他の障害と比べて割合が高くなっています。また、「いつも手助けが必要」では“身体障害”“知的障害”“発達障害”で3割を超え割合が高くなっています。

(%)

	問10④入浴					
	n	一人でできる	時間をかければ一人でできる	部分的に手助けが必要	いつも手助けが必要	無回答
合計	1,391	60.7	7.5	11.5	17.7	2.6
身体障害	600	47.2	8.2	12.3	30.5	1.8
知的障害	435	37.9	5.1	22.8	32.6	1.6
発達障害	146	43.2	7.5	15.8	32.2	1.4
精神障害	223	74.0	10.8	6.3	8.1	0.9
高次脳機能障害	26	42.3	11.5	19.2	23.1	3.8
難病（特定疾病）	340	79.7	7.1	4.4	7.4	1.5
その他	33	51.5	9.1	6.1	27.3	6.1
無回答	25	40.0	8.0	-	-	52.0

【障害種別－トイレ】

トイレについて、障害種別にみると、「一人でできる」では“難病（特定疾病）”と“精神障害”で8割半ばと割合が高くなっています。一方、「部分的に手助けが必要」では“知的障害”で2割近くと他の障害と比べて割合がやや高くなっています。また、「いつも手助けが必要」では“身体障害”“知的障害”“発達障害”で2割を超え他の障害と比べて割合が高くなっています。

(%)

	問10⑤ トイレ					
	n	一人でできる	時間をかければ一人でできる	部分的に手助けが必要	いつも手助けが必要	無回答
合計	1,391	71.0	6.1	8.7	12.0	2.2
身体障害	600	58.0	8.3	10.5	21.7	1.5
知的障害	435	51.3	5.3	19.1	23.4	0.9
発達障害	146	56.2	5.5	16.4	21.9	-
精神障害	223	84.8	4.9	4.0	5.8	0.4
高次脳機能障害	26	61.5	11.5	11.5	15.4	-
難病（特定疾病）	340	85.0	5.0	2.6	5.9	1.5
その他	33	63.6	3.0	3.0	27.3	3.0
無回答	25	44.0	4.0	-	-	52.0

【障害種別－屋内の移動】

屋内の移動について、障害種別にみると、「一人でできる」では“難病（特定疾病）”と“精神障害”で8割を超え割合が高くなっています。一方、「部分的に手助けが必要」では“身体障害”“知的障害”“発達障害”で1割を超え他の障害と比べて割合がやや高くなっています。また、「いつも手助けが必要」では“高次脳機能障害”と“身体障害”で2割近くと他の障害と比べて割合が高くなっています。

(%)

	問10⑥ 屋内の移動					
	n	一人でできる	時間をかければ一人でできる	部分的に手助けが必要	いつも手助けが必要	無回答
合計	1,391	75.5	6.2	6.8	9.1	2.4
身体障害	600	60.2	8.8	11.5	17.7	1.8
知的障害	435	66.9	4.6	12.0	15.2	1.4
発達障害	146	71.2	2.7	11.6	13.7	0.7
精神障害	223	83.0	8.1	4.5	3.6	0.9
高次脳機能障害	26	65.4	7.7	7.7	19.2	-
難病（特定疾病）	340	83.8	5.6	4.4	5.3	0.9
その他	33	66.7	3.0	-	24.2	6.1
無回答	25	44.0	4.0	-	-	52.0

【障害種別－外出】

外出について、障害種別にみると、「一人でできる」では“難病（特定疾病）”で7割半ばと割合が高くなっています。一方、「部分的に手助けが必要」では“高次脳機能障害”で3割を超え割合が高くなっています。また、「いつも手助けが必要」では“知的障害”で5割を超え、“発達障害”で4割半ば、“高次脳機能障害”と“身体障害”でも4割以上と割合が高くなっています。

(%)

	問10⑦外出					
	n	一人でできる	時間をかければ一人でできる	部分的に手助けが必要	いつも手助けが必要	無回答
合計	1,391	51.9	6.0	12.4	26.7	3.0
身体障害	600	38.7	7.2	11.5	40.0	2.7
知的障害	435	25.7	2.1	20.9	50.1	1.1
発達障害	146	34.9	2.7	15.8	45.2	1.4
精神障害	223	67.3	10.3	9.0	11.7	1.8
高次脳機能障害	26	26.9	-	30.8	42.3	-
難病（特定疾病）	340	75.3	5.3	5.0	12.6	1.8
その他	33	42.4	6.1	12.1	33.3	6.1
無回答	25	36.0	8.0	-	-	56.0

【障害種別－日常の買い物】

日常の買い物について、障害種別にみると、「一人でできる」では“難病（特定疾病）”で7割を超え割合が高くなっています。一方、「部分的に手助けが必要」では“高次脳機能障害”と“知的障害”で2割近くと他の障害と比べて割合がやや高くなっています。また、「いつも手助けが必要」では“知的障害”と“発達障害”で5割半ばと割合が高くなっています。

(%)

	問10⑧日常の買い物					
	n	一人でできる	時間をかければ一人でできる	部分的に手助けが必要	いつも手助けが必要	無回答
合計	1,391	46.2	8.0	11.0	31.2	3.6
身体障害	600	35.5	6.5	10.0	44.2	3.8
知的障害	435	16.6	5.5	18.4	57.2	2.3
発達障害	146	23.3	6.8	13.0	55.5	1.4
精神障害	223	62.8	12.6	9.0	14.8	0.9
高次脳機能障害	26	19.2	11.5	19.2	46.2	3.8
難病（特定疾病）	340	71.5	5.9	5.3	15.0	2.4
その他	33	39.4	9.1	9.1	39.4	3.0
無回答	25	36.0	12.0	-	-	52.0

【障害種別－掃除】

掃除について、障害種別にみると、「一人でできる」では“難病（特定疾病）”で7割を超え割合が高くなっています。一方、「部分的に手助けが必要」では“高次脳機能障害”“発達障害”“知的障害”で2割近くと他の障害と比べて割合がやや高くなっています。また、「いつも手助けが必要」では“知的障害”と“発達障害”で5割を超え割合が高くなっています。

(%)

	問10⑨掃除					
	n	一人でできる	時間をかければ一人でできる	部分的に手助けが必要	いつも手助けが必要	無回答
合計	1,391	43.7	10.6	12.0	29.5	4.2
身体障害	600	33.2	9.2	10.7	41.8	5.2
知的障害	435	16.6	9.2	18.4	53.8	2.1
発達障害	146	21.9	5.5	18.5	52.7	1.4
精神障害	223	52.9	16.1	13.0	17.0	0.9
高次脳機能障害	26	26.9	7.7	19.2	46.2	-
難病（特定疾病）	340	70.6	7.9	5.0	12.6	3.8
その他	33	42.4	9.1	6.1	39.4	3.0
無回答	25	32.0	8.0	-	4.0	56.0

【障害種別－洗濯】

洗濯について、障害種別にみると、「一人でできる」では“難病（特定疾病）”で7割を超え割合が高くなっています。一方、「部分的に手助けが必要」では“高次脳機能障害”で2割半ばと他の障害と比べて割合が高くなっています。また、「いつも手助けが必要」では“知的障害”と“発達障害”で6割を超え割合が高くなっています。

(%)

	問10⑩洗濯					
	n	一人でできる	時間をかければ一人でできる	部分的に手助けが必要	いつも手助けが必要	無回答
合計	1,391	45.2	9.9	8.8	31.5	4.5
身体障害	600	35.7	9.2	7.2	42.7	5.3
知的障害	435	13.3	8.5	14.5	61.4	2.3
発達障害	146	18.5	6.8	12.3	60.3	2.1
精神障害	223	61.9	15.7	6.7	15.2	0.4
高次脳機能障害	26	15.4	-	26.9	53.8	3.8
難病（特定疾病）	340	71.8	7.9	3.8	12.6	3.8
その他	33	39.4	9.1	6.1	39.4	6.1
無回答	25	36.0	12.0	-	-	52.0

【障害種別－服薬の管理】

服薬の管理について、障害種別にみると、「一人でできる」では“難病（特定疾病）”で8割と割合が高くなっています。一方、「部分的に手助けが必要」では“高次脳機能障害”と“知的障害”で1割半ばと他の障害と比べて割合がやや高くなっています。また、「いつも手助けが必要」では“知的障害”と“発達障害”で6割前後と割合が高くなっています。

(%)

	問10⑩服薬の管理					
	n	一人でできる	時間をかければ一人でできる	部分的に手助けが必要	いつも手助けが必要	無回答
合計	1,391	53.1	4.9	8.8	28.8	4.4
身体障害	600	46.5	5.7	7.0	37.2	3.7
知的障害	435	17.0	3.2	14.5	62.3	3.0
発達障害	146	25.3	2.7	11.6	58.2	2.1
精神障害	223	69.1	8.5	8.1	11.7	2.7
高次脳機能障害	26	23.1	3.8	15.4	53.8	3.8
難病（特定疾病）	340	80.0	1.8	4.7	10.0	3.5
その他	33	51.5	-	6.1	42.4	-
無回答	25	32.0	8.0	-	-	60.0

【障害種別－お金の管理】

お金の管理について、障害種別にみると、「一人でできる」では“難病（特定疾病）”で8割を超え割合が高くなっています。一方、「部分的に手助けが必要」では“高次脳機能障害”で2割近くと他の障害と比べて割合がやや高くなっています。また、「いつも手助けが必要」では“知的障害”で7割を超え割合が高くなっています。

(%)

	問10⑫お金の管理					
	n	一人でできる	時間をかければ一人でできる	部分的に手助けが必要	いつも手助けが必要	無回答
合計	1,391	47.5	5.3	10.9	32.4	3.9
身体障害	600	44.5	4.7	8.0	39.5	3.3
知的障害	435	6.9	3.7	15.4	71.3	2.8
発達障害	146	14.4	4.1	16.4	63.7	1.4
精神障害	223	57.0	12.1	14.3	14.3	2.2
高次脳機能障害	26	19.2	3.8	19.2	53.8	3.8
難病（特定疾病）	340	80.3	2.4	5.0	10.6	1.8
その他	33	45.5	3.0	9.1	39.4	3.0
無回答	25	32.0	4.0	4.0	4.0	56.0

【障害種別－火災や地震などのときの避難】

火災や地震などのときの避難について、障害種別にみると、「一人でできる」では“難病（特定疾病）”で7割半ばと割合が高くなっています。一方、「いつも手助けが必要」では“知的障害”で7割を超え割合が高くなっています。

(%)

	問10⑬火災や地震などのときの避難				
	n	一人でできる	部分的に手助けが必要	いつも手助けが必要	無回答
合計	1,391	43.6	13.7	36.5	6.2
身体障害	600	30.5	15.0	48.7	5.9
知的障害	435	11.3	14.5	70.8	3.4
発達障害	146	19.2	13.0	61.6	6.2
精神障害	223	61.9	16.1	16.1	5.8
高次脳機能障害	26	15.4	15.4	65.4	3.8
難病（特定疾病）	340	74.7	5.6	17.1	2.6
その他	33	33.3	18.2	42.4	6.1
無回答	25	32.0	-	4.0	64.0

【障害種別－人とのコミュニケーション】

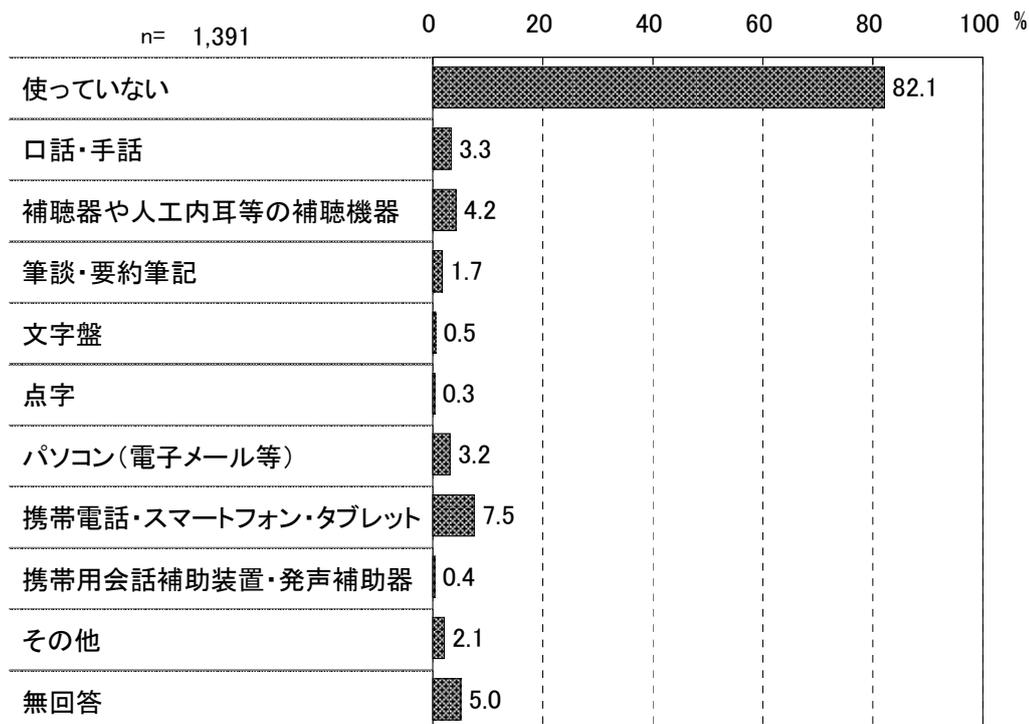
人とのコミュニケーションについて、障害種別にみると、「一人でできる」では“難病（特定疾病）”で8割半ばと割合が高くなっています。一方、「部分的に手助けが必要」では“高次脳機能障害”で4割近くと他の障害と比べて割合が高くなっています。また、「いつも手助けが必要」では“発達障害”で5割と割合が高くなっています。

(%)

	問10⑭人とのコミュニケーション				
	n	一人でできる	部分的に手助けが必要	いつも手助けが必要	無回答
合計	1,391	55.1	20.6	19.5	4.9
身体障害	600	52.7	19.8	23.3	4.2
知的障害	435	17.2	34.3	45.7	2.8
発達障害	146	18.5	28.8	50.0	2.7
精神障害	223	61.4	22.9	11.2	4.5
高次脳機能障害	26	26.9	38.5	30.8	3.8
難病（特定疾病）	340	85.6	7.1	4.7	2.6
その他	33	39.4	15.2	36.4	9.1
無回答	25	32.0	4.0	-	64.0

問 11 あなたは、意思の伝達をはかる場合、特別な技術や用具を使っていますか。(あてはまるものすべてに○)

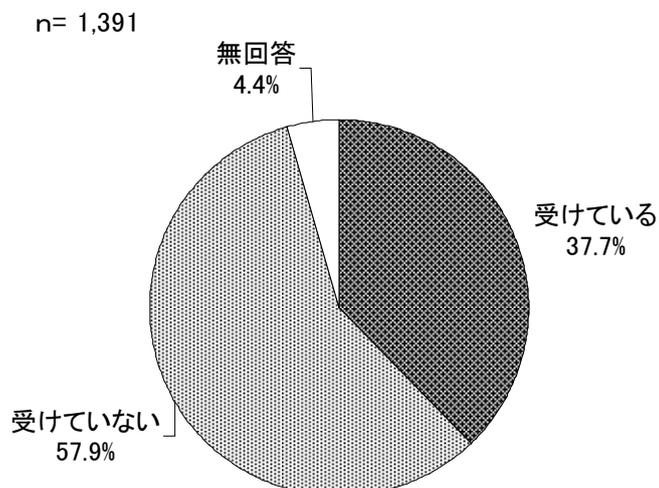
意思の伝達をはかる場合、特別な技術や用具を使っているかについては、「携帯電話・スマートフォン・タブレット」が7.5%などとなっています。また、「使っていない」が82.1%となっています。



3. 介助の状況について

問 12 あなたは、何らかの介助を受けていますか。(1つに○)

介助を受けているかについては、「受けている」が37.7%、「受けていない」が57.9%となっています。



【年齢区分別】

「受けている」では、“0～5歳”で7割、“6～17歳”で6割半ばと他の年齢区分と比べて割合が高くなっています。一方、「受けていない」では、“40～64歳”と“65～74歳”で7割前後と他の年齢区分と比べて割合が高くなっています。

(%)

	n	受けている	受けていない	無回答
合計	1,391	37.7	57.9	4.4
0～5歳	40	70.0	30.0	-
6～17歳	197	64.5	35.0	0.5
18～39歳	326	36.5	59.2	4.3
40～64歳	444	21.8	72.5	5.6
65～74歳	175	29.1	67.4	3.4
75歳以上	188	50.5	42.0	7.4
無回答	21	38.1	57.1	4.8

【障害種別】

「受けている」では“高次脳機能障害”が7割近く、“知的障害”が6割を超え割合が高くなっています。

(%)

	n	受けている	受けていない	無回答
合計	1,391	37.7	57.9	4.4
身体障害	600	52.5	43.3	4.2
知的障害	435	60.9	35.6	3.4
発達障害	146	57.5	39.7	2.7
精神障害	223	26.0	69.5	4.5
高次脳機能障害	26	69.2	23.1	7.7
難病（特定疾病）	340	18.8	79.1	2.1
その他	33	48.5	42.4	9.1
無回答	25	24.0	60.0	16.0

【重複障害別】

「受けている」では“身体と知的（精神）”で8割近くと割合が高くなっています。

(%)

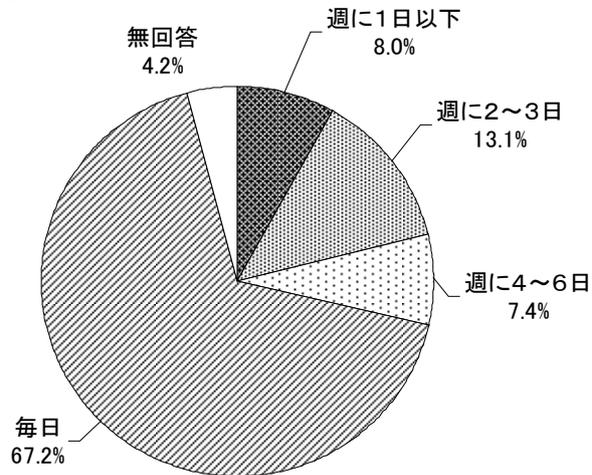
	n	受けている	受けていない	無回答
合計	1,391	37.7	57.9	4.4
身体と知的（精神）	172	79.1	18.6	2.3
知的と精神	12	58.3	33.3	8.3
上記以外	1,182	31.8	63.8	4.4
無回答	25	24.0	60.0	16.0

《問 12 で「1. 受けている」とお答えの方におたずねします》

問 12-1 介助が必要なのは、1 週間のうち何日ぐらいですか。(1 つに○)

介助が必要な日数については、「週に1日以下」が8.0%、「週に2～3日」が13.1%、「週に4～6日」が7.4%、「毎日」が67.2%となっています。

n = 525



【障害種別】

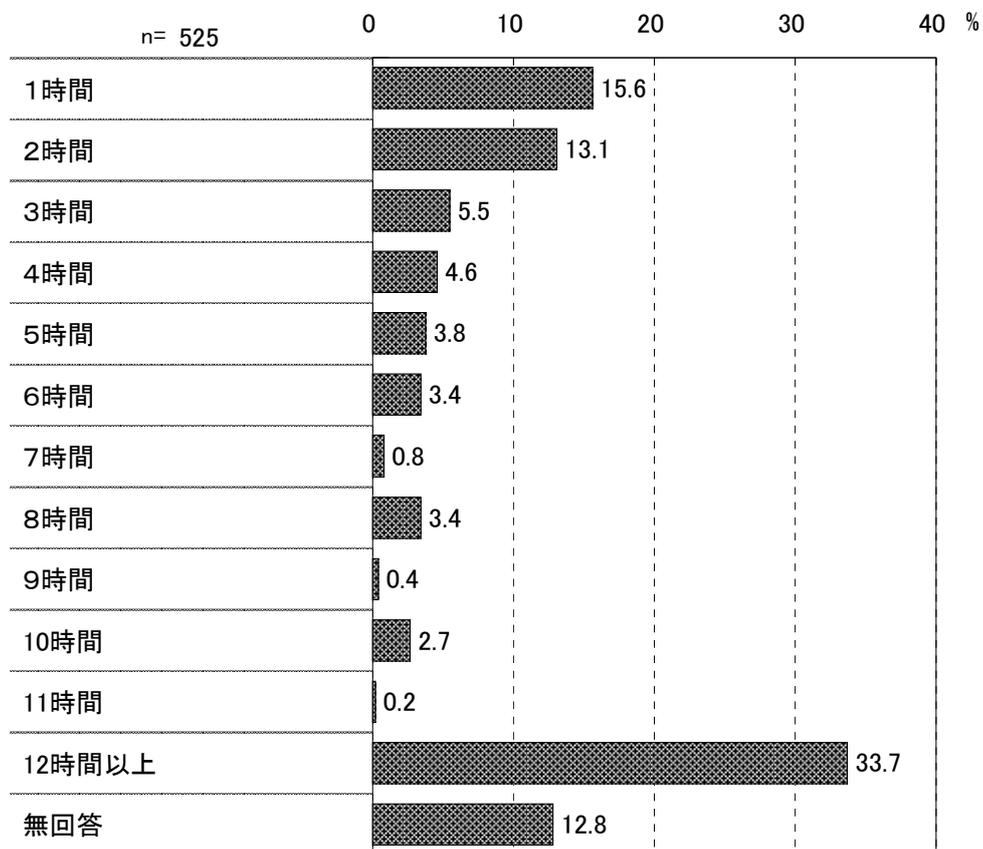
「毎日」では“発達障害”で9割近く、“知的障害”で8割を超え割合が高くなっています。一方、「週に1日以下」では“精神障害”が3割近くと割合が高くなっています。

(%)

	n	週に1日以下	週に2～3日	週に4～6日	毎日	無回答
合計	525	8.0	13.1	7.4	67.2	4.2
身体障害	315	6.0	13.7	6.0	69.8	4.4
知的障害	265	1.9	4.2	8.3	83.0	2.6
発達障害	84	1.2	4.8	6.0	88.1	-
精神障害	58	29.3	27.6	5.2	36.2	1.7
高次脳機能障害	18	5.6	11.1	22.2	55.6	5.6
難病(特定疾病)	64	7.8	17.2	6.3	57.8	10.9
その他	16	6.3	6.3	6.3	75.0	6.3
無回答	6	16.7	16.7	-	66.7	-

問 12-2 あなたが介助を受けている時間は、平均すると1日何時間くらいですか。(数字を記入)

介助を受けている1日の平均時間については、「12時間以上」が最も多く33.7%、次いで「1時間」が15.6%、「2時間」が13.1%などとなっています。

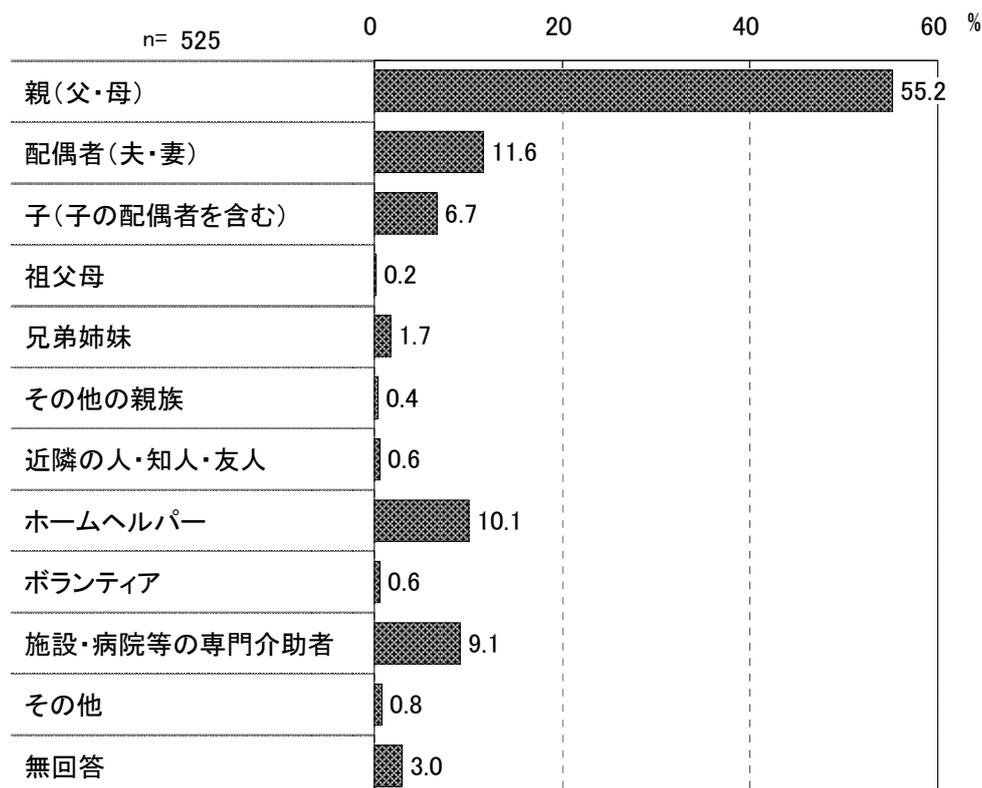


問 13 あなたを主に介助しているのはどなたですか。(1つに○)

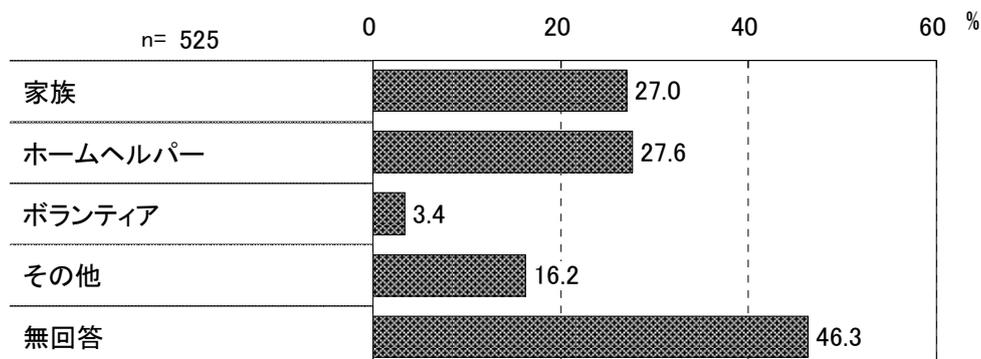
また、その他に介助しているのはどなたですか。(あてはまるものすべてに○)

主な介助者については、「親(父・母)」が最も多く55.2%、次いで「配偶者(夫・妻)」が11.6%、「ホームヘルパー」が10.1%などとなっています。また、主な介助者以外の介助者については、「ホームヘルパー」が27.6%、「家族」が27.0%などとなっています。

【主な介助者】



【主な介助者以外の介助者】



【年齢区分別－主な介助者】

主な介助者について年齢区分別にみると、「親（父・母）」では39歳以下で8割を超え割合が高くなっています。「ホームヘルパー」では“40～64歳”で2割半ば、「施設・病院等の専門介助者」では“65～74歳”で2割を超え、他の年齢区分と比べて割合が高くなっています。

(%)

	n	親（父・母）	配偶者（夫・妻）	子（子の配偶者を含む）	祖父母	兄弟姉妹	その他の親族	近隣の人・知人・友人	ホームヘルパー	ボランティア	施設・病院等の専門介助者	その他	無回答
合計	525	55.2	11.6	6.7	0.2	1.7	0.4	0.6	10.1	0.6	9.1	0.8	3.0
0～5歳	28	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6～17歳	127	95.3	-	-	0.8	-	-	-	-	2.4	0.8	0.8	-
18～39歳	119	85.7	-	-	-	-	0.8	0.8	3.4	-	7.6	-	1.7
40～64歳	97	35.1	15.5	3.1	-	2.1	-	1.0	25.8	-	12.4	1.0	4.1
65～74歳	51	2.0	31.4	7.8	-	7.8	-	2.0	17.6	-	23.5	-	7.8
75歳以上	95	-	29.5	29.5	-	2.1	1.1	-	15.8	-	13.7	2.1	6.3
無回答	8	50.0	25.0	-	-	12.5	-	-	-	-	12.5	-	-

【障害種別－主な介助者】

主な介助者について障害種別にみると、「親（父・母）」では“発達障害”で9割を超え、“知的障害”で8割を超え割合が高くなっています。「配偶者（夫・妻）」では“高次脳機能障害”と“難病（特定疾病）”で2割半ばと他の障害と比べて割合が高くなっています。また、「ホームヘルパー」では“精神障害”で4割近くと割合が高くなっています。

(%)

	n	親（父・母）	配偶者（夫・妻）	子（子の配偶者を含む）	祖父母	兄弟姉妹	その他の親族	近隣の人・知人・友人	ホームヘルパー	ボランティア	施設・病院等の専門介助者	その他	無回答
合計	525	55.2	11.6	6.7	0.2	1.7	0.4	0.6	10.1	0.6	9.1	0.8	3.0
身体障害	315	51.1	15.9	8.9	-	1.0	0.6	0.3	10.2	0.3	8.3	0.6	2.9
知的障害	265	83.8	-	-	0.4	2.6	0.4	0.4	1.5	0.8	8.7	0.4	1.1
発達障害	84	91.7	-	-	-	-	-	-	2.4	-	6.0	-	-
精神障害	58	36.2	3.4	1.7	-	3.4	-	-	37.9	-	10.3	1.7	5.2
高次脳機能障害	18	44.4	27.8	5.6	-	5.6	-	5.6	-	-	11.1	-	-
難病（特定疾病）	64	23.4	25.0	20.3	-	-	-	1.6	9.4	-	14.1	1.6	4.7
その他	16	56.3	12.5	-	-	-	-	-	6.3	-	12.5	-	12.5
無回答	6	33.3	33.3	-	-	-	-	-	16.7	-	16.7	-	-

【重複障害別－主な介助者】

主な介助者について重複障害別にみると、「親（父・母）」では“身体と知的（精神）”で8割を超え割合が高くなっています。

(%)

	n	親（父・母）	配偶者（夫・妻）	子（子の配偶者を含む）	祖父母	兄弟姉妹	その他の親族	近隣の人・知人・友人	ホームヘルパー	ボランティア	施設・病院等の専門介助者	その他	無回答
合計	525	55.2	11.6	6.7	0.2	1.7	0.4	0.6	10.1	0.6	9.1	0.8	3.0
身体と知的（精神）	136	82.4	-	-	-	1.5	0.7	0.7	5.1	-	8.8	-	0.7
知的と精神	7	71.4	-	-	-	-	-	-	14.3	-	14.3	-	-
上記以外	376	45.5	15.7	9.3	0.3	1.9	0.3	0.5	11.7	0.8	9.0	1.1	4.0
無回答	6	33.3	33.3	-	-	-	-	-	16.7	-	16.7	-	-

【年齢区分別－主な介助者以外の介助者】

主な介助者以外の介助者について年齢区分別にみると、「ホームヘルパー」では“75歳以上”で3割半ばと他の年齢区分と比べて割合が高くなっています。

(%)

	n	家族	ホームヘルパー	ボランティア	その他	無回答
合計	525	27.0	27.6	3.4	16.2	46.3
0～5歳	28	28.6	-	-	28.6	46.4
6～17歳	127	28.3	33.1	6.3	23.6	39.4
18～39歳	119	23.5	28.6	2.5	17.6	47.1
40～64歳	97	26.8	22.7	5.2	15.5	47.4
65～74歳	51	21.6	25.5	2.0	9.8	58.8
75歳以上	95	32.6	35.8	1.1	6.3	44.2
無回答	8	25.0	-	-	-	75.0

【障害種別－主な介助者以外の介助者】

主な介助者以外の介助者について障害種別にみると、「ホームヘルパー」では“難病（特定疾病）”“身体障害”“精神障害”で3割を超え他の障害と比べて割合がやや高くなっています。

(%)

	n	家族	ホームヘルパー	ボランティア	その他	無回答
合計	525	27.0	27.6	3.4	16.2	46.3
身体障害	315	28.6	31.4	2.9	17.5	41.6
知的障害	265	25.3	25.7	3.0	18.5	49.1
発達障害	84	27.4	29.8	1.2	21.4	40.5
精神障害	58	19.0	31.0	3.4	15.5	48.3
高次脳機能障害	18	33.3	22.2	5.6	11.1	44.4
難病（特定疾病）	64	37.5	32.8	1.6	14.1	35.9
その他	16	25.0	37.5	6.3	37.5	37.5
無回答	6	16.7	-	-	-	83.3

【重複障害別－主な介助者以外の介助者】

主な介助者以外の介助者について重複障害別にみると、「ホームヘルパー」では“知的と精神”で4割を超え割合が高くなっています。

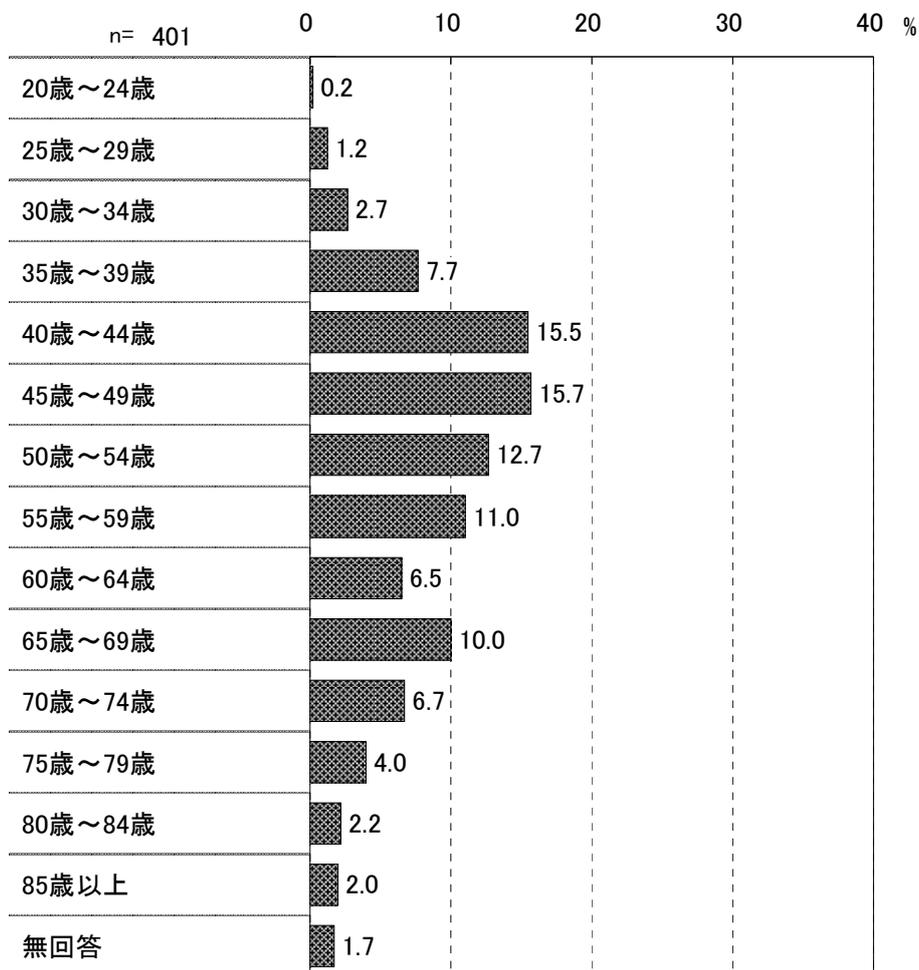
(%)

	n	家族	ホームヘルパー	ボランティア	その他	無回答
合計	525	27.0	27.6	3.4	16.2	46.3
身体と知的（精神）	136	25.7	29.4	1.5	20.6	44.1
知的と精神	7	57.1	42.9	-	14.3	14.3
上記以外	376	27.1	27.1	4.3	14.9	47.1
無回答	6	16.7	-	-	-	83.3

《問 13 のア. 主な介助者で「1」～「7」とお答えの方におたずねします》

問 13-1 主な介助者の方の年齢を記入してください。(数字を記入)

主な介助者の年齢については、「45歳～49歳」が最も多く 15.7%、次いで「40歳～44歳」が 15.5%、「50歳～54歳」が 12.7%などとなっています。



【年齢区分別】

主な介助者の年齢について年齢区分別にみると、「40歳～44歳」では“0～5歳”で4割を超え、“6～17歳”で3割を超え割合が高くなっています。「45歳～49歳」では“6～17歳”で3割半ばと割合が高くなっています。また、「65歳～69歳」「70歳～74歳」では“65～74歳”が2割半ばと他の年齢区分と比べて割合が高くなっています。

(%)

	n	20歳～24歳	25歳～29歳	30歳～34歳	35歳～39歳	40歳～44歳	45歳～49歳	50歳～54歳	55歳～59歳
合計	401	0.2	1.2	2.7	7.7	15.5	15.7	12.7	11.0
0～5歳	28	3.6	-	14.3	25.0	42.9	10.7	-	-
6～17歳	122	-	-	3.3	13.9	30.3	35.2	13.1	1.6
18～39歳	104	-	1.9	1.0	4.8	2.9	5.8	24.0	26.9
40～64歳	55	-	5.5	1.8	-	10.9	5.5	9.1	9.1
65～74歳	26	-	-	-	7.7	7.7	3.8	3.8	-
75歳以上	59	-	-	-	-	3.4	10.2	5.1	13.6
無回答	7	-	-	14.3	-	-	14.3	14.3	14.3

	n	60歳～64歳	65歳～69歳	70歳～74歳	75歳～79歳	80歳～84歳	85歳以上	無回答
合計	401	6.5	10.0	6.7	4.0	2.2	2.0	1.7
0～5歳	28	-	-	-	-	-	-	3.6
6～17歳	122	0.8	-	0.8	-	-	-	0.8
18～39歳	104	14.4	12.5	4.8	-	-	-	1.0
40～64歳	55	3.6	18.2	14.5	12.7	5.5	3.6	-
65～74歳	26	11.5	26.9	26.9	11.5	-	-	-
75歳以上	59	6.8	15.3	8.5	10.2	10.2	10.2	6.8
無回答	7	14.3	14.3	14.3	-	-	-	-

【障害種別】

主な介助者の年齢について障害種別にみると、「40歳～44歳」では“発達障害”で3割を超え割合が高くなっています。

(%)

	n	20歳～24歳	25歳～29歳	30歳～34歳	35歳～39歳	40歳～44歳	45歳～49歳	50歳～54歳	55歳～59歳
合計	401	0.2	1.2	2.7	7.7	15.5	15.7	12.7	11.0
身体障害	245	0.4	1.2	3.7	8.2	15.9	14.3	10.2	11.0
知的障害	232	-	0.9	3.0	9.5	19.0	15.9	15.9	10.8
発達障害	77	-	-	1.3	18.2	33.8	20.8	9.1	9.1
精神障害	26	-	-	3.8	7.7	11.5	11.5	11.5	7.7
高次脳機能障害	16	-	-	-	-	12.5	18.8	6.3	6.3
難病（特定疾病）	45	-	6.7	-	6.7	4.4	11.1	13.3	11.1
その他	11	-	-	-	9.1	9.1	45.5	-	-
無回答	4	-	-	-	-	-	25.0	-	25.0

	n	60歳～64歳	65歳～69歳	70歳～74歳	75歳～79歳	80歳～84歳	85歳以上	無回答
合計	401	6.5	10.0	6.7	4.0	2.2	2.0	1.7
身体障害	245	7.3	10.6	6.9	3.3	2.9	2.0	2.0
知的障害	232	6.9	8.6	5.2	1.7	0.9	0.9	0.9
発達障害	77	1.3	1.3	1.3	1.3	-	-	2.6
精神障害	26	7.7	15.4	7.7	3.8	-	3.8	7.7
高次脳機能障害	16	12.5	-	12.5	25.0	6.3	-	-
難病（特定疾病）	45	6.7	11.1	15.6	8.9	-	2.2	2.2
その他	11	9.1	18.2	-	9.1	-	-	-
無回答	4	-	25.0	25.0	-	-	-	-

【重複障害別】

主な介助者の年齢について重複障害別にみると「40歳～44歳」では“身体と知的（精神）”で2割を超えています。

(%)

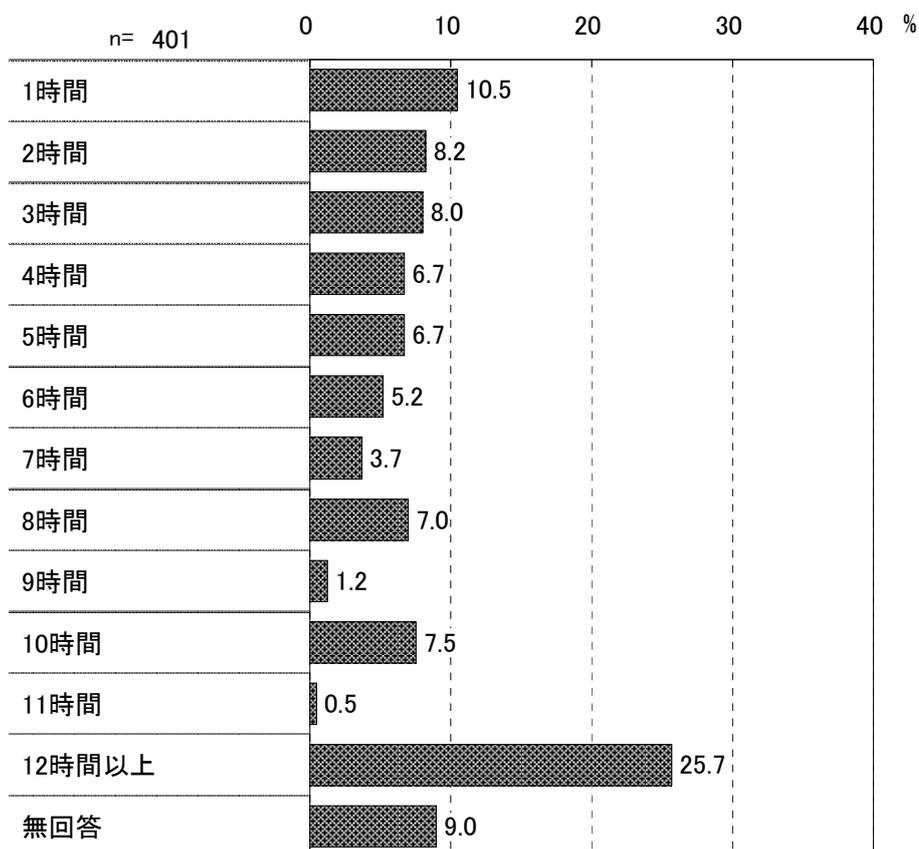
	n	20歳～24歳	25歳～29歳	30歳～34歳	35歳～39歳	40歳～44歳	45歳～49歳	50歳～54歳	55歳～59歳
合計	401	0.2	1.2	2.7	7.7	15.5	15.7	12.7	11.0
身体と知的（精神）	116	-	1.7	5.2	10.3	20.7	13.8	12.1	12.1
知的と精神	5	-	-	-	-	-	20.0	60.0	-
上記以外	276	0.4	1.1	1.8	6.9	13.8	16.3	12.3	10.5
無回答	4	-	-	-	-	-	25.0	-	25.0

	n	60歳～64歳	65歳～69歳	70歳～74歳	75歳～79歳	80歳～84歳	85歳以上	無回答
合計	401	6.5	10.0	6.7	4.0	2.2	2.0	1.7
身体と知的（精神）	116	8.6	8.6	5.2	-	-	-	1.7
知的と精神	5	-	-	-	-	-	20.0	-
上記以外	276	5.8	10.5	7.2	5.8	3.3	2.5	1.8
無回答	4	-	25.0	25.0	-	-	-	-

《問 13 のア. 主な介助者で「1」～「7」とお答えの方におたずねします》

問 13-2 主な介助者の方が介助している1日の平均的な介助時間を記入してください。
(数字を記入)

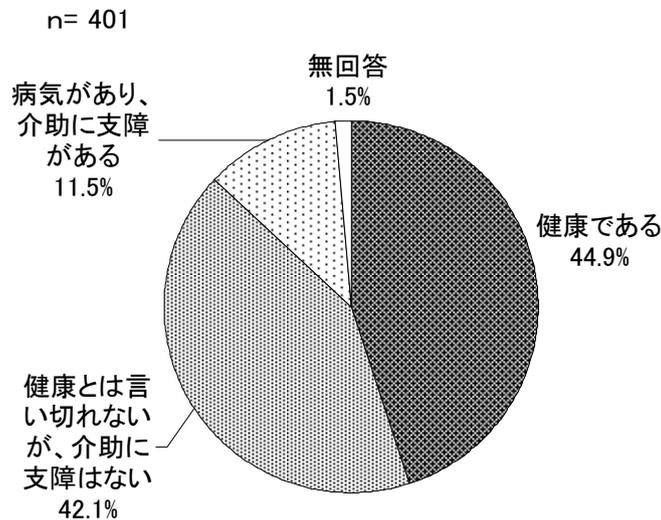
主な介助者が介助している1日の平均的な介助時間については、「12時間以上」が最も多く25.7%、次いで「1時間」が10.5%などとなっています。



《問 13 のア. 主な介助者で「1」～「7」とお答えの方におたずねします》

問 13-3 主な介助者の方の健康状態はいかがですか。(1つに○)

主な介助者の健康状態については、「健康である」が 44.9%、「健康とは言い切れないが、介助に支障はない」が 42.1%、「病気があり、介助に支障がある」が 11.5%となっています。



【障害種別】

主な介助者の健康状態について障害種別にみると、「健康とは言い切れないが、介助に支障はない」では“精神障害”と“発達障害”で5割を超え他の障害と比べて割合がやや高くなっています。「病気があり、介助に支障がある」では“難病（特定疾病）”で2割と他の障害と比べて割合がやや高くなっています。

(%)

	n	健康である	健康とは言い切れないが、介助に支障はない	病気があり、介助に支障がある	無回答
合計	401	44.9	42.1	11.5	1.5
身体障害	245	44.9	40.8	13.1	1.2
知的障害	232	46.1	44.4	9.1	0.4
発達障害	77	41.6	51.9	6.5	-
精神障害	26	26.9	53.8	15.4	3.8
高次脳機能障害	16	43.8	37.5	18.8	-
難病（特定疾病）	45	35.6	40.0	20.0	4.4
その他	11	45.5	45.5	9.1	-
無回答	4	50.0	50.0	-	-

【重複障害別】

主な介助者の健康状態について重複障害別にみると、「健康とは言い切れないが、介助に支障はない」では、回答者が少ないものの“知的と精神”で8割となっています。

(%)

	n	健康である	健康とは言い切れないが、介助に支障はない	病気があり、介助に支障がある	無回答
合計	401	44.9	42.1	11.5	1.5
身体と知的(精神)	116	44.8	43.1	11.2	0.9
知的と精神	5	20.0	80.0	-	-
上記以外	276	45.3	40.9	12.0	1.8
無回答	4	50.0	50.0	-	-

【主な介助者の年齢別】

主な介助者の健康状態について主な介助者の年齢別にみると、「健康とは言い切れないが、介助に支障はない」では“55歳～59歳”と“60歳～64歳”で6割を超え他の年齢と比べて割合が高くなっています。

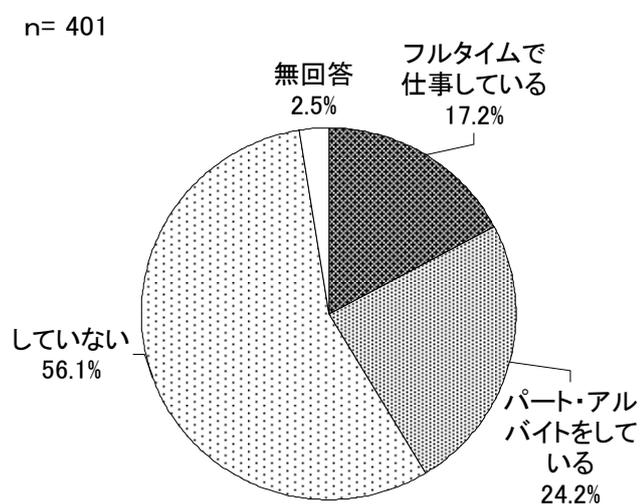
(%)

	n	健康である	健康とは言い切れないが、介助に支障はない	病気があり、介助に支障がある	無回答
合計	401	44.9	42.1	11.5	1.5
20歳～24歳	1	100.0	-	-	-
25歳～29歳	5	40.0	60.0	-	-
30歳～34歳	11	90.9	9.1	-	-
35歳～39歳	31	67.7	29.0	3.2	-
40歳～44歳	62	58.1	32.3	8.1	1.6
45歳～49歳	63	55.6	36.5	6.3	1.6
50歳～54歳	51	56.9	35.3	7.8	-
55歳～59歳	44	20.5	63.6	15.9	-
60歳～64歳	26	30.8	61.5	3.8	3.8
65歳～69歳	40	32.5	55.0	12.5	-
70歳～74歳	27	22.2	48.1	25.9	3.7
75歳～79歳	16	31.3	37.5	31.3	-
80歳～84歳	9	11.1	55.6	33.3	-
85歳以上	8	25.0	25.0	50.0	-
無回答	7	28.6	42.9	-	28.6

《問 13 のア. 主な介助者で「1」～「7」とお答えの方におたずねします》

問 13-4 主な介助者の方は仕事をしていますか。(1つに○)

主な介助者の仕事については、「フルタイムで仕事している」が 17.2%、「パート・アルバイトをしている」が 24.2%、「していない」が 56.1%となっています。



【年齢区分別】

主な介助者の仕事について年齢区別にみると、「フルタイムで仕事している」では“0～5歳”で3割近くと他の年齢区分と比べて割合が高くなっています。

(%)

	n	フルタイムで仕事している	パート・アルバイトをしている	していない	無回答
合計	401	17.2	24.2	56.1	2.5
0～5歳	28	28.6	10.7	57.1	3.6
6～17歳	122	13.1	30.3	56.6	-
18～39歳	104	19.2	31.7	48.1	1.0
40～64歳	55	20.0	12.7	65.5	1.8
65～74歳	26	23.1	15.4	53.8	7.7
75歳以上	59	11.9	15.3	64.4	8.5
無回答	7	14.3	57.1	28.6	-

【障害種別】

主な介助者の仕事について障害種別にみると、「フルタイムで仕事している」では“高次脳機能障害”で3割を超えています。また、「パート・アルバイトをしている」では“精神障害”で3割半ばとなっています。

(%)

	n	フルタイム で仕事して いる	パート・ア ルバイトを している	していない	無回答
合計	401	17.2	24.2	56.1	2.5
身体障害	245	16.3	21.2	59.2	3.3
知的障害	232	13.4	28.4	56.9	1.3
発達障害	77	10.4	27.3	62.3	-
精神障害	26	7.7	34.6	53.8	3.8
高次脳機能 障害	16	31.3	12.5	56.3	-
難病（特定 疾病）	45	26.7	17.8	53.3	2.2
その他	11	-	9.1	90.9	-
無回答	4	25.0	50.0	25.0	-

【重複障害別】

主な介助者の仕事について重複障害別にみると、「していない」では“身体と知的（精神）”で6割を超えています。

(%)

	n	フルタイム で仕事して いる	パート・ア ルバイトを している	していない	無回答
合計	401	17.2	24.2	56.1	2.5
身体と知的 （精神）	116	9.5	26.7	61.2	2.6
知的と精神	5	20.0	60.0	20.0	-
上記以外	276	20.3	22.1	55.1	2.5
無回答	4	25.0	50.0	25.0	-

【主な介助者の年齢別】

主な介助者の仕事について主な介助者の年齢別にみると、「パート・アルバイトをしている」では“50歳～54歳”で4割半ばと他の年齢と比べて割合が高くなっています。

(%)

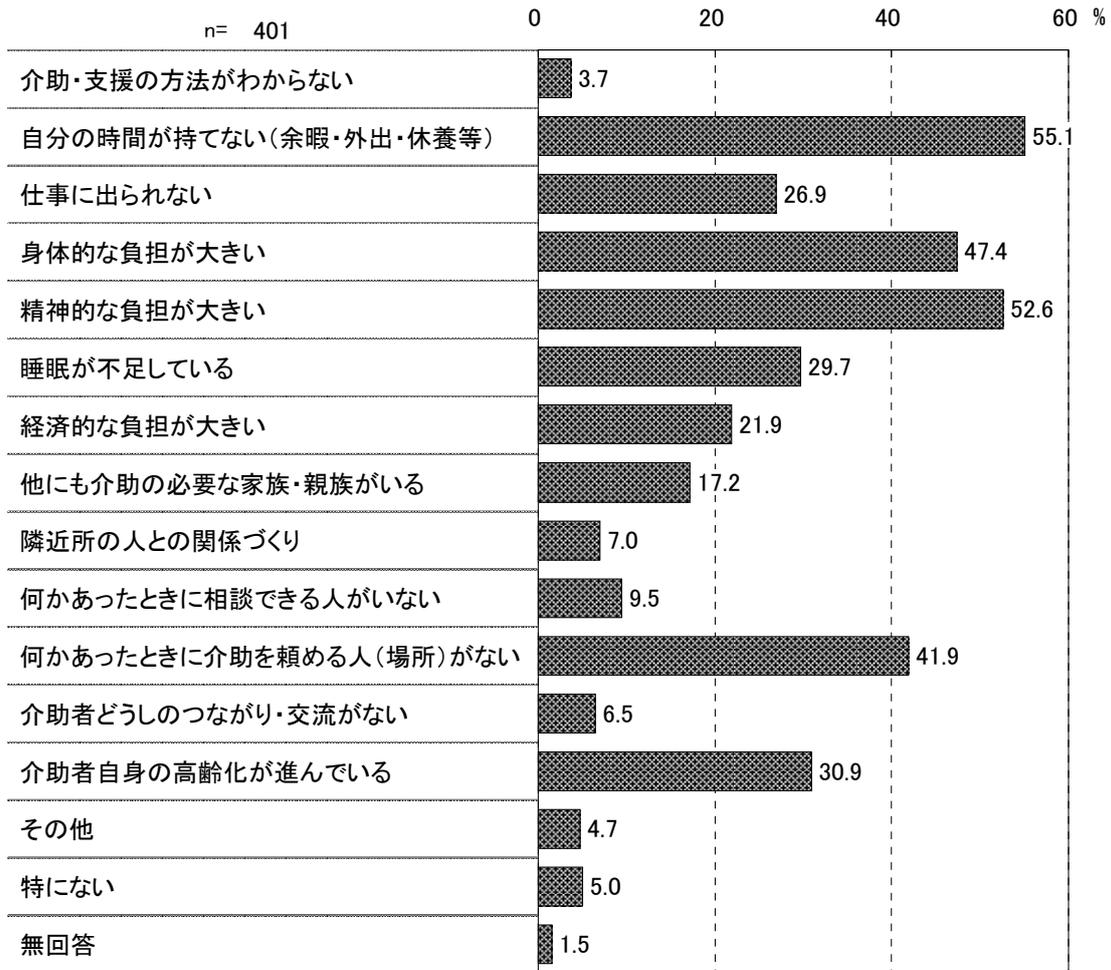
	n	フルタイム で仕事して いる	パート・ア ルバイトを している	していない	無回答
合計	401	17.2	24.2	56.1	2.5
20歳～24歳	1	-	-	100.0	-
25歳～29歳	5	40.0	20.0	20.0	20.0
30歳～34歳	11	18.2	36.4	45.5	-
35歳～39歳	31	16.1	29.0	48.4	6.5
40歳～44歳	62	16.1	22.6	59.7	1.6
45歳～49歳	63	17.5	31.7	50.8	-
50歳～54歳	51	29.4	45.1	25.5	-
55歳～59歳	44	20.5	20.5	59.1	-
60歳～64歳	26	19.2	15.4	61.5	3.8
65歳～69歳	40	10.0	17.5	72.5	-
70歳～74歳	27	11.1	14.8	74.1	-
75歳～79歳	16	12.5	6.3	75.0	6.3
80歳～84歳	9	-	-	88.9	11.1
85歳以上	8	-	-	100.0	-
無回答	7	14.3	14.3	28.6	42.9

《問 13 のア. 主な介助者で「1」～「7」とお答えの方におたずねします》

問 13-5 主な介助者の方は、介助にあたってどのような不安や悩みを抱えていますか。

(5つまで○)

主な介助者が、介助にあたってどのような不安や悩みを抱えているかについては、「自分の時間が持てない(余暇・外出・休養等)」が最も多く 55.1%、次いで「精神的な負担が大きい」が 52.6%、「身体的な負担が大きい」が 47.4%、「何かあったときに介助を頼める人(場所)がない」が 41.9%などとなっています。



【年齢区分別】

「自分の時間が持てない（余暇・外出・休養等）」では“6～17歳”で6割半ばと他の年齢区分と比べて割合が高くなっています。また、「何かあったときに介助を頼める人（場所）がない」と「仕事に出られない」では年齢区分が高くなるにつれて割合が低くなる傾向にあります。

(96)

	n	介助・支援の方法がわからない	自分の時間が持てない（余暇・外出・休養等）	仕事に出られない	身体的な負担が大きい	精神的な負担が大きい	睡眠が不足している	経済的な負担が大きい	他にも介助の必要な家族・親族がいる
合計	401	3.7	55.1	26.9	47.4	52.6	29.7	21.9	17.2
0～5歳	28	3.6	50.0	32.1	53.6	46.4	21.4	17.9	7.1
6～17歳	122	3.3	64.8	45.1	50.0	50.8	31.1	23.8	19.7
18～39歳	104	3.8	54.8	21.2	53.8	54.8	35.6	20.2	20.2
40～64歳	55	3.6	43.6	14.5	34.5	54.5	30.9	21.8	18.2
65～74歳	26	11.5	53.8	15.4	50.0	57.7	26.9	19.2	11.5
75歳以上	59	1.7	45.8	11.9	35.6	45.8	20.3	20.3	13.6
無回答	7	-	85.7	42.9	71.4	100.0	28.6	57.1	14.3

	n	隣近所の人との関係づくり	何かあったときに相談できる人がいない	何かあったときに介助を頼める人（場所）がない	介助者どうしのつながり・交流がない	介助者自身の高齢化が進んでいる	その他	特にない	無回答
合計	401	7.0	9.5	41.9	6.5	30.9	4.7	5.0	1.5
0～5歳	28	-	-	50.0	14.3	-	10.7	10.7	-
6～17歳	122	8.2	8.2	53.3	4.1	13.9	4.9	2.5	0.8
18～39歳	104	9.6	11.5	48.1	5.8	40.4	4.8	5.8	-
40～64歳	55	9.1	14.5	41.8	10.9	43.6	3.6	5.5	-
65～74歳	26	7.7	11.5	15.4	3.8	38.5	7.7	-	3.8
75歳以上	59	1.7	6.8	13.6	6.8	47.5	1.7	8.5	6.8
無回答	7	-	14.3	57.1	-	42.9	-	-	-

【障害種別】

「自分の時間が持てない（余暇・外出・休養等）」では“発達障害”で6割を超え、「精神的な負担が大きい」では“高次脳機能障害”で8割を超え他の障害と比べて割合が高くなっています。また、“精神障害”では「何かあったときに介助を頼める人（場所）がない」で6割近く、「介助者自身の高齢化が進んでいる」で4割を超え他の障害と比べて割合が高くなっています。

(%)

	n	介助・支援の方法がわからない	自分の時間が持てない（余暇・外出・休養等）	仕事に出られない	身体的な負担が大きい	精神的な負担が大きい	睡眠が不足している	経済的な負担が大きい	他にも介助の必要な家族・親族がいる
合計	401	3.7	55.1	26.9	47.4	52.6	29.7	21.9	17.2
身体障害	245	3.3	55.1	28.6	52.2	45.7	31.4	21.6	17.1
知的障害	232	3.0	59.5	30.2	52.2	56.5	31.0	20.7	17.2
発達障害	77	2.6	61.0	32.5	44.2	59.7	33.8	29.9	14.3
精神障害	26	7.7	53.8	11.5	42.3	61.5	50.0	38.5	15.4
高次脳機能障害	16	6.3	43.8	12.5	31.3	81.3	25.0	50.0	12.5
難病（特定疾病）	45	6.7	57.8	22.2	40.0	48.9	22.2	31.1	15.6
その他	11	-	63.6	9.1	54.5	45.5	45.5	9.1	9.1
無回答	4	-	75.0	25.0	50.0	100.0	25.0	50.0	25.0

	n	隣近所の人との関係づくり	何かあったときに相談できる人がいない	何かあったときに介助を頼める人（場所）がない	介助者どうしのつながり・交流がない	介助者自身の高齢化が進んでいる	その他	特になし	無回答
合計	401	7.0	9.5	41.9	6.5	30.9	4.7	5.0	1.5
身体障害	245	6.1	7.8	42.4	6.1	31.4	4.5	6.1	1.2
知的障害	232	8.6	10.3	49.6	5.6	30.2	6.0	3.4	0.4
発達障害	77	9.1	11.7	48.1	3.9	14.3	9.1	2.6	-
精神障害	26	11.5	15.4	57.7	15.4	42.3	15.4	-	3.8
高次脳機能障害	16	6.3	12.5	37.5	6.3	37.5	-	6.3	-
難病（特定疾病）	45	4.4	6.7	26.7	8.9	22.2	6.7	4.4	2.2
その他	11	9.1	-	27.3	-	27.3	9.1	9.1	-
無回答	4	-	25.0	50.0	-	50.0	-	-	-

【主な介助者の年齢別】

「自分の時間が持てない（余暇・外出・休養等）」では“40歳～44歳”で6割半ば、「精神的な負担が大きい」では“65歳～69歳”で6割と他の年齢と比べて割合がやや高くなっています。「仕事に出られない」では30歳台で5割半ばと割合が高くなっています。また、「他にも介助の必要な家族・親族がいる」では“55歳～59歳”と“80歳～84歳”で3割を超え他の年齢と比べて割合が高くなっています。

(%)

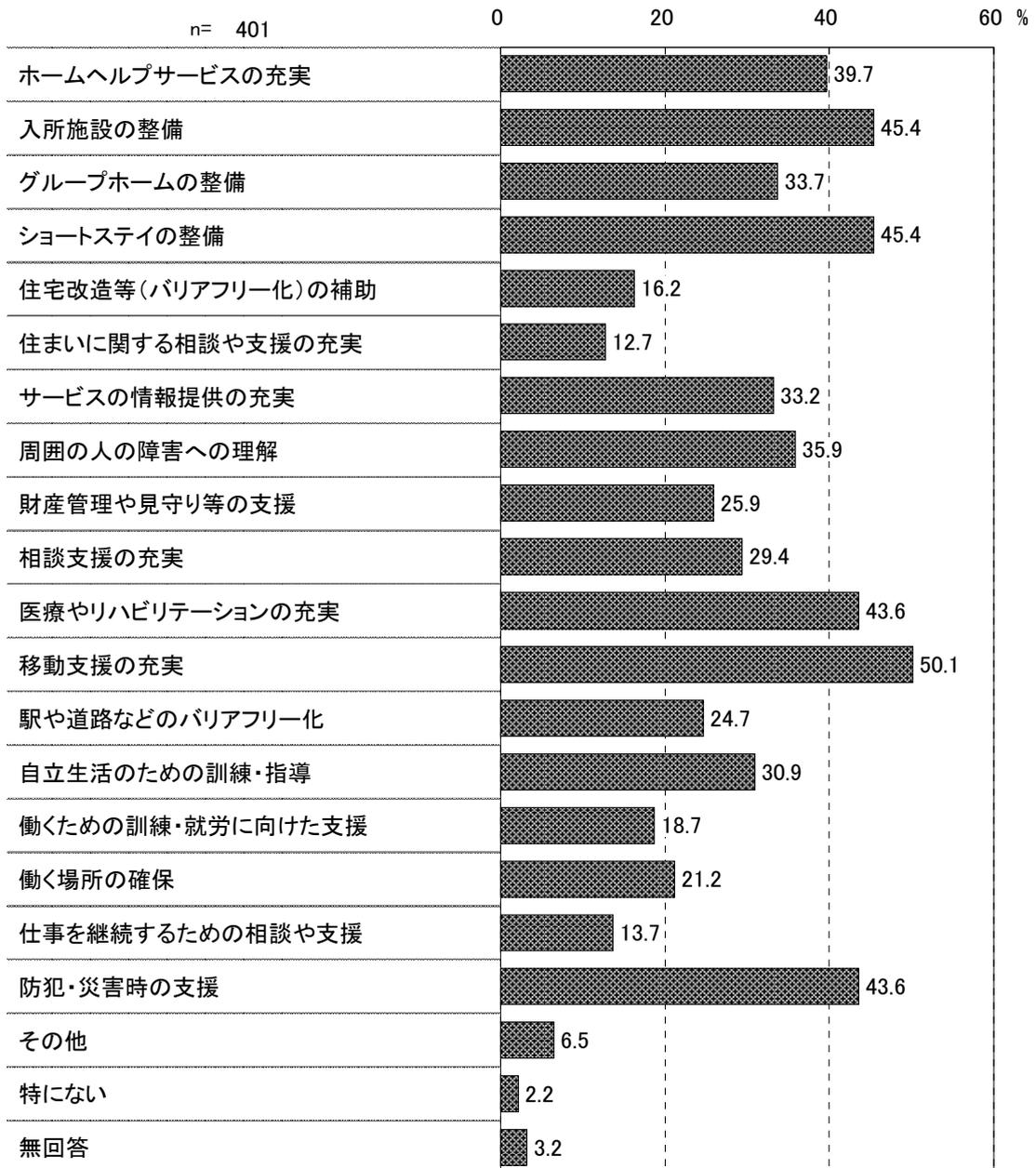
	n	介助・支援の方法がわからない	自分の時間が持てない（余暇・外出・休養等）	仕事に出られない	身体的な負担が大きい	精神的な負担が大きい	睡眠が不足している	経済的な負担が大きい	他にも介助の必要な家族・親族がいる
合計	401	3.7	55.1	26.9	47.4	52.6	29.7	21.9	17.2
20歳～24歳	1	-	100.0	-	100.0	100.0	100.0	-	-
25歳～29歳	5	-	80.0	-	40.0	60.0	20.0	20.0	-
30歳～34歳	11	-	36.4	54.5	54.5	54.5	9.1	18.2	9.1
35歳～39歳	31	3.2	54.8	54.8	38.7	38.7	25.8	38.7	16.1
40歳～44歳	62	4.8	66.1	38.7	56.5	59.7	33.9	27.4	8.1
45歳～49歳	63	3.2	61.9	31.7	44.4	54.0	30.2	20.6	19.0
50歳～54歳	51	2.0	56.9	33.3	56.9	47.1	33.3	23.5	19.6
55歳～59歳	44	4.5	61.4	22.7	47.7	56.8	29.5	15.9	31.8
60歳～64歳	26	-	57.7	26.9	53.8	57.7	30.8	11.5	19.2
65歳～69歳	40	5.0	47.5	12.5	40.0	60.0	32.5	22.5	20.0
70歳～74歳	27	7.4	37.0	3.7	44.4	44.4	33.3	11.1	7.4
75歳～79歳	16	12.5	31.3	-	37.5	50.0	18.8	25.0	12.5
80歳～84歳	9	-	33.3	-	44.4	44.4	22.2	11.1	33.3
85歳以上	8	-	50.0	-	37.5	50.0	25.0	25.0	12.5
無回答	7	-	42.9	14.3	14.3	28.6	14.3	28.6	14.3

	n	隣近所の人との関係づくり	何かあったときに相談できる人がいない	何かあったときに介助を頼める人（場所）がない	介助者どうしのつながり・交流がない	介助者自身の高齢化が進んでいる	その他	特にない	無回答
合計	401	7.0	9.5	41.9	6.5	30.9	4.7	5.0	1.5
20歳～24歳	1	-	-	-	-	-	-	-	-
25歳～29歳	5	-	-	60.0	20.0	20.0	-	-	-
30歳～34歳	11	-	-	72.7	18.2	-	9.1	-	-
35歳～39歳	31	16.1	6.5	41.9	6.5	9.7	6.5	6.5	3.2
40歳～44歳	62	4.8	9.7	53.2	6.5	4.8	4.8	4.8	1.6
45歳～49歳	63	4.8	6.3	44.4	4.8	14.3	7.9	7.9	-
50歳～54歳	51	2.0	9.8	47.1	5.9	23.5	7.8	3.9	-
55歳～59歳	44	11.4	11.4	43.2	11.4	40.9	4.5	4.5	-
60歳～64歳	26	3.8	7.7	53.8	7.7	42.3	3.8	11.5	-
65歳～69歳	40	15.0	25.0	35.0	2.5	60.0	-	2.5	-
70歳～74歳	27	7.4	11.1	29.6	-	70.4	3.7	-	3.7
75歳～79歳	16	6.3	6.3	12.5	6.3	68.8	-	-	-
80歳～84歳	9	-	-	11.1	-	77.8	-	11.1	-
85歳以上	8	12.5	-	-	12.5	62.5	-	12.5	-
無回答	7	-	-	14.3	14.3	14.3	-	-	42.9

《問 13 のア. 主な介助者で「1」～「7」とお答えの方におたずねします》

問 13-6 主な介助者の方は、あて名のご本人が希望する暮らしを実現するためには、どのようなことが必要だと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

主な介助者が、本人が希望する暮らしを実現するために、どのようなことが必要だと思っているかについては、「移動支援の充実」が最も多く 50.1%、次いで「入所施設の整備」と「ショートステイの整備」がともに 45.4%、「医療やリハビリテーションの充実」と「防犯・災害時の支援」がともに 43.6%などとなっています。



【年齢区分別】

「移動支援の充実」では“6～17歳”で7割近くと割合が高くなっています。「入所施設の整備」と「ショートステイの整備」では“18～39歳”で6割を超え割合が高くなっています。「周囲の人の障害への理解」では“6～17歳”で5割を超え他の年齢区分と比べて割合が高くなっています。「働くための訓練・就労に向けた支援」と「働く場所の確保」では17歳以下で3割半ばから4割半ばと割合が高くなっています。

(96)

	n	ホームヘルプサービスの充実	入所施設の整備	グループホームの整備	ショートステイの整備	住宅改造等（バリアフリー化）の補助	住まいに関する相談や支援の充実	サービスの情報提供の充実	周囲の人の障害への理解	財産管理や見守り等の支援	相談支援の充実	医療やリハビリテーションの充実
合計	401	39.7	45.4	33.7	45.4	16.2	12.7	33.2	35.9	25.9	29.4	43.6
0～5歳	28	42.9	53.6	28.6	32.1	17.9	21.4	28.6	42.9	21.4	17.9	50.0
6～17歳	122	44.3	47.5	40.2	54.9	22.1	13.1	38.5	53.3	33.6	27.9	44.3
18～39歳	104	38.5	63.5	49.0	64.4	12.5	11.5	42.3	43.3	41.3	40.4	42.3
40～64歳	55	41.8	36.4	30.9	27.3	16.4	20.0	30.9	16.4	16.4	32.7	41.8
65～74歳	26	30.8	15.4	15.4	11.5	3.8	3.8	23.1	15.4	3.8	19.2	34.6
75歳以上	59	33.9	27.1	5.1	28.8	15.3	8.5	15.3	8.5	5.1	22.0	44.1
無回答	7	28.6	42.9	42.9	57.1	14.3	-	28.6	57.1	14.3	14.3	71.4

	n	移動支援の充実	駅や道路などのバリアフリー化	自立生活のための訓練・指導	働くための訓練・就労に向けた支援	働く場所の確保	仕事を継続するための相談や支援	防犯・災害時の支援	その他	特になし	無回答
合計	401	50.1	24.7	30.9	18.7	21.2	13.7	43.6	6.5	2.2	3.2
0～5歳	28	53.6	17.9	50.0	35.7	35.7	17.9	25.0	17.9	-	-
6～17歳	122	68.9	27.9	42.6	36.9	45.1	23.0	54.1	9.0	-	0.8
18～39歳	104	47.1	19.2	23.1	10.6	9.6	14.4	46.2	2.9	1.9	1.0
40～64歳	55	47.3	32.7	32.7	9.1	12.7	9.1	54.5	3.6	3.6	1.8
65～74歳	26	11.5	23.1	23.1	7.7	3.8	-	34.6	3.8	3.8	11.5
75歳以上	59	33.9	23.7	13.6	-	-	1.7	20.3	3.4	5.1	11.9
無回答	7	57.1	28.6	28.6	28.6	28.6	14.3	42.9	28.6	14.3	-

【障害種別】

「移動支援の充実」では“発達障害”で6割を超え、“知的障害”でほぼ6割、「入所施設の整備」では“知的障害”でほぼ6割、“発達障害”で6割近くと他の障害と比べて割合が高くなっています。「周囲の人の障害への理解」では“発達障害”で5割半ば、「医療やリハビリテーションの充実」では“精神障害”で6割を超え割合が高くなっています。

(96)

	n	ホームヘルプサービスの充実	入所施設の整備	グループホームの整備	ショートステイの整備	住宅改造等（バリアフリー化）の補助	住まいに関する相談や支援の充実	サービスの情報提供の充実	周囲の人の障害への理解	財産管理や見守り等の支援	相談支援の充実	医療やリハビリテーションの充実
合計	401	39.7	45.4	33.7	45.4	16.2	12.7	33.2	35.9	25.9	29.4	43.6
身体障害	245	40.0	37.1	19.6	46.1	22.9	13.5	34.3	27.8	16.3	23.3	51.8
知的障害	232	41.8	59.9	49.1	56.5	13.8	12.5	37.9	44.8	37.1	33.6	41.4
発達障害	77	37.7	58.4	49.4	57.1	13.0	14.3	35.1	55.8	42.9	29.9	41.6
精神障害	26	50.0	50.0	26.9	53.8	19.2	23.1	38.5	42.3	26.9	46.2	61.5
高次脳機能障害	16	31.3	37.5	25.0	37.5	-	12.5	18.8	12.5	25.0	25.0	37.5
難病（特定疾病）	45	26.7	26.7	24.4	44.4	15.6	13.3	33.3	20.0	17.8	26.7	40.0
その他	11	45.5	45.5	27.3	54.5	27.3	36.4	36.4	27.3	27.3	36.4	36.4
無回答	4	50.0	75.0	50.0	50.0	25.0	-	25.0	75.0	-	-	75.0

	n	移動支援の充実	駅や道路などのバリアフリー化	自立生活のための訓練・指導	働くための訓練・就労に向けた支援	働く場所の確保	仕事を継続するための相談や支援	防犯・災害時の支援	その他	特になし	無回答
合計	401	50.1	24.7	30.9	18.7	21.2	13.7	43.6	6.5	2.2	3.2
身体障害	245	47.8	33.1	23.7	13.1	14.7	7.3	43.7	7.8	2.0	3.7
知的障害	232	59.9	18.5	36.6	22.4	26.3	17.7	50.4	7.8	0.9	0.9
発達障害	77	61.0	10.4	49.4	32.5	39.0	27.3	51.9	9.1	1.3	-
精神障害	26	38.5	26.9	30.8	11.5	15.4	15.4	50.0	11.5	-	3.8
高次脳機能障害	16	18.8	18.8	56.3	37.5	25.0	25.0	37.5	6.3	12.5	12.5
難病（特定疾病）	45	33.3	31.1	28.9	17.8	13.3	17.8	46.7	4.4	8.9	6.7
その他	11	54.5	27.3	36.4	36.4	27.3	27.3	36.4	-	-	9.1
無回答	4	75.0	50.0	25.0	25.0	-	-	25.0	25.0	25.0	-

【回答者別】

「移動支援の充実」では“父母”で6割近く、「入所施設の整備」と「ショートステイの整備」でも“父母”が5割半ばと他の回答者と比べて割合が高くなっています。

(96)

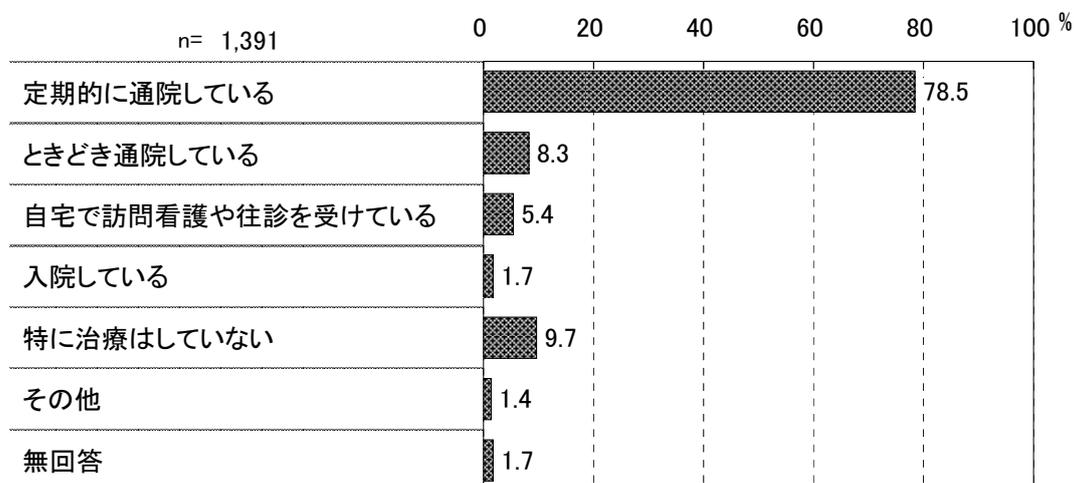
	n	ホームヘルプサービスの充実	入所施設の整備	グループホームの整備	ショートステイの整備	住宅改造等（バリアフリー化）の補助	住まいに関する相談や支援の充実	サービスの情報提供の充実	周囲の人の障害への理解	財産管理や見守り等の支援	相談支援の充実	医療やリハビリテーションの充実
合計	401	39.7	45.4	33.7	45.4	16.2	12.7	33.2	35.9	25.9	29.4	43.6
あなた（ご本人）	64	34.4	7.8	12.5	15.6	15.6	14.1	25.0	20.3	10.9	25.0	39.1
配偶者	22	40.9	31.8	4.5	31.8	4.5	-	22.7	4.5	-	31.8	45.5
父母	265	42.3	55.5	43.4	55.1	17.4	14.3	38.5	44.9	34.3	33.2	44.2
子（子の配偶者を含む）	33	27.3	42.4	15.2	39.4	12.1	3.0	12.1	18.2	15.2	12.1	39.4
兄弟姉妹	8	37.5	50.0	25.0	25.0	12.5	12.5	25.0	12.5	12.5	25.0	37.5
その他	4	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	25.0	-	25.0	75.0
無回答	5	40.0	60.0	40.0	40.0	20.0	-	40.0	60.0	-	-	80.0

	n	移動支援の充実	駅や道路などのバリアフリー化	自立生活のための訓練・指導	働くための訓練・就労に向けた支援	働く場所の確保	仕事を継続するための相談や支援	防犯・災害時の支援	その他	特にない	無回答
合計	401	50.1	24.7	30.9	18.7	21.2	13.7	43.6	6.5	2.2	3.2
あなた（ご本人）	64	29.7	28.1	20.3	14.1	12.5	9.4	37.5	-	4.7	9.4
配偶者	22	36.4	27.3	31.8	-	-	-	22.7	-	4.5	4.5
父母	265	57.7	23.0	35.8	22.6	26.0	17.0	49.8	7.9	0.8	0.8
子（子の配偶者を含む）	33	36.4	27.3	18.2	12.1	21.2	12.1	30.3	6.1	6.1	12.1
兄弟姉妹	8	12.5	12.5	12.5	-	-	-	12.5	25.0	-	-
その他	4	100.0	50.0	25.0	25.0	25.0	-	50.0	-	-	-
無回答	5	80.0	40.0	20.0	20.0	-	-	20.0	20.0	20.0	-

4. 医療と健康について

問 14 あなたは、現在、医師の治療を受けていますか。（あてはまるものすべてに○）

現在、医師の治療を受けているかについては、「定期的に通院している」が最も多く78.5%などとなっています。また、「特に治療はしていない」が9.7%となっています。



【障害種別】

「定期的に通院している」では“精神障害”と“難病（特定疾病）”で9割を超え割合が高くなっています。また、「特に治療はしていない」では“発達障害”と“知的障害”で2割以上と割合が高くなっています。

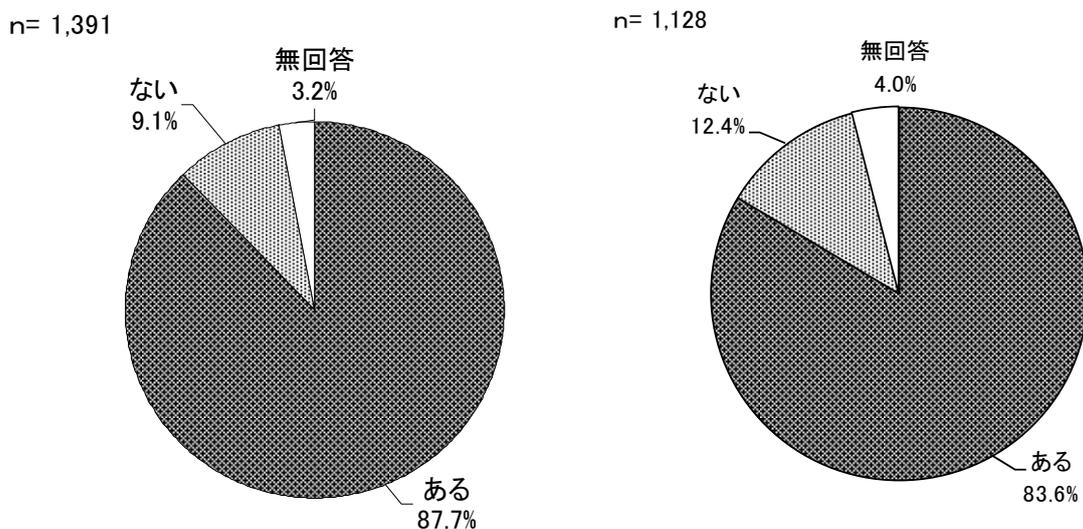
(%)

	n	定期的に通院している	ときどき通院している	自宅で訪問看護や往診を受けている	入院している	特に治療はしていない	その他	無回答
合計	1,391	78.5	8.3	5.4	1.7	9.7	1.4	1.7
身体障害	600	79.3	8.5	9.0	2.2	7.5	1.8	1.7
知的障害	435	63.7	13.6	4.1	1.1	20.0	1.8	2.5
発達障害	146	66.4	11.0	5.5	0.7	21.2	1.4	0.7
精神障害	223	94.6	3.1	10.3	0.9	0.4	1.8	-
高次脳機能障害	26	84.6	-	11.5	7.7	3.8	-	-
難病（特定疾病）	340	93.2	2.9	2.9	2.1	0.9	0.6	0.6
その他	33	63.6	18.2	12.1	3.0	3.0	6.1	6.1
無回答	25	76.0	8.0	4.0	4.0	4.0	-	8.0

問 15 あなたには、継続的に治療を受けたり、健康や障害等について相談できる「かかりつけ医療機関」がありますか。（1つに○）

かかりつけ医療機関があるかについては、「ある」が87.7%と大部分を占め、「ない」は9.1%となっています。

【参考：第3期世田谷区障害福祉計画障害者実態調査】



【年齢区分別】

「ない」では“18～39歳”で1割半ばと他の年齢区分と比べて割合が高くなっています。

(%)

	n	ある	ない	無回答
合計	1,391	87.7	9.1	3.2
0～5歳	40	90.0	10.0	-
6～17歳	197	87.3	10.7	2.0
18～39歳	326	84.0	15.0	0.9
40～64歳	444	89.0	7.2	3.8
65～74歳	175	86.9	6.9	6.3
75歳以上	188	92.0	3.7	4.3
無回答	21	85.7	9.5	4.8

【障害種別】

「ある」では“難病（特定疾病）”で9割半ばと割合が高くなっています。

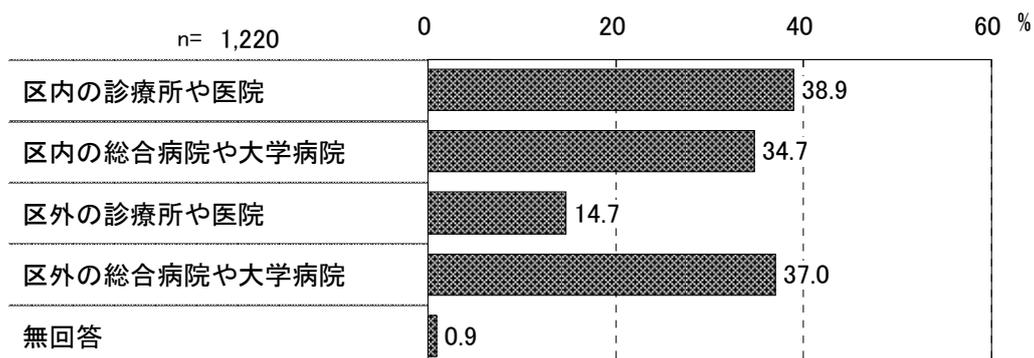
(%)

	n	ある	ない	無回答
合計	1,391	87.7	9.1	3.2
身体障害	600	89.7	6.7	3.7
知的障害	435	81.4	16.8	1.8
発達障害	146	81.5	14.4	4.1
精神障害	223	92.8	5.4	1.8
高次脳機能障害	26	88.5	3.8	7.7
難病（特定疾病）	340	96.2	2.6	1.2
その他	33	90.9	3.0	6.1
無回答	25	68.0	4.0	28.0

《問15で「1. ある」とお答えの方におたずねします》

問15-1 どのような医療機関ですか。（あてはまるものすべてに○をし、受診科をご記入ください）

かかりつけ医療機関については、「区内の診療所や医院」が最も多く38.9%、次いで「区外の総合病院や大学病院」が37.0%、「区内の総合病院や大学病院」が34.7%、「区外の診療所や医院」が14.7%となっています。



【年齢区分別】

「区内の診療所や医院」では年齢が高くなるにつれて割合が高くなる傾向にあり、“75歳以上”では6割近くとなっています。また、「区内の総合病院や大学病院」では“0～5歳”で6割半ば、“6～17歳”で5割を超え割合が高くなっています。

(%)

	n	区内の診療所や医院	区内の総合病院や大学病院	区外の診療所や医院	区外の総合病院や大学病院	無回答
合計	1,220	38.9	34.7	14.7	37.0	0.9
0～5歳	36	27.8	66.7	8.3	25.0	-
6～17歳	172	32.0	50.6	12.8	41.9	0.6
18～39歳	274	37.2	29.2	17.9	32.8	1.8
40～64歳	395	35.2	32.2	15.4	37.0	0.8
65～74歳	152	40.8	32.2	13.2	42.8	-
75歳以上	173	57.2	28.3	13.3	35.8	1.2
無回答	18	44.4	38.9	5.6	38.9	-

【障害種別】

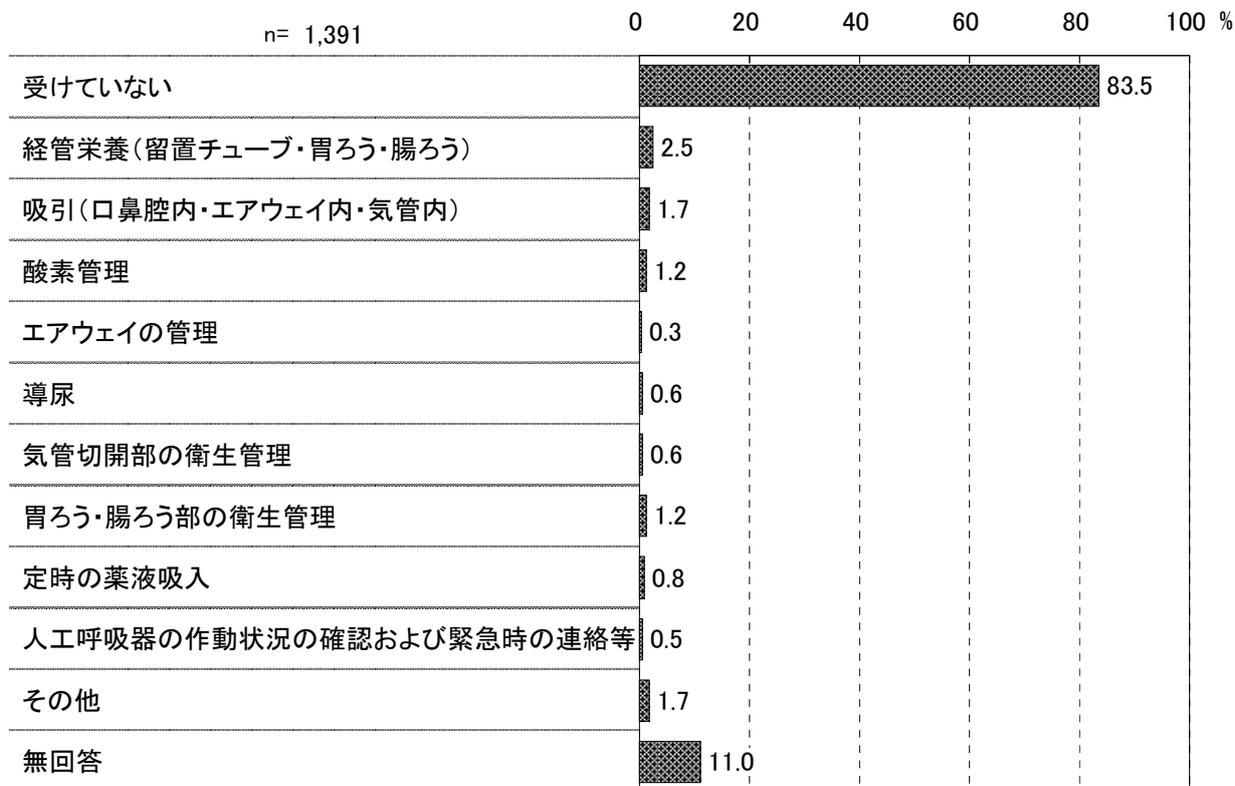
「区内の診療所や医院」では“知的障害”で5割近く、「区内の総合病院や大学病院」では“精神障害”と“知的障害”で4割を超え他の障害と比べて割合が高くなっています。また、「区外の総合病院や大学病院」では“難病（特定疾病）”で5割半ばと割合が高くなっています。

(%)

	n	区内の診療所や医院	区内の総合病院や大学病院	区外の診療所や医院	区外の総合病院や大学病院	無回答
合計	1,220	38.9	34.7	14.7	37.0	0.9
身体障害	538	41.3	38.7	15.4	43.3	0.9
知的障害	354	47.2	42.7	15.0	26.3	1.7
発達障害	119	45.4	31.9	20.2	26.9	0.8
精神障害	207	39.1	43.5	16.9	15.9	1.4
高次脳機能障害	23	8.7	34.8	17.4	43.5	-
難病（特定疾病）	327	26.0	25.1	13.1	54.4	0.6
その他	30	36.7	20.0	20.0	40.0	-
無回答	17	58.8	41.2	-	17.6	-

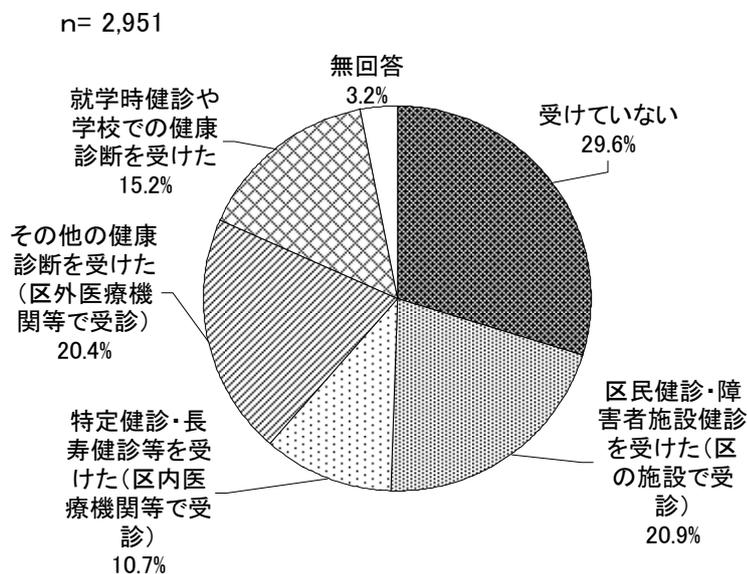
問 16 あなたは、在宅における医療的な支援を受けていますか。(あてはまるものすべてに○)

在宅における医療的な支援を受けているかについては、「受けていない」が83.5%となっています。



問 17 あなたは、過去1年間に健康診断を受けましたか。(1つに○)

過去1年間に健康診断を受けたかについては、「区民健診・障害者施設健診を受けた(区の施設で受診)」が20.9%、「特定健診・長寿健診等を受けた(区内医療機関等で受診)」が10.7%、「その他の健康診断を受けた(区外医療機関等で受診)」が20.4%、「就学时健診や学校での健康診断を受けた」が15.2%となっています。また、「受けていない」が29.6%となっています。



【年齢区分別】

「区民健診・障害者施設健診を受けた（区の施設で受診）」では“18～39歳”で3割を超え、「特定健診・長寿健診等を受けた（区内医療機関等で受診）」では“75歳以上”で2割半ばと他の年齢区分と比べて割合が高くなっています。

(%)

	n	受けていない	区民健診・障害者施設健診を受けた（区の施設で受診）	特定健診・長寿健診等を受けた（区内医療機関等で受診）	その他の健康診断を受けた（区外医療機関等で受診）	就学時健診や学校での健康診断を受けた	無回答
合計	1,391	29.6	20.9	10.7	20.4	15.2	3.2
0～5歳	40	30.0	12.5	12.5	2.5	40.0	2.5
6～17歳	197	11.2	0.5	1.0	4.1	81.7	1.5
18～39歳	326	33.1	32.5	2.5	25.2	5.5	1.2
40～64歳	444	35.6	20.7	13.1	24.3	2.5	3.8
65～74歳	175	34.3	18.3	15.4	27.4	0.6	4.0
75歳以上	188	26.1	26.6	25.5	16.5	-	5.3
無回答	21	14.3	23.8	4.8	28.6	19.0	9.5

【障害種別】

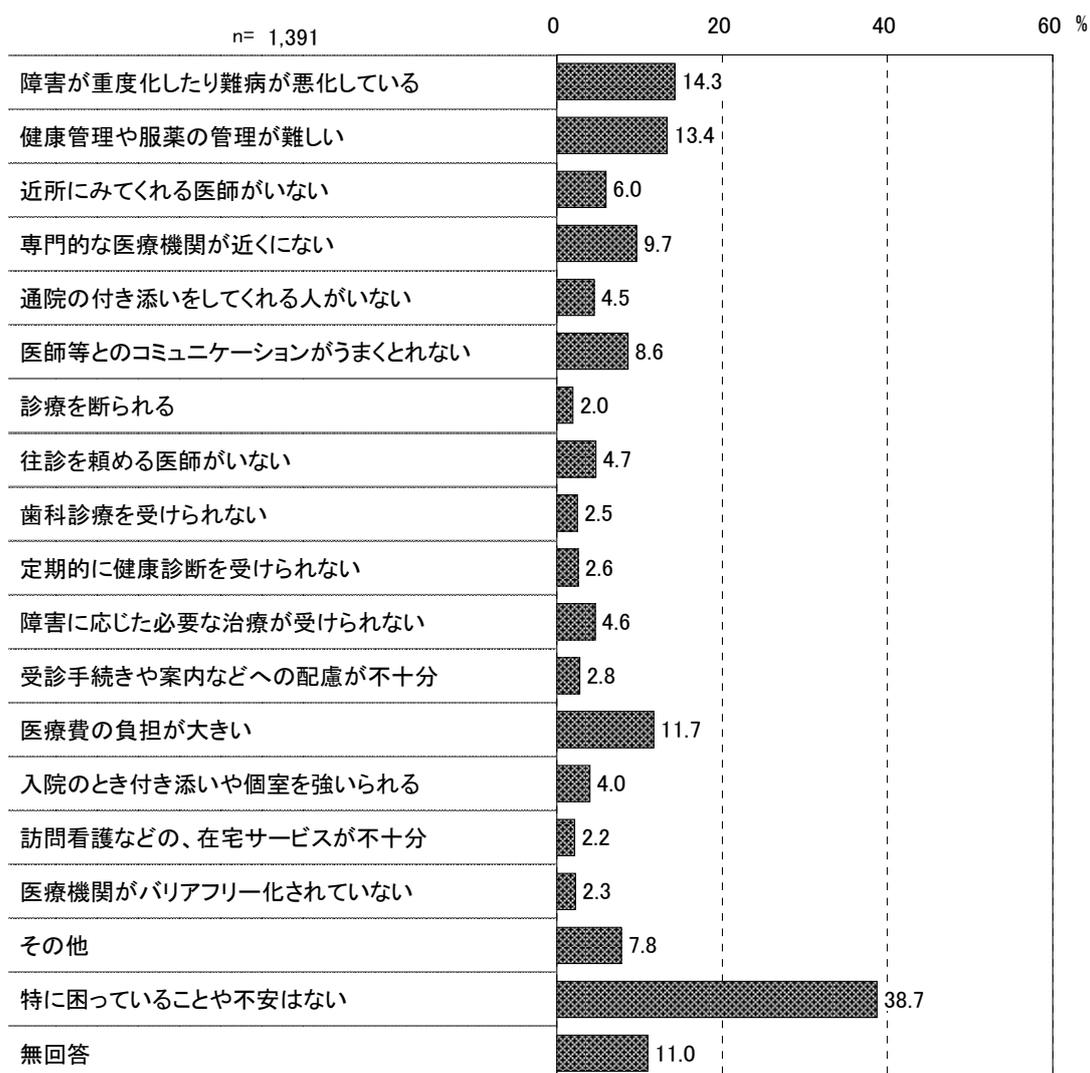
「受けていない」では“高次脳機能障害”で5割を超え、“精神障害”と“難病（特定疾病）”で4割前後と他の障害と比べて割合が高くなっています。

(%)

	n	受けていない	区民健診・障害者施設健診を受けた（区の施設で受診）	特定健診・長寿健診等を受けた（区内医療機関等で受診）	その他の健康診断を受けた（区外医療機関等で受診）	就学時健診や学校での健康診断を受けた	無回答
合計	1,391	29.6	20.9	10.7	20.4	15.2	3.2
身体障害	600	27.3	18.3	13.8	20.3	16.3	3.8
知的障害	435	16.8	27.8	3.4	18.2	32.2	1.6
発達障害	146	24.0	15.8	2.7	15.8	41.8	-
精神障害	223	40.8	28.7	15.7	9.0	2.7	3.1
高次脳機能障害	26	53.8	7.7	7.7	19.2	3.8	7.7
難病（特定疾病）	340	39.4	12.9	10.3	30.9	4.1	2.4
その他	33	27.3	27.3	6.1	21.2	12.1	6.1
無回答	25	32.0	24.0	4.0	12.0	8.0	20.0

問 18 あなたは、自分の健康や医療などについて困っていることや、不安を感じることはありますか。(あてはまるものすべてに○)

自分の健康や医療などについて困っていることや、不安を感じることについては、「障害が重度化したり難病が悪化している」が 14.3%、「健康管理や服薬の管理が難しい」が 13.4%、「医療費の負担が大きい」が 11.7%などとなっています。また、「特に困っていることや不安はない」が 38.7%となっています。



【年齢区分別】

「障害が重度化したり難病が悪化している」では、“65～74 歳”で2割近くと他の年齢区分と比べて割合が高くなっています。「専門的な医療機関が近くにない」と「医師等とのコミュニケーションがうまくとれない」では6歳以上で年齢区分が高くなるにつれて割合が低くなる傾向にあります。また、「特に困っていることや不安はない」では“40～64 歳”で4割を超え他の年齢区分と比べて割合が高くなっています。

(96)

	n	障害が重度化したり難病が悪化している	健康管理や服薬の管理が難しい	近所にみてくれる医師がいない	専門的な医療機関が近くにない	通院の付き添いをしてもらえる人がいない	医師等とのコミュニケーションがうまくとれない	診療を断られる	往診を頼める医師がいない	歯科診療を受けられない	定期的に健康診断を受けられない
合計	1,391	14.3	13.4	6.0	9.7	4.5	8.6	2.0	4.7	2.5	2.6
0～5歳	40	15.0	2.5	2.5	10.0	7.5	12.5	-	5.0	7.5	-
6～17歳	197	10.2	16.2	9.6	18.3	6.6	15.2	5.1	7.6	3.6	1.5
18～39歳	326	12.3	18.1	9.8	12.0	4.6	12.6	2.1	3.4	1.5	4.6
40～64歳	444	15.1	13.5	4.1	7.4	3.6	6.3	2.0	2.9	2.3	2.9
65～74歳	175	19.4	8.0	3.4	4.6	2.3	5.1	-	4.6	1.1	0.6
75歳以上	188	15.4	10.1	3.2	7.4	5.3	3.7	1.1	8.5	4.3	2.1
無回答	21	14.3	4.8	4.8	4.8	4.8	-	-	-	-	-

	n	障害に応じた必要な治療が受けられない	受診手続きや案内などへの配慮が不十分	医療費の負担が大きい	入院のとき付き添いや個室を強いられる	訪問看護などの、在宅サービスが不十分	医療機関がバリアフリー化されていない	その他	特に困っていることや不安はない	無回答
合計	1,391	4.6	2.8	11.7	4.0	2.2	2.3	7.8	38.7	11.0
0～5歳	40	7.5	2.5	5.0	2.5	10.0	2.5	22.5	37.5	5.0
6～17歳	197	7.1	5.1	8.1	7.6	2.0	4.6	7.6	35.5	9.1
18～39歳	326	5.5	2.5	12.0	5.2	2.8	1.8	8.3	35.0	5.8
40～64歳	444	4.5	2.7	13.3	3.6	1.6	1.4	8.8	43.9	10.4
65～74歳	175	2.9	2.9	11.4	1.1	0.6	2.9	6.3	38.9	14.9
75歳以上	188	1.6	1.6	12.8	2.1	2.7	2.7	3.2	35.6	20.7
無回答	21	4.8	-	14.3	4.8	-	-	4.8	47.6	14.3

【障害種別】

「障害が重度化したり難病が悪化している」では“難病（特定疾病）”で2割半ば、「健康管理や服薬の管理が難しい」では“精神障害”で2割を超え、「医療費の負担が大きい」では“高次脳機能障害”で2割を超え他の障害と比べて割合が高くなっています。

(%)

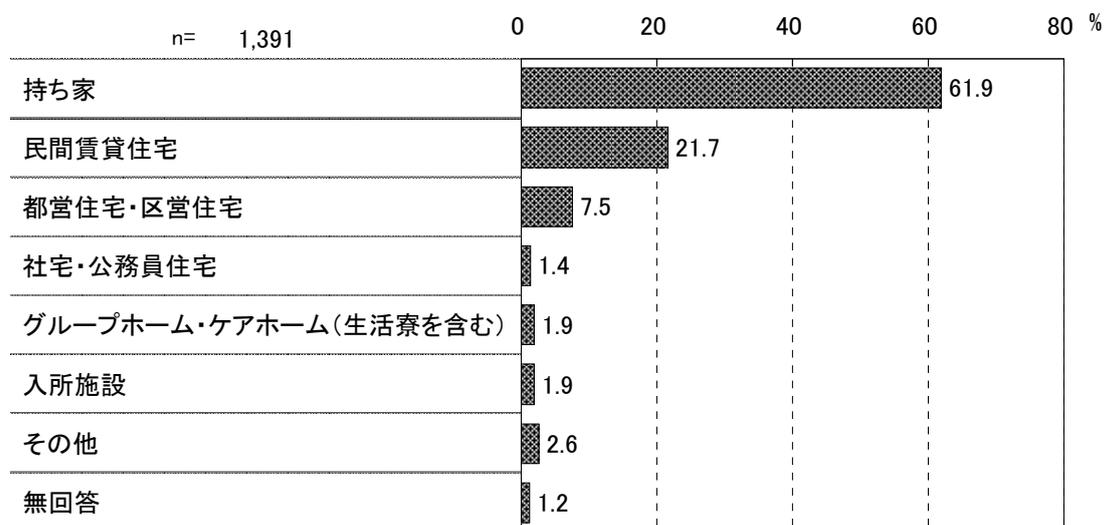
	n	障害が重度化したり難病が悪化している	健康管理や服薬の管理が難しい	近所にみてくれる医師がいない	専門的な医療機関が近くにない	通院の付き添いをしてくれる人がいない	医師等とのコミュニケーションがうまくとれない	診療を断られる	往診を頼める医師がいない	歯科診療を受けられない	定期的に健康診断を受けられない
合計	1,391	14.3	13.4	6.0	9.7	4.5	8.6	2.0	4.7	2.5	2.6
身体障害	600	17.5	11.0	6.3	10.7	5.0	7.8	2.0	6.5	3.3	2.5
知的障害	435	10.1	18.2	9.2	13.8	6.7	17.0	3.2	6.9	4.1	2.8
発達障害	146	8.2	13.7	9.6	16.4	9.6	13.7	3.4	4.1	6.2	1.4
精神障害	223	11.2	21.1	6.3	6.7	4.9	10.8	2.2	4.5	1.3	4.0
高次脳機能障害	26	19.2	19.2	3.8	19.2	3.8	11.5	3.8	7.7	11.5	7.7
難病（特定疾病）	340	24.7	12.9	5.9	9.4	2.9	3.2	2.6	2.1	2.1	2.6
その他	33	21.2	6.1	-	9.1	-	12.1	-	3.0	-	-
無回答	25	16.0	4.0	8.0	4.0	8.0	4.0	-	-	-	8.0

	n	障害に応じた必要な治療が受けられない	受診手続きや案内などへの配慮が不十分	医療費の負担が大きい	入院のとき付き添いや個室が強いられる	訪問看護などの、在宅サービスが不十分	医療機関がバリアフリー化されていない	その他	特に困っていることや不安はない	無回答
合計	1,391	4.6	2.8	11.7	4.0	2.2	2.3	7.8	38.7	11.0
身体障害	600	4.2	3.0	12.0	4.8	3.8	4.3	7.8	36.0	12.3
知的障害	435	8.5	3.7	6.7	8.3	2.8	3.2	6.0	33.1	10.6
発達障害	146	10.3	4.8	9.6	8.9	2.1	4.1	7.5	41.8	6.2
精神障害	223	4.5	3.1	16.1	4.0	3.1	2.7	6.7	43.5	9.4
高次脳機能障害	26	19.2	7.7	23.1	3.8	7.7	11.5	19.2	30.8	15.4
難病（特定疾病）	340	3.2	2.9	15.3	2.6	1.5	1.8	9.4	38.8	7.6
その他	33	6.1	6.1	12.1	-	3.0	-	15.2	30.3	24.2
無回答	25	4.0	4.0	20.0	8.0	-	-	4.0	32.0	32.0

5. 住まいや暮らし方について

問 19 あなたの現在のお住まいは次のどれですか。（1つに○）

現在の住まいについては、「持ち家」が最も多く61.9%、次いで「民間賃貸住宅」が21.7%などとなっています。



【障害種別】

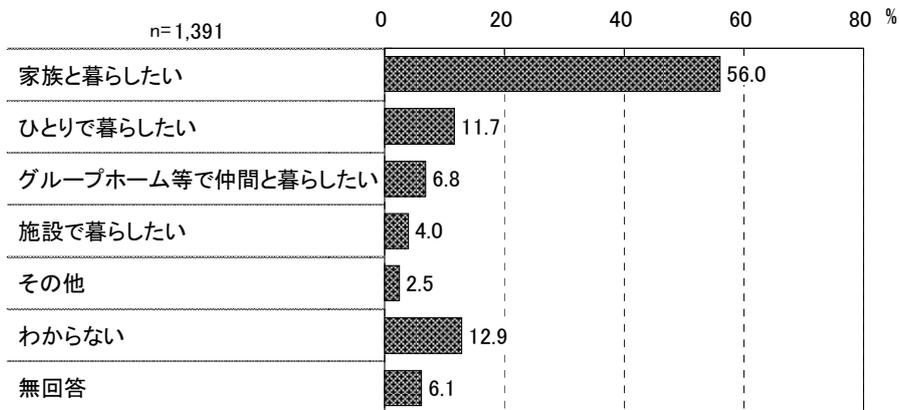
「持ち家」では“高次脳機能障害”で7割半ばとなっています。

(%)

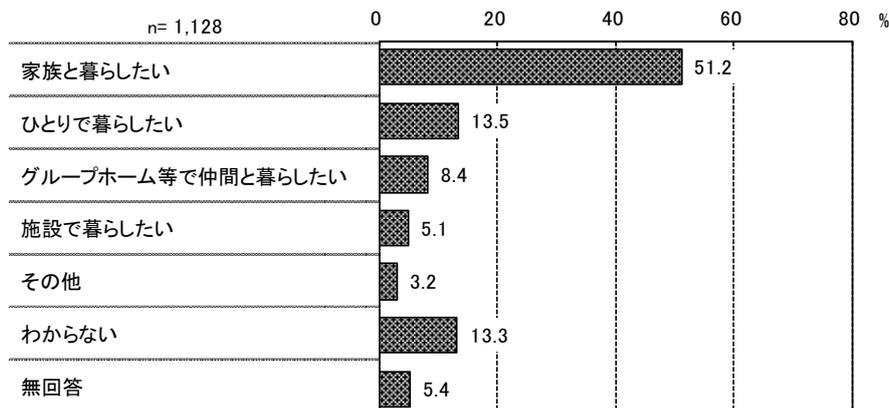
	n	持ち家	民間賃貸住宅	都営住宅・区営住宅	社宅・公務員住宅	グループホーム・ケアホーム（生活寮を含む）	入所施設	その他	無回答
合計	1,391	61.9	21.7	7.5	1.4	1.9	1.9	2.6	1.2
身体障害	600	67.8	17.0	7.2	1.8	0.7	2.2	2.3	1.0
知的障害	435	66.4	14.9	6.4	2.3	2.8	3.9	2.3	0.9
発達障害	146	62.3	25.3	4.8	3.4	1.4	1.4	0.7	0.7
精神障害	223	45.7	32.7	11.2	-	4.5	0.9	3.1	1.8
高次脳機能障害	26	76.9	11.5	3.8	3.8	-	-	3.8	-
難病（特定疾病）	340	61.2	27.1	6.2	1.2	0.6	1.2	2.4	0.3
その他	33	51.5	27.3	12.1	-	3.0	-	6.1	-
無回答	25	52.0	24.0	4.0	-	4.0	-	4.0	12.0

問 20 あなたは、どのような暮らしをしたいと思っていますか。あなたが 18 歳未満の場合は、18 歳以降のことを想定してお答えください。（1つに〇）

どのような暮らしをしたいと思っているかについては、「家族と暮らしたい」が最も多く 56.0%、「ひとりで暮らしたい」が 11.7%などとなっています。また、「わからない」が 12.9%となっています。



【参考：第 3 期世田谷区障害福祉計画障害者児実態調査】



【年齢区分別】

「家族と暮らしたい」では“75歳以上”で6割を超え他の年齢区分と比べてやや割合が高くなっています。また、「ひとりで暮らしたい」では“40～64歳”で2割近く、「グループホーム等で仲間と暮らしたい」では“6～17歳”で1割を超え、他の年齢区分と比べて割合が高くなっています。

(%)

	n	家族と暮らしたい	ひとりで暮らしたい	グループホーム等で仲間と暮らしたい	施設で暮らしたい	その他	わからない	無回答
合計	1,391	56.0	11.7	6.8	4.0	2.5	12.9	6.1
0～5歳	40	57.5	5.0	-	-	2.5	32.5	2.5
6～17歳	197	54.3	7.6	12.2	3.6	-	20.8	1.5
18～39歳	326	57.1	12.6	10.1	2.5	4.0	11.3	2.5
40～64歳	444	54.1	17.1	5.4	4.3	2.7	9.7	6.8
65～74歳	175	54.9	10.3	4.0	6.9	2.3	13.1	8.6
75歳以上	188	60.1	4.3	2.7	4.8	2.7	11.2	14.4
無回答	21	66.7	14.3	4.8	4.8	-	4.8	4.8

【障害種別】

「家族と暮らしたい」では“難病（特定疾病）”で7割近く、“身体障害”で6割を超え割合が高くなっています。「ひとりで暮らしたい」では“精神障害”が3割を超え他の障害と比べて割合が高くなっています。また、「グループホーム等で仲間と暮らしたい」では“知的障害”で2割近くと他の障害と比べて割合が高くなっています。

(%)

	n	家族と暮らしたい	ひとりで暮らしたい	グループホーム等で仲間と暮らしたい	施設で暮らしたい	その他	わからない	無回答
合計	1,391	56.0	11.7	6.8	4.0	2.5	12.9	6.1
身体障害	600	63.0	7.2	3.8	4.7	2.5	12.5	6.3
知的障害	435	48.5	5.3	17.5	5.7	2.5	16.8	3.7
発達障害	146	40.4	16.4	12.3	3.4	4.1	20.5	2.7
精神障害	223	39.5	30.5	2.7	1.8	3.6	13.9	8.1
高次脳機能障害	26	57.7	3.8	3.8	3.8	-	19.2	11.5
難病（特定疾病）	340	69.4	10.6	1.8	2.9	1.5	8.8	5.0
その他	33	54.5	6.1	3.0	-	12.1	15.2	9.1
無回答	25	40.0	28.0	4.0	4.0	-	-	24.0

【回答者別】

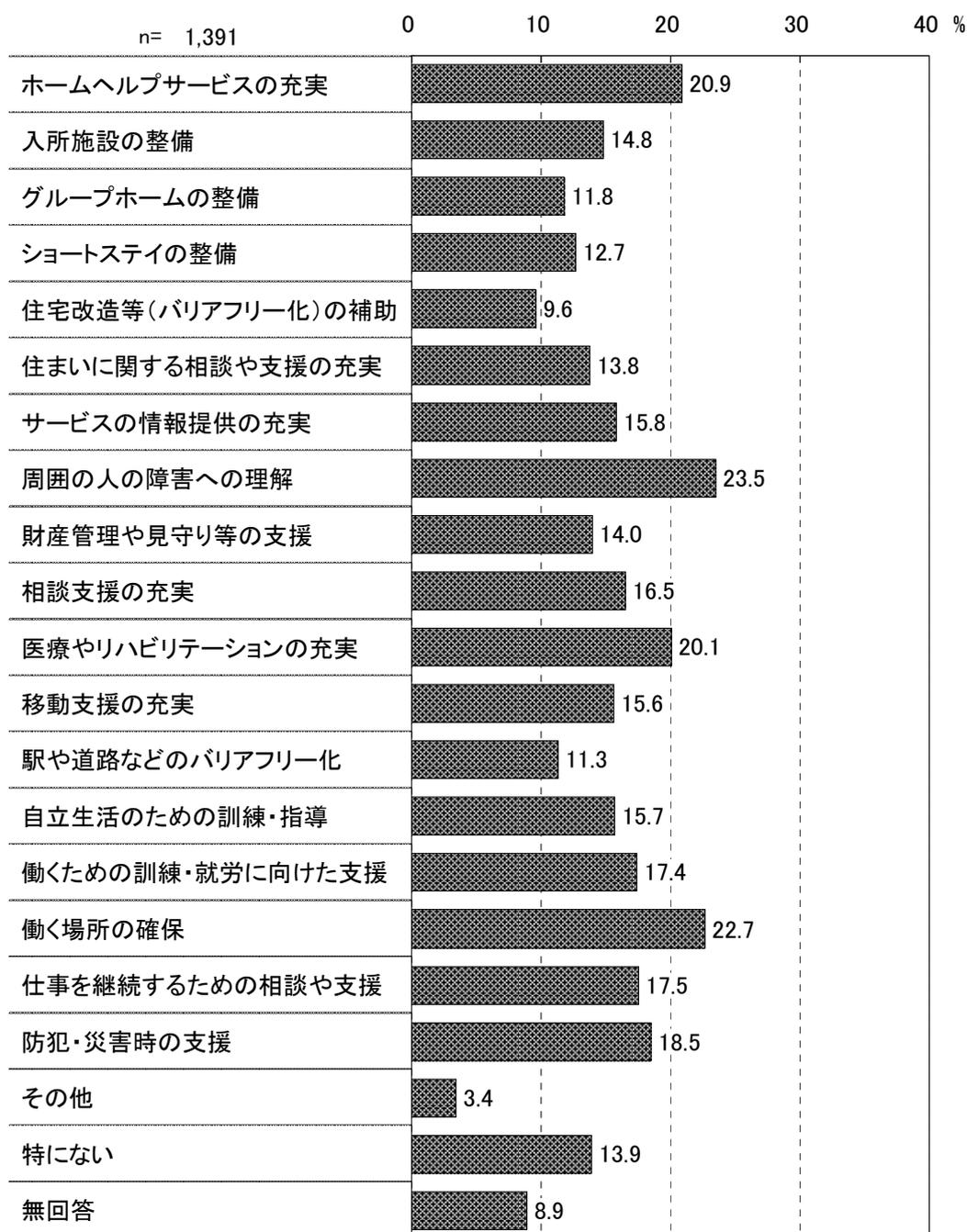
「家族と暮らしたい」では“配偶者”で7割を超えています。

(%)

	n	家族と暮ら したい	ひとりで暮 らしたい	グループ ホーム等で 仲間と暮ら したい	施設で暮ら したい	その他	わからない	無回答
合計	1,391	56.0	11.7	6.8	4.0	2.5	12.9	6.1
あなた（ご 本人）	798	56.1	17.0	3.6	2.8	2.6	11.0	6.8
配偶者	38	71.1	-	-	-	-	13.2	15.8
父母	428	57.7	4.7	13.3	4.0	2.6	14.7	3.0
子（子の配 偶者を含 む）	56	58.9	3.6	5.4	10.7	-	16.1	5.4
兄弟姉妹	25	24.0	-	4.0	32.0	-	28.0	12.0
その他	19	21.1	-	10.5	10.5	10.5	31.6	15.8
無回答	27	51.9	18.5	7.4	3.7	3.7	3.7	11.1

問 21 あなたが希望する暮らしを実現するためには、どのようなことが必要だと思いますか。(5つまで○)

希望する暮らしを実現するためには、どのようなことが必要だと思うかについては、「周囲の人の障害への理解」が最も多く 23.5%、次いで「働く場所の確保」が 22.7%、「ホームヘルプサービスの充実」が 20.9%、「医療やリハビリテーションの充実」が 20.1%などとなっています。



【年齢区分別】

「周囲の人の障害への理解」では“0～5歳”で4割を超え割合が高く、年齢が高くなるにつれて割合が低くなる傾向にあります。「働く場所の確保」では“6～17歳”で5割近く、“0～5歳”で4割を超え割合が高くなっています。また、「自立生活のための訓練・指導」では“0～5歳”で4割近くと割合が高く、年齢区分が高くなるにつれて割合が低くなる傾向にあります。「移動支援の充実」と「財産管理や見守り等の支援」では“6～17歳”で3割を超え他の年齢区分と比べて割合が高くなっています。

(96)

	n	ホームヘルプサービスの充実	入所施設の整備	グループホームの整備	ショートステイの整備	住宅改造等(バリアフリー化)の補助	住まいに関する相談や支援の充実	サービスの情報提供の充実	周囲の人の障害への理解	財産管理や見守り等の支援	相談支援の充実	医療やリハビリテーションの充実
合計	1,391	20.9	14.8	11.8	12.7	9.6	13.8	15.8	23.5	14.0	16.5	20.1
0～5歳	40	20.0	25.0	15.0	12.5	12.5	15.0	12.5	42.5	15.0	7.5	32.5
6～17歳	197	24.9	19.3	26.4	25.4	12.7	13.7	19.3	37.6	31.5	16.8	19.8
18～39歳	326	17.2	15.6	16.9	18.7	5.5	10.1	13.5	32.5	20.9	23.0	18.7
40～64歳	444	19.4	11.7	7.0	5.6	7.7	18.7	16.0	22.1	9.2	18.5	18.2
65～74歳	175	18.3	15.4	6.3	6.3	13.1	14.3	17.1	11.4	4.6	12.6	22.9
75歳以上	188	28.7	13.8	4.3	11.2	13.3	8.5	15.4	5.3	4.3	7.4	22.9
無回答	21	28.6	9.5	4.8	14.3	19.0	9.5	14.3	9.5	9.5	4.8	14.3

	n	移動支援の充実	駅や道路などのバリアフリー化	自立生活のための訓練・指導	働くための訓練・就労に向けた支援	働く場所の確保	仕事を継続するための相談や支援	防犯・災害時の支援	その他	特になし	無回答
合計	1,391	15.6	11.3	15.7	17.4	22.7	17.5	18.5	3.4	13.9	8.9
0～5歳	40	20.0	12.5	37.5	40.0	42.5	17.5	7.5	10	7.5	-
6～17歳	197	34.5	11.7	34.0	37.6	48.2	26.9	25.9	2.5	3.6	3
18～39歳	326	15.6	7.1	19.3	19.0	28.8	29.4	16	3.4	13.2	4.3
40～64歳	444	10.4	9.9	12.2	18.0	22.1	17.8	18.2	3.4	16	10.4
65～74歳	175	8.6	17.1	6.3	3.4	4.6	3.4	17.7	4	16	13.7
75歳以上	188	13.8	14.9	2.7	1.6	1.1	0.5	19.1	1.6	19.1	17
無回答	21	14.3	19.0	14.3	4.8	9.5	4.8	14.3	9.5	28.6	9.5

【障害種別】

「周囲の人の障害への理解」「働く場所の確保」「働くための訓練・就労に向けた支援」ではいずれも“発達障害”で4割を超え割合が高くなっています。「ホームヘルプサービスの充実」では“高次脳機能障害”“身体障害”“知的障害”で2割半ばと他の障害と比べて割合が高くなっています。また、「財産管理や見守り等の支援」では“知的障害”と“発達障害”で3割前後、「グループホームの整備」では“知的障害”で3割近くと他の障害と比べて割合が高くなっています。

(%)

	n	ホームヘルプサービスの充実	入所施設の整備	グループホームの整備	ショートステイの整備	住宅改造等(バリアフリー化)の補助	住まいに関する相談や支援の充実	サービスの情報提供の充実	周囲の人の障害への理解	財産管理や見守り等の支援	相談支援の充実	医療やリハビリテーションの充実
合計	1,391	20.9	14.8	11.8	12.7	9.6	13.8	15.8	23.5	14.0	16.5	20.1
身体障害	600	26.5	15.5	8.0	16.5	14.2	13.5	16.3	17.2	9.2	11.0	27.3
知的障害	435	26.4	26.2	29.4	26.7	8.0	10.1	14.9	29.7	30.6	18.2	17.2
発達障害	146	18.5	21.2	22.6	19.2	7.5	9.6	14.4	40.4	28.8	25.3	17.1
精神障害	223	19.3	8.1	5.8	7.2	5.4	21.5	15.7	33.2	12.6	27.4	14.3
高次脳機能障害	26	26.9	11.5	7.7	15.4	7.7	-	7.7	19.2	19.2	19.2	30.8
難病(特定疾病)	340	17.9	10.0	3.8	6.5	11.8	15.9	18.2	19.1	5.3	12.6	26.8
その他	33	24.2	12.1	18.2	12.1	12.1	24.2	15.2	18.2	18.2	18.2	15.2
無回答	25	16.0	12.0	4.0	12.0	16.0	8.0	8.0	20.0	8.0	12.0	16.0

	n	移動支援の充実	駅や道路などのバリアフリー化	自立生活のための訓練・指導	働くための訓練・就労に向けた支援	働く場所の確保	仕事を継続するための相談や支援	防犯・災害時の支援	その他	特にない	無回答
合計	1,391	15.6	11.3	15.7	17.4	22.7	17.5	18.5	3.4	13.9	8.9
身体障害	600	19.3	18.0	10.8	10.0	14.0	7.0	21.3	3.5	14.3	8.8
知的障害	435	27.1	6.0	26.4	20.2	29.0	22.1	22.1	2.8	5.3	7.1
発達障害	146	24.7	4.8	38.4	40.4	44.5	37.7	17.8	3.4	6.2	4.1
精神障害	223	9.4	4.5	17.9	30.9	29.6	27.4	17.0	5.4	11.7	10.3
高次脳機能障害	26	11.5	7.7	19.2	34.6	23.1	26.9	11.5	3.8	11.5	11.5
難病(特定疾病)	340	10.0	16.5	7.1	9.7	15.9	14.4	15.6	3.5	20.3	7.4
その他	33	6.1	12.1	18.2	21.2	24.2	18.2	15.2	-	18.2	6.1
無回答	25	8.0	12.0	8.0	12.0	20.0	12.0	12.0	-	24.0	24.0

【重複障害別】

「周囲の人の障害への理解」では“知的と精神”で4割を超え割合が高くなっています。また、「ホームヘルプサービスの充実」では“身体と知的(精神)”で4割近くと割合が高くなっています。

(%)

	n	ホームヘルプサービスの充実	入所施設の整備	グループホームの整備	ショートステイの整備	住宅改造等(バリアフリー化)の補助	住まいに関する相談や支援の充実	サービスの情報提供の充実	周囲の人の障害への理解	財産管理や見守り等の支援	相談支援の充実	医療やリハビリテーションの充実
合計	1,391	20.9	14.8	11.8	12.7	9.6	13.8	15.8	23.5	14.0	16.5	20.1
身体と知的(精神)	172	37.8	26.2	20.3	36.0	16.3	15.1	15.7	20.9	21.5	13.4	30.8
知的と精神	12	16.7	16.7	25.0	33.3	-	8.3	25.0	41.7	25.0	8.3	8.3
上記以外	1,182	18.6	13.2	10.6	9.1	8.6	13.8	15.9	23.8	12.9	17.2	18.8
無回答	25	16.0	12.0	4.0	12.0	16.0	8.0	8.0	20.0	8.0	12.0	16.0

	n	移動支援の充実	駅や道路などのバリアフリー化	自立生活のための訓練・指導	働くための訓練・就労に向けた支援	働く場所の確保	仕事を継続するための相談や支援	防犯・災害時の支援	その他	特にない	無回答
合計	1,391	15.6	11.3	15.7	17.4	22.7	17.5	18.5	3.4	13.9	8.9
身体と知的(精神)	172	32.0	14.0	20.3	12.2	18.6	9.3	21.5	2.9	5.2	8.1
知的と精神	12	25.0	-	16.7	-	-	8.3	50.0	-	-	16.7
上記以外	1,182	13.3	11.0	15.1	18.4	23.6	18.9	17.9	3.6	15.1	8.6
無回答	25	8.0	12.0	8.0	12.0	20.0	12.0	12.0	-	24.0	24.0

【回答者別】

「周囲の人の障害への理解」と「働く場所の確保」では“父母”で3割を超え他の回答者と比べて割合が高くなっています。

(%)

	n	ホームヘルプサービスの充実	入所施設の整備	グループホームの整備	ショートステイの整備	住宅改造等(バリアフリー化)の補助	住まいに関する相談や支援の充実	サービスの情報提供の充実	周囲の人の障害への理解	財産管理や見守り等の支援	相談支援の充実	医療やリハビリテーションの充実
合計	1,391	20.9	14.8	11.8	12.7	9.6	13.8	15.8	23.5	14.0	16.5	20.1
あなた(ご本人)	798	16.7	7.5	4.5	2.9	9.1	16.5	16.0	21.4	6.8	17.4	18.4
配偶者	38	23.7	18.4	2.6	21.1	2.6	10.5	5.3	5.3	5.3	10.5	28.9
父母	428	28.0	26.4	27.1	29.9	10.5	11.7	17.1	32.0	29.2	17.1	21.0
子(子の配偶者を含む)	56	32.1	23.2	12.5	17.9	12.5	3.6	16.1	12.5	10.7	17.9	32.1
兄弟姉妹	25	8.0	40.0	12.0	12.0	8.0	4.0	16.0	16.0	24.0	8.0	20.0
その他	19	15.8	5.3	-	-	10.5	5.3	10.5	10.5	-	5.3	10.5
無回答	27	22.2	7.4	3.7	14.8	14.8	7.4	7.4	14.8	7.4	3.7	25.9

	n	移動支援の充実	駅や道路などのバリアフリー化	自立生活のための訓練・指導	働くための訓練・就労に向けた支援	働く場所の確保	仕事を継続するための相談や支援	防犯・災害時の支援	その他	特にない	無回答
合計	1,391	15.6	11.3	15.7	17.4	22.7	17.5	18.5	3.4	13.9	8.9
あなた(ご本人)	798	8.0	11.9	9.9	16.4	20.9	18.2	16.7	3.4	19.5	9.0
配偶者	38	21.1	13.2	5.3	2.6	2.6	5.3	21.1	2.6	13.2	13.2
父母	428	29.9	8.9	28.5	22.7	30.8	20.1	23.1	3.5	3.5	5.6
子(子の配偶者を含む)	56	19.6	16.1	17.9	14.3	17.9	10.7	12.5	1.8	12.5	10.7
兄弟姉妹	25	8.0	12.0	4.0	4.0	4.0	4.0	12.0	8.0	12.0	12.0
その他	19	5.3	5.3	5.3	10.5	10.5	5.3	21.1	5.3	10.5	42.1
無回答	27	11.1	22.2	11.1	7.4	11.1	7.4	11.1	-	22.2	22.2

【暮らし方の希望別(問20)】

“ひとりで暮らしたい”では「働く場所の確保」と「仕事を継続するための相談や支援」で3割を超え割合が高くなっています。

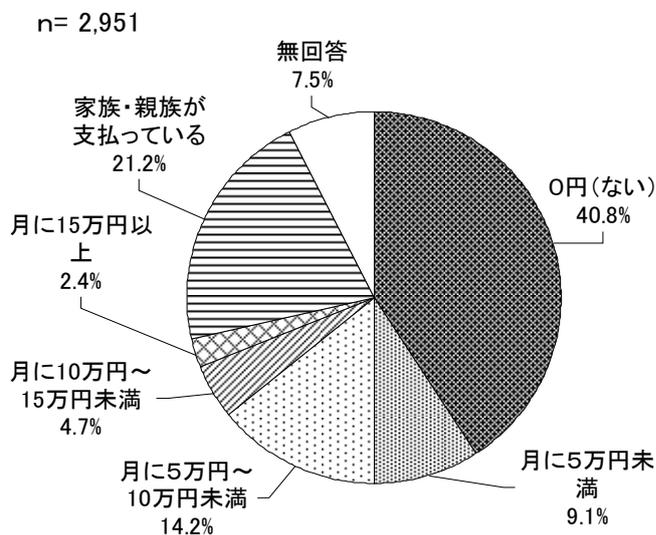
(%)

	n	ホームヘルプサービスの充実	入所施設の整備	グループホームの整備	ショートステイの整備	住宅改造等(バリアフリー化)の補助	住まいに関する相談や支援の充実	サービスの情報提供の充実	周囲の人の障害への理解	財産管理や見守り等の支援	相談支援の充実	医療やリハビリテーションの充実
合計	1,391	20.9	14.8	11.8	12.7	9.6	13.8	15.8	23.5	14.0	16.5	20.1
家族と暮らしたい	779	24.0	10.8	4.5	13.6	13.5	14.2	17.6	23.9	11.3	15.3	24.4
ひとりで暮らしたい	163	15.3	5.5	3.7	3.7	4.9	23.9	14.1	28.8	9.8	22.7	12.3
グループホーム等で仲間と暮らしたい	94	24.5	26.6	79.8	21.3	5.3	7.4	18.1	27.7	44.7	21.3	14.9
施設で暮らしたい	56	25.0	67.9	12.5	21.4	8.9	8.9	14.3	26.8	30.4	17.9	30.4
その他	35	8.6	14.3	14.3	11.4	2.9	14.3	20.0	20.0	17.1	34.3	2.9
わからない	179	16.8	20.7	17.3	12.8	5.6	12.8	13.4	23.5	14.0	15.1	17.3
無回答	85	10.6	9.4	5.9	5.9	-	2.4	4.7	4.7	1.2	5.9	8.2

	n	移動支援の充実	駅や道路などのバリアフリー化	自立生活のための訓練・指導	働くための訓練・就労に向けた支援	働く場所の確保	仕事を継続するための相談や支援	防犯・災害時の支援	その他	特にない	無回答
合計	1,391	15.6	11.3	15.7	17.4	22.7	17.5	18.5	3.4	13.9	8.9
家族と暮らしたい	779	16.7	13.5	14.5	16.6	22.2	14.5	21.2	3.5	14.9	6.3
ひとりで暮らしたい	163	8.6	8.0	19.0	27.0	32.5	31.9	12.3	3.1	17.2	4.3
グループホーム等で仲間と暮らしたい	94	22.3	5.3	25.5	13.8	24.5	20.2	26.6	1.1	4.3	1.1
施設で暮らしたい	56	25.0	14.3	14.3	14.3	17.9	12.5	10.7	3.6	1.8	8.9
その他	35	11.4	14.3	8.6	11.4	20.0	20.0	20.0	14.3	17.1	5.7
わからない	179	15.6	8.9	19.6	22.3	26.3	22.3	16.8	3.9	15.1	9.5
無回答	85	7.1	5.9	4.7	4.7	3.5	5.9	4.7	-	14.1	50.6

問 22 あなたが支払っている家賃（住宅ローンを含む）は1か月どのくらいですか。（1つに○）

1か月の家賃については、「0円（ない）」が最も多く 40.8%、次いで「家族・親族が支払っている」が 21.2%、「月に5万円～10万円未満」が 14.2%などとなっています。



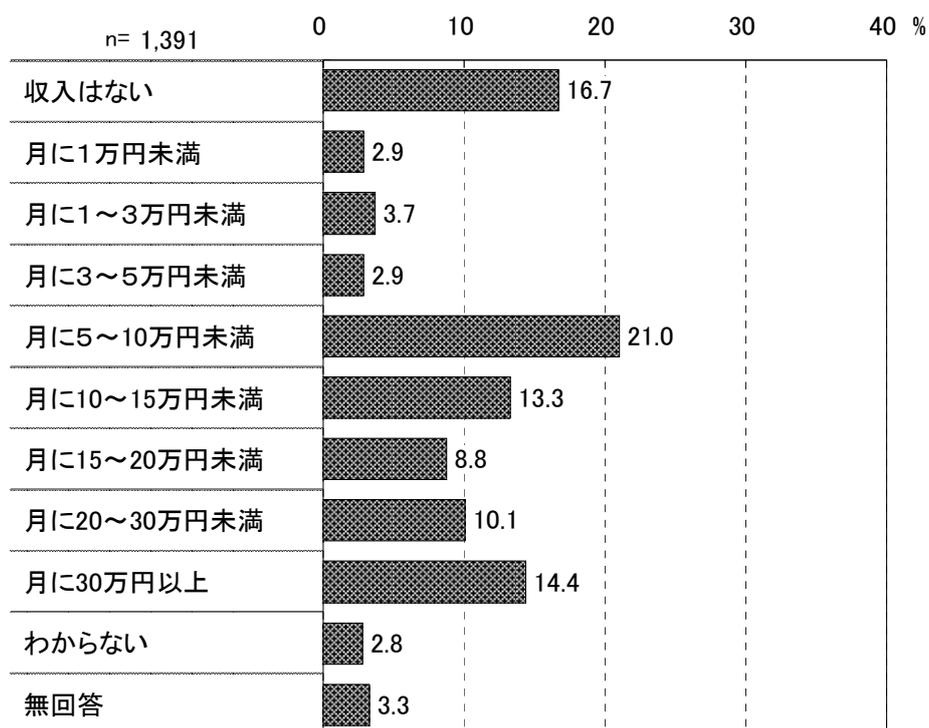
問 23 あなたお一人の1か月の平均収入（税込み）はどのくらいですか。（1つに○）

※ご本人が18歳未満の場合は、世帯の1か月の平均収入をお答えください。

※就労による収入や作業所の収入のほか、年金・手当による収入等を含みます。

※ボーナスは月額に直して、含めて計算してください。

1か月の平均収入については、「月に5～10万円未満」が最も多く 21.0%、「月に30万円以上」が 14.4%、「月に10～15万円未満」が 13.3%、「月に20～30万円未満」が 10.1%などとなっています。また、「収入はない」が 16.7%となっています。



【障害種別】

「収入はない」では“高次脳機能障害”で3割半ばとなっています。

(%)

	n	収入はない	月に1万円未満	月に1～3万円未満	月に3～5万円未満	月に5～10万円未満	月に10～15万円未満
合計	1,391	16.7	2.9	3.7	2.9	21.0	13.3
身体障害	600	11.5	2.2	1.7	3.0	18.2	13.2
知的障害	435	16.1	3.0	3.0	1.1	21.1	15.2
発達障害	146	18.5	3.4	3.4	-	13.0	9.6
精神障害	223	19.3	7.6	5.4	2.7	33.2	14.3
高次脳機能障害	26	34.6	3.8	3.8	-	23.1	7.7
難病（特定疾病）	340	20.0	1.2	5.0	4.4	17.1	12.4
その他	33	18.2	-	3.0	3.0	30.3	12.1
無回答	25	16.0	8.0	8.0	-	20.0	4.0

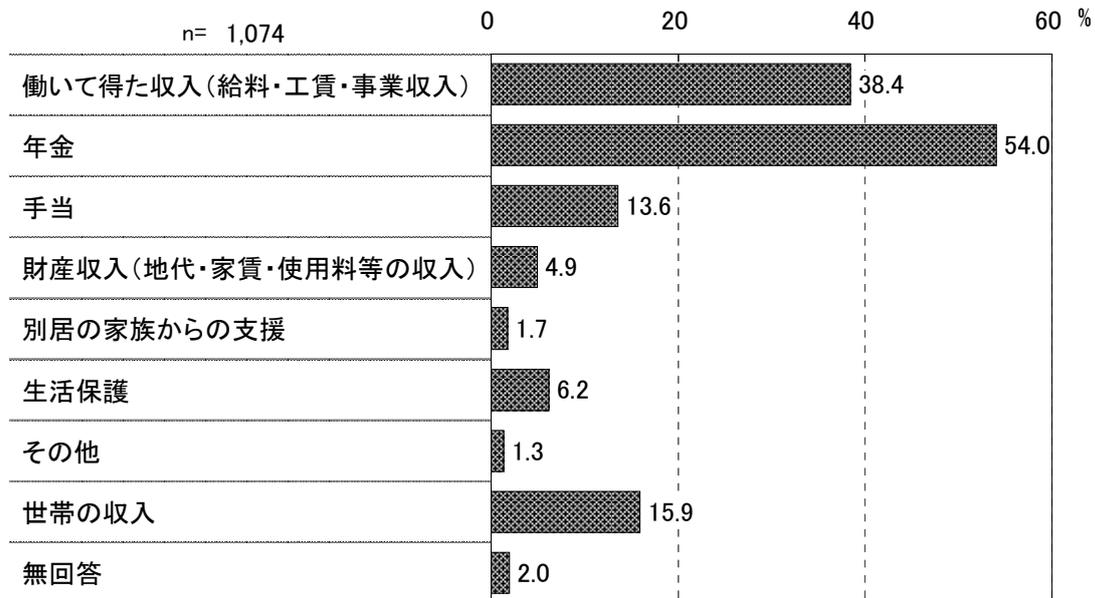
	n	月に15～20万円未満	月に20～30万円未満	月に30万円以上	わからない	無回答
合計	1,391	8.8	10.1	14.4	2.8	3.3
身体障害	600	10.8	12.7	19.0	3.7	4.2
知的障害	435	5.5	6.7	20.9	4.8	2.5
発達障害	146	6.8	10.3	26.7	6.8	1.4
精神障害	223	6.7	3.6	3.1	0.9	3.1
高次脳機能障害	26	3.8	7.7	3.8	7.7	3.8
難病（特定疾病）	340	10.6	15.9	10.3	0.9	2.4
その他	33	9.1	6.1	9.1	9.1	-
無回答	25	8.0	4.0	8.0	-	24.0

《問 23 で「2」～「9」のいずれかをお答えの方におたずねします》

問 23-1 あなたの収入の種類はどれですか。(あてはまるものすべてに○)

18歳未満の場合は、「8. 世帯の収入」に○をつけてください。

収入の種類については、「年金」が最も多く54.0%、次いで「働いて得た収入(給料・工賃・事業収入)」が38.4%、「世帯の収入」が15.9%、「手当」が13.6%などとなっています。



【障害種別】

「年金」では“高次脳機能障害”“身体障害”“精神障害”で6割を超えています。「世帯の収入」では“発達障害”で5割近く、“知的障害”で3割となっています。また、「生活保護」では“精神障害”で2割を超えています。

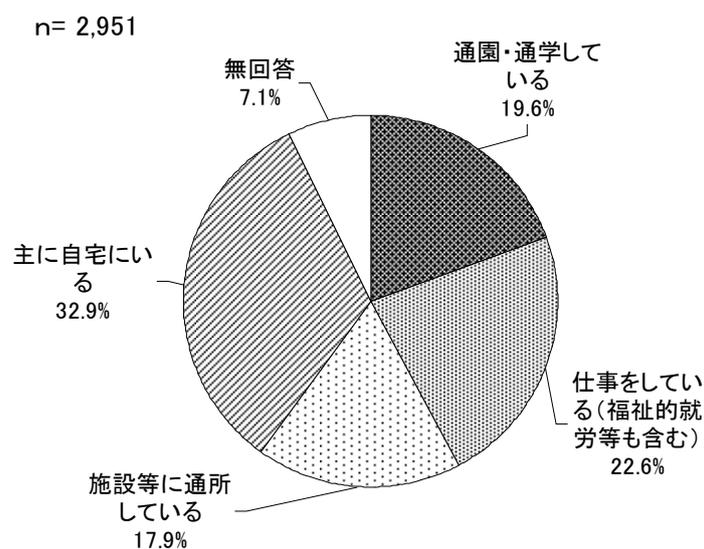
(%)

	n	働いて得た収入(給料・工賃・事業収入)	年金	手当	財産収入(地代・家賃・使用料等の収入)	別居の家族からの支援	生活保護	その他	世帯の収入	無回答
合計	1,074	38.4	54.0	13.6	4.9	1.7	6.2	1.3	15.9	2.0
身体障害	484	22.5	62.0	13.2	8.3	1.9	2.5	1.0	18.8	2.3
知的障害	333	44.1	50.2	24.0	0.6	0.6	1.2	0.3	30.0	0.6
発達障害	107	33.6	26.2	15.0	-	0.9	4.7	-	47.7	0.9
精神障害	171	41.5	60.8	7.6	4.1	3.5	23.4	3.5	8.2	1.2
高次脳機能障害	14	28.6	64.3	7.1	-	7.1	7.1	-	7.1	-
難病(特定疾病)	261	47.9	43.3	14.6	4.6	1.5	3.8	1.5	7.3	1.9
その他	24	12.5	62.5	16.7	-	-	12.5	4.2	16.7	8.3
無回答	15	46.7	66.7	6.7	-	13.3	6.7	-	6.7	6.7

6. 社会参加や日中活動について

問 24 あなたは、平日の昼間、主にどのような活動をしていますか。(1つに○)

平日の昼間、主にどのような活動をしているかについては、「通園・通学している」が19.6%、「仕事をしている(福祉的就労等も含む)」が22.6%、「施設等に通所している」が17.9%、「主に自宅にいる」が32.9%となっています。



【年齢区分別】

「通学・通園している」では“6～17歳”で9割半ば、“0～5歳”で7割を超えています。「施設等に通所している」では“18～39歳”で3割半ば、「主に自宅にいる」では65歳以上で6割半ばから7割と割合が高くなっています。

	n	通園・通学している	仕事をしている(福祉的就労等も含む)	施設等に通所している	主に自宅にいる	無回答
合計	1,391	19.6	22.6	17.9	32.9	7.1
0～5歳	40	72.5	-	5.0	17.5	5.0
6～17歳	197	95.4	0.5	-	2.0	2.0
18～39歳	326	8.9	37.7	35.6	13.8	4.0
40～64歳	444	4.5	32.4	22.3	34.5	6.3
65～74歳	175	0.6	14.9	8.6	64.0	12.0
75歳以上	188	0.5	7.4	6.9	70.2	14.9
無回答	21	19.0	28.6	19.0	19.0	14.3

(%)

【障害種別】

「主に自宅にいる」では“身体障害”で4割を超え、「通園・通学している」では“発達障害”で5割半ば、“知的障害”で4割を超え割合が高くなっています。「仕事をしている（福祉的就労等も含む）」では“難病（特定疾病）”で3割を超え他の障害と比べて割合が高くなっています。また、「施設等に通所している」では“精神障害”で4割を超え割合が高くなっています。

(%)

	n	通園・通学 している	仕事をして いる（福祉 的就労等も 含む）	施設等に通 所している	主に自宅に いる	無回答
合計	1,391	19.6	22.6	17.9	32.9	7.1
身体障害	600	23.0	13.0	14.2	41.2	8.7
知的障害	435	41.1	21.6	25.3	7.4	4.6
発達障害	146	54.1	15.1	19.2	8.9	2.7
精神障害	223	5.8	21.1	40.4	25.6	7.2
高次脳機能 障害	26	15.4	15.4	19.2	26.9	23.1
難病（特定 疾病）	340	5.6	33.2	3.5	51.8	5.9
その他	33	18.2	3.0	30.3	36.4	12.1
無回答	25	8.0	28.0	20.0	20.0	24.0

【重複障害別】

「通園・通学している」では“身体と知的（精神）”、「施設等に通所している」では“知的と精神”でそれぞれ4割を超えています。

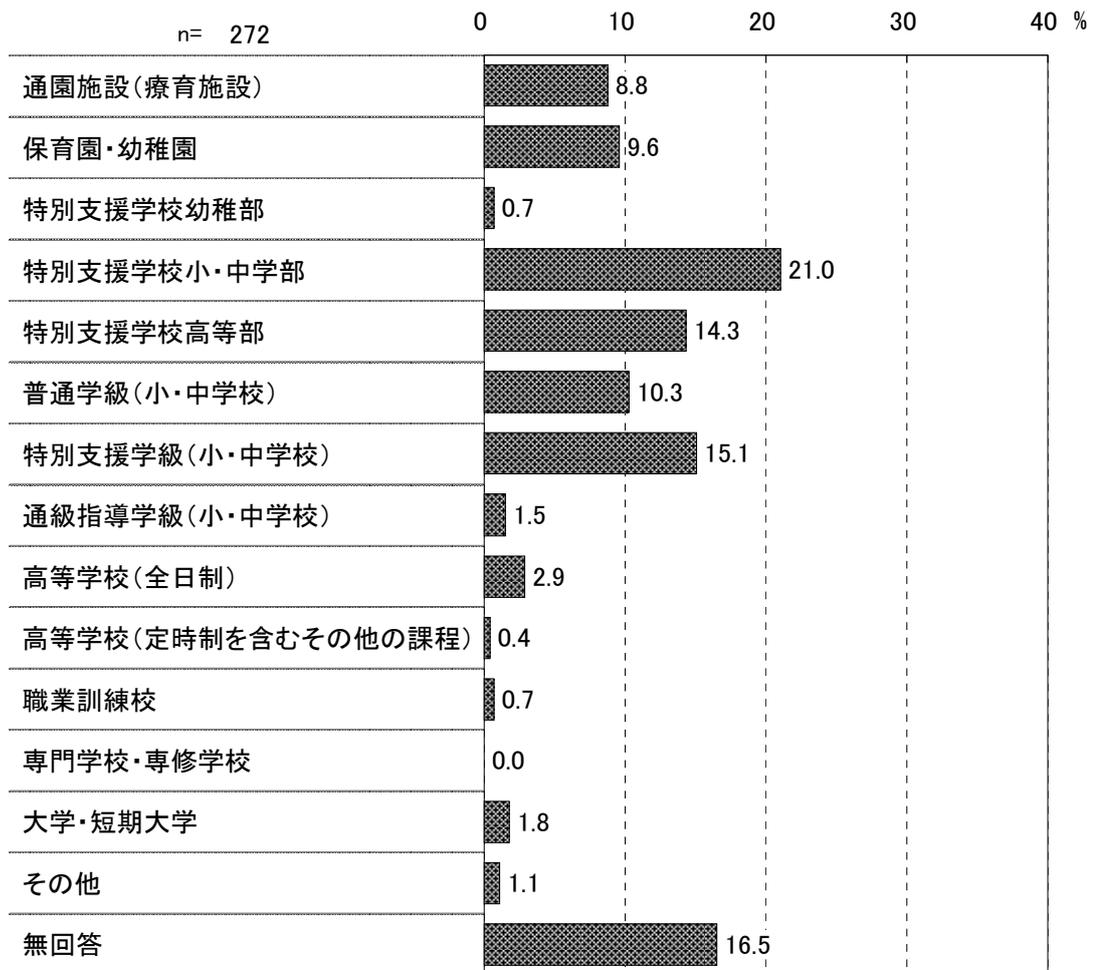
(%)

	n	通園・通学 している	仕事をして いる（福祉 的就労等も 含む）	施設等に通 所している	主に自宅に いる	無回答
合計	1,391	19.6	22.6	17.9	32.9	7.1
身体と知的 （精神）	172	40.1	10.5	33.1	9.3	7.0
知的と精神	12	8.3	8.3	41.7	16.7	25.0
上記以外	1,182	16.9	24.4	15.4	36.7	6.6
無回答	25	8.0	28.0	20.0	20.0	24.0

《問 24 で「1. 通園・通学している」とお答えの方におたずねします》

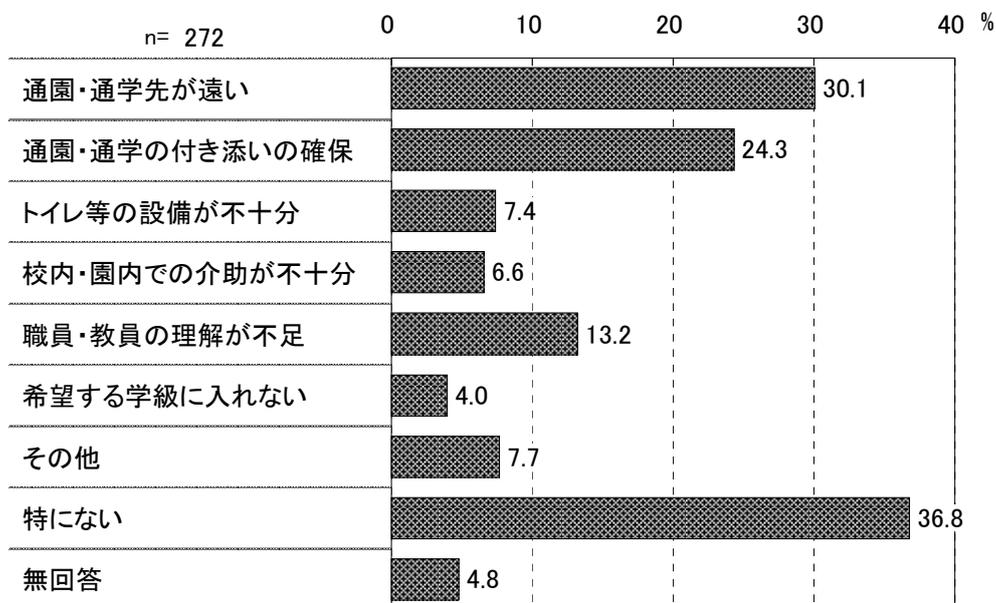
問 25 現在、あなたが通園・通学しているところはどこですか。(あてはまるものすべてに○)

現在、通園・通学しているところについては、「特別支援学校小・中学部」が最も多く 21.0%、「特別支援学級（小・中学校）」が 15.1%、「特別支援学校高等部」が 14.3%などとなっています。



問 25-1 通園・通学をする上で、困っていることはありますか。(あてはまるものすべてに○)

通園・通学をする上で、困っていることについては、「通園・通学先が遠い」が30.1%、「通園・通学の付き添いの確保」が24.3%、「職員・教員の理解が不足」が13.2%などとなっています。また、「特にない」が36.8%となっています。



【障害種別】

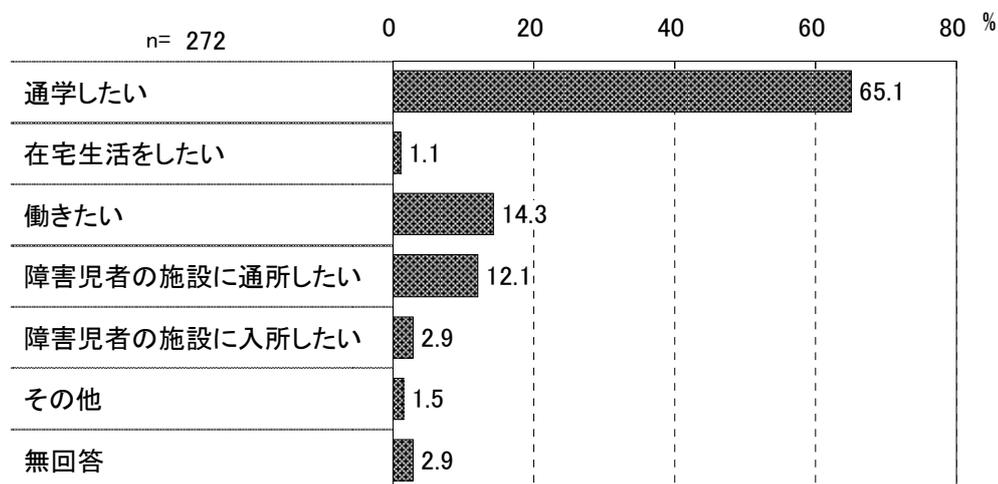
「通園・通学先が遠い」では“精神障害”で4割近くとなっています。また、「職員・教員の理解が不足」では回答者がすくないものの“高次脳機能障害”で5割、“精神障害”と“発達障害”でも2割を超え他の障害と比べて割合がやや高くなっています。

(%)

	n	通園・通学先が遠い	通園・通学の付き添いの確保	トイレ等の設備が不十分	校内・園内での介助が不十分	職員・教員の理解が不足	希望する学級に入れない	その他	特にない	無回答
合計	272	30.1	24.3	7.4	6.6	13.2	4.0	7.7	36.8	4.8
身体障害	138	29.0	26.8	10.9	10.1	10.1	3.6	10.1	37.7	2.9
知的障害	179	32.4	28.5	5.0	6.1	11.2	5.0	7.3	34.6	4.5
発達障害	79	31.6	26.6	3.8	2.5	21.5	5.1	2.5	36.7	6.3
精神障害	13	38.5	30.8	7.7	7.7	23.1	7.7	-	23.1	7.7
高次脳機能障害	4	-	25.0	-	-	50.0	-	-	25.0	-
難病(特定疾病)	19	21.1	26.3	15.8	5.3	15.8	5.3	15.8	26.3	15.8
その他	6	16.7	-	-	16.7	33.3	16.7	-	50.0	-
無回答	2	50.0	50.0	50.0	-	-	-	-	50.0	-

問 25-2 今後、どのような進路を希望しますか。現在通っている学校・園の卒業後の進路をお答えください。(1つに○)

今後、どんな進路を希望するかについては、「通学したい」が最も多く65.1%、次いで「働きたい」が14.3%、「障害児者の施設に通所したい」が12.1%などとなっています。



【障害種別】

「通学したい」では“高次脳機能障害”と“発達障害”で7割を超えています。

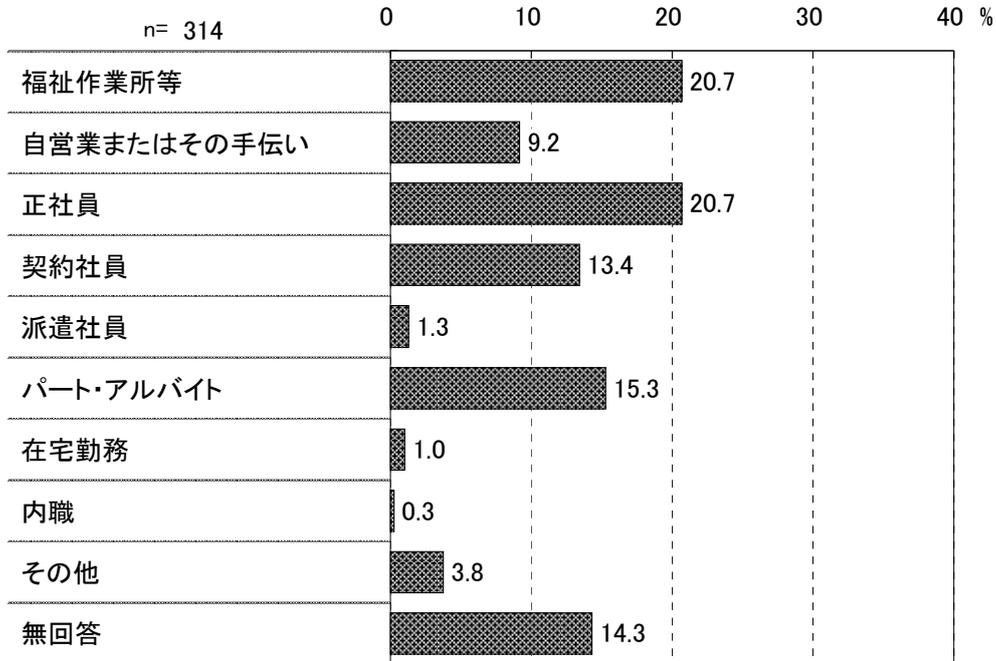
(%)

	n	通学したい	在宅生活をしたい	働きたい	障害児者の施設に通所したい	障害児者の施設に入所したい	その他	無回答
合計	272	65.1	1.1	14.3	12.1	2.9	1.5	2.9
身体障害	138	65.9	1.4	7.2	17.4	2.9	2.2	2.9
知的障害	179	60.9	0.6	15.1	15.1	3.9	1.7	2.8
発達障害	79	73.4	-	12.7	10.1	2.5	1.3	-
精神障害	13	46.2	7.7	15.4	23.1	7.7	-	-
高次脳機能障害	4	75.0	-	25.0	-	-	-	-
難病(特定疾病)	19	47.4	-	26.3	10.5	-	-	15.8
その他	6	66.7	16.7	-	16.7	-	-	-
無回答	2	100.0	-	-	-	-	-	-

《問 24 で「2. 仕事をしている」とお答えの方におたずねします》

問 26 あなたはどのように働いていますか。(1つに○)

どのように働いているかについては、「福祉作業所等」と「正社員」がともに 20.7%、「パート・アルバイト」が 15.3%、「契約社員」が 13.4%などとなっています。



【年齢区分別】

「自営業またはその手伝い」では“75歳以上”で5割、“65～74歳”で3割近くとなっています。

(%)

	n	福祉作業所等	自営業またはその手伝い	正社員	契約社員	派遣社員	パート・アルバイト	在宅勤務	内職	その他	無回答
合計	314	20.7	9.2	20.7	13.4	1.3	15.3	1.0	0.3	3.8	14.3
0～5歳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6～17歳	1	-	-	100.0	-	-	-	-	-	-	-
18～39歳	123	26.0	1.6	26.8	16.3	1.6	12.2	-	-	4.1	11.4
40～64歳	144	20.8	9.0	20.1	13.9	0.7	17.4	0.7	-	1.4	16.0
65～74歳	26	3.8	26.9	7.7	3.8	3.8	15.4	3.8	-	19.2	15.4
75歳以上	14	-	50.0	-	-	-	14.3	7.1	7.1	-	21.4
無回答	6	33.3	-	-	16.7	-	33.3	-	-	-	16.7

【障害種別】

「福祉作業所等」では“精神障害”で5割半ばと割合が高くなっています。

(%)

	n	福祉作業所等	自営業またはその手伝い	正社員	契約社員	派遣社員	パート・アルバイト	在宅勤務	内職	その他	無回答
合計	314	20.7	9.2	20.7	13.4	1.3	15.3	1.0	0.3	3.8	14.3
身体障害	78	10.3	17.9	19.2	15.4	1.3	11.5	1.3	1.3	6.4	15.4
知的障害	94	33.0	1.1	10.6	24.5	-	17.0	-	-	4.3	9.6
発達障害	22	22.7	-	13.6	22.7	-	31.8	-	-	4.5	4.5
精神障害	47	55.3	-	-	10.6	2.1	10.6	-	-	4.3	17.0
高次脳機能障害	4	50.0	-	-	25.0	-	-	-	-	-	25.0
難病（特定疾病）	113	0.9	14.2	40.7	5.3	1.8	17.7	2.7	-	1.8	15.0
その他	1	-	-	-	100.0	-	-	-	-	-	-
無回答	7	57.1	-	-	-	-	14.3	-	-	-	28.6

【重複障害別】

「福祉作業所等」では“身体と知的（精神）”で4割近くとなっています。

(%)

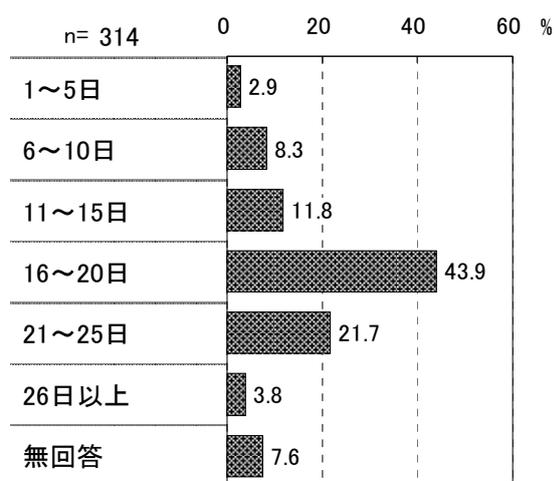
	n	福祉作業所等	自営業またはその手伝い	正社員	契約社員	派遣社員	パート・アルバイト	在宅勤務	内職	その他	無回答
合計	314	20.7	9.2	20.7	13.4	1.3	15.3	1.0	0.3	3.8	14.3
身体と知的（精神）	18	38.9	-	11.1	27.8	-	16.7	-	-	5.6	-
知的と精神	1	-	-	-	100.0	-	-	-	-	-	-
上記以外	288	18.8	10.1	21.9	12.5	1.4	15.3	1.0	0.3	3.8	14.9
無回答	7	57.1	-	-	-	-	14.3	-	-	-	28.6

問 26-1 最近1か月の間に働いた日数と、1日あたりの就業時間はどのくらいですか。

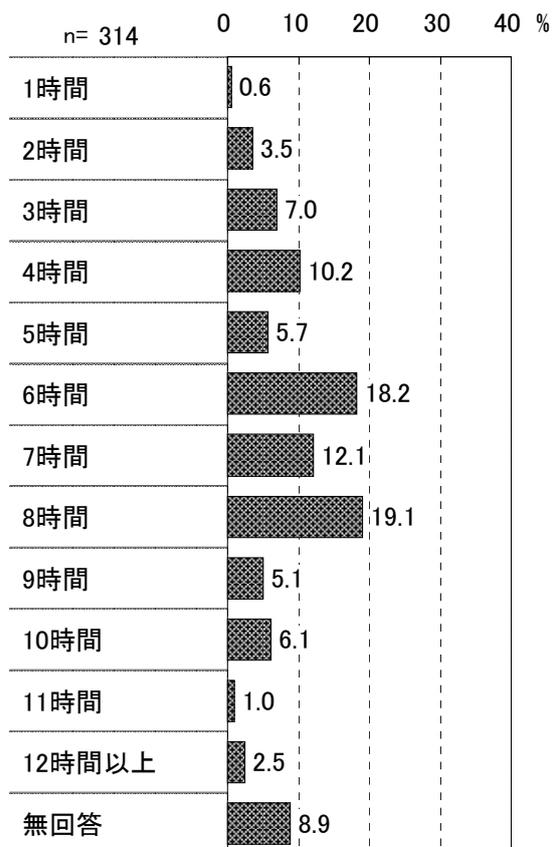
(数字を記入)

最近1か月の間に働いた日数については、「16~20日」が最も多く43.9%、次いで「21~25日」が21.7%、「11~15日」が11.8%などとなっています。また、1日あたりの就業時間については、「8時間」が最も多く19.1%、次いで「6時間」が18.2%、「7時間」が12.1%などとなっています。

【1か月の日数】



【1日あたりの時間】



【年齢区分別－1か月の就労日数】

1か月の就労日数について年齢区分別にみると、「16～20日」では“18～39歳”で5割近くと他の年齢区分と比べてやや割合が高くなっています。

(%)

	n	1～5日	6～10日	11～15日	16～20日	21～25日	26日以上	無回答
合計	314	2.9	8.3	11.8	43.9	21.7	3.8	7.6
0～5歳	-	-	-	-	-	-	-	-
6～17歳	1	-	-	-	-	-	-	100.0
18～39歳	123	3.3	4.1	9.8	49.6	25.2	2.4	5.7
40～64歳	144	2.1	11.8	13.9	43.8	19.4	4.9	4.2
65～74歳	26	3.8	7.7	19.2	23.1	26.9	3.8	15.4
75歳以上	14	7.1	14.3	-	28.6	14.3	7.1	28.6
無回答	6	-	-	-	66.7	-	-	33.3

【重複障害別－1か月の就労日数】

1か月の就労日数について重複障害別にみると「21～25日」では“身体と知的（精神）”で3割を超えています。

(%)

	n	1～5日	6～10日	11～15日	16～20日	21～25日	26日以上	無回答
合計	314	2.9	8.3	11.8	43.9	21.7	3.8	7.6
身体と知的（精神）	18	11.1	-	5.6	38.9	33.3	-	11.1
知的と精神	1	-	-	-	100.0	-	-	-
上記以外	288	2.4	9.0	12.5	43.8	20.8	4.2	7.3
無回答	7	-	-	-	57.1	28.6	-	14.3

【年齢区分別－1日の就業時間】

1日の就業時間について年齢区分別にみると、「8時間」では“75歳以上”で3割近くとなっています。

(%)

	n	1時間	2時間	3時間	4時間	5時間	6時間	7時間
合計	314	0.6	3.5	7.0	10.2	5.7	18.2	12.1
0～5歳	-	-	-	-	-	-	-	-
6～17歳	1	-	-	-	-	-	-	-
18～39歳	123	0.8	1.6	5.7	11.4	2.4	23.6	15.4
40～64歳	144	0.7	3.5	7.6	9.0	8.3	16.0	11.8
65～74歳	26	-	11.5	11.5	11.5	3.8	11.5	3.8
75歳以上	14	-	7.1	-	14.3	7.1	7.1	-
無回答	6	-	-	16.7	-	16.7	16.7	16.7

	n	8時間	9時間	10時間	11時間	12時間以上	無回答
合計	314	19.1	5.1	6.1	1.0	2.5	8.9
0～5歳	-	-	-	-	-	-	-
6～17歳	1	-	-	-	-	-	100.0
18～39歳	123	15.4	6.5	6.5	2.4	3.3	4.9
40～64歳	144	22.9	4.9	6.9	-	2.1	6.3
65～74歳	26	15.4	3.8	3.8	-	3.8	19.2
75歳以上	14	28.6	-	-	-	-	35.7
無回答	6	-	-	-	-	-	33.3

【重複障害－1日の就業時間】

1日の就業時間について重複障害別にみると、“身体と知的（精神）”では「6時間」で3割を超え、「7時間」で4割近くとなっています。

(%)

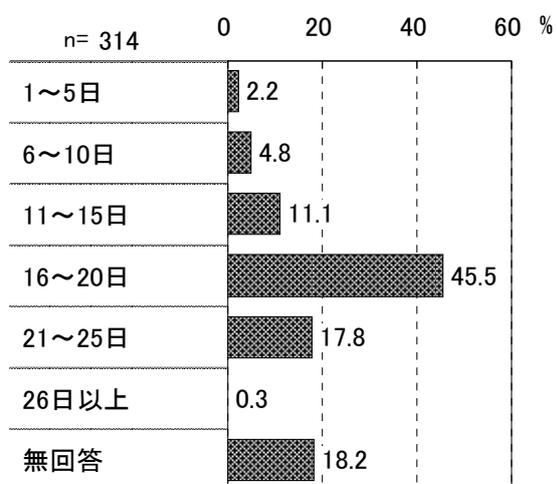
	n	1時間	2時間	3時間	4時間	5時間	6時間	7時間
合計	314	0.6	3.5	7.0	10.2	5.7	18.2	12.1
身体と知的 （精神）	18	-	-	5.6	5.6	-	33.3	38.9
知的と精神	1	-	-	-	-	-	-	100.0
上記以外	288	0.7	3.8	6.9	10.1	5.9	17.0	10.4
無回答	7	-	-	14.3	28.6	14.3	28.6	-

	n	8時間	9時間	10時間	11時間	12時間以上	無回答
合計	314	19.1	5.1	6.1	1.0	2.5	8.9
身体と知的 （精神）	18	-	-	-	-	-	16.7
知的と精神	1	-	-	-	-	-	-
上記以外	288	20.8	5.2	6.6	1.0	2.8	8.7
無回答	7	-	14.3	-	-	-	-

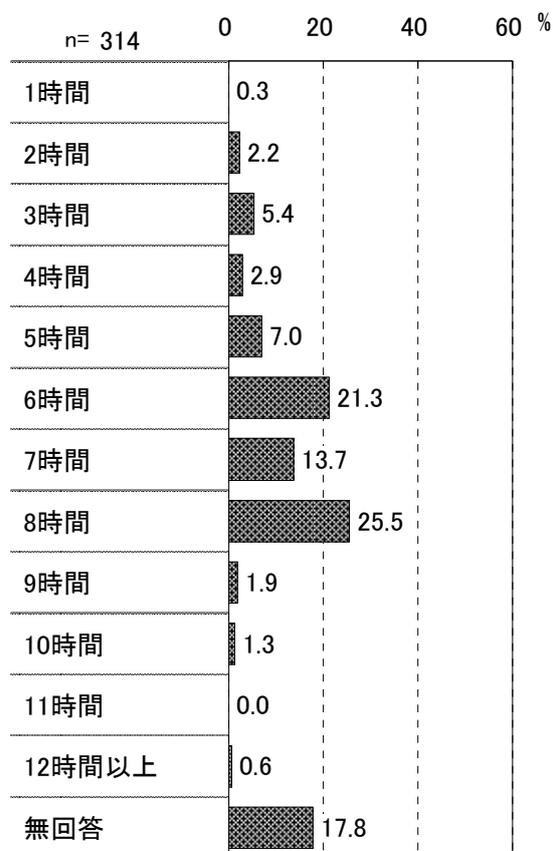
問 26-2 1か月の間に働きたい日数と、1日あたりの希望する就業時間はどのくらいですか。(数字を記入)

1か月の間に働きたい日数については、「16～20日」が最も多く45.5%、「21～25日」が17.8%、「11～15日」が11.1%などとなっています。また、1日あたりの希望する就業時間については、「8時間」が最も多く25.5%、次いで「6時間」が21.3%、「7時間」が13.7%などとなっています。

【1か月あたりの希望日数】

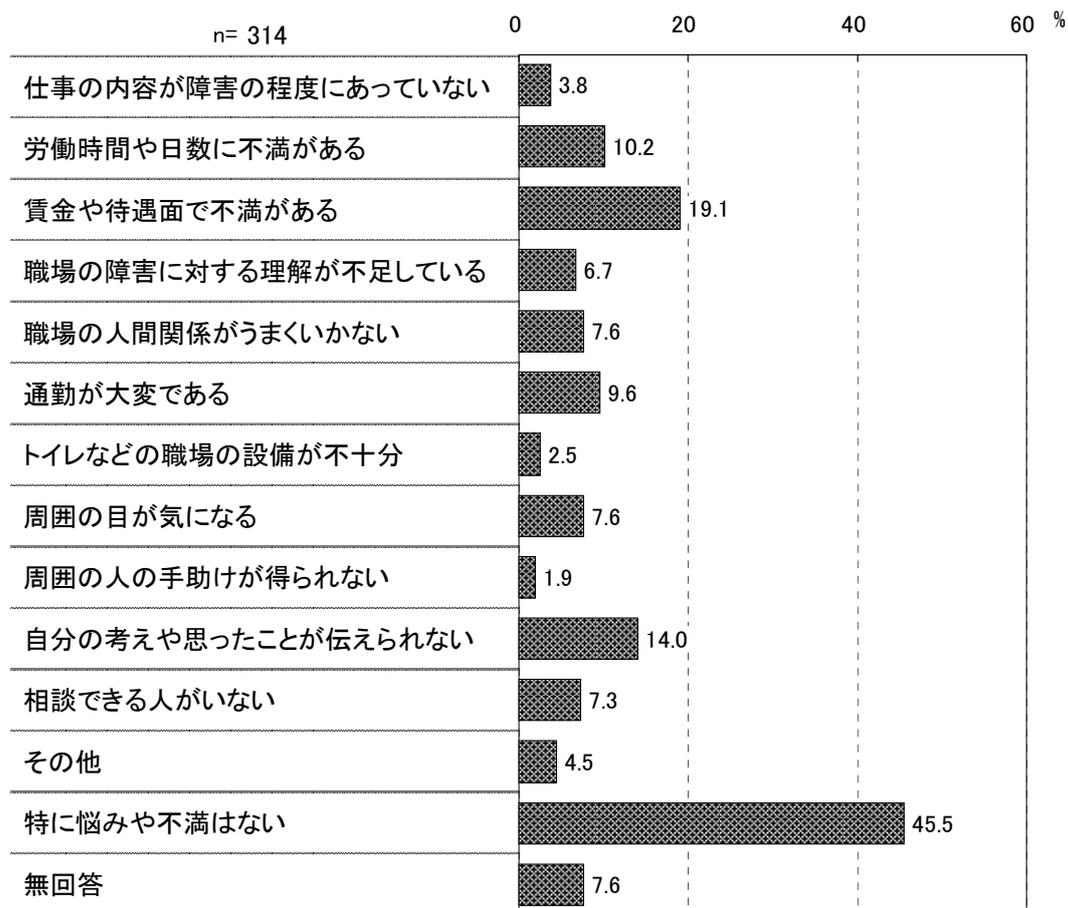


【1日あたりの希望時間】



問 26-3 現在の仕事について、どのような悩みや不満がありますか。(あてはまるものすべてに○)

現在の仕事について、どのような悩みや不満があるかについては「賃金や待遇面で不満がある」が 19.1%、「自分の考えや思ったことが伝えられない」が 14.0%、「労働時間や日数に不満がある」が 10.2%などとなっています。また、「特に悩みや不満はない」が 45.5%となっています。



【障害種別】

「賃金や待遇面で不満がある」では“精神障害”で3割を超え割合が高くなっています。また、「自分の考えや思ったことが伝えられない」では“知的障害”でほぼ3割と割合が高くなっています。

(%)

	n	仕事の内容が障害の程度にあっていない	労働時間や日数に不満がある	賃金や待遇面で不満がある	職場の障害に対する理解が不足している	職場の人間関係がうまくいかない	通勤が大変である	トイレなどの職場の設備が不十分
合計	314	3.8	10.2	19.1	6.7	7.6	9.6	2.5
身体障害	78	3.8	11.5	19.2	6.4	7.7	12.8	-
知的障害	94	-	4.3	13.8	5.3	11.7	7.4	5.3
発達障害	22	9.1	18.2	27.3	18.2	18.2	9.1	9.1
精神障害	47	8.5	12.8	31.9	6.4	10.6	8.5	2.1
高次脳機能障害	4	-	-	25.0	-	-	-	-
難病（特定疾病）	113	4.4	11.5	17.7	9.7	1.8	13.3	1.8
その他	1	-	-	-	-	100.0	-	-
無回答	7	-	-	14.3	-	14.3	14.3	-

	n	周囲の目が気になる	周囲の人の手助けが得られない	自分の考えや思ったことが伝えられない	相談できる人がいない	その他	特に悩みや不満はない	無回答
合計	314	7.6	1.9	14.0	7.3	4.5	45.5	7.6
身体障害	78	3.8	3.8	11.5	7.7	1.3	50.0	9.0
知的障害	94	9.6	-	29.8	8.5	4.3	38.3	9.6
発達障害	22	9.1	4.5	18.2	18.2	-	50.0	4.5
精神障害	47	14.9	4.3	12.8	4.3	6.4	42.6	6.4
高次脳機能障害	4	-	-	-	-	-	50.0	25.0
難病（特定疾病）	113	3.5	1.8	7.1	6.2	5.3	46.9	6.2
その他	1	-	-	100.0	-	100.0	-	-
無回答	7	42.9	-	14.3	14.3	-	42.9	-

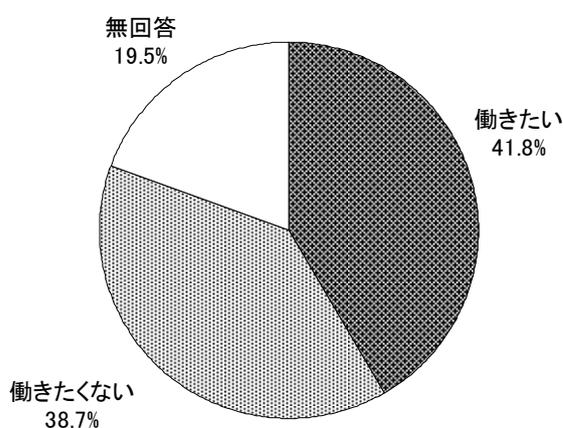
《問 24 で「3. 施設等に通所している」「4. 主に自宅にいる」とお答えの方におたずね
 します》

問 27 あなたは、今後、働きたいですか。(1つに○)

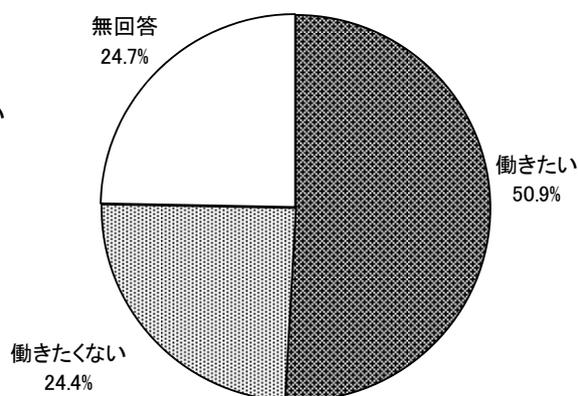
今後、働きたいかについては、「働きたい」が 41.8%、「働きたくない」が 38.7%となっ
 ています。

【参考：第 3 期世田谷区障害福祉計画障害者児
 実態調査】

n= 706



n= 858



【年齢区分別】

「働きたい」では“18～39 歳”で6割半ばと割合が高くなっています。一方、「働きたく
 ない」では“75 歳以上”で6割を超え割合が高くなっています。

	n	働きたい (%)	働きたくない (%)	無回答 (%)
合計	706	41.8	38.7	19.5
0～5 歳	9	22.2	44.4	33.3
6～17 歳	4	50.0	50.0	-
18～39 歳	161	65.2	17.4	17.4
40～64 歳	252	57.1	28.6	14.3
65～74 歳	127	22.0	56.7	21.3
75 歳以上	145	7.6	63.4	29.0
無回答	8	37.5	37.5	25.0

【障害種別】

「働きたい」では“精神障害”で7割を超え、“発達障害”では6割半ばと割合が高くなっています。

(%)

	n	働きたい	働きたくない	無回答
合計	706	41.8	38.7	19.5
身体障害	332	24.4	49.4	26.2
知的障害	142	43.7	32.4	23.9
発達障害	41	65.9	29.3	4.9
精神障害	147	70.7	22.4	6.8
高次脳機能障害	12	50.0	25.0	25.0
難病（特定疾病）	188	37.2	45.2	17.6
その他	22	40.9	31.8	27.3
無回答	10	60.0	20.0	20.0

【重複障害別】

「働きたい」では“知的と精神”で7割を超え割合が高くなっています。

(%)

	n	働きたい	働きたくない	無回答
合計	706	41.8	38.7	19.5
身体と知的（精神）	73	35.6	41.1	23.3
知的と精神	7	71.4	28.6	-
上記以外	616	41.9	38.8	19.3
無回答	10	60.0	20.0	20.0

【回答者別】

「働きたい」では“あなた（ご本人）”で5割近くとなっています。

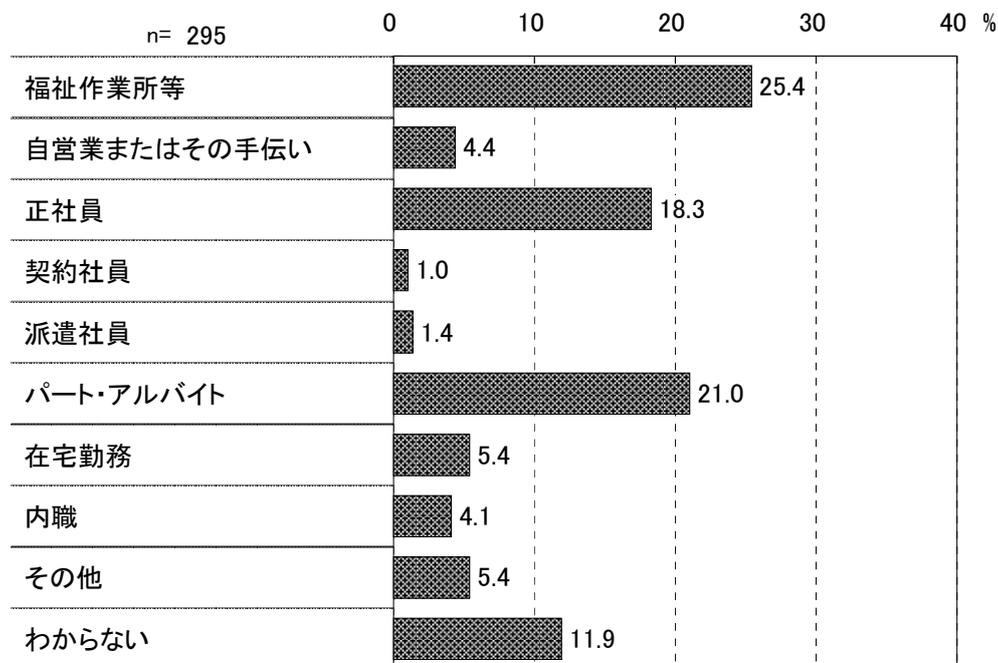
(%)

	n	働きたい	働きたくない	無回答
合計	706	41.8	38.7	19.5
あなた（ご本人）	481	47.0	36.2	16.8
配偶者	29	20.7	44.8	34.5
父母	125	42.4	30.4	27.2
子（子の配偶者を含む）	31	-	87.1	12.9
兄弟姉妹	16	25.0	62.5	12.5
その他	11	9.1	63.6	27.3
無回答	13	38.5	30.8	30.8

《 問 27 で「1. 働きたい」とお答えの方におたずねします》

問 27-1 どのような働き方をしたいですか。(1つに○)

どのような働き方をしたいかについては、「福祉作業所等」が最も多く 25.4%、次いで「パート・アルバイト」が 21.0%、「正社員」が 18.3%などとなっています。



【年齢区分別】

「福祉作業所等」では“6～17歳”の回答者2人がいずれも選択しており、“18～39歳”では3割を超え他の年齢区分と比べてやや割合が高くなっています。

(%)

	n	福祉作業所等	自営業またはその手伝い	正社員	契約社員	派遣社員	パート・アルバイト
合計	295	25.4	4.4	18.3	1.0	1.4	21.0
0～5歳	2	-	-	50.0	-	-	-
6～17歳	2	100.0	-	-	-	-	-
18～39歳	105	32.4	1.0	25.7	-	1.9	16.2
40～64歳	144	21.5	6.9	16.7	2.1	1.4	25.0
65～74歳	28	25.0	-	-	-	-	25.0
75歳以上	11	-	18.2	18.2	-	-	18.2
無回答	3	33.3	-	-	-	-	-

	n	在宅勤務	内職	その他	わからない	無回答
合計	295	5.4	4.1	5.4	11.9	1.7
0～5歳	2	-	-	-	50.0	-
6～17歳	2	-	-	-	-	-
18～39歳	105	2.9	1.0	6.7	12.4	-
40～64歳	144	7.6	5.6	2.8	9.0	1.4
65～74歳	28	7.1	3.6	10.7	17.9	10.7
75歳以上	11	-	18.2	18.2	9.1	-
無回答	3	-	-	-	66.7	-

【障害種別】

「福祉作業所等」では“知的障害”で7割半ばと割合が高くなっています。また、「正社員」では“高次脳機能障害”“発達障害”“精神障害”で3割前後と他の障害と比べて割合がやや高くなっています。

(%)

	n	福祉作業所等	自営業またはその手伝い	正社員	契約社員	派遣社員	パート・アルバイト
合計	295	25.4	4.4	18.3	1.0	1.4	21.0
身体障害	81	24.7	6.2	11.1	-	-	18.5
知的障害	62	75.8	1.6	6.5	-	-	-
発達障害	27	40.7	-	29.6	-	-	11.1
精神障害	104	24.0	1.0	27.9	2.9	1.9	21.2
高次脳機能障害	6	-	16.7	33.3	-	-	16.7
難病（特定疾病）	70	4.3	7.1	12.9	-	2.9	35.7
その他	9	22.2	11.1	11.1	-	-	44.4
無回答	6	16.7	16.7	16.7	-	-	-

	n	在宅勤務	内職	その他	わからない	無回答
合計	295	5.4	4.1	5.4	11.9	1.7
身体障害	81	8.6	6.2	12.3	9.9	2.5
知的障害	62	-	1.6	8.1	6.5	-
発達障害	27	-	-	-	18.5	-
精神障害	104	1.9	1.0	2.9	14.4	1.0
高次脳機能障害	6	-	-	16.7	16.7	-
難病（特定疾病）	70	14.3	8.6	2.9	8.6	2.9
その他	9	-	-	-	11.1	-
無回答	6	-	-	-	33.3	16.7

【重複障害別】

「福祉作業所等」では“身体と知的（精神）”で6割を超えています。

(%)

	n	福祉作業所等	自営業またはその手伝い	正社員	契約社員	派遣社員	パート・アルバイト
合計	295	25.4	4.4	18.3	1.0	1.4	21.0
身体と知的（精神）	26	61.5	-	7.7	-	-	11.5
知的と精神	5	40.0	-	-	-	-	-
上記以外	258	21.7	4.7	19.8	1.2	1.6	22.9
無回答	6	16.7	16.7	16.7	-	-	-

	n	在宅勤務	内職	その他	わからない	無回答
合計	295	5.4	4.1	5.4	11.9	1.7
身体と知的（精神）	26	-	3.8	7.7	3.8	3.8
知的と精神	5	-	-	20.0	40.0	-
上記以外	258	6.2	4.3	5.0	11.6	1.2
無回答	6	-	-	-	33.3	16.7

【回答者別】

「福祉作業所等」では“兄弟姉妹”と“父母”で7割を超えています。

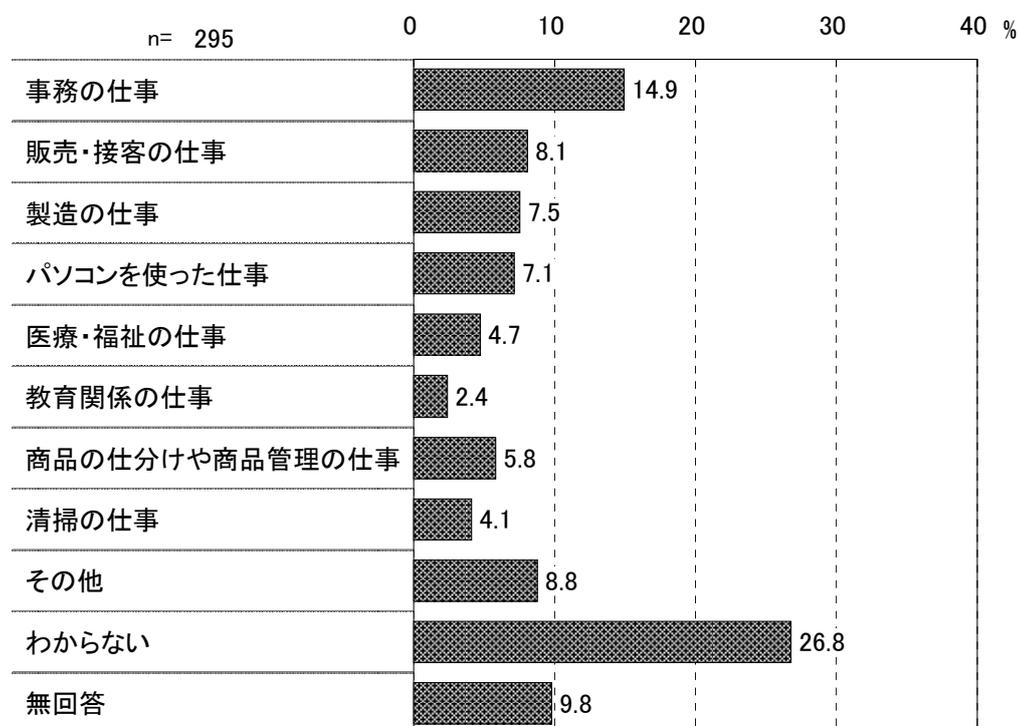
(%)

	n	福祉作業所等	自営業またはその手伝い	正社員	契約社員	派遣社員	パート・アルバイト
合計	295	25.4	4.4	18.3	1.0	1.4	21.0
あなた（ご本人）	226	13.7	4.0	22.1	1.3	1.8	27.4
配偶者	6	-	33.3	16.7	-	-	-
父母	53	71.7	1.9	5.7	-	-	-
子（子の配偶者を含む）	-	-	-	-	-	-	-
兄弟姉妹	4	75.0	-	-	-	-	-
その他	1	100.0	-	-	-	-	-
無回答	5	40.0	20.0	-	-	-	-

	n	在宅勤務	内職	その他	わからない	無回答
合計	295	5.4	4.1	5.4	11.9	1.7
あなた（ご本人）	226	6.6	4.4	4.4	11.9	2.2
配偶者	6	16.7	-	33.3	-	-
父母	53	-	1.9	7.5	11.3	-
子（子の配偶者を含む）	-	-	-	-	-	-
兄弟姉妹	4	-	25.0	-	-	-
その他	1	-	-	-	-	-
無回答	5	-	-	-	40.0	-

問 27-2 どのような仕事を希望していますか。(1つに○)

どのような仕事を希望するかについては、「事務の仕事」が14.9%などとなっています。また、「わからない」が26.8%となっています。



【年齢区分別】

「製造の仕事」では“65～74歳”で1割半ばと他の年齢区分と比べてやや割合が高くなっています。

(%)

	n	事務の仕事	販売・接客の仕事	製造の仕事	パソコンを使った仕事	医療・福祉の仕事	教育関係の仕事
合計	295	14.9	8.1	7.5	7.1	4.7	2.4
0～5歳	2	-	-	-	-	-	-
6～17歳	2	-	-	-	-	-	-
18～39歳	105	14.3	10.5	7.6	7.6	3.8	1.0
40～64歳	144	16.0	7.6	6.3	7.6	6.9	2.8
65～74歳	28	14.3	3.6	14.3	7.1	-	3.6
75歳以上	11	18.2	9.1	9.1	-	-	9.1
無回答	3	-	-	-	-	-	-

	n	商品の仕分けや商品管理の仕事	清掃の仕事	その他	わからない	無回答
合計	295	5.8	4.1	8.8	26.8	9.8
0～5歳	2	-	-	-	100.0	-
6～17歳	2	-	-	-	100.0	-
18～39歳	105	6.7	1.9	9.5	31.4	5.7
40～64歳	144	4.9	4.9	7.6	25.7	9.7
65～74歳	28	7.1	7.1	7.1	14.3	21.4
75歳以上	11	9.1	9.1	18.2	9.1	9.1
無回答	3	-	-	33.3	-	66.7

【障害種別】

「事務の仕事」では“難病（特定疾病）”で3割近くと割合が高くなっています。

(%)

	n	事務の仕事	販売・接客の仕事	製造の仕事	パソコンを使った仕事	医療・福祉の仕事	教育関係の仕事
合計	295	14.9	8.1	7.5	7.1	4.7	2.4
身体障害	81	8.6	7.4	8.6	6.2	2.5	6.2
知的障害	62	3.2	3.2	9.7	-	-	-
発達障害	27	14.8	3.7	7.4	11.1	3.7	-
精神障害	104	14.4	10.6	4.8	5.8	7.7	-
高次脳機能障害	6	16.7	33.3	16.7	-	-	-
難病（特定疾病）	70	27.1	10.0	5.7	12.9	4.3	5.7
その他	9	11.1	11.1	-	-	11.1	-
無回答	6	16.7	-	-	-	-	-

	n	商品の仕分けや商品管理の仕事	清掃の仕事	その他	わからない	無回答
合計	295	5.8	4.1	8.8	26.8	9.8
身体障害	81	4.9	2.5	11.1	28.4	13.6
知的障害	62	4.8	4.8	8.1	46.8	19.4
発達障害	27	14.8	-	3.7	33.3	7.4
精神障害	104	9.6	4.8	7.7	33.7	1.0
高次脳機能障害	6	-	-	16.7	16.7	-
難病（特定疾病）	70	1.4	1.4	8.6	14.3	8.6
その他	9	-	11.1	11.1	44.4	-
無回答	6	-	-	16.7	-	66.7

【重複障害別】

「わからない」では“知的と精神”で8割、“身体と知的（精神）”で6割近くとなっています。

(%)

	n	事務の仕事	販売・接客の仕事	製造の仕事	パソコンを使った仕事	医療・福祉の仕事	教育関係の仕事
合計	295	14.9	8.1	7.5	7.1	4.7	2.4
身体と知的（精神）	26	-	11.5	3.8	-	-	-
知的と精神	5	-	20.0	-	-	-	-
上記以外	258	16.7	7.8	8.1	8.1	5.4	2.7
無回答	6	16.7	-	-	-	-	-

	n	商品の仕分けや商品管理の仕事	清掃の仕事	その他	わからない	無回答
合計	295	5.8	4.1	8.8	26.8	9.8
身体と知的（精神）	26	3.8	-	7.7	57.7	15.4
知的と精神	5	-	-	-	80.0	-
上記以外	258	6.2	4.7	8.9	23.3	8.1
無回答	6	-	-	16.7	-	66.7

【回答者別】

「事務の仕事」では“あなた（ご本人）”で2割近くとなっています。

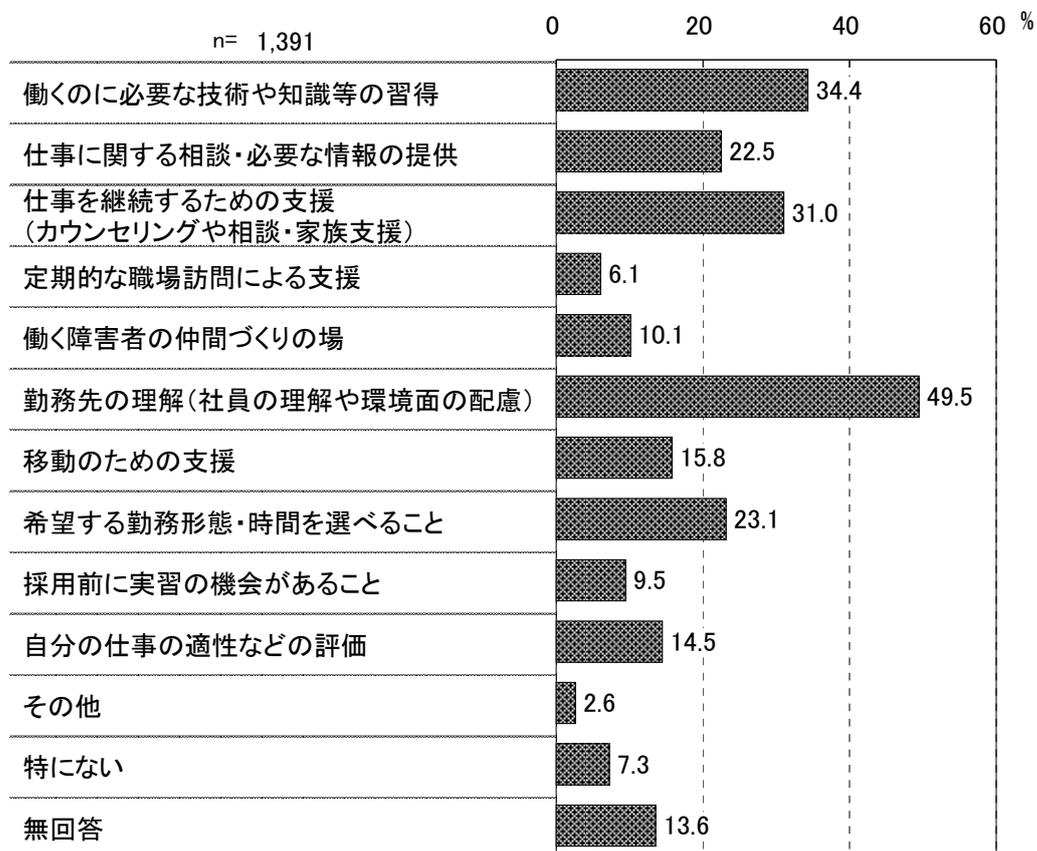
(%)

	n	事務の仕事	販売・接客 の仕事	製造の仕事	パソコンを 使った仕事	医療・福祉 の仕事	教育関係の 仕事
合計	295	14.9	8.1	7.5	7.1	4.7	2.4
あなた（ご 本人）	226	18.1	10.2	7.1	9.3	6.2	3.1
配偶者	6	16.7	-	-	-	-	-
父母	53	3.8	1.9	9.4	-	-	-
子（子の配 偶者を含 む）	-	-	-	-	-	-	-
兄弟姉妹	4	-	-	25.0	-	-	-
その他	1	-	-	-	-	-	-
無回答	5	-	-	-	-	-	-

	n	商品の仕分 けや商品管 理の仕事	清掃の仕事	その他	わからない	無回答
合計	295	5.8	4.1	8.8	26.8	9.8
あなた（ご 本人）	226	6.2	4.4	8.0	20.4	7.1
配偶者	6	-	-	50.0	16.7	16.7
父母	53	5.7	3.8	5.7	52.8	17.0
子（子の配 偶者を含 む）	-	-	-	-	-	-
兄弟姉妹	4	-	-	25.0	50.0	-
その他	1	-	-	-	100.0	-
無回答	5	-	-	20.0	20.0	60.0

問 28 障害者が働くために必要なことはどんなことだと思いますか。(3つまで〇)

障害者が働くために必要なことについては、「勤務先の理解（社員の理解や環境面の配慮）」が最も多く 49.5%、次いで「働くのに必要な技術や知識等の習得」が 34.4%、「仕事を継続するための支援（カウンセリングや相談・家族支援）」が 31.0%などとなっています。



【年齢区分別】

“0～5歳”では「勤務先の理解（社員の理解や環境面の配慮）」で8割、「働くのに必要な技術や知識等の習得」で6割近くと割合が高く、いずれも年齢区分が高くなるにつれて割合が低くなる傾向にあります。「仕事を継続するための支援（カウンセリングや相談・家族支援）」では6歳から39歳で4割を超え他の年齢区分と比べて割合が高くなっています。

(%)

	n	働くのに必要な技術や知識等の習得	仕事に関する相談・必要な情報の提供	仕事を継続するための支援（カウンセリングや相談・家族支援）	定期的な職場訪問による支援	働く障害者の仲間づくりの場	勤務先の理解（社員の理解や環境面の配慮）	移動のための支援
合計	1,391	34.4	22.5	31.0	6.1	10.1	49.5	15.8
0～5歳	40	57.5	22.5	37.5	7.5	5.0	80.0	17.5
6～17歳	197	48.7	27.9	40.1	12.2	15.2	70.6	36.0
18～39歳	326	37.4	22.4	42.6	11.3	12.3	62.9	14.7
40～64歳	444	32.2	26.1	28.8	3.6	10.1	46.4	10.4
65～74歳	175	28.6	17.7	17.1	1.7	8.6	29.7	12.0
75歳以上	188	21.8	14.4	18.6	0.5	3.2	25.0	13.8
無回答	21	19.0	9.5	23.8	4.8	9.5	38.1	4.8

	n	希望する勤務形態・時間を選べること	採用前に実習の機会があること	自分の仕事の適性などの評価	その他	特にない	無回答
合計	1,391	23.1	9.5	14.5	2.6	7.3	13.6
0～5歳	40	12.5	17.5	17.5	2.5	2.5	5.0
6～17歳	197	14.7	9.6	17.3	1.5	1.0	4.6
18～39歳	326	27.9	13.2	15.0	3.7	2.1	5.8
40～64歳	444	30.0	8.8	13.3	3.2	7.2	11.9
65～74歳	175	20.6	6.3	13.1	1.7	10.3	26.3
75歳以上	188	12.2	6.4	13.3	1.6	19.7	29.3
無回答	21	19.0	4.8	19.0	-	23.8	23.8

【障害種別】

「勤務先の理解（社員の理解や環境面の配慮）」では“発達障害”で6割半ばと割合が高くなっています。また、「働くのに必要な技術や知識等の習得」では“発達障害”と“精神障害”で4割を超え、「仕事を継続するための支援（カウンセリングや相談・家族支援）」では“知的障害”で4割を超え他の障害と比べて割合が高くなっています。「希望する勤務形態・時間を選べること」では“精神障害”と“難病（特定疾患）”で3割を超え割合が高くなっています。

(%)

	n	働くのに必要な技術や知識等の習得	仕事に関する相談・必要な情報の提供	仕事を継続するための支援（カウンセリングや相談・家族支援）	定期的な職場訪問による支援	働く障害者の仲間づくりの場	勤務先の理解（社員の理解や環境面の配慮）	移動のための支援
合計	1,391	34.4	22.5	31.0	6.1	10.1	49.5	15.8
身体障害	600	34.8	21.3	26.2	4.7	8.5	45.5	22.8
知的障害	435	35.2	22.1	42.5	13.6	16.1	51.0	24.4
発達障害	146	43.8	25.3	38.4	11.0	12.3	64.4	25.3
精神障害	223	41.3	29.6	35.0	3.6	12.1	49.8	8.5
高次脳機能障害	26	30.8	26.9	23.1	3.8	15.4	50.0	11.5
難病（特定疾患）	340	29.1	22.1	23.8	1.5	6.2	54.1	13.8
その他	33	30.3	6.1	33.3	-	3.0	39.4	9.1
無回答	25	24.0	12.0	28.0	8.0	8.0	28.0	4.0

	n	希望する勤務形態・時間を選べること	採用前に実習の機会があること	自分の仕事の適性などの評価	その他	特にない	無回答
合計	1,391	23.1	9.5	14.5	2.6	7.3	13.6
身体障害	600	21.2	7.0	14.7	2.7	9.5	16.5
知的障害	435	11.3	10.8	12.6	1.8	5.7	11.5
発達障害	146	21.9	13.7	13.0	1.4	3.4	6.2
精神障害	223	31.8	11.7	13.9	4.0	7.2	9.4
高次脳機能障害	26	15.4	15.4	15.4	7.7	7.7	7.7
難病（特定疾患）	340	37.9	6.8	15.9	2.9	6.2	11.8
その他	33	18.2	12.1	12.1	6.1	6.1	27.3
無回答	25	4.0	8.0	16.0	-	20.0	32.0

【重複障害別】

「仕事を継続するための支援（カウンセリングや相談・家族支援）」では“知的と精神”で4割を超え割合がやや高くなっています。

(%)

	n	働くのに必要な技術や知識等の習得	仕事に関する相談・必要な情報の提供	仕事を継続するための支援（カウンセリングや相談・家族支援）	定期的な職場訪問による支援	働く障害者の仲間づくりの場	勤務先の理解（社員の理解や環境面の配慮）	移動のための支援
合計	1,391	34.4	22.5	31.0	6.1	10.1	49.5	15.8
身体と知的（精神）	172	36.6	23.3	33.7	11.0	15.1	51.2	34.3
知的と精神	12	33.3	25.0	41.7	8.3	16.7	33.3	25.0
上記以外	1,182	34.3	22.6	30.5	5.3	9.3	49.9	13.3
無回答	25	24.0	12.0	28.0	8.0	8.0	28.0	4.0

	n	希望する勤務形態・時間を選べること	採用前に実習の機会があること	自分の仕事の適性などの評価	その他	特になし	無回答
合計	1,391	23.1	9.5	14.5	2.6	7.3	13.6
身体と知的（精神）	172	21.5	8.7	13.4	2.9	6.4	11.6
知的と精神	12	8.3	-	8.3	-	16.7	16.7
上記以外	1,182	23.9	9.7	14.6	2.6	7.1	13.5
無回答	25	4.0	8.0	16.0	-	20.0	32

【回答者別】

「勤務先の理解（社員の理解や環境面の配慮）」では“父母”で6割近く、「仕事を継続するための支援（カウンセリングや相談・家族支援）」でも“父母”で4割を超え割合が高くなっています。また、「希望する勤務形態・時間を選べること」では“あなた（ご本人）”で3割を超え割合がやや高くなっています。

(%)

	n	働くのに必要な技術や知識等の習得	仕事に関する相談・必要な情報の提供	仕事を継続するための支援（カウンセリングや相談・家族支援）	定期的な職場訪問による支援	働く障害者の仲間づくりの場	勤務先の理解（社員の理解や環境面の配慮）	移動のための支援
合計	1,391	34.4	22.5	31.0	6.1	10.1	49.5	15.8
あなた（ご本人）	798	34.2	22.2	26.1	3.4	8.1	47.7	9.6
配偶者	38	10.5	7.9	15.8	-	2.6	23.7	2.6
父母	428	38.6	25.0	43.5	12.6	13.8	59.3	28.7
子（子の配偶者を含む）	56	33.9	28.6	25.0	5.4	14.3	46.4	23.2
兄弟姉妹	25	28.0	20.0	28.0	4.0	20.0	32.0	16.0
その他	19	26.3	15.8	26.3	-	-	15.8	-
無回答	27	22.2	7.4	18.5	-	7.4	29.6	7.4

	n	希望する勤務形態・時間を選べること	採用前に実習の機会があること	自分の仕事の適性などの評価	その他	特になし	無回答
合計	1,391	23.1	9.5	14.5	2.6	7.3	13.6
あなた（ご本人）	798	30.7	9.0	15.3	2.5	7.1	12.8
配偶者	38	5.3	5.3	13.2	5.3	21.1	39.5
父母	428	14.0	11.0	14.5	2.1	3.5	9.1
子（子の配偶者を含む）	56	16.1	10.7	8.9	1.8	14.3	23.2
兄弟姉妹	25	12.0	8.0	12.0	4.0	28.0	8.0
その他	19	5.3	5.3	5.3	5.3	5.3	52.6
無回答	27	3.7	7.4	11.1	7.4	22.2	29.6

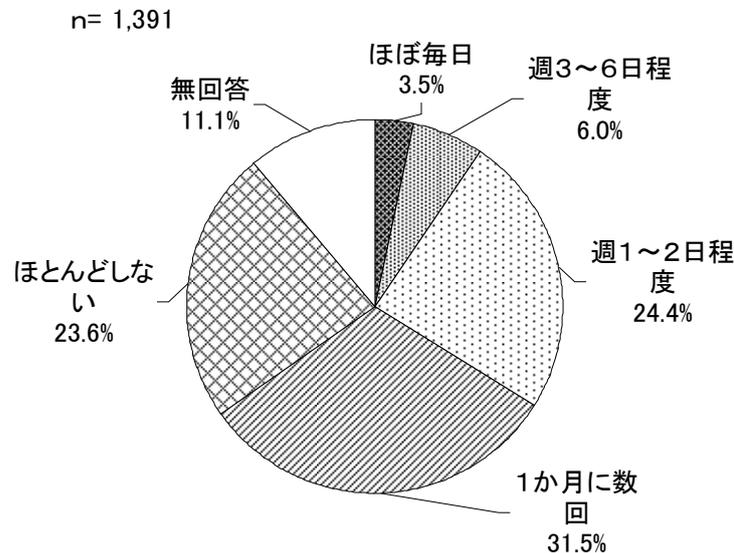
7. その他の日中活動について

問 29 あなたは、ここ2～3か月の間、次のような外出をどのくらいしましたか。

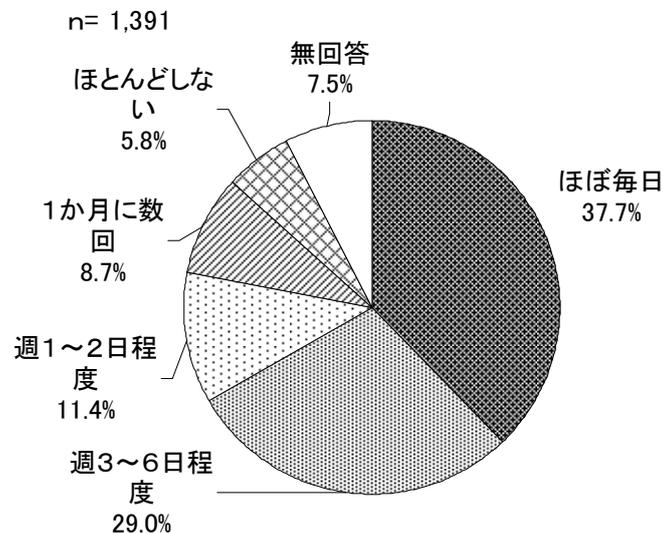
(それぞれ1つに○)

ここ2～3か月の間、レジャー、趣味、会食など、余暇やつき合いの外出をどのくらいしたかについては、「ほぼ毎日」が3.5%、「週3～6日程度」が6.0%、「週1～2日程度」が24.4%、「1か月に数回」が31.5%、「ほとんどしない」が23.6%となっています。また、買い物、通勤・通学、通院・通所など、日常の生活に必要な外出については、「ほぼ毎日」が37.7%、「週3～6日程度」が29.0%、「週1～2日程度」が11.4%、「1か月に数回」が8.7%、「ほとんどしない」が5.8%となっています。

【レジャー、趣味、会食など、余暇やつき合いの外出】



【買い物、通勤・通学、通院・通所など、日常の生活に必要な外出】



【年齢区分別－余暇やつき合いの外出】

余暇やつき合いの外出について年齢区分別にみると、「1か月に数回」では“18～39歳”で4割近くと他の年齢区分と比べて割合が高くなっています。また、「ほとんどしない」では年齢区分が高くなるにつれて割合が高くなる傾向にあり、“75歳以上”では3割半ばとなっています。

(%)

	n	ほぼ毎日	週3～6日 程度	週1～2日 程度	1か月に数 回	ほとんどし ない	無回答
合計	1,391	3.5	6.0	24.4	31.5	23.6	11.1
0～5歳	40	12.5	7.5	30.0	30.0	10.0	10.0
6～17歳	197	3.6	7.1	35.5	36.5	13.2	4.1
18～39歳	326	3.1	9.2	29.8	37.1	19.0	1.8
40～64歳	444	2.9	3.8	23.0	32.2	27.3	10.8
65～74歳	175	2.9	5.7	16.6	29.7	26.9	18.3
75歳以上	188	3.7	4.8	11.7	18.1	34.6	27.1
無回答	21	4.8	-	33.3	19.0	14.3	28.6

【障害種別－余暇やつき合いの外出】

余暇やつき合いの外出について障害種別にみると、「1か月に数回」では“知的障害”と“発達障害”で4割近く、「ほとんどしない」では“精神障害”と“高次脳機能障害”で3割を超え他の障害と比べて割合がやや高くなっています。

(%)

	n	ほぼ毎日	週3～6日 程度	週1～2日 程度	1か月に数 回	ほとんどし ない	無回答
合計	1,391	3.5	6.0	24.4	31.5	23.6	11.1
身体障害	600	2.7	4.8	23.8	28.2	27.2	13.3
知的障害	435	3.0	3.9	30.6	37.0	18.9	6.7
発達障害	146	2.1	7.5	30.1	36.3	20.5	3.4
精神障害	223	5.4	7.6	18.8	24.2	30.9	13.0
高次脳機能 障害	26	-	15.4	23.1	23.1	30.8	7.7
難病（特定 疾病）	340	2.1	7.1	19.7	36.8	24.1	10.3
その他	33	-	6.1	27.3	21.2	36.4	9.1
無回答	25	8.0	-	32.0	16.0	8.0	36.0

【年齢区分別－日常の生活に必要な外出】

日常の生活に必要な外出について年齢区分別にみると、「ほぼ毎日」では年齢区分が高くなるにつれて割合が低くなる傾向にあります。また、“75歳以上”では「1か月に数回」で2割近く、「ほとんどしない」で1割半ばと他の年齢区分と比べて割合が高くなっています。

(%)

	n	ほぼ毎日	週3～6日 程度	週1～2日 程度	1か月に数 回	ほとんどし ない	無回答
合計	1,391	37.7	29.0	11.4	8.7	5.8	7.5
0～5歳	40	65.0	27.5	2.5	2.5	2.5	-
6～17歳	197	58.9	32.5	2.5	3.0	1.0	2.0
18～39歳	326	41.7	39.6	6.4	6.7	3.4	2.1
40～64歳	444	39.0	27.3	14.4	7.4	3.6	8.3
65～74歳	175	23.4	22.3	20.0	13.1	10.9	10.3
75歳以上	188	13.8	18.6	16.0	18.6	16.0	17.0
無回答	21	28.6	19.0	9.5	4.8	9.5	28.6

【障害種別－日常の生活に必要な外出】

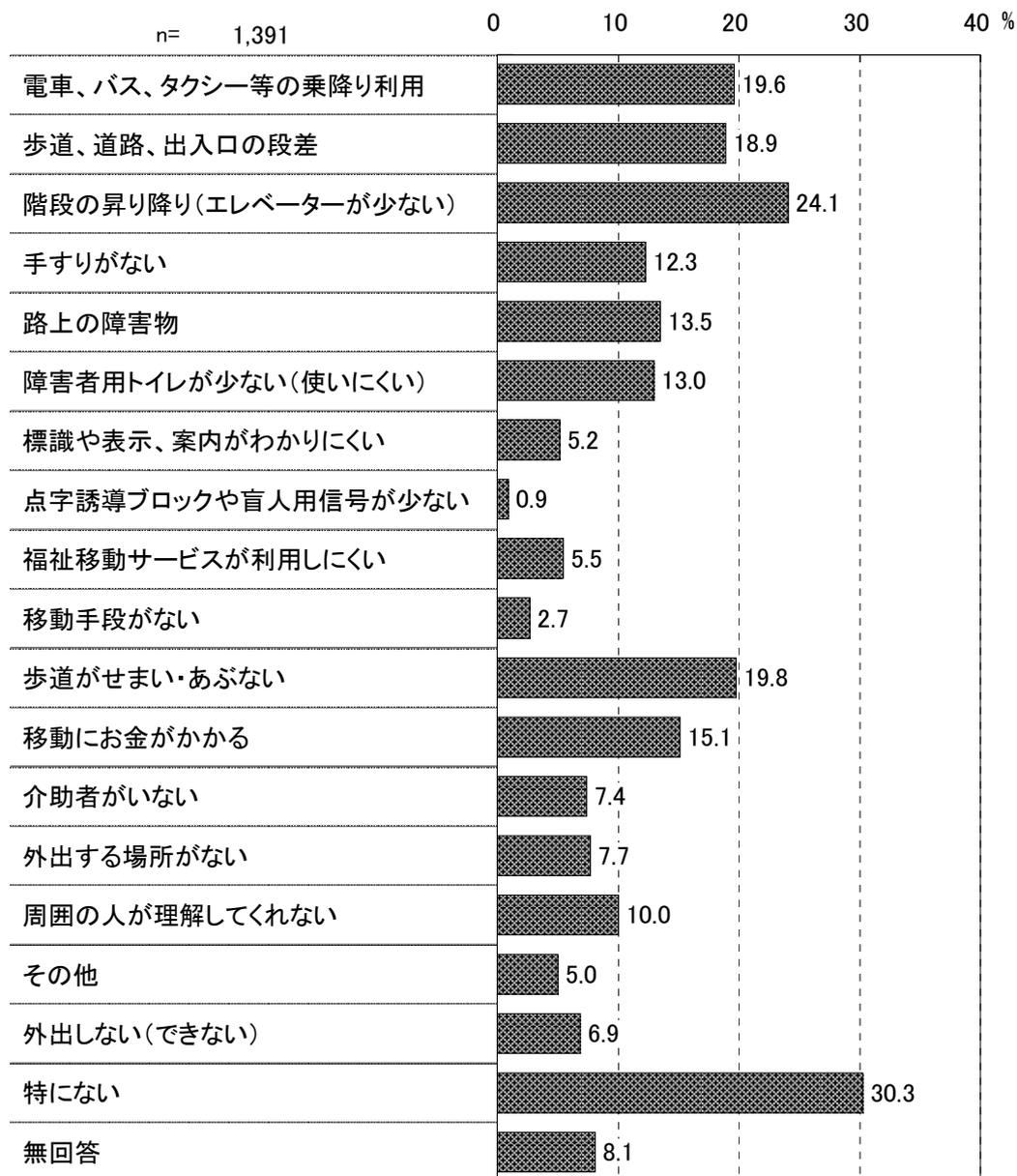
日常の生活に必要な外出について障害種別にみると、「ほぼ毎日」では“発達障害”で5割近く、“知的障害”で4割半ばと割合が高くなっています。

(%)

	n	ほぼ毎日	週3～6日 程度	週1～2日 程度	1か月に数 回	ほとんどし ない	無回答
合計	1,391	37.7	29.0	11.4	8.7	5.8	7.5
身体障害	600	29.3	28.5	12.7	12.2	8.8	8.5
知的障害	435	46.2	32.4	5.5	4.8	6.0	5.1
発達障害	146	48.6	35.6	6.8	2.7	4.8	1.4
精神障害	223	34.5	34.5	13.9	6.3	4.0	6.7
高次脳機能 障害	26	30.8	26.9	15.4	3.8	23.1	-
難病（特定 疾病）	340	35.3	29.7	11.8	12.1	5.9	5.3
その他	33	33.3	30.3	15.2	9.1	6.1	6.1
無回答	25	32.0	20.0	12.0	4.0	4.0	28.0

問 30 あなたが外出するときに、困ったり、不便に思うのはどのようなことですか。(あてはまるものすべてに○)

外出するときに、困ったり、不便に思うことについては、「階段の昇り降り(エレベーターが少ない)」が24.1%、「歩道がせまい・あぶない」が19.8%、「電車、バス、タクシー等の乗降り利用」が19.6%、「歩道、道路、出入口の段差」が18.9%などとなっています。また、「特にない」が30.3%となっています。



【年齢区分別】

「階段の昇り降り（エレベーターが少ない）」では65歳以上で4割前後、「手すりがない」では“65～74歳”で3割近く、“75歳以上”で2割を超え割合が高くなっています。「歩道がせまい・あぶない」では“6～17歳”で3割近くと他の年齢区分と比べて割合が高くなっています。また、「介助者がいない」では“6～17歳”で2割を超え割合が高くなっています。

(%)

	n	電車、バス、タクシー等の乗降り利用	歩道、道路、出入口の段差	階段の昇り降り（エレベーターが少ない）	手すりがない	路上の障害物	障害者用トイレが少ない（使いにくい）	標識や表示、案内がわかりにくい	点字誘導ブロックや盲人用信号が少ない	福祉移動サービスが利用しにくい	移動手段がない
合計	1,391	19.6	18.9	24.1	12.3	13.5	13.0	5.2	0.9	5.5	2.7
0～5歳	40	25.0	20.0	12.5	-	12.5	22.5	-	2.5	5.0	2.5
6～17歳	197	26.9	18.8	20.8	7.6	14.2	23.4	5.6	1.0	11.2	5.1
18～39歳	326	16.0	13.5	16.0	6.7	11.3	13.5	5.8	1.2	7.1	2.1
40～64歳	444	14.9	15.1	20.0	9.7	10.8	9.2	4.1	0.5	4.3	1.8
65～74歳	175	21.1	27.4	40.6	28.0	20.0	10.9	8.0	1.7	1.7	2.9
75歳以上	188	27.1	29.8	38.8	21.3	18.1	11.2	5.3	0.5	4.3	3.7
無回答	21	19.0	14.3	19.0	9.5	4.8	4.8	4.8	-	-	-

	n	歩道がせまい・あぶない	移動にお金がかかる	介助者がいない	外出する場所がない	周囲の人が理解してくれない	その他	外出しにくい（できない）	特にない	無回答
合計	1,391	19.8	15.1	7.4	7.7	10.0	5.0	6.9	30.3	8.1
0～5歳	40	10.0	12.5	2.5	12.5	17.5	15.0	-	32.5	-
6～17歳	197	28.4	15.7	20.3	16.2	20.8	8.1	3.6	25.9	2.0
18～39歳	326	19.9	17.5	6.7	8.9	16.3	5.2	5.8	35.0	4.6
40～64歳	444	16.7	16.9	4.1	6.1	6.5	4.1	6.3	35.8	9.9
65～74歳	175	23.4	10.3	4.6	2.9	2.9	6.3	9.1	20.6	12.6
75歳以上	188	17.0	12.8	6.9	4.3	1.6	0.5	13.3	20.7	12.8
無回答	21	19.0	-	4.8	4.8	4.8	4.8	4.8	42.9	14.3

【障害種別】

“身体障害”では「階段の昇り降り（エレベーターが少ない）」で4割近く、「歩道、道路、出入口の段差」で3割を超え割合が高くなっています。また、「周囲の人が理解してくれない」では“発達障害”で2割を超え他の障害と比べて割合が高くなっています。

(96)

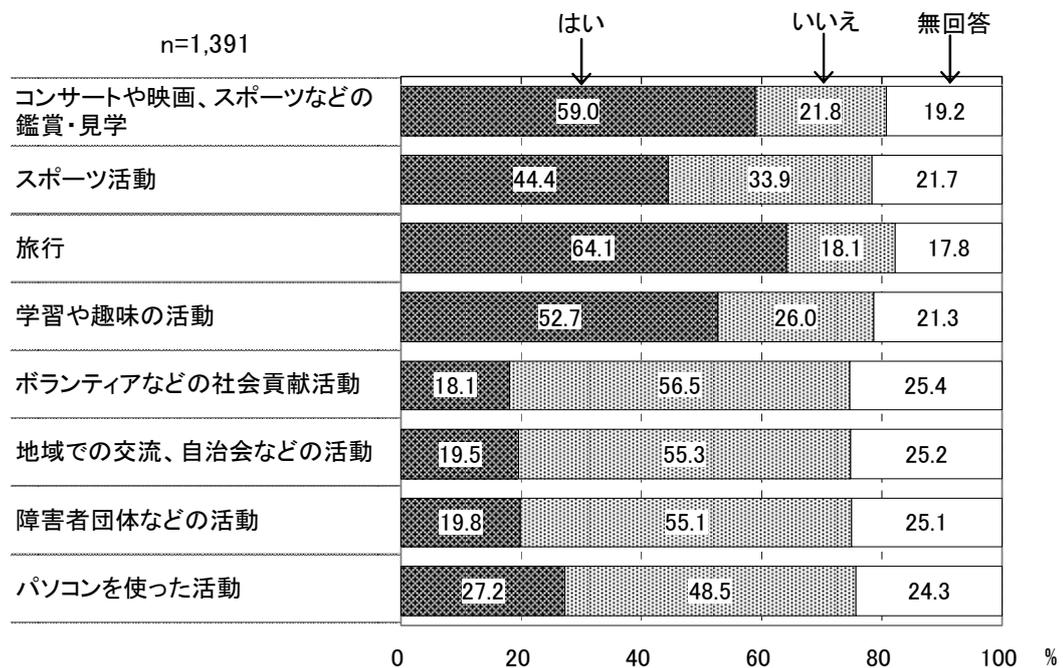
	n	電車、バス、タクシー等の乗降り利用	歩道、道路、出入口の段差	階段の昇り降り（エレベーターが少ない）	手すりがない	路上の障害物	障害者用トイレが少ない（使いにくい）	標識や表示、案内がわかりにくい	点字誘導ブロックや盲人用信号が少ない	福祉移動サービスが利用しにくい	移動手段がない
合計	1,391	19.6	18.9	24.1	12.3	13.5	13.0	5.2	0.9	5.5	2.7
身体障害	600	27.8	31.5	37.2	19.2	21.8	21.7	6.3	2.0	8.0	3.7
知的障害	435	21.8	16.8	18.6	6.7	13.1	18.2	6.2	1.1	11.3	4.4
発達障害	146	17.8	11.0	12.3	6.2	9.6	16.4	4.8	1.4	8.2	6.2
精神障害	223	14.3	7.6	11.2	5.4	8.5	8.5	3.6	0.4	4.9	2.2
高次脳機能障害	26	19.2	23.1	23.1	23.1	23.1	7.7	7.7	3.8	11.5	7.7
難病（特定疾病）	340	15.0	19.4	29.4	17.6	13.8	8.8	5.0	1.2	3.2	2.6
その他	33	27.3	21.2	21.2	9.1	18.2	9.1	-	-	3.0	3.0
無回答	25	16.0	12.0	16.0	12.0	8.0	4.0	8.0	4.0	4.0	-

	n	歩道がせまい・あぶない	移動にお金がかかる	介助者がいない	外出する場所がない	周囲の人が理解してくれない	その他	外出しない（できない）	特にない	無回答
合計	1,391	19.8	15.1	7.4	7.7	10.0	5.0	6.9	30.3	8.1
身体障害	600	29.0	16.3	8.7	8.2	7.7	5.0	8.8	19.7	7.8
知的障害	435	21.6	14.3	14.9	13.8	17.2	5.5	6.4	24.8	7.6
発達障害	146	17.1	22.6	17.8	19.9	23.3	8.9	7.5	27.4	3.4
精神障害	223	14.3	22.4	4.5	9.4	12.1	6.7	9.9	38.1	9.0
高次脳機能障害	26	23.1	23.1	19.2	7.7	19.2	11.5	19.2	11.5	3.8
難病（特定疾病）	340	19.1	14.1	3.2	2.4	5.6	4.4	5.3	36.8	6.2
その他	33	18.2	12.1	-	6.1	18.2	9.1	3.0	21.2	15.2
無回答	25	12.0	12.0	4.0	8.0	12.0	-	4.0	36.0	24.0

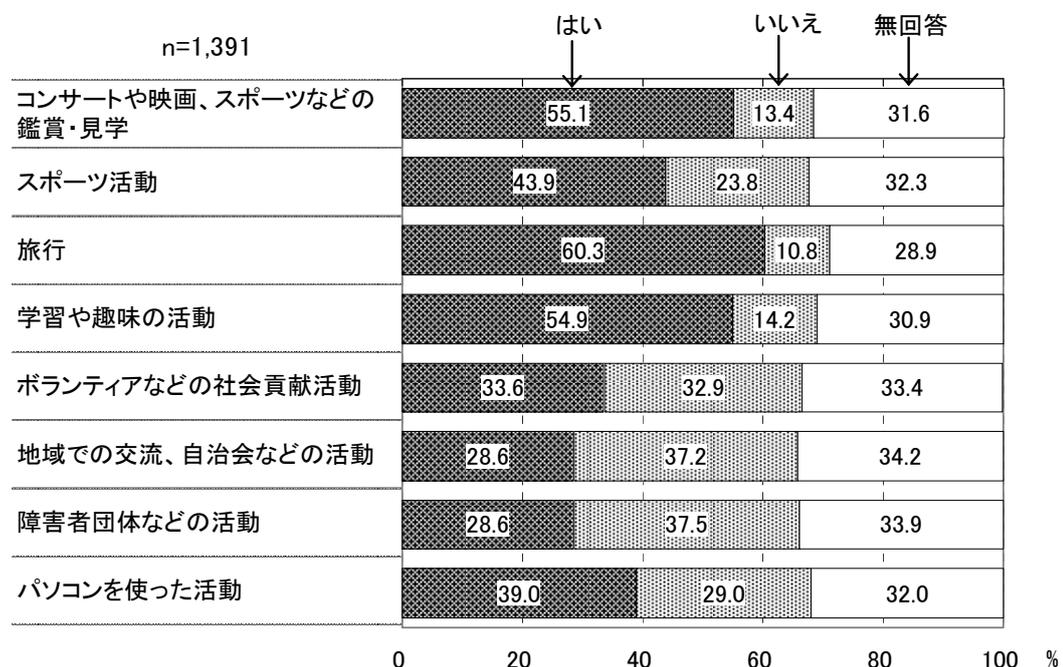
問 31 これまでに取り組んだことのある趣味や学習、スポーツ、社会活動などがありますか。また、今後取り組みたい（取り組み続けたい）ものがありますか。（①～⑧について取り組んだもの、取り組みたいものそれぞれ1つに○）

取り組んだことのある趣味や学習、スポーツ、社会活動などについて、「はい」で“旅行”と“コンサートや映画、スポーツなどの鑑賞・見学”が6割前後、“学習や趣味の活動”が5割を超え、“スポーツ活動”が4割半ばとなっています。一方、「いいえ」では、“ボランティアなどの社会貢献活動”“地域での交流、自治会などの活動”“障害者団体などの活動”が5割半ば、“パソコンを使った活動”でも5割近くとなっています。また、今後取り組みたい（取り組み続けたい）ものについて、「はい」では“旅行”が6割を超え、“コンサートや映画、スポーツなどの鑑賞・見学”と“学習や趣味の活動”でも5割半ばとなっています。

【取り組んだことのある趣味や学習、スポーツ、社会活動など】



【今後取り組みたい（取り組み続けたい）趣味や学習、スポーツ、社会活動など】



【障害種別－コンサートや映画、スポーツなどの鑑賞・見学】

コンサートや映画、スポーツなどの鑑賞・見学に取り組んだ経験について、障害種別にみると、「はい」では“精神障害”と“難病（特定疾病）”で7割近くと他の障害と比べて割合が高くなっています。

また、今後の取組意向については、「はい」では“発達障害”で7割近くと割合が高くなっています。

	問31①取り組んだ経験			
	n	はい	いいえ	無回答
合計	1,391	59.0	21.8	19.2
身体障害	600	51.3	25.3	23.3
知的障害	435	59.8	24.1	16.1
発達障害	146	61.6	29.5	8.9
精神障害	223	67.3	18.8	13.9
高次脳機能障害	26	50.0	30.8	19.2
難病（特定疾病）	340	66.8	17.6	15.6
その他	33	48.5	27.3	24.2
無回答	25	48.0	16.0	36.0

(%)

	問31①取組意向			
	n	はい	いいえ	無回答
合計	1,391	55.1	13.4	31.6
身体障害	600	51.0	14.5	34.5
知的障害	435	60.9	11.0	28.0
発達障害	146	68.5	11.0	20.5
精神障害	223	55.6	17.5	26.9
高次脳機能障害	26	61.5	15.4	23.1
難病（特定疾病）	340	57.9	11.5	30.6
その他	33	54.5	9.1	36.4
無回答	25	32.0	20.0	48.0

【障害種別－スポーツ活動】

スポーツ活動に取り組んだ経験について、障害種別にみると、「はい」では“発達障害”で5割半ばと他の障害と比べて割合が高くなっています。

また、今後の取組意向については、「はい」では“発達障害”で6割を超え割合が高くなっています。

(%)

	問31②取り組んだ経験			
	n	はい	いいえ	無回答
合計	1,391	44.4	33.9	21.7
身体障害	600	34.5	38.2	27.3
知的障害	435	49.7	32.0	18.4
発達障害	146	55.5	33.6	11.0
精神障害	223	44.8	39.5	15.7
高次脳機能障害	26	46.2	42.3	11.5
難病（特定疾病）	340	48.8	34.1	17.1
その他	33	24.2	48.5	27.3
無回答	25	32.0	20.0	48.0

(%)

	問31②取組意向			
	n	はい	いいえ	無回答
合計	1,391	43.9	23.8	32.3
身体障害	600	36.0	25.5	38.5
知的障害	435	55.9	17.2	26.9
発達障害	146	63.0	17.1	19.9
精神障害	223	43.9	28.7	27.4
高次脳機能障害	26	38.5	38.5	23.1
難病（特定疾病）	340	42.9	27.1	30.0
その他	33	45.5	15.2	39.4
無回答	25	20.0	24.0	56.0

【障害種別－旅行】

旅行の経験について、障害種別にみると、「はい」では“発達障害”と“知的障害”で7割を超え他の障害と比べて割合が高くなっています。

また、今後の取組意向については、「はい」では“発達障害”で7割を超え割合が高くなっています。

(%)

	問31③取り組んだ経験			
	n	はい	いいえ	無回答
合計	1,391	64.1	18.1	17.8
身体障害	600	61.5	18.5	20.0
知的障害	435	70.3	15.2	14.5
発達障害	146	71.9	20.5	7.5
精神障害	223	58.3	27.4	14.3
高次脳機能障害	26	61.5	19.2	19.2
難病（特定疾病）	340	67.4	16.8	15.9
その他	33	54.5	24.2	21.2
無回答	25	48.0	12.0	40.0

(%)

	問31③取組意向			
	n	はい	いいえ	無回答
合計	1,391	60.3	10.8	28.9
身体障害	600	58.5	9.5	32.0
知的障害	435	69.2	6.4	24.4
発達障害	146	70.5	11.0	18.5
精神障害	223	55.6	19.7	24.7
高次脳機能障害	26	69.2	7.7	23.1
難病（特定疾病）	340	61.5	11.5	27.1
その他	33	54.5	12.1	33.3
無回答	25	44.0	4.0	52.0

【障害種別－学習や趣味の活動】

学習や趣味の活動に取り組んだ経験について、障害種別にみると、「はい」では“精神障害”と“難病（特定疾病）”で6割を超え他の障害と比べて割合が高くなっています。

また、今後の取組意向については、「はい」では“発達障害”で7割を超え割合が高くなっています。

(%)

	問31④ 取り組んだ経験			
	n	はい	いいえ	無回答
合計	1,391	52.7	26.0	21.3
身体障害	600	44.5	30.0	25.5
知的障害	435	50.1	32.4	17.5
発達障害	146	58.9	28.8	12.3
精神障害	223	63.7	17.5	18.8
高次脳機能障害	26	46.2	38.5	15.4
難病（特定疾病）	340	60.3	22.6	17.1
その他	33	54.5	27.3	18.2
無回答	25	32.0	20.0	48.0

(%)

	問31④ 取組意向			
	n	はい	いいえ	無回答
合計	1,391	54.9	14.2	30.9
身体障害	600	47.8	16.0	36.2
知的障害	435	59.8	13.6	26.7
発達障害	146	71.2	7.5	21.2
精神障害	223	61.0	14.8	24.2
高次脳機能障害	26	57.7	23.1	19.2
難病（特定疾病）	340	59.4	12.6	27.9
その他	33	51.5	9.1	39.4
無回答	25	32.0	12.0	56.0

【障害種別－ボランティアなどの社会貢献活動】

ボランティアなどの社会貢献活動に取り組んだ経験について、障害種別にみると、「はい」では“精神障害”と“難病（特定疾病）”で2割半ばと他の障害と比べて割合が高くなっています。

また、今後の取組意向については、「はい」では“高次脳機能障害”で4割半ば、“発達障害”と“難病（特定疾病）”でも4割を超え割合が高くなっています。

(%)

	問31⑤取り組んだ経験			
	n	はい	いいえ	無回答
合計	1,391	18.1	56.5	25.4
身体障害	600	15.5	55.3	29.2
知的障害	435	11.0	67.8	21.1
発達障害	146	17.1	69.9	13.0
精神障害	223	25.6	52.0	22.4
高次脳機能障害	26	15.4	57.7	26.9
難病（特定疾病）	340	24.7	55.6	19.7
その他	33	9.1	57.6	33.3
無回答	25	16.0	36.0	48.0

(%)

	問31⑤取組意向			
	n	はい	いいえ	無回答
合計	1,391	33.6	32.9	33.4
身体障害	600	27.8	32.8	39.3
知的障害	435	33.3	36.6	30.1
発達障害	146	42.5	39.7	17.8
精神障害	223	36.3	38.1	25.6
高次脳機能障害	26	46.2	23.1	30.8
難病（特定疾病）	340	40.3	29.7	30.0
その他	33	30.3	24.2	45.5
無回答	25	16.0	28.0	56.0

【障害種別－地域での交流、自治会などの活動】

地域での交流、自治会などの活動に取り組んだ経験について、障害種別にみると、「はい」では“発達障害”で2割半ばと他の障害と比べて割合がやや高くなっています。

また、今後の取組意向については、「はい」では“発達障害”と“知的障害”で4割近くと割合が高くなっています。

(%)

	問31⑥ 取り組んだ経験			
	n	はい	いいえ	無回答
合計	1,391	19.5	55.3	25.2
身体障害	600	19.5	51.2	29.3
知的障害	435	21.1	57.2	21.6
発達障害	146	24.7	61.6	13.7
精神障害	223	14.3	63.7	22.0
高次脳機能障害	26	19.2	53.8	26.9
難病（特定疾病）	340	21.2	58.5	20.3
その他	33	30.3	45.5	24.2
無回答	25	12.0	36.0	52.0

(%)

	問31⑥ 取組意向			
	n	はい	いいえ	無回答
合計	1,391	28.6	37.2	34.2
身体障害	600	27.2	33.3	39.5
知的障害	435	37.2	33.3	29.4
発達障害	146	38.4	42.5	19.2
精神障害	223	26.9	45.7	27.4
高次脳機能障害	26	34.6	34.6	30.8
難病（特定疾病）	340	25.3	42.1	32.6
その他	33	27.3	24.2	48.5
無回答	25	16.0	32.0	52.0

【障害種別－障害者団体などの活動】

障害者団体などの活動に取り組んだ経験について、障害種別にみると、「はい」では“発達障害”“知的障害”“高次脳機能障害”“精神障害”で3割以上と他の障害と比べて割合が高くなっています。

また、今後の取組意向については、「はい」では“発達障害”で4割半ば、“知的障害”でも4割を超え割合が高くなっています。

(%)

	問31⑦取り組んだ経験			
	n	はい	いいえ	無回答
合計	1,391	19.8	55.1	25.1
身体障害	600	17.8	52.2	30.0
知的障害	435	31.7	48.7	19.5
発達障害	146	33.6	54.8	11.6
精神障害	223	30.0	51.1	18.8
高次脳機能障害	26	30.8	42.3	26.9
難病（特定疾病）	340	7.9	70.3	21.8
その他	33	15.2	51.5	33.3
無回答	25	16.0	32.0	52.0

(%)

	問31⑦取組意向			
	n	はい	いいえ	無回答
合計	1,391	28.6	37.5	33.9
身体障害	600	24.8	35.2	40.0
知的障害	435	43.0	29.0	28.0
発達障害	146	45.9	36.3	17.8
精神障害	223	34.1	40.4	25.6
高次脳機能障害	26	34.6	26.9	38.5
難病（特定疾病）	340	19.1	48.2	32.6
その他	33	21.2	27.3	51.5
無回答	25	16.0	28.0	56.0

【障害種別ーパソコンを使った活動】

パソコンを使った活動に取り組んだ経験について、障害種別にみると、「はい」では“精神障害”で4割近くと他の障害と比べて割合が高くなっています。

また、今後の取組意向については、「はい」では“発達障害”で5割半ばと割合が高くなっています。

(%)

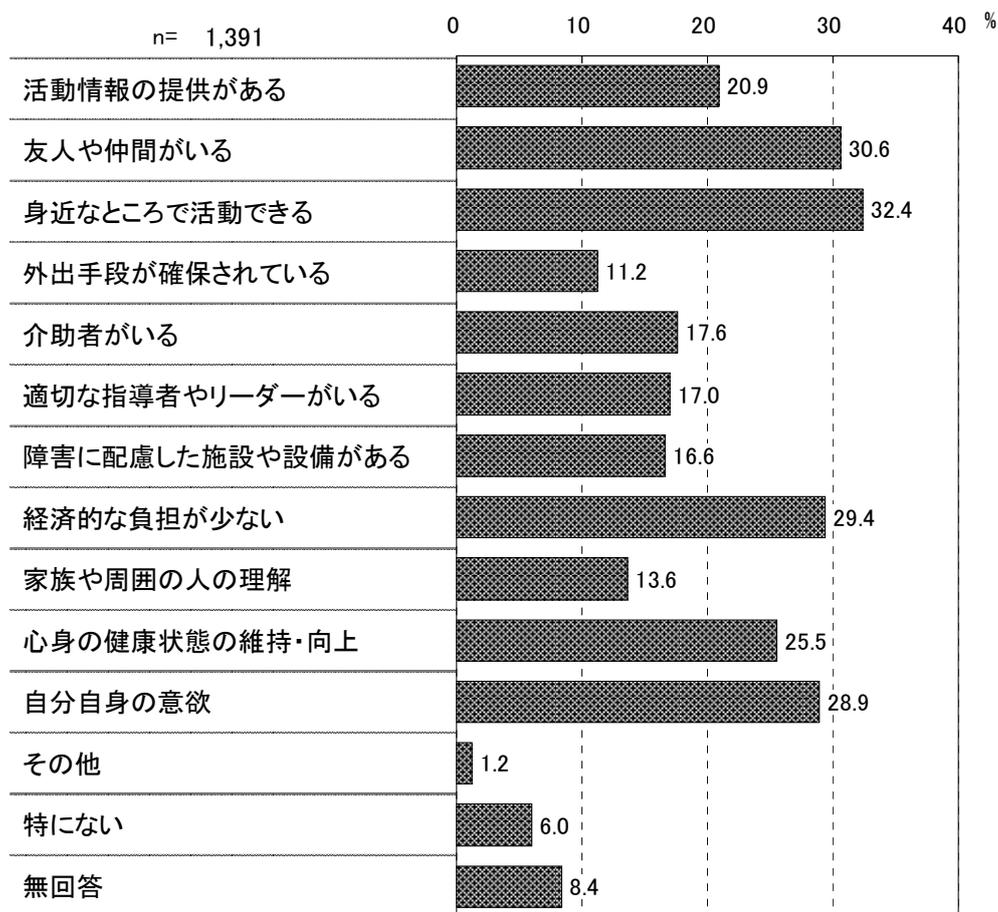
	問31⑧ 取り組んだ経験			
	n	はい	いいえ	無回答
合計	1,391	27.2	48.5	24.3
身体障害	600	21.2	50.0	28.8
知的障害	435	19.3	60.9	19.8
発達障害	146	32.9	56.2	11.0
精神障害	223	38.6	41.3	20.2
高次脳機能障害	26	30.8	42.3	26.9
難病（特定疾病）	340	34.1	46.5	19.4
その他	33	24.2	51.5	24.2
無回答	25	12.0	36.0	52.0

(%)

	問31⑧ 取組意向			
	n	はい	いいえ	無回答
合計	1,391	39.0	29.0	32.0
身体障害	600	33.5	29.7	36.8
知的障害	435	39.1	31.5	29.4
発達障害	146	56.2	26.7	17.1
精神障害	223	46.2	28.3	25.6
高次脳機能障害	26	42.3	30.8	26.9
難病（特定疾病）	340	40.3	30.3	29.4
その他	33	45.5	18.2	36.4
無回答	25	20.0	28.0	52.0

問 32 あなたが社会活動、余暇活動に参加するためには、どのような条件が必要だと思いますか。（3つまで○）

社会活動、余暇活動に参加するためには、どのような条件が必要だと思うかについては、「身近なところで活動できる」が最も多く 32.4%、次いで「友人や仲間がいる」が 30.6%、「経済的な負担が少ない」が 29.4%、「自分自身の意欲」が 28.9%、「心身の健康状態の維持・向上」が 25.5%などとなっています。



【年齢区分別】

「身近なところで活動できる」と「友人や仲間がいる」では17歳までで4割以上と割合が高く、年齢が高くなるにつれて割合が低くなる傾向にあります。「経済的な負担が少ない」では“40～64歳”で4割近くと他の年齢区分と比べて割合が高くなっています。また、「介助者がいる」と「適切な指導者やリーダーがいる」では“6～17歳”で4割近くと割合が高くなっています。

(%)

	n	活動情報の提供がある	友人や仲間がいる	身近なところで活動できる	外出手段が確保されている	介助者がいる	適切な指導者やリーダーがいる	障害に配慮した施設や設備がある
合計	1,391	20.9	30.6	32.4	11.2	17.6	17.0	16.6
0～5歳	40	35.0	40.0	42.5	17.5	35.0	25.0	47.5
6～17歳	197	23.9	41.1	41.1	18.8	38.6	38.6	27.4
18～39歳	326	23.0	36.2	37.4	11.7	22.1	20.9	18.1
40～64歳	444	23.2	28.2	30.6	6.8	6.8	12.2	13.5
65～74歳	175	18.3	22.3	28.6	10.9	10.3	8.0	10.3
75歳以上	188	10.1	21.3	21.3	13.3	17.6	6.4	9.6
無回答	21	4.8	33.3	23.8	-	9.5	9.5	14.3

	n	経済的な負担が少ない	家族や周囲の人の理解	心身の健康状態の維持・向上	自分自身の意欲	その他	特になし	無回答
合計	1,391	29.4	13.6	25.5	28.9	1.2	6.0	8.4
0～5歳	40	30.0	22.5	15.0	27.5	-	-	-
6～17歳	197	24.9	19.3	14.2	18.3	0.5	2.0	-
18～39歳	326	34.0	14.4	22.1	30.4	1.2	3.7	3.7
40～64歳	444	37.6	13.5	31.3	32.4	1.6	6.5	9.0
65～74歳	175	25.1	8.0	24.0	30.9	2.3	8.0	16.6
75歳以上	188	12.2	10.1	34.6	29.3	-	11.2	17.0
無回答	21	14.3	9.5	14.3	14.3	-	14.3	19.0

【障害種別】

「経済的な負担が少ない」では“精神障害”で4割近く、「心身の健康状態の維持・向上」では“難病（特定疾病）”で4割近くと割合が高くなっています。また、「介助者がいる」では“知的障害”で3割半ばと他の障害と比べて割合が高くなっています。

(%)

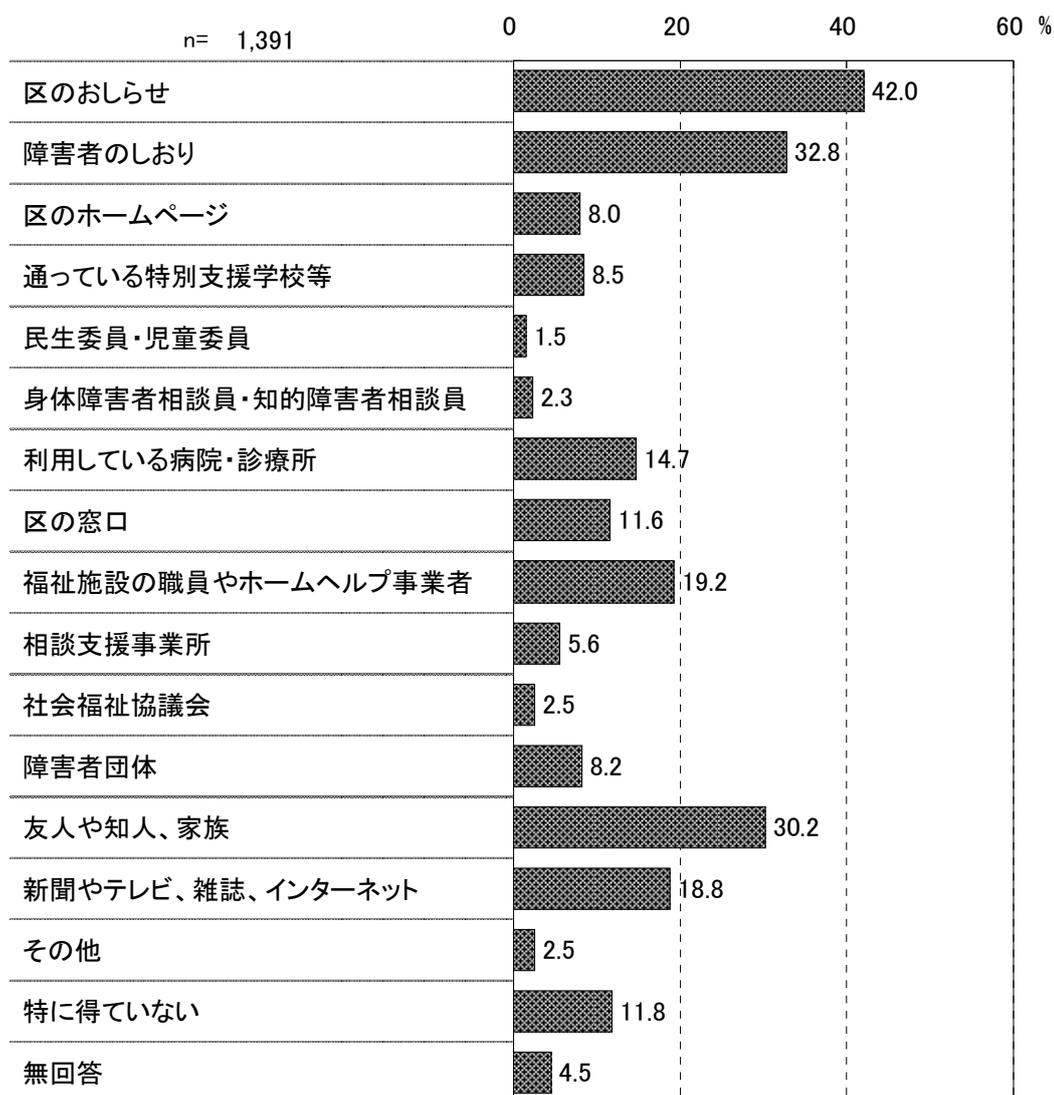
	n	活動情報の提供がある	友人や仲間がいる	身近なところで活動できる	外出手段が確保されている	介助者がいる	適切な指導者やリーダーがいる	障害に配慮した施設や設備がある
合計	1,391	20.9	30.6	32.4	11.2	17.6	17.0	16.6
身体障害	600	19.2	26.7	31.0	16.5	23.8	12.3	22.2
知的障害	435	18.4	33.1	35.4	16.1	36.6	31.5	24.8
発達障害	146	17.8	30.8	36.3	15.8	29.5	29.5	24.0
精神障害	223	28.3	34.5	34.5	9.0	6.3	18.8	17.0
高次脳機能障害	26	19.2	30.8	26.9	15.4	23.1	11.5	15.4
難病（特定疾病）	340	22.1	29.4	32.9	8.8	8.5	6.5	7.9
その他	33	15.2	24.2	18.2	-	3.0	15.2	18.2
無回答	25	12.0	36.0	24.0	-	8.0	8.0	4.0

	n	経済的な負担が少ない	家族や周囲の人の理解	心身の健康状態の維持・向上	自分自身の意欲	その他	特にない	無回答
合計	1,391	29.4	13.6	25.5	28.9	1.2	6.0	8.4
身体障害	600	22.7	12.2	26.8	26.5	1.3	6.0	10.2
知的障害	435	23.2	14.3	12.0	14.9	1.1	4.8	7.4
発達障害	146	32.2	21.2	15.8	30.8	1.4	2.1	3.4
精神障害	223	37.2	11.2	29.1	34.1	1.3	6.7	7.2
高次脳機能障害	26	26.9	19.2	19.2	34.6	-	7.7	7.7
難病（特定疾病）	340	39.4	12.6	38.5	38.8	1.2	5.0	6.5
その他	33	18.2	15.2	36.4	36.4	3.0	6.1	18.2
無回答	25	20.0	16.0	12.0	12.0	-	8.0	28.0

8. 相談や福祉の情報について

問 33 あなたは、福祉のサービスに関する情報をどこから（だれから）得ていますか。
 （あてはまるものすべてに○）

福祉のサービスに関する情報をどこから（だれから）得ているかについては、「区のおしらせ」が最も多く 42.0%、次いで「障害者のしおり」が 32.8%、「友人や知人、家族」が 30.2% などとなっています。



【年齢区分別】

「区のおしらせ」では“65～74歳”で5割を超え、「障害者のしおり」では“6～17歳”で5割近くと他の年齢区分と比べて割合が高くなっています。「友人や知人、家族」では17歳までで5割以上と割合が高く、年齢区分が高くなるにつれて割合が低くなる傾向にあります。また、「通っている特別支援学校等」では“6～17歳”で4割を超え割合が高くなっています。

(%)

	n	区のおしらせ	障害者のしおり	区のホームページ	通っている特別支援学校等	民生委員・児童委員	身体障害者相談員・知的障害者相談員	利用している病院・診療所	区の窓口	福祉施設の職員やホームヘルプ事業者
合計	1,391	42.0	32.8	8.0	8.5	1.5	2.3	14.7	11.6	19.2
0～5歳	40	30.0	37.5	17.5	12.5	-	-	17.5	10.0	17.5
6～17歳	197	42.1	48.2	10.7	43.7	1.5	3.6	7.6	12.7	12.2
18～39歳	326	40.2	36.2	8.9	3.7	0.6	3.1	14.4	11.0	26.1
40～64歳	444	38.5	27.9	6.8	2.7	0.5	1.8	18.2	13.5	20.5
65～74歳	175	50.3	34.3	6.9	1.1	1.1	2.3	16.0	13.1	11.4
75歳以上	188	47.3	19.1	5.9	-	6.4	1.1	12.2	6.4	19.1
無回答	21	47.6	38.1	4.8	4.8	-	4.8	14.3	9.5	19.0

	n	相談支援事業所	社会福祉協議会	障害者団体	友人や知人、家族	新聞やテレビ、雑誌、インターネット	その他	特に得ていない	無回答
合計	1,391	5.6	2.5	8.2	30.2	18.8	2.5	11.8	4.5
0～5歳	40	7.5	-	10.0	50.0	15.0	7.5	10	-
6～17歳	197	3.6	1.0	14.2	56.3	16.2	2.0	5.6	0.5
18～39歳	326	7.4	1.8	12.6	33.7	18.1	3.7	14.1	0.9
40～64歳	444	5.4	2.5	5.9	22.3	20.5	2.5	12.4	5.6
65～74歳	175	5.1	2.9	4.6	20.0	18.9	1.1	12	8
75歳以上	188	4.8	4.8	3.2	21.3	19.1	1.6	14.4	8.5
無回答	21	9.5	9.5	4.8	23.8	19.0	-	-	14.3

【障害種別】

「友人や知人、家族」では“発達障害”で5割を超え、“知的障害”でも4割半ばと割合が高くなっています。また、「障害者のしおり」では“知的障害”で4割半ば、「利用している病院・診療所」では“精神障害”で3割近くと他の障害と比べて割合が高くなっています。

(%)

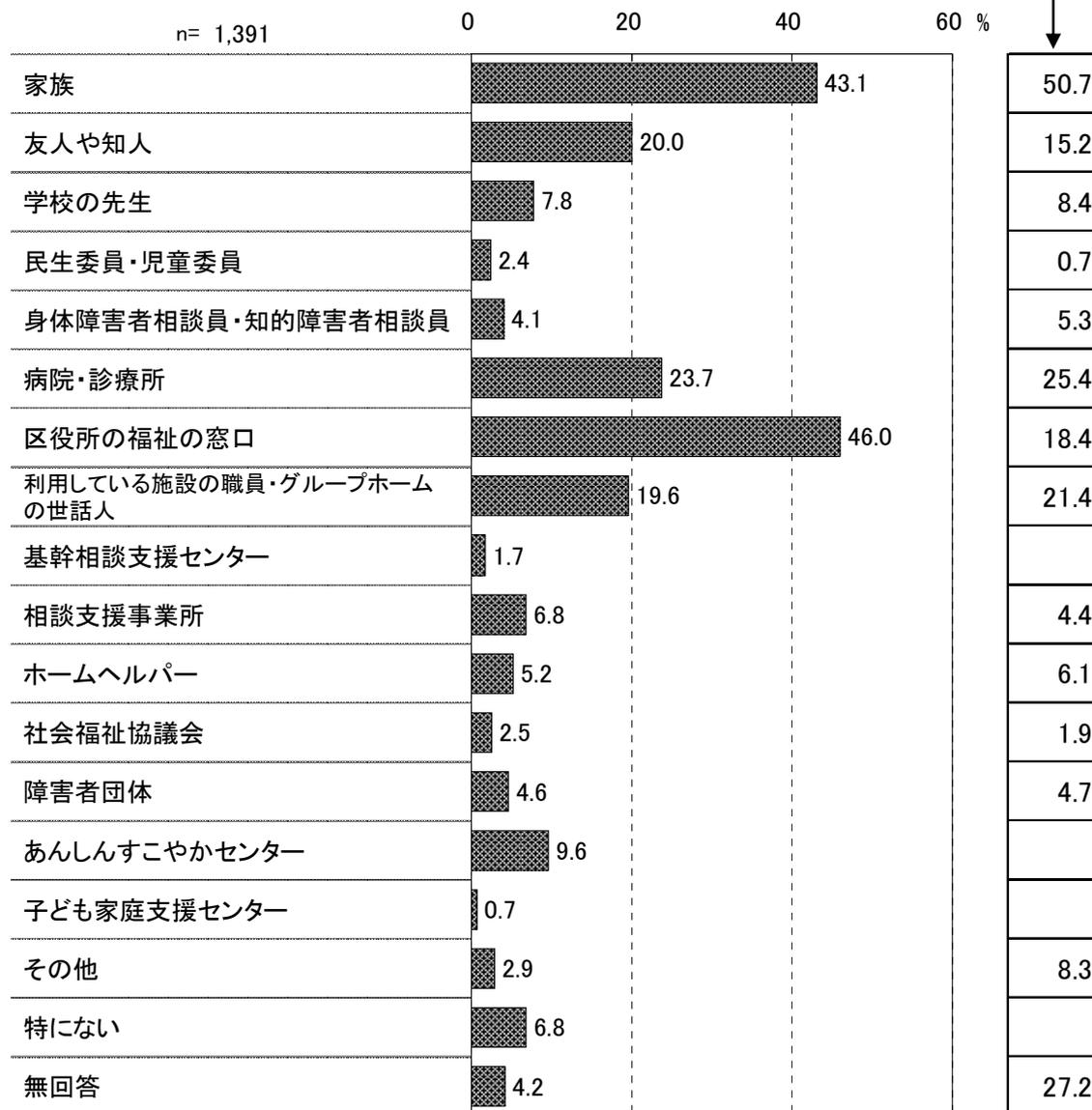
	n	区のおしらせ	障害者のしおり	区のホームページ	通っている特別支援学校等	民生委員・児童委員	身体障害者相談員・知的障害者相談員	利用している病院・診療所	区の窓口	福祉施設の職員やホームヘルプ事業者
合計	1,391	42.0	32.8	8.0	8.5	1.5	2.3	14.7	11.6	19.2
身体障害	600	44.5	40.3	7.3	9.2	1.7	2.5	10.8	12.3	19.0
知的障害	435	46.2	44.6	6.2	21.1	1.1	4.6	6.9	12.2	27.8
発達障害	146	35.6	37.0	9.6	26.7	1.4	4.1	14.4	11.0	25.3
精神障害	223	26.5	22.0	5.8	3.6	1.3	1.8	29.1	17.5	29.1
高次脳機能障害	26	50.0	15.4	3.8	-	-	3.8	23.1	11.5	50.0
難病（特定疾病）	340	46.2	24.7	11.5	1.8	1.2	0.3	20.3	10.3	7.4
その他	33	39.4	27.3	3.0	12.1	6.1	6.1	9.1	-	39.4
無回答	25	40.0	20.0	8.0	-	-	-	24.0	8.0	16.0

	n	相談支援事業所	社会福祉協議会	障害者団体	友人や知人、家族	新聞やテレビ、雑誌、インターネット	その他	特に得ていない	無回答
合計	1,391	5.6	2.5	8.2	30.2	18.8	2.5	11.8	4.5
身体障害	600	4.3	2.5	7.0	31.2	19.7	1.7	11.0	4.5
知的障害	435	7.4	2.5	17.2	45.3	11.0	3.7	6.2	2.5
発達障害	146	11.0	2.1	15.8	52.7	16.4	5.5	6.2	0.7
精神障害	223	9.9	3.1	7.6	27.8	21.5	4.5	12.6	5.4
高次脳機能障害	26	3.8	-	7.7	30.8	15.4	-	7.7	-
難病（特定疾病）	340	1.5	2.1	1.8	16.8	26.2	1.2	18.2	3.8
その他	33	3.0	6.1	9.1	42.4	27.3	3.0	9.1	3.0
無回答	25	8.0	4.0	4.0	20.0	20.0	-	8.0	24.0

問 34 福祉の相談をしたいときに、だれに（どこに）相談しますか。（あてはまるものすべてに○）

福祉の相談をしたいときに、だれに（どこに）相談するかについては、「区役所の福祉の窓口」が最も多く 46.0%、次いで「家族」が 43.1%、「病院・診療所」が 23.7%、「友人や知人」が 20.0%、「利用している施設の職員・グループホームの世話人」が 19.6%などとなっています。

【参考：第3期世田谷区障害福祉計画障害者児実態調査】



※選択肢の「友人や知人」は第3期世田谷区障害福祉計画障害者児実態調査では「友人」

【年齢区分別】

「家族」では“18～39 歳”と“0～5歳”で6割近く、「区役所の福祉の窓口」では“6～17 歳”と“40～64 歳”で5割以上と他の年齢区分と比べて割合が高くなっています。また、“病院・診療所”では“18～39 歳”“40～64 歳”で3割近くと他の年齢区分と比べて割合が高く、「友人や知人」では年齢区分が高くなるに連れて割合が低くなる傾向にあります。

(%)

	n	家族	友人や知人	学校の先生	民生委員・児童委員	身体障害者相談員・知的障害者相談員	病院・診療所	区役所の福祉の窓口	利用している施設の職員・グループホームの世話人	基幹相談支援センター
合計	1,391	43.1	20.0	7.8	2.4	4.1	23.7	46.0	19.6	1.7
0～5歳	40	57.5	47.5	2.5	-	5.0	12.5	37.5	30.0	2.5
6～17歳	197	43.7	38.1	42.6	1.5	3.6	17.8	53.8	13.7	-
18～39歳	326	57.7	19.9	5.2	0.6	4.6	28.2	44.2	35.0	3.1
40～64歳	444	34.7	16.4	1.1	2.5	4.1	28.2	50.0	20.0	1.4
65～74歳	175	34.9	16.6	-	2.9	4.0	20.6	45.1	6.3	2.9
75歳以上	188	42.6	7.4	-	6.9	3.2	17.6	34.0	9.6	0.5
無回答	21	33.3	14.3	4.8	-	9.5	14.3	47.6	4.8	-

	n	相談支援事業所	ホームヘルパー	社会福祉協議会	障害者団体	あんしんすこやかセンター	子ども家庭支援センター	その他	特にない	無回答
合計	1,391	6.8	5.2	2.5	4.6	9.6	0.7	2.9	6.8	4.2
0～5歳	40	-	2.5	-	7.5	-	2.5	7.5	7.5	-
6～17歳	197	6.1	4.6	2.0	8.1	-	2.0	3	4.6	1
18～39歳	326	11.0	2.8	0.6	5.2	0.6	0.3	4	5.5	2.5
40～64歳	444	6.5	5.4	2.7	4.1	4.5	0.5	1.8	7.2	6.1
65～74歳	175	4.6	2.9	3.4	2.9	18.9	0.6	2.3	9.7	6.9
75歳以上	188	4.3	12.2	5.3	2.1	39.4	0.5	3.2	8	4.8
無回答	21	4.8	9.5	4.8	4.8	19.0	-	-	4.8	4.8

【障害種別】

「区役所の福祉の窓口」では“身体障害”と“難病（特定疾病）”で5割近くとなっています。そのほか「病院・診療所」では“精神障害”で4割を超え、“難病（特定疾病）”でも3割半ばと割合が高くなっています。また、「利用している施設の職員・グループホームの世話人」では“精神障害”“知的障害”“発達障害”で3割を超え、「学校の先生」では“発達障害”で2割半ば、“知的障害”でも2割近くと他の障害と比べて割合が高くなっています。

(96)

	n	家族	友人や知人	学校の先生	民生委員・児童委員	身体障害者相談員・知的障害者相談員	病院・診療所	区役所の福祉の窓口	利用している施設の職員・グループホームの世話人	基幹相談支援センター
合計	1,391	43.1	20.0	7.8	2.4	4.1	23.7	46.0	19.6	1.7
身体障害	600	41.3	20.8	7.8	2.8	3.7	19.0	48.8	14.2	1.5
知的障害	435	50.3	26.0	19.3	1.1	7.1	12.4	48.7	32.9	2.1
発達障害	146	47.9	30.1	26.0	1.4	3.4	26.7	45.9	32.2	1.4
精神障害	223	36.8	21.1	2.7	1.3	2.7	40.4	40.8	34.1	0.9
高次脳機能障害	26	50.0	11.5	-	-	11.5	23.1	42.3	26.9	3.8
難病（特定疾病）	340	39.4	15.9	1.2	3.2	1.2	36.2	48.8	4.7	1.8
その他	33	45.5	27.3	3.0	3.0	12.1	18.2	36.4	30.3	-
無回答	25	36.0	24.0	4.0	4.0	8.0	24.0	40.0	20.0	4.0

	n	相談支援事業所	ホームヘルパー	社会福祉協議会	障害者団体	あんしんすこやかセンター	子ども家庭支援センター	その他	特にない	無回答
合計	1,391	6.8	5.2	2.5	4.6	9.6	0.7	2.9	6.8	4.2
身体障害	600	4.3	7.8	3.0	3.8	14.3	0.7	2.8	6.8	5.0
知的障害	435	10.1	4.1	1.6	8.0	1.4	1.1	3.7	2.8	3.0
発達障害	146	12.3	2.7	1.4	8.9	0.7	0.7	6.8	3.4	1.4
精神障害	223	10.8	7.6	3.1	4.5	3.1	-	4.0	5.8	7.2
高次脳機能障害	26	3.8	15.4	7.7	7.7	15.4	-	-	7.7	3.8
難病（特定疾病）	340	3.2	2.9	2.6	1.2	13.5	0.9	1.8	11.2	2.4
その他	33	-	6.1	9.1	9.1	18.2	-	3.0	6.1	6.1
無回答	25	8.0	12.0	4.0	8.0	16.0	4.0	-	8.0	20.0

【回答者別】

「区役所の福祉の窓口」では“父母”で5割を超え割合が高くなっています。

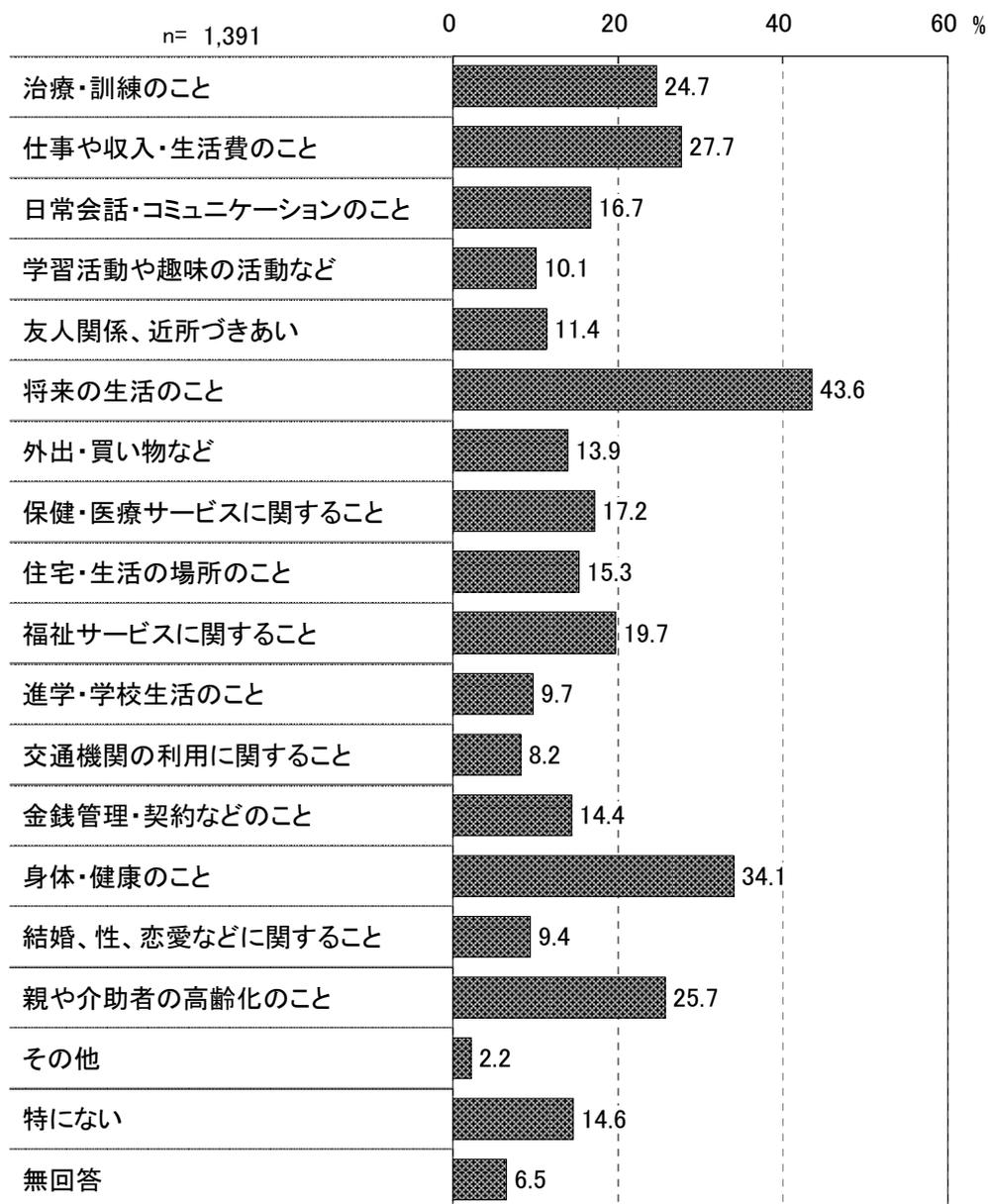
(%)

	n	家族	友人や知人	学校の先生	民生委員・児童委員	身体障害者相談員・知的障害者相談員	病院・診療所	区役所の福祉の窓口	利用している施設の職員・グループホームの世話人	基幹相談支援センター
合計	1,391	43.1	20.0	7.8	2.4	4.1	23.7	46.0	19.6	1.7
あなた（ご本人）	798	41.5	16.0	1.5	2.6	3.1	29.6	44.5	14.4	1.6
配偶者	38	31.6	7.9	-	2.6	2.6	13.2	36.8	15.8	2.6
父母	428	47.9	31.5	20.8	1.9	5.4	16.4	53.0	30.4	1.6
子（子の配偶者を含む）	56	50.0	14.3	12.5	3.6	5.4	16.1	33.9	12.5	1.8
兄弟姉妹	25	44.0	4.0	-	-	8.0	4.0	28.0	32.0	-
その他	19	10.5	-	-	5.3	10.5	26.3	42.1	26.3	-
無回答	27	37.0	11.1	-	3.7	3.7	11.1	37.0	3.7	3.7

	n	相談支援事業所	ホームヘルパー	社会福祉協議会	障害者団体	あんしんすこやかセンター	子ども家庭支援センター	その他	特にない	無回答
合計	1,391	6.8	5.2	2.5	4.6	9.6	0.7	2.9	6.8	4.2
あなた（ご本人）	798	6.1	4.6	3.4	2.5	12.3	0.6	2.3	8.3	4.4
配偶者	38	2.6	15.8	5.3	-	26.3	-	2.6	10.5	2.6
父母	428	9.3	4.2	1.4	9.1	0.7	1.2	3.7	2.3	3.5
子（子の配偶者を含む）	56	3.6	8.9	-	1.8	19.6	-	7.1	12.5	1.8
兄弟姉妹	25	-	8.0	-	8.0	16.0	-	-	20.0	8.0
その他	19	10.5	15.8	-	5.3	5.3	-	-	-	10.5
無回答	27	-	7.4	-	3.7	22.2	-	3.7	11.1	11.1

問 35 あなたがふだんの生活で困ったり、不安に思ったりして、相談したいと思っていることはどのようなことですか。(あてはまるものすべてに○)

ふだんの生活で困ったり、不安に思ったりして、相談したいと思っていることについては、「将来の生活のこと」が最も多く 43.6%、次いで「身体・健康のこと」が 34.1%、「仕事や収入・生活費のこと」が 27.7%、「親や介助者の高齢化のこと」が 25.7%、「治療・訓練のこと」が 24.7%などとなっています。



【年齢区分別】

「将来の生活のこと」では“18～39歳”でほぼ6割、“6～17歳”で5割半ば、「身体・健康のこと」では“40～64歳”で4割近くと割合が高くなっています。「仕事や収入・生活費のこと」では“18～39歳”と“40～64歳”で4割近くと他の年齢区分と比べて割合が高くなっています。「治療・訓練のこと」では年齢区分が高くなるにつれて割合が低くなる傾向にあります。また、「親や介助者の高齢化のこと」では“18～39歳”で3割半ばと他の年齢区分と比べて割合が高くなっています。

(%)

	n	治療・訓練のこと	仕事や収入・生活費のこと	日常会話・コミュニケーションのこと	学習活動や趣味の活動など	友人関係、近所づきあい	将来の生活のこと	外出・買い物など	保健・医療サービスに関すること	住宅・生活の場所のこと	福祉サービスに関すること
合計	1,391	24.7	27.7	16.7	10.1	11.4	43.6	13.9	17.2	15.3	19.7
0～5歳	40	55.0	15.0	35.0	5.0	10.0	50.0	2.5	10.0	7.5	25.0
6～17歳	197	32.0	20.3	35.0	25.9	20.8	56.9	22.8	17.3	18.8	28.4
18～39歳	326	24.5	37.1	19.9	11.7	14.1	59.5	12.9	19.0	16.0	18.4
40～64歳	444	22.5	38.1	13.5	7.2	11.7	41.4	12.4	15.3	18.5	16.2
65～74歳	175	24.0	13.7	5.7	5.1	3.4	32.6	10.3	18.3	12.6	19.4
75歳以上	188	18.1	10.6	7.4	3.7	4.8	19.1	15.4	19.1	7.4	20.2
無回答	21	9.5	23.8	-	4.8	4.8	19.0	14.3	14.3	14.3	19.0

	n	進学・学校生活のこと	交通機関の利用に関すること	金銭管理・契約などのこと	身体・健康のこと	結婚、性、恋愛などに関すること	親や介助者の高齢化のこと	その他	特になし	無回答
合計	1,391	9.7	8.2	14.4	34.1	9.4	25.7	2.2	14.6	6.5
0～5歳	40	67.5	7.5	7.5	10.0	7.5	15	12.5	7.5	2.5
6～17歳	197	47.7	19.8	21.3	23.4	13.2	28.4	2	9.1	2
18～39歳	326	1.8	4.9	23.6	33.4	16.0	36.8	2.8	11	2.5
40～64歳	444	1.8	7.4	14.6	39.0	10.1	28.8	2	16	7.4
65～74歳	175	-	5.7	2.9	37.7	1.7	13.7	0.6	18.9	8.6
75歳以上	188	-	6.9	3.2	36.7	0.5	10.6	1.1	20.2	14.9
無回答	21	-	-	9.5	33.3	4.8	19	4.8	19	4.8

【障害種別】

「将来の生活のこと」では“発達障害”と“高次脳機能障害”で6割近くと他の障害と比べて割合が高くなっています。「仕事や収入・生活費のこと」では“精神障害”で5割近くと割合が高くなっています。

(%)

	n	治療・訓練のこと	仕事や収入・生活費のこと	日常会話・コミュニケーションのこと	学習活動や趣味の活動など	友人関係、近所づきあい	将来の生活のこと	外出・買い物など	保健・医療サービスに関すること	住宅・生活の場所のこと	福祉サービスに関すること
合計	1,391	24.7	27.7	16.7	10.1	11.4	43.6	13.9	17.2	15.3	19.7
身体障害	600	27.0	19.0	13.2	7.8	8.3	37.0	13.7	19.3	12.7	23.5
知的障害	435	22.8	21.6	28.3	14.3	13.1	54.3	17.5	18.4	18.6	25.1
発達障害	146	28.8	30.8	39.7	21.2	21.9	58.2	21.9	17.1	23.3	30.8
精神障害	223	34.1	47.1	28.3	17.0	23.3	53.8	17.0	15.2	25.6	22.9
高次脳機能障害	26	53.8	38.5	30.8	23.1	15.4	57.7	30.8	19.2	11.5	26.9
難病（特定疾病）	340	25.6	32.6	4.4	5.6	6.2	40.3	9.1	22.4	13.2	15.3
その他	33	42.4	15.2	33.3	15.2	27.3	39.4	12.1	24.2	12.1	30.3
無回答	25	16.0	32.0	4.0	8.0	16.0	28.0	16.0	20.0	28.0	20.0

	n	進学・学校生活のこと	交通機関の利用に関すること	金銭管理・契約などのこと	身体・健康のこと	結婚、性、恋愛などに関すること	親や介助者の高齢化のこと	その他	特になし	無回答
合計	1,391	9.7	8.2	14.4	34.1	9.4	25.7	2.2	14.6	6.5
身体障害	600	11.7	9.0	9.7	36.7	4.7	22.3	2.2	17.2	7.3
知的障害	435	19.1	9.9	23.7	26.0	8.7	39.1	1.4	10.1	4.4
発達障害	146	32.2	12.3	29.5	26.0	19.9	36.3	2.1	8.9	2.1
精神障害	223	2.7	10.8	19.3	39.0	22.0	31.8	4.5	9.0	6.7
高次脳機能障害	26	15.4	15.4	19.2	46.2	19.2	38.5	-	11.5	7.7
難病（特定疾病）	340	3.2	6.2	6.8	45.0	6.2	18.5	1.5	15.0	5.0
その他	33	15.2	9.1	27.3	51.5	9.1	18.2	3.0	9.1	9.1
無回答	25	4.0	8.0	16.0	32.0	20.0	36.0	4.0	12.0	12.0

【福祉の相談先（問34）別】

「将来の生活のこと」では“基幹相談支援センター”で6割半ば、“学校の先生”と“障害者団体”で6割を超え他と比べて割合が高くなっています。また、「身体・健康のこと」では“ホームヘルパー”で6割半ばと他と比べて割合が高くなっています。

(%)

	n	治療・訓練のこと	仕事や収入・生活費のこと	日常生活・コミュニケーションのこと	学習活動や趣味の活動など	友人関係、近所づきあい	将来の生活のこと	外出・買い物など	保健・医療サービスに関すること	住宅・生活の場所のこと	福祉サービスに関すること
合計	1,391	24.7	27.7	16.7	10.1	11.4	43.6	13.9	17.2	15.3	19.7
家族	599	29.2	30.1	21.2	12.2	15.7	46.9	16.7	18.4	15.4	18.9
友人や知人	278	36.0	33.8	20.9	16.5	19.4	55.4	16.9	23.0	19.8	27.3
学校の先生	108	31.5	28.7	36.1	28.7	22.2	62.0	25.9	17.6	22.2	29.6
民生委員・児童委員	34	26.5	17.6	14.7	2.9	8.8	47.1	17.6	23.5	23.5	23.5
身体障害者相談員・知的障害者相談員	57	31.6	31.6	33.3	10.5	15.8	57.9	14.0	28.1	19.3	31.6
病院・診療所	329	33.1	41.9	21.6	16.7	18.8	57.4	18.2	23.1	21.6	24.9
区役所の福祉の窓口	640	28.6	30.6	17.2	11.4	12.2	50.3	15.6	21.3	19.2	25.5
利用している施設の職員・グループホームの世話人	272	30.9	37.5	28.3	13.6	19.9	57.0	22.4	23.2	25.0	28.3
基幹相談支援センター	23	30.4	39.1	17.4	13.0	13.0	65.2	17.4	34.8	26.1	39.1
相談支援事業所	94	27.7	36.2	27.7	18.1	20.2	58.5	21.3	25.5	29.8	29.8
ホームヘルパー	73	34.2	30.1	23.3	13.7	23.3	50.7	32.9	24.7	28.8	32.9
社会福祉協議会	35	31.4	28.6	22.9	14.3	8.6	45.7	14.3	34.3	25.7	34.3
障害者団体	64	29.7	34.4	29.7	25.0	26.6	60.9	20.3	26.6	20.3	40.6
あんしんすこやかセンター	133	24.1	15.8	9.0	9.0	6.0	31.6	18.8	25.6	11.3	28.6
子ども家庭支援センター	10	30.0	50.0	30.0	20.0	20.0	40.0	20.0	30.0	40.0	50.0
その他	40	25.0	27.5	27.5	15.0	25.0	45.0	15.0	15.0	22.5	35.0
特にない	95	15.8	23.2	3.2	2.1	3.2	25.3	7.4	13.7	9.5	8.4
無回答	59	8.5	10.2	-	-	-	13.6	3.4	6.8	3.4	8.5

	n	進学・学校生活のこと	交通機関の利用に関すること	金銭管理・契約などのこと	身体・健康のこと	結婚、性、恋愛などに関すること	親や介助者の高齢化のこと	その他	特にない	無回答
合計	1,391	9.7	8.2	14.4	34.1	9.4	25.7	2.2	14.6	6.5
家族	599	11.2	10.7	17.7	35.6	10.4	28.5	1.5	13.9	3.0
友人や知人	278	20.5	10.8	16.2	38.1	15.8	30.2	2.2	8.6	2.5
学校の先生	108	38.0	24.1	28.7	26.9	11.1	28.7	1.9	7.4	1.9
民生委員・児童委員	34	-	8.8	14.7	50.0	2.9	23.5	2.9	8.8	5.9
身体障害者相談員・知的障害者相談員	57	12.3	12.3	29.8	36.8	8.8	45.6	-	12.3	-
病院・診療所	329	10.3	11.9	18.8	47.1	16.7	31.3	2.1	8.8	2.4
区役所の福祉の窓口	640	10.2	9.7	14.5	39.4	8.8	30.3	2.0	12.8	2.5
利用している施設の職員・グループホームの世話人	272	11.0	12.1	25.7	40.4	15.8	42.3	2.9	7.7	1.8
基幹相談支援センター	23	4.3	8.7	26.1	39.1	8.7	39.1	-	4.3	-
相談支援事業所	94	10.6	7.4	21.3	33.0	20.2	33.0	4.3	8.5	2.1
ホームヘルパー	73	4.1	15.1	16.4	65.8	12.3	31.5	1.4	4.1	2.7
社会福祉協議会	35	8.6	8.6	17.1	51.4	5.7	28.6	-	5.7	2.9
障害者団体	64	25.0	17.2	29.7	29.7	17.2	48.4	3.1	4.7	-
あんしんすこやかセンター	133	-	9.8	4.5	46.6	1.5	18.8	0.8	11.3	6.0
子ども家庭支援センター	10	20.0	20.0	30.0	30.0	10.0	50.0	-	20.0	-
その他	40	15.0	7.5	20.0	50.0	22.5	30.0	25.0	5.0	5.0
特にない	95	4.2	2.1	5.3	25.3	6.3	14.7	2.1	40.0	3.2
無回答	59	1.7	1.7	8.5	5.1	-	10.2	-	5.1	69.5

9. 障害福祉のサービス等の利用状況と利用意向について

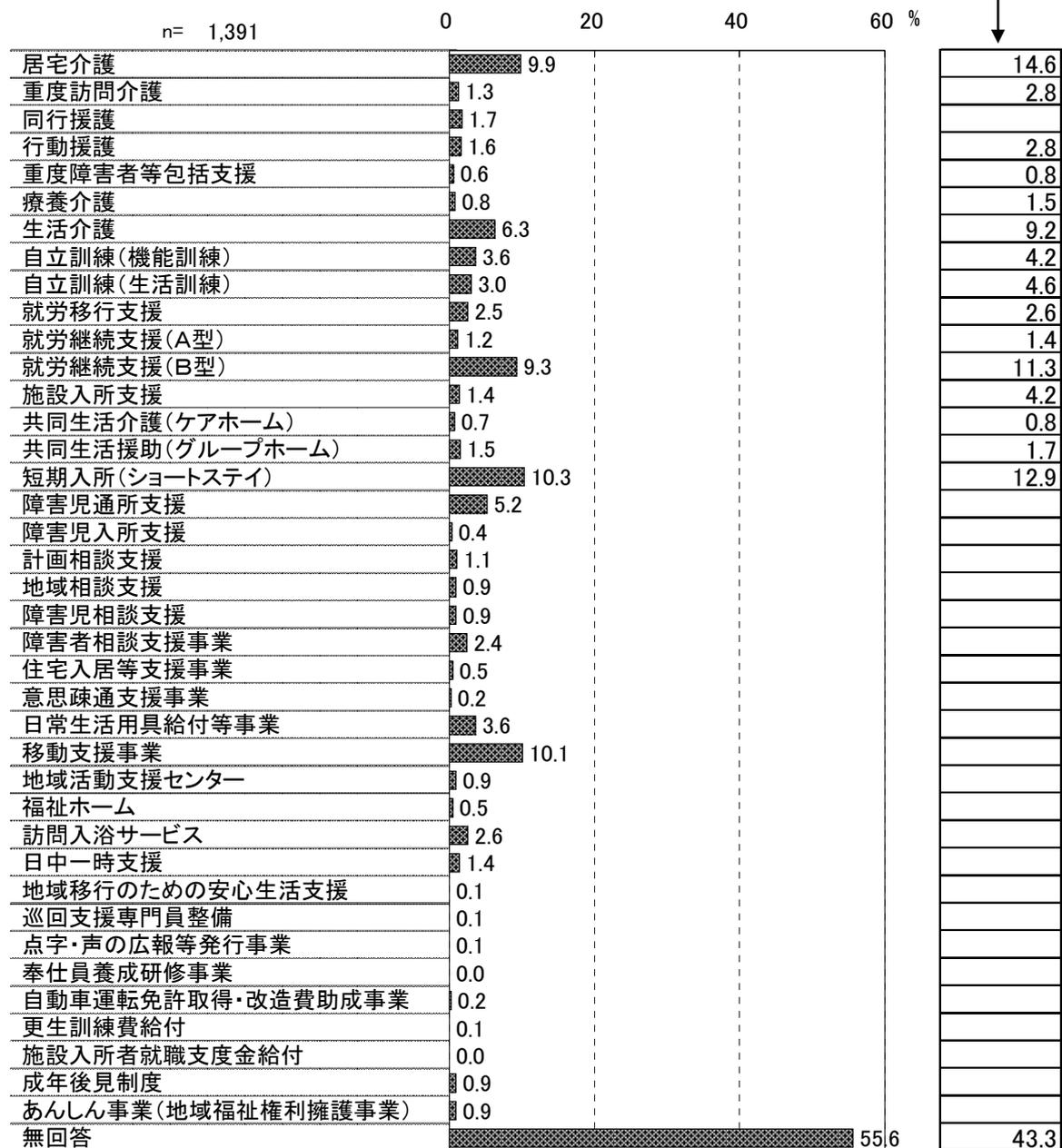
問 36 障害福祉のサービス等の利用状況と満足度等についておたずねします。

- A. 現在、利用しているサービスに○をつけてください。
- B. 利用しているサービスに満足していますか。(あてはまる番号に○)
- C. 不満なサービスは、その理由をいくつでも選んでご記入ください。
- D. 現在は利用していないが、今後利用したいサービスに○をつけてください。

【A. 現在、利用しているサービス】

現在、利用しているサービスについては、「短期入所（ショートステイ）」が 10.3%、「移動支援事業」が 10.1%、「居宅介護」が 9.9%などとなっています。

【参考：第3期世田谷区障害福祉計画障害者実態調査】



【B. 利用しているサービスの満足度】

利用しているサービスの満足度について、「満足」では“共同生活介護（ケアホーム）”が7割、“自動車運転免許取得・改造費助成事業”が6割半ばであり、“共同生活援助（グループホーム）”“就労移行支援”でも5割を超えています。また、“巡回支援専門員整備”と“更生訓練費給付”では回答者は1人ですが、「満足」と回答しています。一方、「不満」では、回答者が少ないものの“地域移行のための安心生活支援”が5割、“障害児入所支援”と“意思疎通支援事業”が3割を超えています。また、“点字・声の広報等発行事業”では回答者は1人ですが、「不満」と回答しています。



【C. 不満な理由】

不満な理由について、“短期入所（ショートステイ）”では60人の回答者のうち、「サービス提供事業者が少ない」が5割、「利用の日時があわない」が4割半ば、「回数や時間が足りない」が3割となっています。また、“移動支援事業”では38人の回答者のうち、「サービス提供事業者が少ない」が4割半ば、「回数や時間が足りない」が4割弱、「利用の日時があわない」が3割半ばとなっています。

		(%)									
	n	回数や時間が足りない	利用料が高い	サービス提供事業者が少ない	利用の日時があわない	感じるサービス内容（技術）に不安を感ずる	サービス提供事業者の対応がよくない	事業者と家族との連携が取れていない	その他	無回答	
居宅介護	20	15.0	5.0	35.0	25.0	45.0	20.0	0.0	10.0	10.0	
重度訪問介護	1	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	
同行援護	6	16.7	16.7	0.0	0.0	16.7	16.7	0.0	0.0	50.0	
行動援護	4	0.0	25.0	50.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	50.0	
重度障害者等包括支援	2	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0	50.0	
療養介護	2	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	50.0	
生活介護	12	8.3	0.0	8.3	8.3	33.3	25.0	8.3	0.0	41.7	
自立訓練（機能訓練）	9	44.4	0.0	0.0	11.1	22.2	0.0	0.0	11.1	22.2	
自立訓練（生活訓練）	6	33.3	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	33.3	
就労移行支援	5	0.0	20.0	20.0	0.0	40.0	20.0	0.0	0.0	40.0	
就労継続支援（A型）	3	0.0	0.0	33.3	0.0	66.7	33.3	33.3	0.0	0.0	
就労継続支援（B型）	12	8.3	0.0	8.3	8.3	16.7	25.0	8.3	33.3	8.3	
施設入所支援	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
共同生活介護（ケアホーム）	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
共同生活援助（グループホーム）	1	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
短期入所（ショートステイ）	60	30.0	5.0	50.0	46.7	18.3	3.3	0.0	15.0	11.7	
障害児通所支援	13	69.2	23.1	46.2	38.5	15.4	15.4	0.0	15.4	7.7	
障害児入所支援	2	0.0	0.0	50.0	50.0	100.0	50.0	0.0	0.0	0.0	
計画相談支援	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
地域相談支援	3	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
障害児相談支援	3	0.0	0.0	0.0	33.3	33.3	33.3	0.0	0.0	0.0	
障害者相談支援事業	5	20.0	0.0	20.0	0.0	60.0	20.0	0.0	0.0	0.0	
住宅入居等支援事業	1	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
意思疎通支援事業	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	
日常生活用具給付等事業	6	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	33.3	
移動支援事業	38	39.5	2.6	44.7	34.2	10.5	7.9	2.6	23.7	2.6	
地域活動支援センター	2	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	50.0	0.0	
福祉ホーム	2	50.0	50.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
訪問入浴サービス	4	75.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	
日中一時支援	6	0.0	0.0	66.7	16.7	0.0	16.7	0.0	66.7	0.0	
地域移行のための安心生活支援	1	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	
巡回支援専門員整備	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
点字・声の広報等発行事業	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	
奉仕員養成研修事業	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
自動車運転免許取得・改造費助成事業	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
更生訓練費給付	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
施設入所者就職支度金給付	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
成年後見制度	2	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	100.0	0.0	
あんしん事業（地域福祉権利擁護事業）	3	0.0	0.0	0.0	0.0	66.7	0.0	0.0	0.0	33.3	

【D. 現在は利用していないが、今後利用したいサービス】

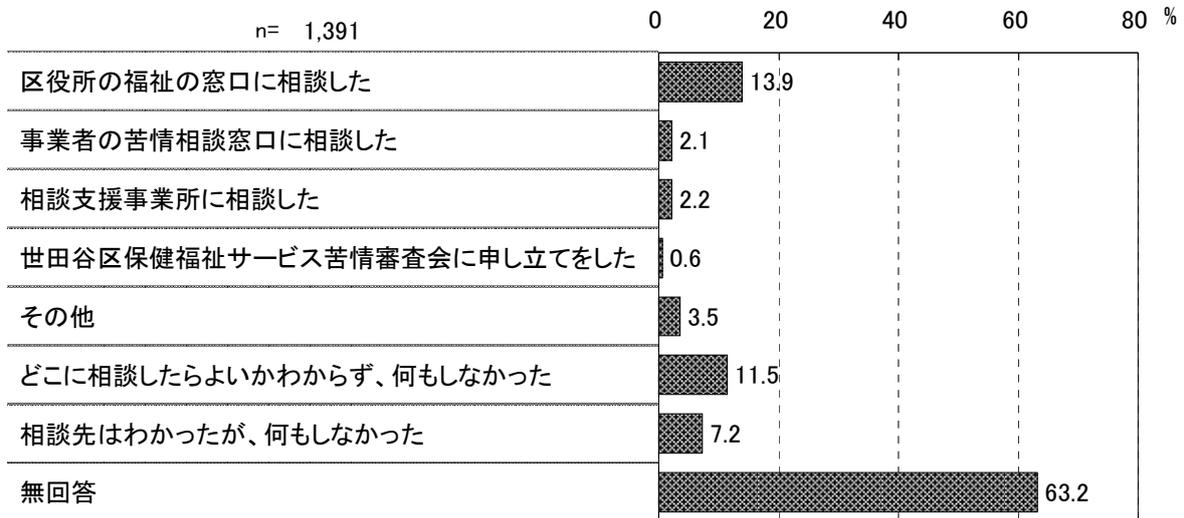
現在は利用していないが、今後利用したいサービスでは、“短期入所（ショートステイ）”が8.8%、“居宅介護”と“成年後見制度”がともに7.9%などとなっています。

	n	はい ↓	無回答 ↓
居宅介護	(1253)	7.9	92.1
重度訪問介護	(1373)	2.3	97.7
同行援護	(1368)	4.2	95.8
行動援護	(1369)	4.2	95.8
重度障害者等包括支援	(1382)	2.0	98.0
療養介護	(1380)	2.2	97.8
生活介護	(1303)	5.8	94.2
自立訓練(機能訓練)	(1341)	4.7	95.3
自立訓練(生活訓練)	(1349)	6.3	93.7
就労移行支援	(1356)	6.8	93.2
就労継続支援(A型)	(1374)	4.9	95.1
就労継続支援(B型)	(1261)	5.9	94.1
施設入所支援	(1371)	4.9	95.1
共同生活介護(ケアホーム)	(1381)	5.1	94.9
共同生活援助(グループホーム)	(1370)	6.8	93.2
短期入所(ショートステイ)	(1248)	8.8	91.2
障害児通所支援	(1319)	1.7	98.3
障害児入所支援	(1385)	1.2	98.8
計画相談支援	(1376)	3.0	97.0
地域相談支援	(13)	0.0	100.0
障害児相談支援	(1378)	2.4	97.6
障害者相談支援事業	(1357)	4.9	95.1
住宅入居等支援事業	(1384)	3.8	96.2
意思疎通支援事業	(1388)	1.5	98.5
日常生活用具給付等事業	(1341)	2.4	97.6
移動支援事業	(1250)	6.6	93.4
地域活動支援センター	(1379)	2.7	97.3
福祉ホーム	(1384)	2.5	97.5
訪問入浴サービス	(1355)	2.6	97.4
日中一時支援	(1371)	5.4	94.6
地域移行のための安心生活支援	(1389)	2.6	97.4
巡回支援専門員整備	(1390)	1.0	99.0
点字・声の広報等発行事業	(1)	0.0	100.0
奉仕員養成研修事業	(1391)	0.6	99.4
自動車運転免許取得・改造費助成事業	(1388)	1.8	98.2
更生訓練費給付	(1390)	1.1	98.9
施設入所者就職支度金給付	(1391)	1.3	98.7
成年後見制度	(1378)	7.9	92.1
あんしん事業(地域福祉権利擁護事業)	(1379)	3.3	96.7

0 20 40 60 80 100 %

問 37 サービスに満足できないときに、どちらかに相談しましたか。(あてはまるものすべてに○)

サービスに満足できないときに、どこに相談したかについては、「区役所の福祉の窓口相談した」が13.9%、「どこに相談したらよいかかわからず、何もしなかった」が11.5%などとなっています。



【年齢区分別】

「区役所の福祉の窓口相談した」では「6～17歳」で2割を超え、「どこに相談したらよいかかわからず、何もしなかった」では「0～5歳」で2割半ばと他の年齢区分と比べて割合が高くなっています。

	n	区役所の福祉の窓口相談した	事業者の苦情相談窓口相談した	相談支援事業所に相談した	世田谷区保健福祉サービス苦情審査会に申し立てをした	その他()に相談した	どこに相談したらよいかかわからず、何もしなかった	相談先はわかったが、何もしなかった	無回答
合計	1,391	13.9	2.1	2.2	0.6	3.5	11.5	7.2	63.2
0～5歳	40	12.5	2.5	2.5	-	2.5	25.0	7.5	50.0
6～17歳	197	22.3	2.5	2.5	-	2.0	17.8	6.6	51.8
18～39歳	326	14.4	2.8	2.1	0.3	3.4	16.6	8.6	56.7
40～64歳	444	14.4	2.3	2.3	0.7	4.5	7.2	7.2	66.2
65～74歳	175	8.6	1.1	1.1	1.1	2.9	7.4	6.3	73.1
75歳以上	188	8.0	1.1	1.6	0.5	3.7	8.0	5.3	73.9
無回答	21	19.0	-	9.5	4.8	-	4.8	14.3	52.4

【障害種別】

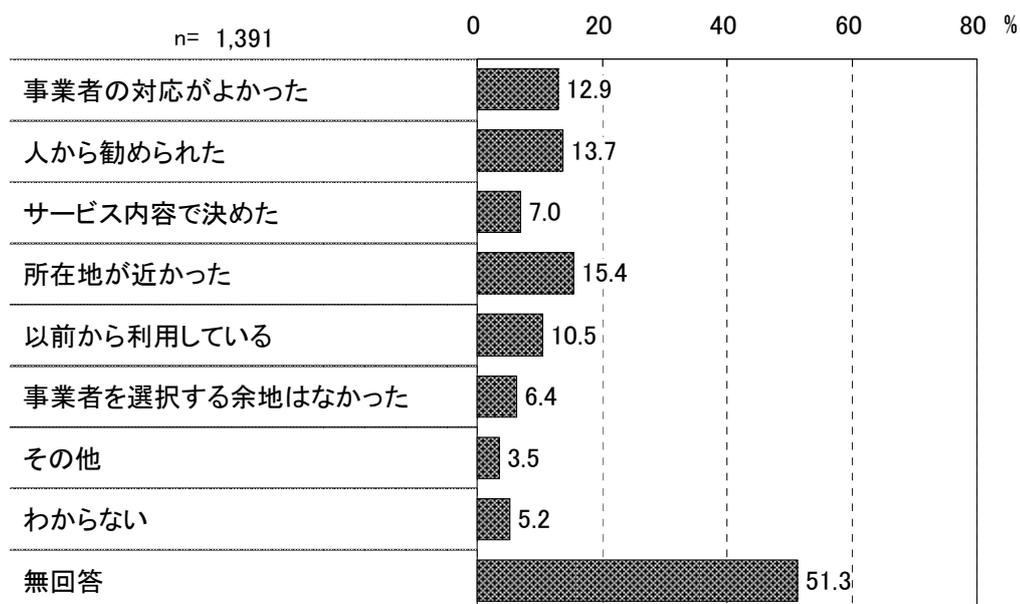
「区役所の福祉の窓口で相談した」では“知的障害”で2割を超え他の障害と比べて割合がやや高くなっています。また、「どこに相談したらよいかわからず、何もしなかった」では“発達障害”と“高次脳機能障害”で2割を超え他の障害と比べて割合が高くなっています。

(%)

	n	区役所の福祉の窓口で相談した	事業者の苦情相談窓口で相談した	相談支援事業所に相談した	世田谷区保健福祉サービス苦情審査会に申し立てをした	その他()に相談した	どこに相談したらよいかわからず、何もしなかった	相談先はなかったが、何もしなかった	無回答
合計	1,391	13.9	2.1	2.2	0.6	3.5	11.5	7.2	63.2
身体障害	600	14.8	2.2	2.0	0.5	3.5	11.0	7.8	62.3
知的障害	435	20.7	2.5	3.4	1.1	3.4	12.6	8.5	54.3
発達障害	146	15.8	3.4	2.1	-	5.5	24.0	6.2	51.4
精神障害	223	16.1	3.6	2.7	0.4	7.2	16.1	9.9	48.4
高次脳機能障害	26	7.7	3.8	-	-	-	23.1	11.5	65.4
難病(特定疾病)	340	8.5	0.3	0.9	-	2.4	7.1	4.4	77.9
その他	33	18.2	6.1	3.0	-	3.0	21.2	3.0	57.6
無回答	25	24.0	8.0	8.0	4.0	4.0	4.0	4.0	56.0

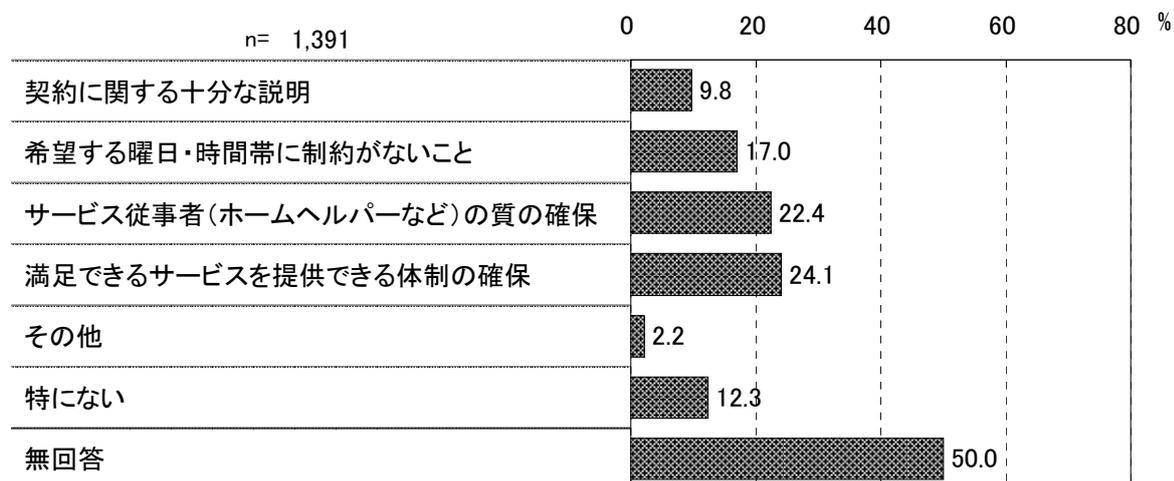
問 38 あなたが、現在利用しているサービス提供事業者を選んだ理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

現在利用しているサービス提供事業者を選んだ理由については、「所在地が近かった」が15.4%、「人から勧められた」が13.7%、「事業者の対応がよかった」が12.9%などとなっています。



問 39 あなたが、サービス提供事業者に対して望むことは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

サービス提供事業者に対して望むことについては、「満足できるサービスを提供できる体制の確保」が24.1%、「サービス従事者（ホームヘルパーなど）の質の確保」が22.4%、「希望する曜日・時間帯に制約がないこと」が17.0%などとなっています。



【年齢区分別】

「満足できるサービスを提供できる体制の確保」と「希望する曜日・時間帯に制約がないこと」では“0～5歳”で4割以上と割合が高く、年齢が高くなるにつれて割合が低くなる傾向にあります。「サービス従事者（ホームヘルパーなど）の質の確保」では“6～17歳”で4割を超え割合が高くなっています。

(%)

	n	契約に関する十分な説明	希望する曜日・時間帯に制約がないこと	サービス従事者（ホームヘルパーなど）の質の確保	満足できるサービスを提供できる体制の確保	その他	特にない	無回答
合計	1,391	9.8	17.0	22.4	24.1	2.2	12.3	50.0
0～5歳	40	15.0	42.5	32.5	40.0	2.5	5.0	27.5
6～17歳	197	9.6	27.9	42.1	38.6	2.5	5.6	40.1
18～39歳	326	9.5	22.4	24.5	28.8	2.8	14.1	41.1
40～64歳	444	11.3	14.0	17.6	19.6	2.0	15.8	52.3
65～74歳	175	6.3	8.0	9.7	13.7	1.7	10.3	68.0
75歳以上	188	8.5	8.5	20.7	18.1	1.1	10.1	59.0
無回答	21	14.3	-	9.5	19.0	4.8	23.8	47.6

【障害種別】

「満足できるサービスを提供できる体制の確保」では“発達障害”で4割近く、“知的障害”でも3割半ばと割合が高くなっています。また、「サービス従事者（ホームヘルパーなど）の質の確保」では“知的障害”で3割半ばと他の障害と比べて割合がやや高くなっています。

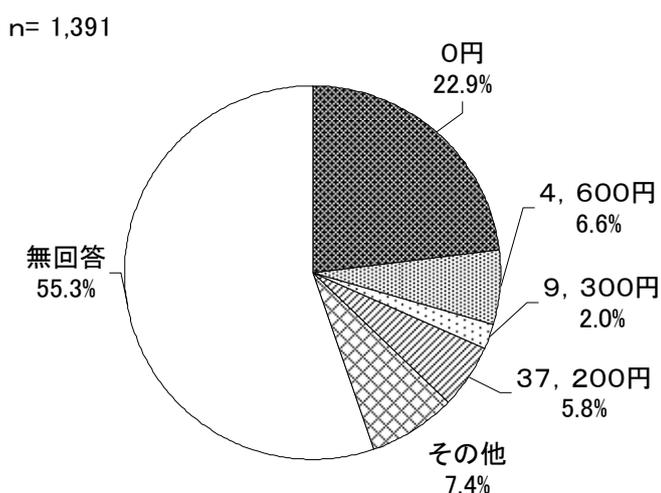
(%)

	n	契約に関する十分な説明	希望する曜日・時間帯に制約がないこと	サービス従事者（ホームヘルパーなど）の質の確保	満足できるサービスを提供できる体制の確保	その他	特になし	無回答
合計	1,391	9.8	17.0	22.4	24.1	2.2	12.3	50.0
身体障害	600	8.8	17.7	27.8	27.0	2.0	9.8	49.3
知的障害	435	11.0	25.3	36.3	34.7	2.3	11.7	35.6
発達障害	146	10.3	25.3	32.2	37.7	3.4	11.6	32.9
精神障害	223	15.2	21.5	22.9	27.8	4.0	19.3	30.5
高次脳機能障害	26	7.7	23.1	23.1	30.8	-	26.9	38.5
難病（特定疾病）	340	7.9	7.9	12.1	13.8	1.8	8.5	70.9
その他	33	12.1	18.2	27.3	24.2	-	9.1	45.5
無回答	25	4.0	8.0	8.0	12.0	8.0	20.0	52.0

問 40 あなたの月額負担上限額はいくらですか。（1つに○）

※障害福祉サービスの受給者証に記入されている金額をお答えください。

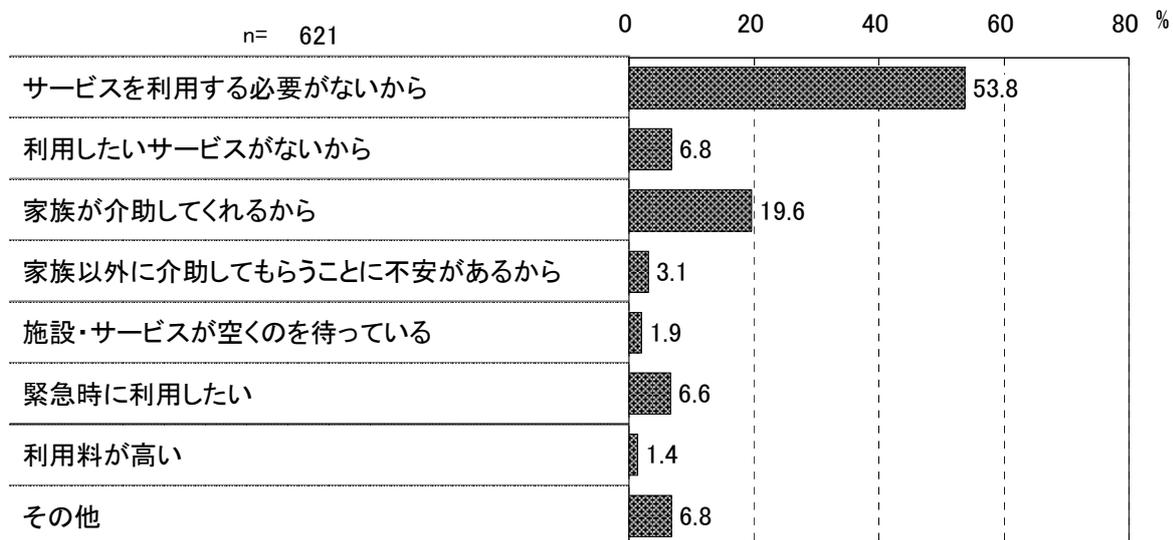
月額負担上限額については、「0円」が22.9%、「4,600円」が6.6%、「9,300円」が2.0%、「37,200円」が5.8%となっています。



《障害福祉サービス等を利用していない方におたずねします》

問 41 サービスを利用していない理由は何ですか。(1つに○)

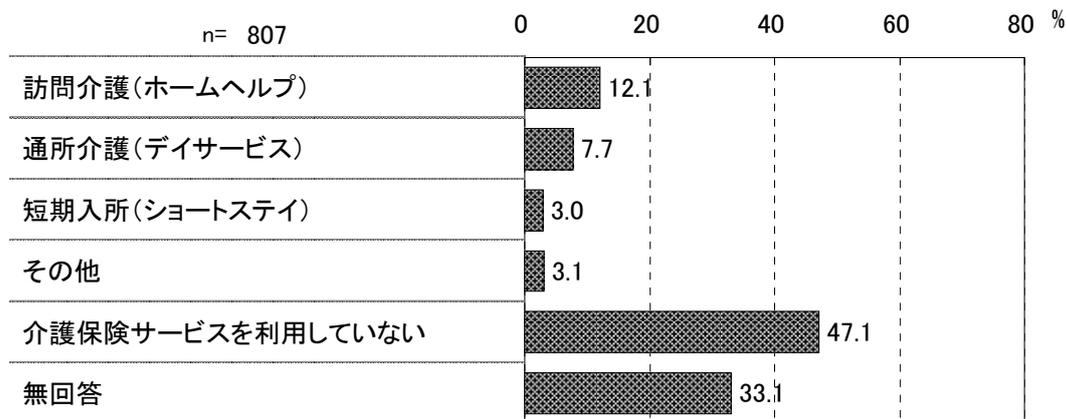
サービスを利用していない理由については、回答者のうち「サービスを利用する必要がないから」が最も多く 53.8%、次いで「家族が介助してくれるから」が 19.6%などとなっています。



《40歳以上の方全員におたずねします》

問 42 あなたは、介護保険の次のサービスを利用していますか。(あてはまるものすべてに○)

介護保険サービスの利用については、「訪問介護(ホームヘルプ)」が 12.1%、「通所介護(デイサービス)」が 7.7%などとなっています。また、「介護保険サービスを利用していない」が 47.1%となっています。



【年齢区分別】

「訪問介護（ホームヘルプ）」と「通所介護（デイサービス）」では“75歳以上”で2割を超え割合が高くなっています。

(%)

	n	訪問介護 (ホームヘルプ)	通所介護 (デイサービス)	短期入所 (ショートステイ)	その他	介護保険 サービスを利用していない	無回答
合計	807	12.1	7.7	3.0	3.1	47.1	33.1
40～64歳	444	6.1	2.7	2.3	2.3	55.9	32.7
65～74歳	175	14.3	6.3	3.4	5.1	47.4	31.4
75歳以上	188	24.5	20.7	4.3	3.2	26.1	35.6
無回答	-	-	-	-	-	-	-

【障害種別】

「訪問介護（ホームヘルプ）」では“高次脳機能障害”で3割近くとなっています。

(%)

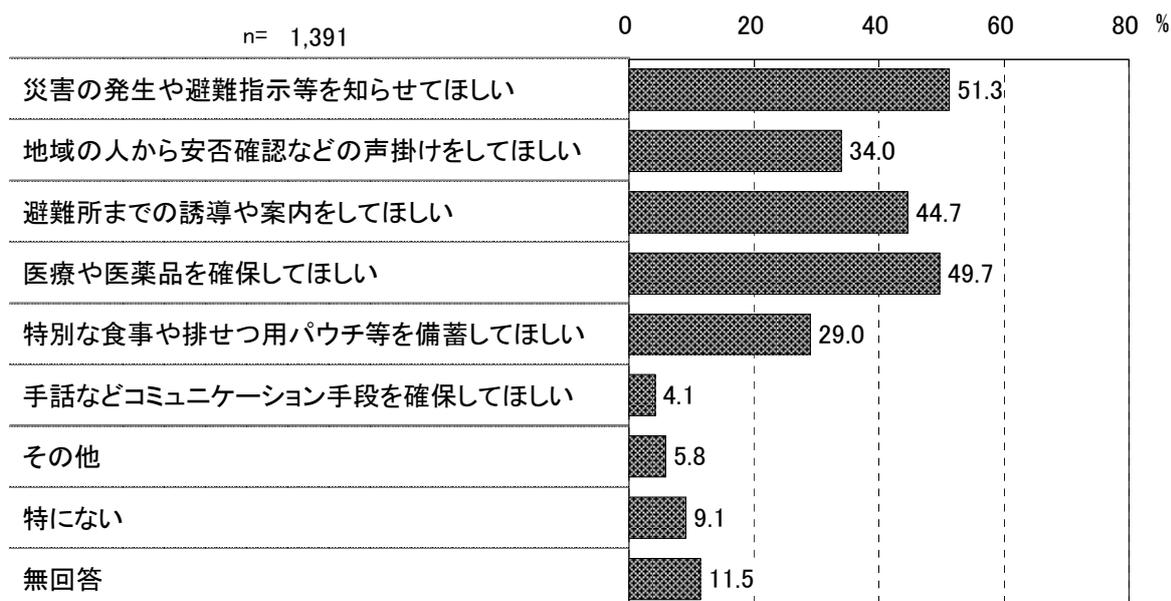
	n	訪問介護 (ホームヘルプ)	通所介護 (デイサービス)	短期入所 (ショートステイ)	その他	介護保険 サービスを利用していない	無回答
合計	807	12.1	7.7	3.0	3.1	47.1	33.1
身体障害	383	18.0	13.1	3.4	4.7	38.1	33.9
知的障害	117	5.1	6.0	9.4	3.4	36.8	45.3
発達障害	16	6.3	12.5	-	6.3	43.8	31.3
精神障害	148	15.5	4.7	0.7	2.7	43.9	35.1
高次脳機能 障害	14	28.6	21.4	14.3	7.1	35.7	28.6
難病（特定 疾病）	257	7.8	4.3	2.3	2.3	62.3	24.9
その他	17	23.5	11.8	5.9	-	29.4	41.2
無回答	10	10.0	-	-	-	40.0	50.0

10. 災害対策について

問 43 あなたは、地震などの災害が発生したとき、必要だと思われることは何ですか。

(あてはまるものすべてに○)

地震などの災害が発生したとき、必要だと思うことについては、「災害の発生や避難指示等を知らせてほしい」が最も多く 51.3%、次いで「医療や医薬品を確保してほしい」が 49.7%、「避難所までの誘導や案内をしてほしい」が 44.7%などとなっています。



【年齢区分別】

「避難所までの誘導や案内をしてほしい」では“6～17歳”で5割を超え、「医療や医薬品を確保してほしい」では“40～64歳”で5割半ばと他の年齢区分と比べて割合が高くなっています。

(%)

	n	災害の発生や避難指示等を知らせてほしい	地域の人から安否確認などの声掛けをしてほしい	避難所までの誘導や案内をしてほしい	医療や医薬品を確保してほしい	特別な食事や排せつ用パウチ等を備蓄してほしい	手話などコミュニケーション手段を確保してほしい	その他	特にない	無回答
合計	1,391	51.3	34.0	44.7	49.7	29.0	4.1	5.8	9.1	11.5
0～5歳	40	42.5	32.5	42.5	42.5	30.0	2.5	20.0	15.0	5.0
6～17歳	197	54.3	39.6	53.8	43.7	27.4	5.6	12.2	7.1	6.1
18～39歳	326	54.6	33.1	46.6	51.2	24.8	5.2	5.2	5.5	8.6
40～64歳	444	53.4	34.9	42.1	54.7	29.5	3.2	3.4	10.1	11.3
65～74歳	175	42.9	25.7	37.7	45.7	29.7	5.1	5.7	12.0	17.7
75歳以上	188	48.4	38.3	46.3	48.9	36.7	2.7	2.1	10.6	18.1
無回答	21	38.1	9.5	33.3	33.3	19.0	-	9.5	14.3	14.3

【障害種別】

「災害の発生や避難指示等を知らせてほしい」と「医療や医薬品を確保してほしい」では“精神障害”でいずれも6割近くと割合が高くなっています。また、「避難所までの誘導や案内をしてほしい」では“高次脳機能障害”で6割を超えています。

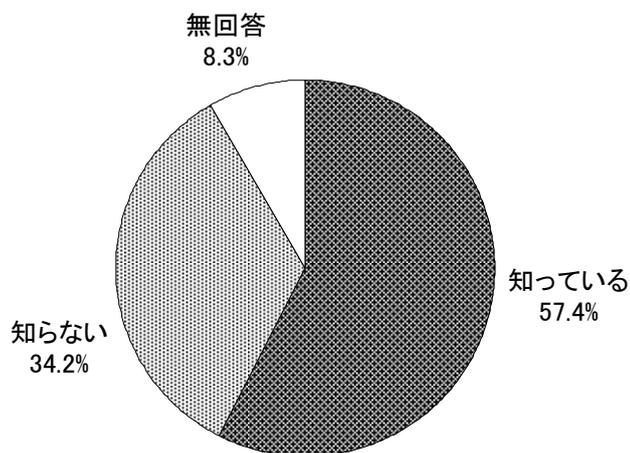
(96)

	n	災害の発生や避難指示等を知らせてほしい	地域の人から安否確認などの声掛けをしてほしい	避難所までの誘導や案内をしてほしい	医療や医薬品を確保してほしい	特別な食事や排せつ用パウチ等を備蓄してほしい	手話などコミュニケーション手段を確保してほしい	その他	特にない	無回答
合計	1,391	51.3	34.0	44.7	49.7	29.0	4.1	5.8	9.1	11.5
身体障害	600	50.2	35.3	47.3	53.2	34.2	5.2	6.7	9.3	11.3
知的障害	435	51.3	40.9	56.1	41.1	27.1	4.6	10.3	5.3	11.7
発達障害	146	50.0	34.2	50.0	43.8	36.3	6.2	11.6	10.3	6.2
精神障害	223	59.2	39.0	45.7	58.7	31.4	5.4	4.0	10.8	8.5
高次脳機能障害	26	53.8	34.6	61.5	53.8	42.3	11.5	3.8	11.5	7.7
難病（特定疾病）	340	51.5	28.5	36.2	61.2	31.2	2.6	3.5	8.5	10.0
その他	33	39.4	42.4	36.4	42.4	33.3	6.1	12.1	9.1	12.1
無回答	25	28.0	16.0	36.0	36.0	20.0	4.0	4.0	20.0	20.0

問 44 あなたは、災害が起きたときの避難場所を知っていますか。（1つに○）

災害が起きたときの避難場所を知っているかについては、「知っている」が 57.4%、「知らない」が 34.2%となっています。

n = 1,391



【年齢区分別】

「知っている」では“40～64 歳”で6割を超え他の年齢区分と比べて割合が高くなっています。

(%)

	n	知っている	知らない	無回答
合計	1,391	57.4	34.2	8.3
0～5歳	40	45.0	50.0	5.0
6～17歳	197	57.9	38.6	3.6
18～39歳	326	54.0	38.7	7.4
40～64歳	444	61.3	31.5	7.2
65～74歳	175	57.1	30.3	12.6
75歳以上	188	55.3	30.9	13.8
無回答	21	71.4	14.3	14.3

【障害種別】

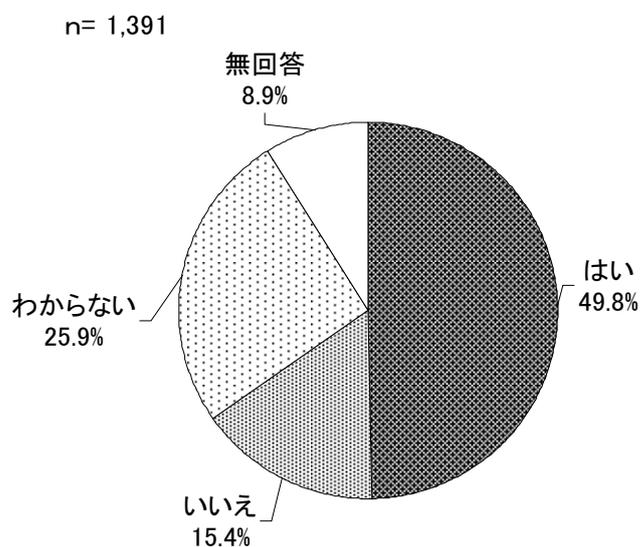
「知っている」では、“難病（特定疾病）”で6割半ばと割合が高くなっています。

(%)

	n	知っている	知らない	無回答
合計	1,391	57.4	34.2	8.3
身体障害	600	58.8	32.2	9.0
知的障害	435	48.7	42.5	8.7
発達障害	146	55.5	38.4	6.2
精神障害	223	55.2	39.5	5.4
高次脳機能障害	26	42.3	38.5	19.2
難病（特定疾病）	340	64.7	29.1	6.2
その他	33	63.6	27.3	9.1
無回答	25	60.0	16.0	24.0

問 45 地震など災害が発生したときのために、町会・自治会や民生委員等周囲の人にあなたのことを知っておいてもらいたいですか。(1つに○)

地震など災害が発生したときのために、町会・自治会や民生委員等周囲の人にあなたのことを知っておいてもらいたいかについては、「はい」が 49.8%、「いいえ」が 15.4%、「わからない」が 25.9%となっています。



【年齢区分別】

「はい」では“6～17歳”で6割近くと他の年齢区分と比べて割合が高くなっています。

(%)

	n	はい	いいえ	わからない	無回答
合計	1,391	49.8	15.4	25.9	8.9
0～5歳	40	45.0	15.0	35.0	5.0
6～17歳	197	59.4	9.6	27.4	3.6
18～39歳	326	45.4	16.6	30.7	7.4
40～64歳	444	47.1	19.6	25.5	7.9
65～74歳	175	46.9	17.7	21.7	13.7
75歳以上	188	57.4	7.4	19.7	15.4
無回答	21	52.4	14.3	19.0	14.3

【障害種別】

「はい」では“知的障害”で6割を超え割合が高くなっています。

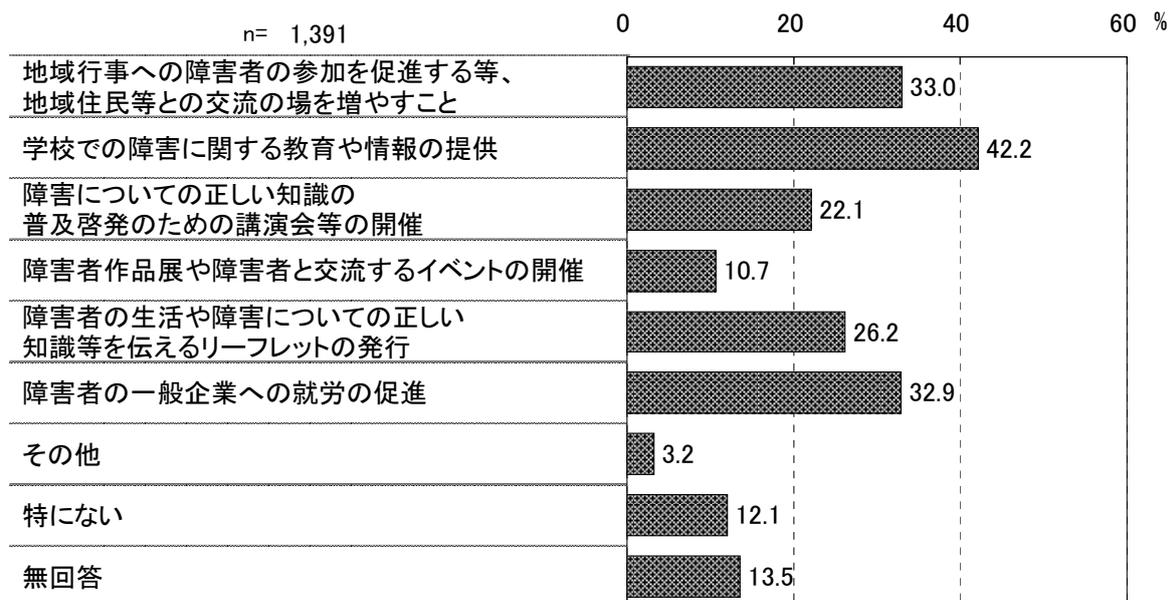
(%)

	n	はい	いいえ	わからない	無回答
合計	1,391	49.8	15.4	25.9	8.9
身体障害	600	53.8	12.5	23.8	9.8
知的障害	435	63.0	5.3	24.6	7.1
発達障害	146	50.0	11.0	30.8	8.2
精神障害	223	48.0	19.7	26.0	6.3
高次脳機能障害	26	38.5	11.5	30.8	19.2
難病（特定疾病）	340	38.2	23.5	30.0	8.2
その他	33	57.6	6.1	30.3	6.1
無回答	25	44.0	8.0	24.0	24.0

11. 障害理解について

問 46 あなたは、障害のある人もない人も共に住み慣れた地域で生活できるように地域の理解を進めていくためには、どのようなことが必要だと思いますか。（3つまで○）

障害のある人もない人も共に住み慣れた地域で生活できるように地域の理解を進めていくためには、どのようなことが必要だと思うかについては、「学校での障害に関する教育や情報の提供」が最も多く 42.2%、次いで「地域行事への障害者の参加を促進する等、地域住民等との交流の場を増やすこと」が 33.0%、「障害者の一般企業への就労の促進」が 32.9%などとなっています。



【年齢区分別】

「学校での障害に関する教育や情報の提供」では“6～17歳”で7割半ば、“0～5歳”で7割近くと割合が高くなっています。「地域行事への障害者の参加を促進する等、地域住民等との交流の場を増やすこと」では“6～17歳”で5割を超え割合が高くなっています。また、「障害者の一般企業への就労の促進」では、“0～5歳”で5割と割合が高く、年齢区分が高くなるにつれて割合が低くなる傾向にあります。

(96)

	n	地域行事への障害者の参加を促進する等、地域住民等との交流の場を増やすこと	学校での障害に関する教育や情報の提供	障害についての正しい知識の普及啓発のための講演会等の開催	障害者作品展や障害者と交流するイベントの開催	障害者の生活や障害についての正しい知識等を伝えるリーフレットの発行	障害者の一般企業への就労の促進	その他	特になし	無回答
合計	1,391	33.0	42.2	22.1	10.7	26.2	32.9	3.2	12.1	13.5
0～5歳	40	42.5	67.5	17.5	15.0	30.0	50.0	12.5	-	5.0
6～17歳	197	51.8	76.6	19.8	9.6	26.4	47.7	5.6	3.0	5.1
18～39歳	326	31.3	49.4	29.1	12.3	26.4	42.9	2.8	8.3	7.7
40～64歳	444	30.9	36.3	23.6	13.7	27.7	34.2	2.7	11.5	12.8
65～74歳	175	27.4	24.0	16.6	7.4	29.7	12.0	1.1	17.7	22.9
75歳以上	188	24.5	20.2	16.0	5.3	20.7	12.8	2.7	26.1	27.7
無回答	21	33.3	33.3	9.5	-	4.8	33.3	4.8	23.8	9.5

【障害種別】

「学校での障害に関する教育や情報の提供」では“発達障害”で7割近くと割合が高くなっています。また、「地域行事への障害者の参加を促進する等、地域住民等との交流の場を増やすこと」では“知的障害”で4割半ば、「障害者の一般企業への就労の促進」では“発達障害”“高次脳機能障害”“精神障害”で4割を超え他の障害と比べて割合が高くなっています。

(96)

	n	地域行事への障害者の参加を促進する等、地域住民等との交流の場を増やすこと	学校での障害に関する教育や情報の提供	障害についての正しい知識の普及啓発のための講演会等の開催	障害者作品展や障害者と交流するイベントの開催	障害者の生活や障害についての正しい知識等を伝えるリーフレットの発行	障害者の一般企業への就労の促進	その他	特になし	無回答
合計	1,391	33.0	42.2	22.1	10.7	26.2	32.9	3.2	12.1	13.5
身体障害	600	33.5	42.2	19.8	10.8	26.5	22.8	4.3	14.8	15.3
知的障害	435	45.5	53.8	23.0	13.8	31.7	34.7	4.4	4.1	9.9
発達障害	146	33.6	67.8	27.4	10.3	36.3	45.2	4.8	5.5	6.2
精神障害	223	29.1	37.2	31.8	13.9	28.7	41.7	3.6	13.5	10.3
高次脳機能障害	26	26.9	46.2	26.9	11.5	34.6	42.3	-	3.8	19.2
難病（特定疾病）	340	28.5	40.0	19.1	8.5	26.2	31.5	1.5	15.0	14.1
その他	33	30.3	33.3	33.3	3.0	30.3	39.4	3.0	6.1	21.2
無回答	25	24.0	24.0	20.0	4.0	8.0	24.0	-	20.0	24.0

【回答者別】

「学校での障害に関する教育や情報の提供」では“父母”で6割を超え、“子（子の配偶者を含む）”で5割半ばと割合が高くなっています。また、「地域行事への障害者の参加を促進する等、地域住民等との交流の場を増やすこと」では“父母”で4割半ばと割合がやや高くなっています。

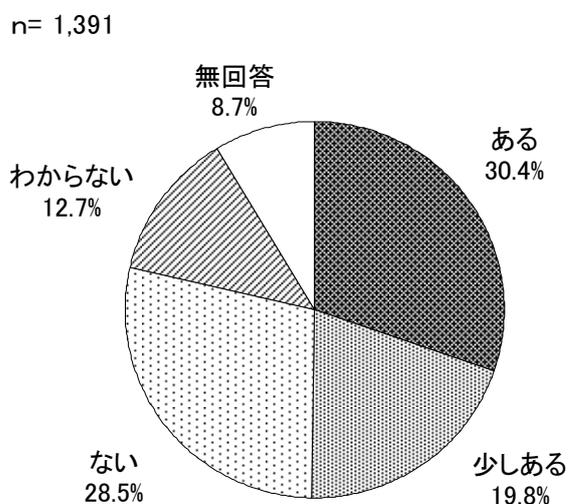
(%)

	n	地域行事への障害者の参加を促進する等、地域住民等との交流の場を増やすこと	学校での障害に関する教育や情報の提供	障害についての正しい知識の普及啓発のための講演会等の開催	障害者作品展や障害者と交流するイベントの開催	障害者の生活や障害についての正しい知識等を伝えるリーフレットの発行	障害者の一般企業への就労の促進	その他	特になし	無回答
合計	1,391	33.0	42.2	22.1	10.7	26.2	32.9	3.2	12.1	13.5
あなた（ご本人）	798	27.9	32.7	23.2	10.2	24.9	33.3	2.3	15.5	14.4
配偶者	38	13.2	18.4	15.8	5.3	13.2	5.3	2.6	28.9	31.6
父母	428	45.8	62.1	22.7	11.2	31.5	36.2	5.8	4.0	7.9
子（子の配偶者を含む）	56	33.9	55.4	19.6	10.7	23.2	32.1	1.8	8.9	17.9
兄弟姉妹	25	24.0	48.0	16.0	16.0	28.0	20.0	-	20.0	16.0
その他	19	31.6	31.6	5.3	31.6	10.5	21.1	-	10.5	31.6
無回答	27	14.8	14.8	11.1	7.4	14.8	29.6	-	18.5	25.9

12. 差別の解消や権利擁護について

問 47 あなたは、障害を理由とする差別や偏見を感じたことがありますか。（1つに○）

障害を理由とする差別や偏見を感じたことがあるかについては、「ある」が30.4%、「少しある」が19.8%であり、合わせると『ある』が50.2%となっています。一方、「ない」は28.5%となっています。また、「わからない」は12.7%となっています。



【年齢区分別】

「ある」では“6～17歳”で6割近く、“0～5歳”で4割を超え割合が高く、“6～17歳”以降年齢区分が高くなるにつれて、割合が低くなる傾向にあります。

(%)

	n	ある	少しある	ない	わからない	『ある』	無回答
合計	1,391	30.4	19.8	28.5	12.7	50.2	8.7
0～5歳	40	42.5	27.5	12.5	10.0	70.0	7.5
6～17歳	197	57.4	24.4	6.1	10.2	81.8	2.0
18～39歳	326	38.3	20.6	18.7	18.1	58.9	4.3
40～64歳	444	26.1	24.1	29.3	11.9	50.2	8.6
65～74歳	175	16.0	13.1	48.0	8.6	29.1	14.3
75歳以上	188	10.1	8.5	51.1	11.7	18.6	18.6
無回答	21	23.8	14.3	38.1	14.3	38.1	9.5

【障害種別】

「ある」では“発達障害”で5割、“知的障害”で5割近くと割合が高くなっています。一方、「ない」では“難病（特定疾病）”で4割半ばとなっています。

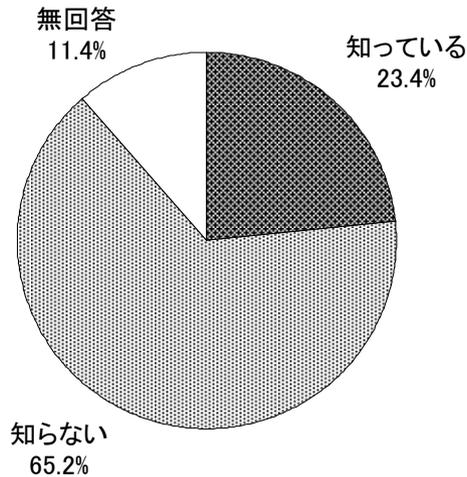
(%)

	n	ある	少しある	ない	わからない	『ある』	無回答
合計	1,391	30.4	19.8	28.5	12.7	50.2	8.7
身体障害	600	28.3	19.2	31.3	10.3	47.5	10.8
知的障害	435	48.7	24.8	7.4	13.1	73.5	6.0
発達障害	146	50.0	24.0	7.5	15.8	74.0	2.7
精神障害	223	40.4	23.3	19.7	11.7	63.7	4.9
高次脳機能障害	26	26.9	15.4	26.9	15.4	42.3	15.4
難病（特定疾病）	340	13.5	14.1	45.3	17.4	27.6	9.7
その他	33	33.3	12.1	33.3	12.1	45.4	9.1

問 48 平成 24 年 10 月から、障害者虐待防止法が施行されました。あなたは、家庭や施設、勤務先等で虐待を受けた場合、区に相談窓口があるのを知っていますか。（1つに○）

家庭や施設、勤務先等で虐待を受けた場合、区に相談窓口があるのを知っているかについては、「知っている」が 23.4%、「知らない」が 65.2%となっています。

n = 1,391



【年齢区分別】

「知らない」では“0～5歳”で7割半ばと割合が高く、年齢区分が高くなるにつれて割合が低くなる傾向にあります。

(%)

	n	知っている	知らない	無回答
合計	1,391	23.4	65.2	11.4
0～5歳	40	17.5	75.0	7.5
6～17歳	197	23.4	72.1	4.6
18～39歳	326	26.1	67.5	6.4
40～64歳	444	21.8	66.9	11.3
65～74歳	175	22.9	60.0	17.1
75歳以上	188	25.0	52.7	22.3
無回答	21	19.0	66.7	14.3

【障害種別】

「知っている」では“知的障害”で3割を超えています。

(%)

	n	知っている	知らない	無回答
合計	1,391	23.4	65.2	11.4
身体障害	600	25.5	60.8	13.7
知的障害	435	31.5	59.8	8.7
発達障害	146	24.7	70.5	4.8
精神障害	223	16.1	75.8	8.1
高次脳機能障害	26	23.1	65.4	11.5
難病（特定疾病）	340	19.4	69.1	11.5
その他	33	15.2	66.7	18.2
無回答	25	16.0	60.0	24.0

【日中の活動（問 24）別】

「知らない」では“仕事をしている（福祉的就労等も含む）”と“通園・通学している”で7割を超え割合が高くなっています。

(%)

	n	知っている	知らない	無回答
合計	1,391	23.4	65.2	11.4
通園・通学している	272	24.6	70.6	4.8
仕事をしている（福祉的就労等も含む）	314	18.5	72.0	9.6
施設等に通所している	249	34.1	57.4	8.4
主に自宅にいる	457	21.2	65.9	12.9
無回答	99	19.2	45.5	35.4

【障害福祉のサービス等の利用（問 36）別】

「知らない」では“利用していない”のほうが“利用している”よりも割合が高くなっています。

(%)

	n	知っている	知らない	無回答
合計	1,391	23.4	65.2	11.4
利用している	617	28.8	62.2	8.9
利用していない	774	19.1	67.6	13.3
無回答	-	-	-	-

13. 区の障害者施策への意見や提案等

問 49 区の障害者施策について、ご意見やご提案等がありましたら、ご自由にお書きください。（自由記述）

回答者数 401 人 意見の総数 629 件（文章は区で要約）

（1）日常生活について 58件

①経済的支援について 26件

- ・経済的な支援をしてほしい。（5件）
- ・障害者の割引施設を増やしてほしい。
- ・デイケアの参加費と食事代を別々にしてほしい。
- ・家賃を補助してほしい。
- ・区手当の額が少ない。
- ・手当を増額してほしい。
- ・手当等の所得制限をなくしてほしい。
- ・消費税が上がると生活に不安がある。区に何らかの支援をしてほしい。
- ・障害者の家族に経済的な支援をしてほしい。
- ・難病患者への経済的な支援を充実してほしい。
- ・障害年金の周知を拡大してほしい。
- ・障害基礎年金を受給したい。
- ・障害年金の減額や、消費税が上がると生活に不安がある。
- ・病院への移動費を援助してほしい。（2件）
- ・精神障害者も交通機関（私鉄など）の割引をしてほしい。
- ・国民健康保険、年金、区民税などの支払を減額してほしい。
- ・日常生活用具の支給について、状態に応じて数を増やすなど、柔軟に対応してほしい。
- ・必要に応じて、補助具などの支援をしてほしい。
- ・補装具に対する補助の所得制限を撤廃してほしい。
- ・車椅子等の購入にあたり、自己負担を段階的に軽減してほしい。（2件）

②医療に係る費用について 11件

- ・医師からモニター使用の指示があっても購入助成が受けられないのはおかしい。
- ・特定疾患の医療証の支給は、世帯収入でなく患者本人の収入で上限を決めてほしい。
- ・自立支援医療受給証更新時の、診断書費用が負担である。
- ・医療費の月の自己負担の上限額が各科ごとなので全ての科合わせての上限額にしてほしい。
- ・医療費の月の自己負担の上限額に、難病を発症した際に必要な検査費を含めてほしい。
- ・医療券が切れて、申請の手続きや負担額が心配である。

- ・医療費が上がるのが心配である。
- ・医療費を一割無料にしてほしい。
- ・医療費を無料にしてほしい。
- ・難病医療費助成制度を存続してほしい。
- ・医療証や都の医療費の援助はありがたい。

③ユニバーサルデザインの推進や情報アクセシビリティへの配慮について 21件

- ・道路を平坦にしてほしい。(4件)
- ・街なかに、椅子やベンチを設置してほしい。(2件)
- ・ベビーカー利用時、駅のエレベーターが使いづらい。
- ・駅や道路のバリアフリーを進めてほしい。
- ・道路や駅構内を明るくしてほしい。
- ・公共交通機関の優先席マナーの啓発をしてほしい。
- ・利用する駅にエレベーター、エスカレーターが設置されて助かっている。
- ・視覚障害者が暮らしやすい環境を整備してほしい
- ・視覚障害者に配慮した街づくりをしてほしい。
- ・一般道を車椅子が走りやすいように整備してほしい。
- ・足に障害があっても安心して歩ける街づくりをしてほしい。
- ・道路の照明が暗い特定の地点について、具体的に改善してほしい。
- ・公道上に駐輪した自転車を撤去してほしい。(2件)
- ・自転車走行マナーの啓発・指導をしてほしい。
- ・成人までのオムツ換えができる設備のついたトイレを増やしてほしい。
- ・公共の場にあるテレビ、スクリーンにはすべて字幕を付けてほしい。

(2) 介助や家族の状況について 26件

- ・家族への理解や支援をしてほしい。(5件)
- ・家族の都合が悪くなったときに、子どもの一時預かりをしてほしい。(3件)
- ・家族の都合が悪くなったときに、近くに付き添いや支援、見守りを頼める人が必要だが見つけられない。(2件)
- ・家族への理解や支援をしてほしい。(重度障害者)
- ・家族や兄弟が相談・交流できる場がほしい。
- ・家族を支援する個別利用計画を作してほしい。
- ・障害者のいる家庭への支援を具体的に行ってほしい。
- ・障害者と家族の高齢化に対応してほしい。
- ・親への理解や支援をしてくれる医療機関や福祉機関が少ない。
- ・緊急時に、家族以外に支援してくれる制度がほしい。

- ・障害の程度に合った介護をしてほしい。
- ・若くて体力のある男性に介助してもらいたい。(2件)
- ・障害児の兄弟へのサポートも、ヘルパー業務として認めてほしい。
- ・家族だけで障害者を支えるには制限がある。区がサービスを充実させてほしい。
- ・気軽に預けたり、見守ってくれるサービスがほしい。
- ・在宅障害者へのサービスを充実させてほしい。(2件)
- ・一人暮らしの障害者へのサービスを充実させてほしい。

(3) 健康と医療について 14件

- ・区健康健診は利用していない。自分の病気に関する検査をたくさん受けている。
- ・先天性の病児に対して、予防接種に対する具体的な情報提供がなかった。
- ・週3回の人工透析の移動の際、悪天候の日にタクシーがなかなかつかまらず困っている。
- ・ALS患者の受け入れ施設が少なく在宅看護が出来なくなった時が非常に不安。区内の短期入所なども増やしてほしい。
- ・現在の医療機関が遠い。自宅の近くでてんかん専門病院の通院や、歯科の治療を受けたい。
- ・治療とリハビリが充実した障害児総合医療センターを設置してほしい。
- ・病院の相談窓口で相談して、支援を速く受けたい。
- ・十分な広さの施設や病院を設置してほしい。
- ・重度障害者を受入れる医療施設を確保してほしい。
- ・病院をもっと利用させてほしい。
- ・夜間に受け入れてくれる緊急時対応病院を確保してほしい。
- ・障害者が受診できる医療機関の情報を医師会から発信してほしい。
- ・精神科医を増やしてほしい。
- ・精神科医が正しい診断をできるよう、教育を行ってほしい。

(4) 住まいや暮らし方について 54件

①グループホームについて 16件

- ・親亡き後に備えて、グループホームを増やしてほしい。(5件)
- ・グループホームに入所したい。(3件)
- ・グループホーム、シェアハウス、寮など、様々な住まい方の場所を設置してほしい。
- ・グループホームを増やしてほしい。
- ・区内にグループホームを増やしてほしい。
- ・女性限定のグループホームを設置してほしい。
- ・将来はグループホームで生活させたい。
- ・中軽度の障害者が利用できるグループホームを増やしてほしい。
- ・重度の身体障害者が利用できるグループホームを設置してほしい。

- ・重度知的障害者のグループホームを増やしてほしい。

②入所施設について 10件

- ・入所施設を増やしてほしい。(4件)
- ・区内に入所施設を設置してほしい。(2件)
- ・重度知的障害者の入所施設を増やしてほしい。
- ・医療的ケアの必要な障害者の入所施設を設置してほしい。
- ・東京近郊に入所施設を設置してほしい。
- ・施設に入所しており、感謝している。

③その他住居について 6件

- ・単身生活をしたいが周囲や職場の理解が得られない。
- ・賃貸住宅の家賃補助をしてほしい。
- ・賃貸住宅の契約に際して、支援を受けたい。
- ・賃貸住宅の契約支援を受けたい。
- ・公的住宅に住み続けたい。
- ・障害者が地域で生活できるように、施設や相談機関を増やしてほしい。

④親亡き後の暮らし等について 22件

- ・親亡き後も安心して暮らせるようになってほしい。(8件)
- ・親亡き後に備えて、区内に入所施設を設置してほしい。(2件)
- ・単身の障害者が地域で安心して生活できるようにしてほしい。
- ・家族がいなくなったあとに単身生活することが不安。
- ・親の高齢化で様々な不安が現実の問題になるのではないだろうか。
- ・親亡き後、障害者が地域で暮らしていくことに、施設の、金銭的にも困難を感じている。
- ・親亡き後に単身生活ができるのか、不安がある。
- ・親亡き後に備えて、単身障害者への支援の充実を望む。(ヘルパー、見守り)
- ・親亡き後に備えて、成年後見制度とは別に、本人を見守る機関を設置してほしい。
- ・親亡き後に備えて、区内にグループホームを設置してほしい。
- ・親亡き後に備えて、重度障害者のグループホームを設置してほしい。
- ・親亡き後に備えて、遠くの入所施設ではなく、区内に通過型入所施設を設置して、障害者の地域での生活支援をしてほしい。
- ・親亡き後に備えて、中軽度の障害者が利用できる入所施設を設けてほしい。
- ・親亡き後に施設が利用できるか不安である。

(5) 社会参加や日中活動について 115 件

①就労・就労支援について 33 件

- ・就労支援センターを増やしてほしい。(3 件)
- ・就労支援を充実してほしい。(2 件)
- ・難病患者の就労支援をしてほしい。(3 件)
- ・障害者の就労支援を充実してほしい。
- ・発達障害者の就労支援を充実させてほしい。
- ・障害者が一般企業で働けるように支援してほしい。(2 件)
- ・障害があっても、仕事や趣味をもって充実した日々を過ごせて、自立できる仕組みを作っ
てほしい。(2 件)
- ・尊厳ある働き方をしたい。
- ・多様な働き方を認めてほしい。
- ・短時間でもいいので、働きたい。
- ・企業の法定雇用率の具体的な情報が知りたい。
- ・法定雇用率に難病患者も含めてほしい。
- ・ハローワークと連携して、就労支援をしてほしい。
- ・就職できるのか不安である。
- ・就職や自立ができるか、安全に暮らせるか、不安である。
- ・区が、再開発などのときに、障害者雇用や障害者施設の設置などを働きかけてほしい。
- ・行政機関での障害者の体験的な就労の場を増やしてほしい。
- ・精神障害者の施設は、就労意欲と能力のある利用者の就労を支援してほしい。
- ・がん治療終了の目途もつかず職も得られない状況が続く場合に、受けられる支援にはどの
ようなものがあるか。
- ・難病患者の就労の確保、企業の病気の理解につながる施策を行ってほしい。
- ・難病で通院が必要なため、採用面接に不合格になる。難病患者に偏見を持たず、理解して
ほしい。
- ・難病患者の就労について、勤務先に理解してほしい。
- ・通勤時の車内で奇声を発するため、通勤に親が付き添っているが、今後ずっと付き添うの
は難しい。
- ・就労できたのに、職場の障害理解が不足しており、退職させられた。
- ・就労が継続できなくなったときに、いつでも戻れる場所がほしい。
- ・就労していた難病患者や障害者が働けなくなったときに、金銭的な支援をしてほしい。

②障害児の日中活動、学校等について 61 件

- ・学校への送迎が負担なので支援してほしい。(3 件)
- ・通学時の移動支援の事業者を探すのが大変である。(3 件)

- ・特別支援学校の高等部にスクールバスを導入してほしい。(4件)
- ・スクールバスを利用したい。(2件)
- ・特別支援学校の高等部の通学に支援をしてほしい。(2件)
- ・高等部まで、施設への移動に支援をしてほしい。
- ・通学が大変なので支援してほしい。
- ・知的障害の程度に合った教育の場で、適切な支援を受けたい。(2件)
- ・新BOPにおいて、障害児のBOPの利用日数を制限しないでほしい。(2件)
- ・障害のある子どもも利用できる保育園を増やしてほしい。
- ・障害児のみが通える幼稚園を作ってほしい。
- ・軽度の障害児について、就学相談を充実させてほしい。
- ・軽度の障害児について、療育や学習を充実させて、就労できるようにしてほしい。
- ・都立の障害児通所施設を設置してほしい。
- ・障害の程度に合った教育の場で、適切な支援を受けたい。普通校との交流を多くしてほしい。
- ・障害児や家族が希望する就学先で、学習環境の整備や支援の人材の配置をしてほしい。
- ・支援学級に入りたかったが定員がいっぱいで利用できなかった。
- ・全ての学区域の学校に特別支援学級を設置してほしい。(2件)
- ・特別支援学級の設置を増やしてほしい。
- ・区内の中学校に支援学級を設置してほしい。
- ・障害がある子どもとない子どもが、共に学べるようにしてほしい。(3件)
- ・授業における視覚的情報保障を充実してほしい。
- ・通常級にいる配慮が必要な子どもへの支援をしてほしい。
- ・学級に補助者を配置してほしい。
- ・学校における居宅介護の利用を認めてほしい。
- ・障害児が学校に通う際、付き添いを求められるのは、配慮が欠けている。
- ・校内での付き添いを福祉サービスでカバーできるようにしてほしい。
- ・学校支援員の配置が校長により決定されるのは納得できない。
- ・学校支援員の配置予算がないという理由で、学区域の小学校に受け入れを断られた。
- ・障害の程度や学力に合わせた教育を受け、高校修了課程が取れる学校を増やして、卒業後の社会参加に結び付けてほしい。
- ・障害者の受入れや支援を行う大学や、スクーリングのある学校が近くにほしい。
- ・通園施設が母子通園で、親の負担が大きい。
- ・幼稚園の介助の先生と私語が禁止され、コミュニケーションがとれなかったので残念。
- ・医療ケアが必要な児童について、学校内への看護師やヘルパーが対応できるようにし、親の負担を減らしてほしい。
- ・障害児の学童保育を増やしてほしい。

- ・児童デイサービスについて、長期休暇時の利用時間の延長や、日数制限の解除、送迎の実施などを行ってほしい。
- ・放課後や長期休暇時に利用できる場所がほしい。(3件)
- ・障害のある中学生・高校生の放課後の居場所がほしい。(2件)
- ・障害児が放課後に通えるデイサービスを設置してほしい。(2件)
- ・身体障害児の療育や放課後等デイサービスを増やしてほしい。
- ・放課後等デイサービスを増やしてほしい。
- ・放課後や長期休暇時に、地域の高齢者対象のデイサービスを利用できないか。
- ・障害児が放課後に通えるデイサービスをもっと設置してほしい。

③通所施設等について 21件

- ・通所施設を増やしてほしい。(2件)
- ・施設に送迎バスを設置してほしい。
- ・三宿つくしんぼホームを改築してほしい。
- ・作業所の開所時間を長くしてほしい。
- ・作業所の工賃を上げてほしい。
- ・作業所の工賃算定を公正に行ってほしい。
- ・施設の利用申込から利用開始までの時間を短くしてほしい。
- ・知的障害者を対象にした施設を増やしてほしい。
- ・認知症の障害者が利用できる施設を設置してほしい。
- ・精神障害者の利用できる施設を区内に増やしてほしい。
- ・利用中の施設が鉄道駅から遠くて不便であり、また狭い。
- ・車椅子で利用できる施設を増やしてほしい。
- ・施設の駐車場を充実させてほしい。
- ・民営化された施設の運営内容に不満がある。
- ・施設で提供される食事の質を向上させてほしい(2件)。
- ・通所施設の夏休みが10日間なのは長いので短くしてほしい。
- ・小学校で障害児を分ける必要がない。幼児と老人が同じ場所で過ごせるようにしてほしい。
- ・障害児と高齢者が交流する機会を設けてほしい。
- ・知的障害児と認知症高齢者が交流したら、相互により刺激になるのではないか。

(6) その他の日中活動について 17件

- ・障害者が交流したり、自分のペースで活動できる場所がほしい。(3件)
- ・いきいきと活動できる場所がほしい。
- ・できることを活かして社会参加したい。
- ・地域との交流がない。

- ・地域のかたと交流を継続できるしくみがほしい。
- ・障害があっても安心して外出が楽しめるようになってほしい。
- ・高齢者や障害者が気軽に旅行できる場所が増えてほしい。またそうした場所の情報を発信してほしい。
- ・自動車運転免許取得は知的障害者でも取得できるのか知りたい。
- ・障害者が運転する車両の駐車禁止等除外標章の取得条件を緩和してほしい。
- ・難病で、今は進行を遅らせるよう、リハビリ体操を続け、ストレスを避け、前向きに暮らしている。
- ・スポーツをする機会を増やしてほしい。
- ・障害者がスポーツを通じて交流できる場所を作ってほしい。
- ・北区の障害者スポーツセンターのような施設がほしい。
- ・精神障害者が運動を楽しめるよう、施設運営に配慮してほしい。
- ・みんなで楽しく右脳を鍛えるエクササイズを提供してほしい。

(7) 相談や福祉の情報について 79 件

①区の窓口や職員の対応等について 32 件

- ・土日や夜間にも福祉関連の手続きや相談ができるように窓口を開設してほしい。(5 件)
- ・障害者の心情を理解した区の窓口対応をしてほしい。(4 件)
- ・区職員は障害者についての正しい知識や深い見識を持って対応してほしい。(3 件)
- ・区では柔軟な窓口対応をしてほしい。(3 件)
- ・区は、職員が変わっても対応のレベルや内容が変わらないようにしてほしい。(2 件)
- ・区内の施設や相談窓口の地理的な偏在を解消してほしい。(2 件)
- ・区の窓口以外に、気軽に相談できる場所がほしい。
- ・区の窓口で、個々の障害者のニーズに合わせた対応をしてほしい。
- ・区の窓口では親切な人も多いが、中には障害者を理解していない対応をする人もいる。
- ・区職員は障害について医学的な正しい知識も持ち、障害者の心情を理解して対応してほしい。
- ・支援員は障害についての正しい知識を持って対応してほしい。
- ・自分の子どもの現状と、今後の展望等について、区職員から話を聞きたい。
- ・担当者が休みのとき、伝言が伝わっておらず、何度も足を運んでやっと連絡がとれた。もっと責任をもって対応してほしい。
- ・区職員が異動しても、自分の情報をきちんと引き継いでおいてほしい。
- ・もっと保健師の支援を受けたい。
- ・職員の質が非常に高く、たいへん満足している。
- ・保健福祉課の職員が、最善の策を共に考えてくれることに感謝している。
- ・保健福祉に関する組織等が複雑で分かりにくい。

- ・区役所の手続きの際、自閉症児が待つための別室がほしい。

②手続き等について 10件

- ・書類が多い、わかりにくい。(4件)
- ・手続きにかかる時間や負担を減らしてほしい。(4件)
- ・手当等の手続きを簡素化してほしい。(2件)

③相談先等について 9件

- ・相談、サービス決定、支援が遅滞なく行われるようにシステムを整えてほしい。
- ・困った時にすぐに対応してくれるところがない。
- ・ヘルパーの対応について不満があるとき、どこに相談したらいいのか知りたい。
- ・自宅の近くの民生委員には相談しない。ケアマネージャーや区役所、警察に相談する。
- ・担当の民生委員との交流がない。
- ・生活相談ができる指導員を増やしてほしい。
- ・将来の不安について相談できる場所がほしい。
- ・精神障害者が、いつでも電話などで相談できる体制をつくってほしい。
- ・相談員の質の向上を図ってほしい。

④サービス等に関する情報について 28件

- ・個々の障害者児にあわせて、その人が受けられるサービスを区のほうから情報を提供してほしい。(10件)
- ・障害者が利用できるサービスについての情報が、必要な人に届くようにしてほしい。(7件)
- ・自分の受けているサービスの内容を定期的に知らせてほしい。
- ・障害者からの要望でサービスや情報を提供するのではなく、区が自ら最新のサービスや情報を提供するようになってほしい。
- ・難病患者が利用できるサービスについて情報がほしい。
- ・利用できるサービスについて、気軽に相談できる場所がほしい。
- ・「障害者のしおり」に、難病の患者が利用できるサービス等をわかりやすく記載してほしい。
- ・「障害者のしおり」を利用しており、装具に感謝している。
- ・法律がよく変わるので、受けられるサービスがよくわからない。
- ・施策や制度の変更について、わかりやすく説明してほしい。
- ・介護老人ホームについての情報がほしい。
- ・福祉施設の内容がよくわからない。
- ・病児を育てている人たちと交流や医療機関等の情報交換がしたかった。

(8) 障害福祉のサービス等の利用状況と利用意向について 123 件

①障害者施策の充実、サービスの質の向上等について 34 件

- ・障害者施策を充実してほしい。(2 件)
- ・納税額にみあった福祉サービスを受けたい。(2 件)
- ・支所によっては障害福祉サービス等の利用についての可否判断が厳しいと聞く。区内では一律に利用できるようにしてほしい。(2 件)
- ・障害者自身が、支援を受けるとともに、自分でできる努力をしていくことが大切である。(2 件)
- ・サービスの質の向上をしてほしい。
- ・サービス従事者の労働条件をよくしてほしい。
- ・施設職員の給与を上げてほしい。
- ・障害者が安心して、安定して過ごせるように、施設職員の待遇を向上させてほしい。
- ・サービス提供事業所や職員を増やしてほしい。
- ・支援サービスの担い手を増やしてほしい。
- ・支給されるサービスの質や実効性を向上させてほしい。
- ・個々に対応した施策が必要。障害の重度化を遅らせることができるように、支援してほしい。
- ・障害福祉サービスの助成対象を減らさないでほしい。
- ・障害福祉サービスの利用手続きを簡素化してほしい。
- ・事後申請について、減額されてもいいので支給してほしい。
- ・障害手帳が取得できず、将来が不安である。
- ・「愛の手帳」の交付には抵抗があるが「発達障害者の手帳」があれば受け取りたい。
- ・重度障害児が地域で暮らすための施設やサービスを充実してほしい。
- ・難病患者が利用できるサービスを増やしてほしい。
- ・18 歳以降も放課後等デイサービスのような内容の福祉サービスを利用したい。
- ・精神障害者の利用できる施設を区内に増やしてほしい。
- ・総合福祉センターのリハビリ訓練を継続してほしい。
- ・知的障害児が利用できる施設を増やしてほしい。
- ・知的障害者の交流やサービスを充実させてほしい。
- ・デイサービスを増やしてほしい。
- ・梅ヶ丘拠点は様々な障害者が利用できる内容を整備してほしい。
- ・行動援護、同行援護の支給要件を明確にしてほしい。
- ・物忘れが進まない為の訓練や身体を動かす体操、寝たきりにならない為の訓練等を区の指導のもとに実施してほしい。
- ・要介護5で寝たきり、入院中だが、手当なども受けられず、区内で利用できる施設がない。
- ・介護保険新規申請中。

②補装具・日常生活用具について 3件

- ・義手の作成経費を区が負担してほしい。
- ・ストマ用装具購入の自己負担率を下げしてほしい。
- ・家庭用ストマ専用トイレが住宅改築費の補助で受けられるようにしてほしい。

③リハビリについて 5件

- ・OT・PT が安く受けられる施設が近くにほしい。
- ・OT・PT・ST などの療育を受けたい。
- ・リハビリする場所がほしい。もっと、ひまわり荘を活用できないか。
- ・リハビリの回数を増やしてほしい。
- ・リハビリの回数を法律で制限しないでほしい。医者と障害者本人で決定できるべきだ。

④療育、児童デイサービス等について 7件

- ・療育施設を増やしてほしい。(2件)
- ・療育の回数を増やしてほしい。
- ・就学後も療育を受けられる場所がほしい。
- ・知的障害児が就学後に療育を受けられる場が欲しい。
- ・特別支援学級や普通級に通っている身体障害児が、特別支援学校にある訓練設備を、放課後に利用できるようにしてほしい。
- ・児童デイサービスは経営が厳しい。補助を充実してほしい。

⑤自立訓練について 3件

- ・自立訓練（生活訓練）の施設を増やしてほしい。
- ・自立訓練を利用したいが、内容が自分のニーズに合わず利用できない。
- ・自立訓練（機能訓練）に利用期間の制限を設けず、本人の希望がある場合は続けさせてほしい。

⑥ショートステイについて 26件

- ・ショートステイを増やしてほしい。(6件)
- ・医療的ケアの必要な障害者が利用できるショートステイを増やしてほしい。(2件)
- ・区内にショートステイを増やしてほしい。
- ・親亡き後に備えて、ショートステイを増やしてほしい。
- ・ショートステイが、急に必要になったときに利用できない。(3件)
- ・ショートステイを連続した日数利用したい。(3件)
- ・ショートステイを利用したい。(2件)
- ・通所施設でのショートステイを可能にほしい。

- ・ショートステイについて、詳しい情報を提供してほしい。
- ・障害児のショートステイを設置してほしい。
- ・身体障害者のショートステイを増やしてほしい。
- ・知的障害者のショートステイを増やしてほしい。
- ・医療的ケアの必要な重度障害者が利用できるショートステイを増やしてほしい。
- ・医療的ケアの必要な知的障害者が利用できるショートステイを設置してほしい。
- ・人工呼吸器の必要な障害者が利用できるショートステイを増やしてほしい。

⑦ホームヘルプ・ヘルパーについて 13件

- ・ヘルパーの質を向上してほしい。(2件)
- ・ヘルパーの労働条件をよくしてほしい。(2件)
- ・ヘルパー不足を解消してほしい。(2件)
- ・ヘルパーの数を増やしてほしい。
- ・ヘルパーの育成と質の向上。
- ・ヘルパー訪問の数を増やしてほしい。
- ・ホームヘルプの時間数を増やしてほしい。
- ・家事援助の支援を受けたい。
- ・同居の家族がいてもホームヘルプサービスの内容を制限しないでほしい。
- ・居宅介護の家事援助を使いやすくしてほしい。前回に買物のお金を渡しておき、買物をしてから自宅に来てもらうなど。

⑧入浴について 5件

- ・身体障害者向けの入浴施設を設置してほしい。
- ・入浴介助サービスを増やしてほしい。
- ・入浴回数を増やしたいので介助サービスを増やしてほしい。
- ・入浴券を発行してほしい。
- ・巡回入浴は入札ではなく、利用者が業者を自由に選択出来るようにしてほしい。

⑨移動支援について 13件

- ・移動支援サービスの利用対象を広げてほしい。(9件)
- ・移動についての支援を充実してほしい。(2件)
- ・移動支援サービスに若くて優秀なヘルパーがいてほしい。
- ・中学生の通学に移動支援の利用を認めてほしい。

⑩タクシー券について 6件

- ・タクシー券の制度はありがたい。(2件)

- ・タクシー券を増額してほしい。(2件)
- ・タクシー券をカード式にするなどして、利用しやすくしてほしい。
- ・タクシー券を支給してほしい。

⑪一時預かり、緊急一時保護、緊急介護人等について 8件

- ・障害のある子どもの一時預かりができる場所が増えてほしい。(2件)
- ・障害児の一時預かりがほしい。
- ・緊急一時保護の連続利用日数を増やしてほしい。
- ・緊急一時保護を増やしてほしい。
- ・緊急介護人制度が利用できることがありがたい。
- ・自分の利用する施設でも、緊急介護制度を利用したい。
- ・緊急時に、ベビーシッター会社と提携して希望する時間に家で子どもを見てもらうようにしてほしい。

(9) 災害対策について 12件

①避難について 7件

- ・障害者だけの避難所を設置してほしい。
- ・避難所の受付を、障害者向けに別途設けてほしい。
- ・ストレスでパニックを起こしやすいので、災害時に、普段通っている学校に家族と一緒に避難したい。
- ・災害時に直接二次避難所に避難したい。
- ・障害児が避難所で安全・安心に過ごせると思えず、回りに迷惑をかけるのではないかと不安である。もっと災害時の対策をしてほしい。
- ・地震などの災害時の避難等に不安がある。地域の理解と交流が必要だと思う。
- ・避難所へは行きにくい。自宅待機できるといい。

②その他 5件

- ・自宅の非常用井戸が公園建設に伴って枯れてしまった。
- ・災害時に孤立するのが不安である。
- ・災害時に障害者を区が保護し、家族に引き渡してほしい。
- ・災害時に備えた情報や訓練などを受けたい。
- ・災害時要援護者支援対策を充実させてほしい。

(10) 障害理解について 46件

①学校等における障害理解について 7件

- ・学校での障害理解学習を進めてほしい。(3件)

- 学校における障害理解を進めてほしい。
- 小学校の教員の障害理解が進んでほしい。
- 学生たちが福祉に興味を持ち、活動する機会をつくってほしい。
- 保育園や幼稚園での障害理解の取組みを、区が支援して進めてほしい。

②職場や社会の障害理解について 27件

- 社会の障害理解が進むよう啓発を進めてほしい。(3件)
- 社会の障害理解が進むよう、障害者と交流する機会を増やしてほしい。(2件)
- 社会の障害理解を進めてほしい。(6件)
- 社会の障害理解を進めてほしい。(見た目にわからない障害)(4件)
- 社会の障害理解を進めてほしい。(統合失調症)(2件)
- 社会の障害理解を進めてほしい。(知的障害)(2件)
- 社会の障害理解を進めてほしい。(精神障害)
- 社会の障害理解を進めてほしい。(障害児)
- 社会の障害理解を進めてほしい。(内部障害、発達障害、知的障害)
- 社会の相互理解が進むよう、様々なひとが共に過ごす機会をつくってほしい。
- スーパーマーケットにおいて、障害者の利用について配慮してほしい。
- 職場の障害理解が乏しい。
- 親戚に障害についての理解がない。
- 福祉分野以外の区職員の障害理解を進めてほしい。

③障害理解を進めるための取組み等について 12件

- 障害理解をすすめる取組みを工夫してほしい。(3件)
- 障害があることを知らせるマークやシンボルがほしい。(発達障害児)
- 障害のある人もない人も、共に遊び生活できる場を利用できるようにしてほしい。
- 障害を理解してもらうためのリーフレットがほしい。
- 障害を理解してもらうための発表や交流の場がほしい。
- 障害者が社会貢献や地域活動に参加することで、地域の障害理解が進むと感じている。
- 障害当事者が職員にいたるなども大切だと思う。
- 親が発達障害の就労支援に申し込み、通っているがとても抵抗がある。
- 統合失調症がテレビで取り上げられるようになり、少しずつ理解されていると思う。
- もっと社会に障害者の大変さ、苦悩、生きづらさをわかってもらうためのシンポジウムなどを開いて欲しい。

(11) 差別の解消と権利擁護について 6件

- 差別や偏見はなくなることはないと思う。静かに暮らしていける環境がほしい。

- ・障害児への差別を体験した。
- ・会社でいじめられた。
- ・虐待は表には出にくい。見守りが大切だと思う。
- ・障害者自身の意見を聞くのは良いことだと思う。
- ・成年後見人制度を充実させてほしい。

(12) その他 79件

①実態調査について 34件

- ・実態調査の項目を減らしてほしい。(10件)
- ・実態調査を障害の種類等別に分けるべきである。(3件)
- ・実態調査に本人が記入することができなかった。(児童)(2件)
- ・実態調査に本人が記入することができなかった。
- ・実態調査に本人が記入することができなかった。(障害者)(3件)
- ・実態調査に本人が記入することができなかった。(入所者)
- ・実態調査が(入所中の母あてではなく)娘あてだったらたくさんのことが記入できた。
- ・実態調査への記入が負担だった。(視覚障害者)
- ・重度障害者が答えられない項目がある。
- ・障害のせいではなく幼い(2歳)ために回答できない項目があった。
- ・実態調査において選択式回答が3つまでだが、5つくらい選びたい場面があった。
- ・実態調査に自力で動けない人についての項目を設けてほしい。
- ・実態調査の制度一覧やサービス内容の記述が参考になった。(2件)
- ・実態調査の質問に分りにくい箇所があった。
- ・実態調査の内容がよく理解できない。
- ・実態調査を施策に反映させてほしい。
- ・書面による実態調査よりも訪問調査をすべきである。
- ・障害者の実態を調査していただいたことに感謝する。
- ・この調査票で障害者のシステムやグループがこんなにたくさんあることに驚いた。

②施策やサービス全般について 45件

- ・個々のニーズにあった配慮や支援をしてほしい。(6件)
- ・軽度の障害者にも必要な支援を適切に行ってほしい。(3件)
- ・知的障害者に対するサービスを充実させてほしい。(2件)
- ・聴覚障害者に対する支援を充実してほしい。(2件)
- ・個々のニーズにあった配慮や支援をしてほしい。(保健師)
- ・高次脳機能障害で受けられるサービスの幅が狭い。
- ・支給されるサービスの質や実効性を向上させてほしい。

- 精神障害者の施策を充実してほしい。
- 同居家族のいる障害者への施策を充実してほしい。
- 発達障害者を総合的に支援する施設を設置してほしい。
- 病気のため発声が困難である。
- 障害が軽くなったとのことで、サービスを受けることが出来なくなった。発達障害が治ったわけではないので、必要な支援を継続してほしい。
- 障害等級が変わり、年金額、生活保護の額が下がった。「働け」と言われるが、薬の量も多く、副作用も強く、働くのが難しいことを分ってほしい。
- 医療機関の医師、病院側、職員の知的障害者に対する理解不足で配慮にかけられる言動が多く不満がある。
- 知的障害＋強度行動障害のような少数で特殊なケースへの対応は、既存の福祉の枠組みでは想定されていないと思う。国や医療機関と共に研究してほしい。
- 北欧の福祉施策を参考にし、開発途上国や他の自治体の見本になるように福祉施策を充実してほしい。
- 男性に子育てへの理解を進める取組みをして、社会の子育てへの理解を促進してほしい。
- 障害は「障がい」と表記してほしい。
- 障害があるが生活等に不便を感じていない。(6件)
- 適切なサービスを受けており、感謝している。(5件)
- 世田谷区の福祉施策は充実していると思う。今後も継続させてほしい。(2件)
- 適切なサービスを受けており、感謝している。できることは自分で行い、足りない部分についてサービスを受けたい。
- 施策が充実しており、不満はない。
- 住みよい世田谷区にしてほしい。
- 世田谷区に感謝している。
- 特になし

第3章 サービス提供事業者調査の結果

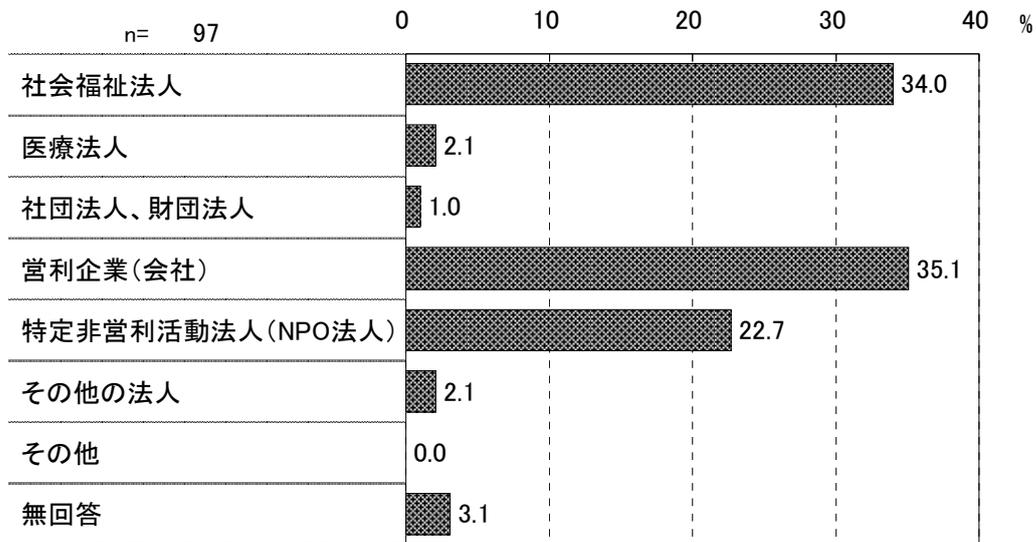
1. 事業所の概要について

問1 貴事業所の名称をご記入ください。

事業所の名称については本報告書では掲載を省略します。

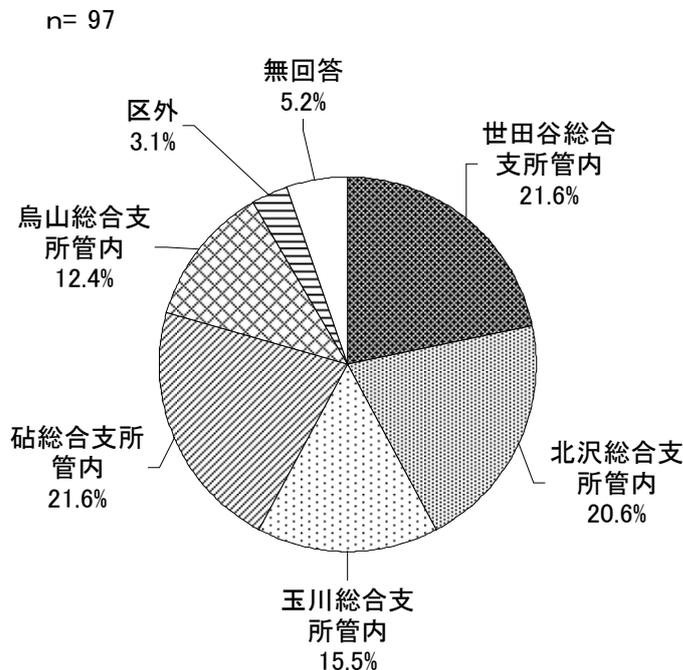
問2 貴事業所の事業形態は何ですか。(1つに○)

事業形態については、「営利企業(会社)」が最も多く 35.1%、次いで「社会福祉法人」が 34.0%などとなっています。



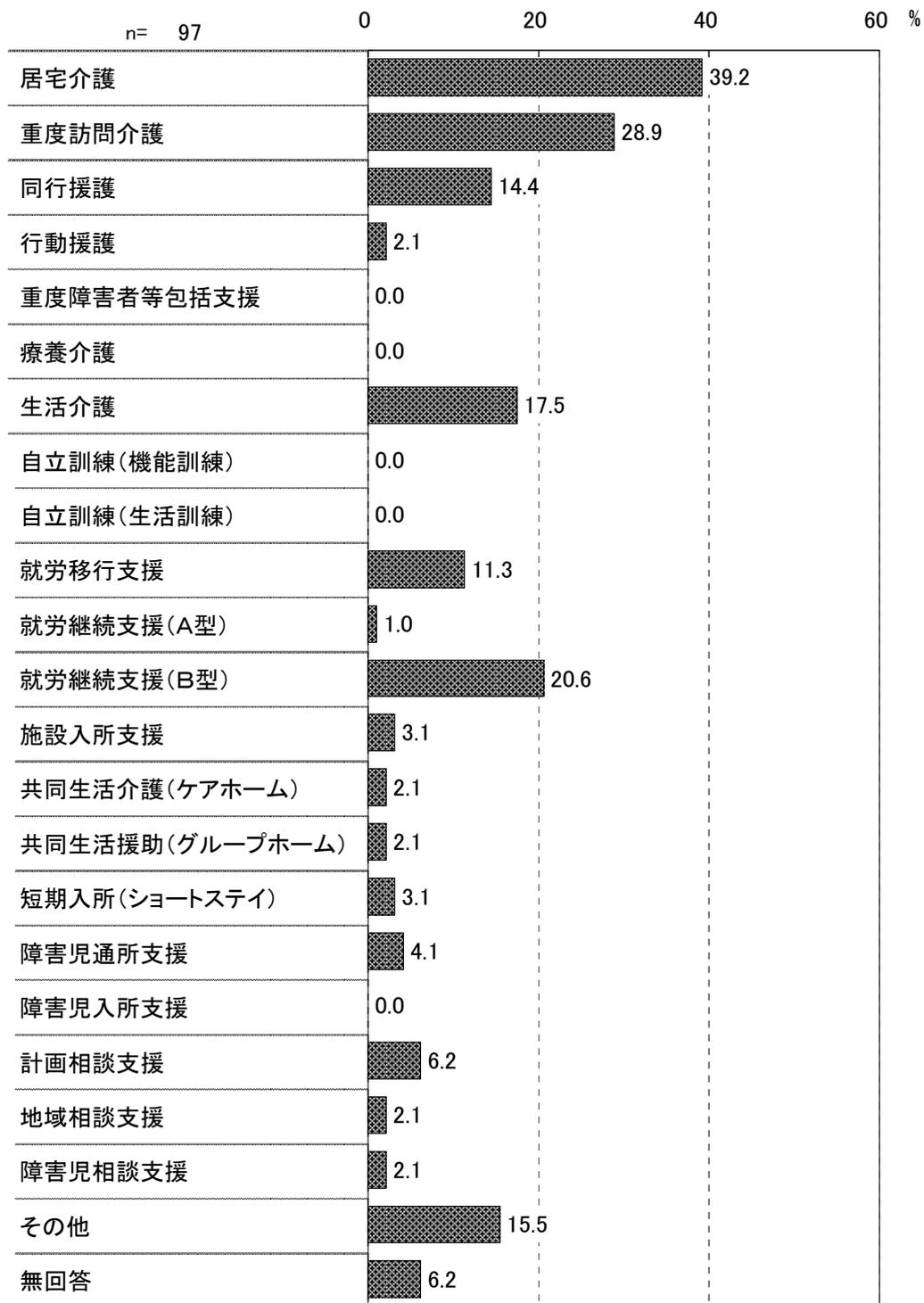
問3 貴事業所の所在地はどこですか。(1つに○)

事業所の所在地については、「世田谷総合支所管内」が 21.6%、「北沢総合支所管内」が 20.6%、「玉川総合支所管内」が 15.5%、「砧総合支所管内」が 21.6%、「烏山総合支所管内」が 12.4%、「区外」が 3.1%となっています。



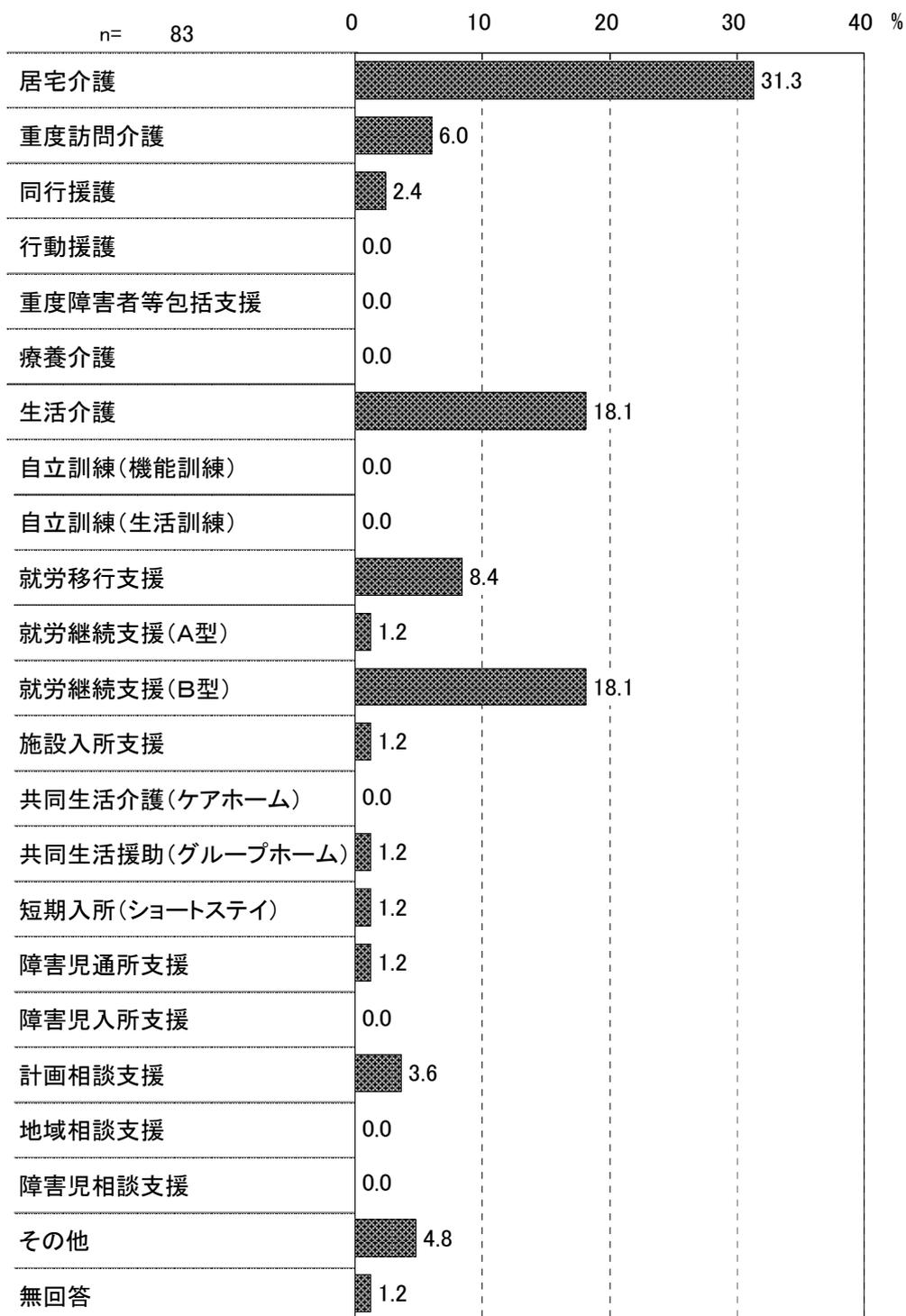
問4 提供しているサービスは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

提供しているサービスについては、「居宅介護」が最も多く 39.2%、次いで「重度訪問介護」が 28.9%、「就労継続支援（B型）」が 20.6%、「生活介護」が 17.5%、「同行援護」が 14.4%、「就労移行支援」が 11.3%などとなっています。また、すべての事業所が障害福祉サービスを提供しており、介護保険のサービスだけを提供している事業所はありませんでした。



問5 サービスごとの世田谷区民利用者の内訳をご記入ください。なお、重複障害は主たる障害でカウントしてください。

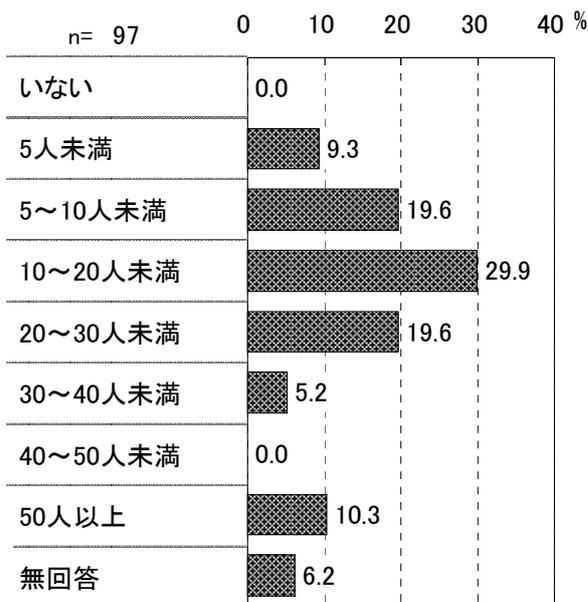
サービスごとの利用者の内訳については、「居宅介護」が最も多く31.3%、次いで「生活介護」と「就労継続支援（B型）」がともに18.1%などとなっています。



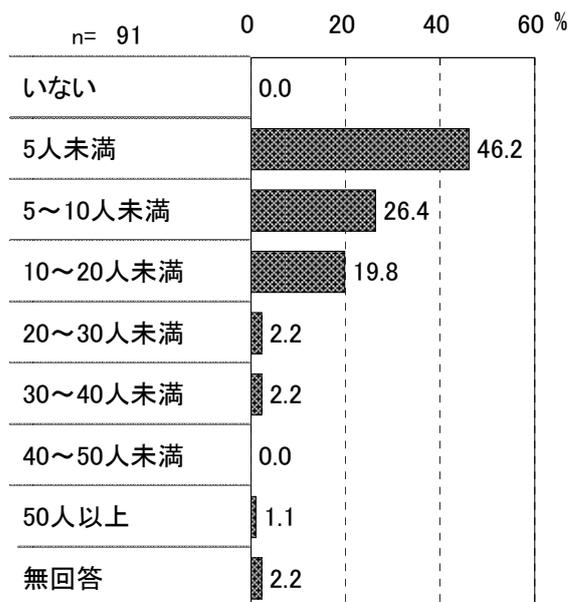
問6 平成26年1月1日現在の職員数をご記入ください。(実人数)

平成26年1月1日現在の職員数については、「10～20人未満」が29.9%、「5～10人未満」と「20～30人未満」がともに19.6%などとなっています。また、常勤では「5人未満」が46.2%、「5～10人未満」が26.4%、「10～20人未満」が19.8%、非常勤では「5～10人未満」が28.6%、「5人未満」が27.5%などとなっています。

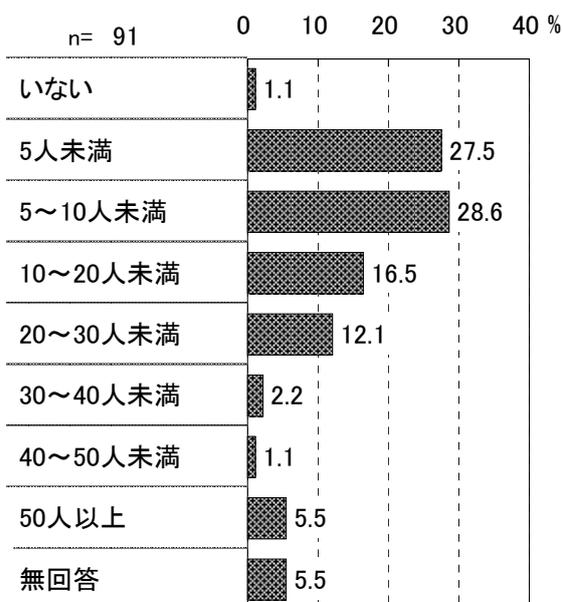
【全体】



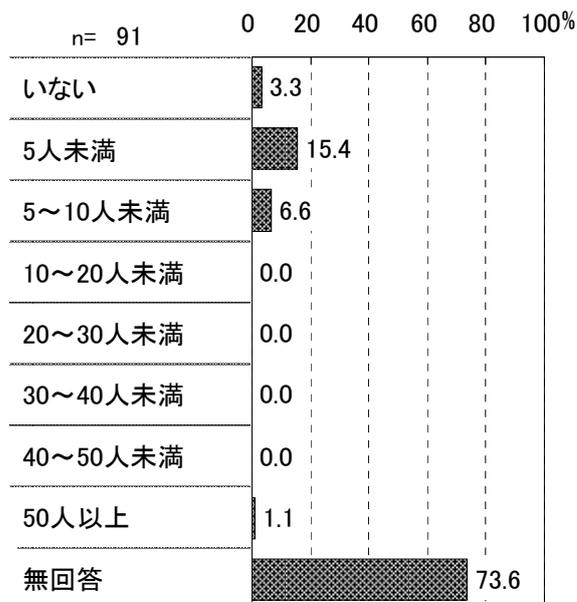
【常勤】



【非常勤】



【その他】

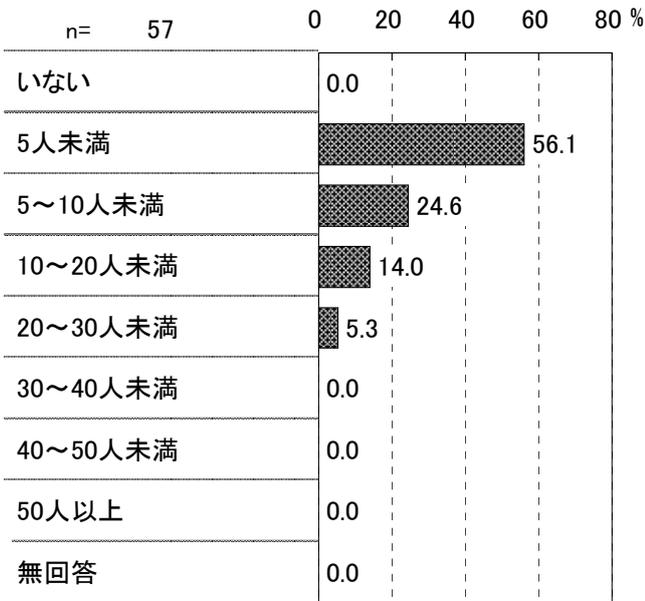


問7 平成26年1月1日現在の職種別の職員数をご記入ください。

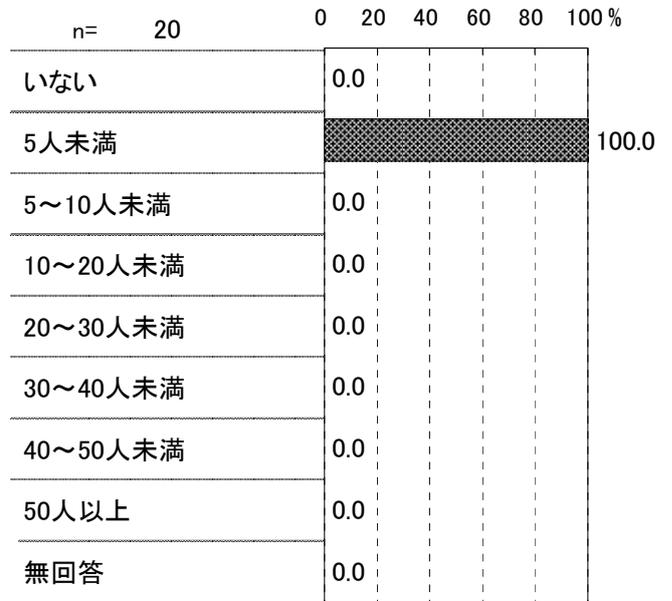
○介護福祉士、ホームヘルパー1級

平成26年1月1日現在、介護福祉士のいる事業所における当該職種の人数は、「5人未満」が56.1%、「5～10人未満」が24.6%などとなっています。また、ホームヘルパー1級のいる事業所における当該職種の人数は、全事業所で「5人未満」となっています。

【介護福祉士】



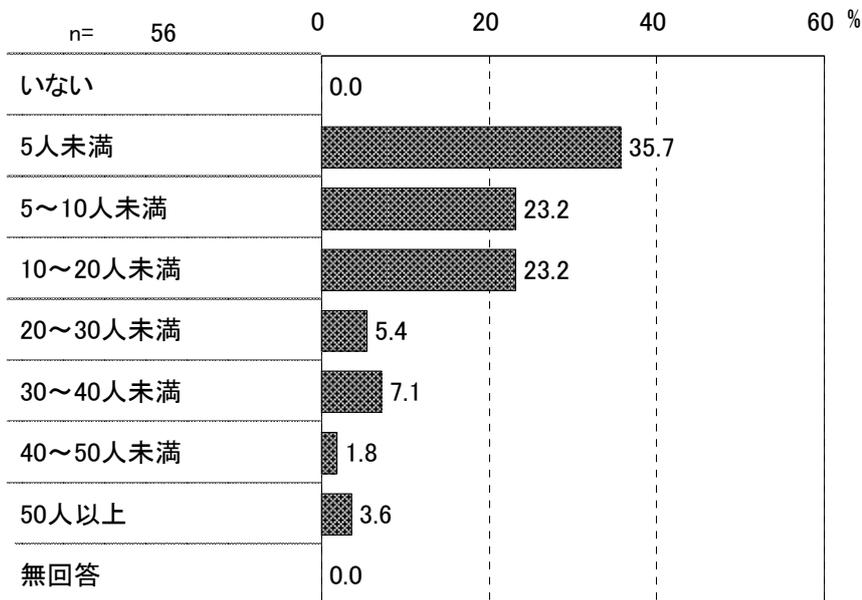
【ホームヘルパー1級】



○ホームヘルパー2級

平成26年1月1日現在、ホームヘルパー2級のいる事業所における当該職種の人数は、「5人未満」が35.7%、「5～10人未満」と「10～20人未満」がともに23.2%などとなっています。また、ホームヘルパー3級のいる事業所における当該職種の人数では2事業所の回答が得られ、いずれも「5人未満」と回答しています。

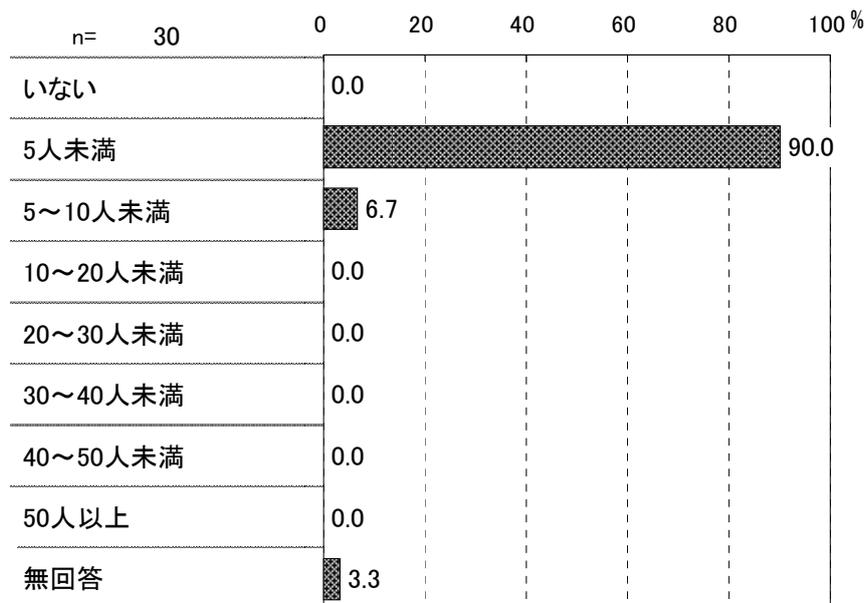
【ホームヘルパー2級】



○看護師・准看護師・保健師、理学療法士

平成26年1月1日現在、看護師・准看護師・保健師のいる事業所における当該職種の人数は、「5人未満」が90.0%などとなっています。また、理学療法士のいる事業所における当該職種の人数では5事業所の回答が得られ、いずれも「5人未満」と回答しています。

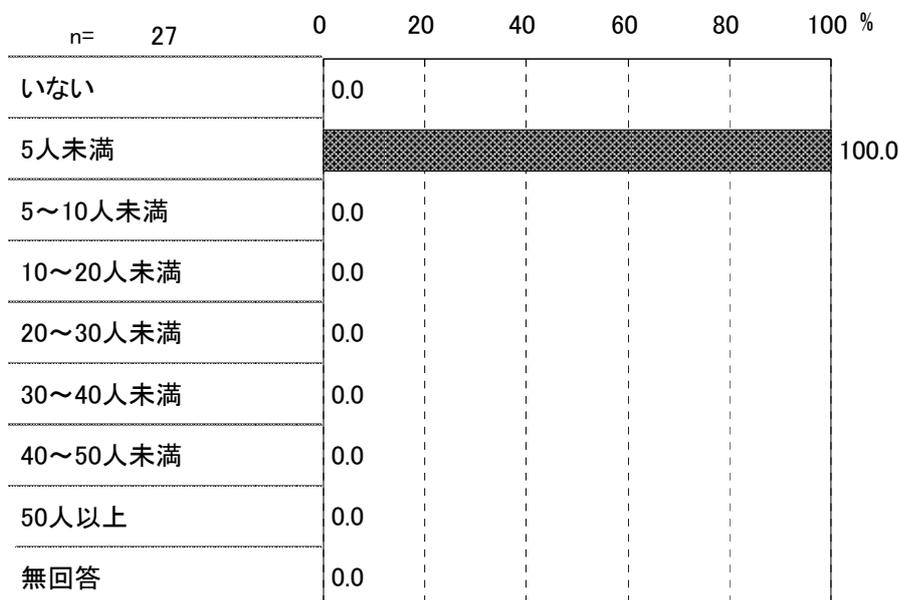
【看護師・准看護師・保健師】



○作業療法士、社会福祉士

平成26年1月1日現在、作業療法士のいる事業所における当該職種の人数では6事業所の回答が得られ、いずれも「5人未満」と回答しています。また、社会福祉士のいる事業所における当該職種の人数はいずれの事業所も「5人未満」と回答しています。

【社会福祉士】

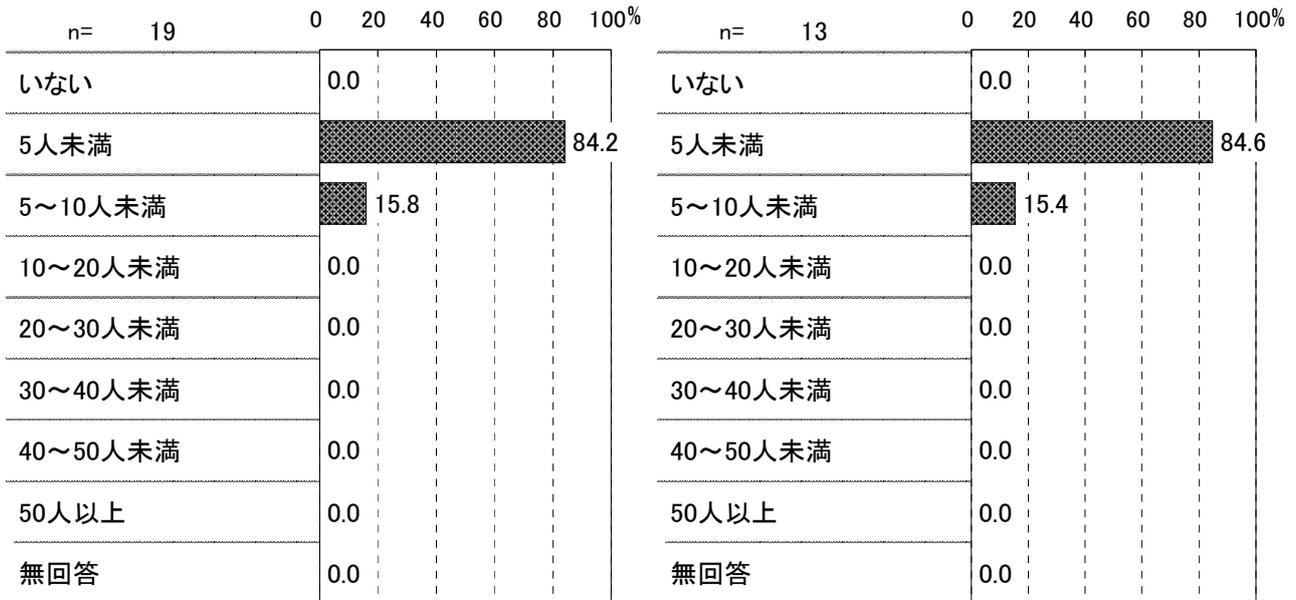


○精神保健福祉士、保育士

平成 26 年 1 月 1 日現在、精神保健福祉士のいる事業所における当該職種の数人は、「5 人未満」が 84.2%、「5～10 人未満」が 15.8%となっています。また、保育士については、「5 人未満」が 84.6%、「5～10 人未満」が 15.4%となっています。

【精神保健福祉士】

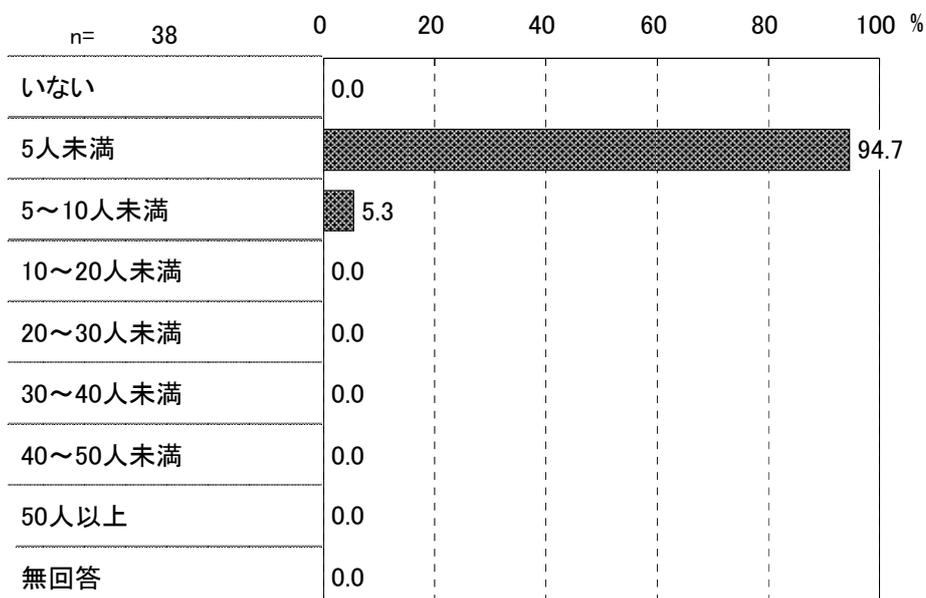
【保育士】



○事務職員

平成 26 年 1 月 1 日現在、事務職員のいる事業所における当該職種の数人は、「5 人未満」が 94.7%、「5～10 人未満」が 5.3%となっています。

【事務職員】

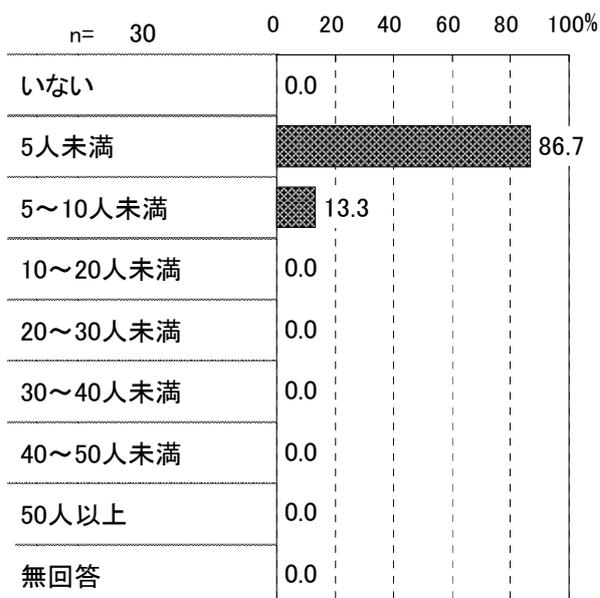


問8 平成26年1月1日現在の経験年数別の職員数をご記入ください。

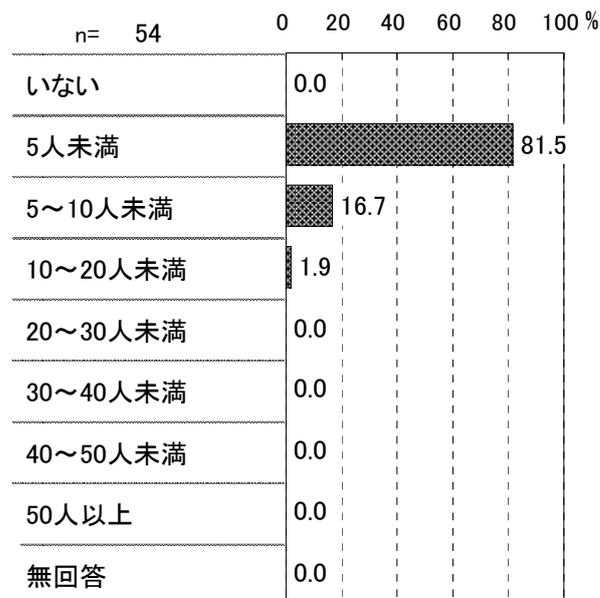
○6か月未満、6か月以上1年未満

平成26年1月1日現在の経験年数別職員数について、6か月未満では「5人未満」が86.7%、「5～10人未満」が13.3%となっています。また、6か月以上1年未満では「5人未満」が81.5%、「5～10人未満」が16.7%、「10～20人未満」が1.9%となっています。

【6か月未満】



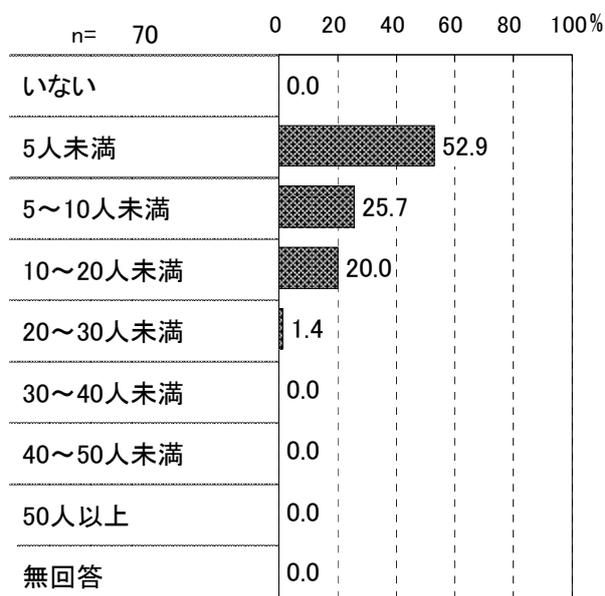
【6か月以上1年未満】



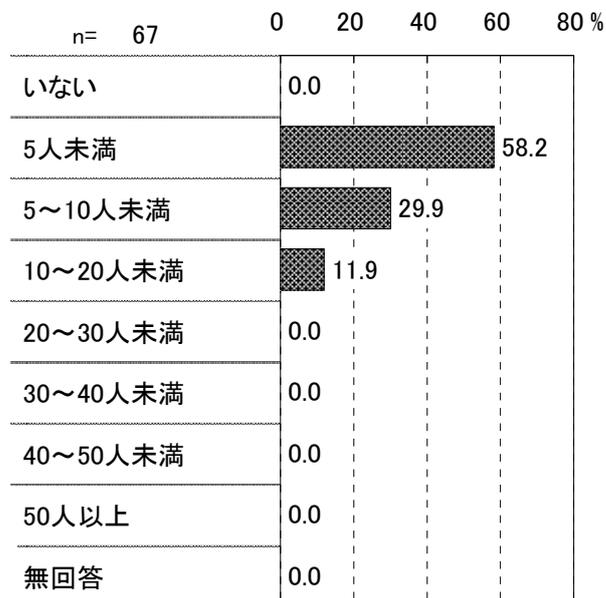
○1年以上3年未満、3年以上5年未満

平成26年1月1日現在の経験年数別職員数について、1年以上3年未満では「5人未満」が52.9%、「5～10人未満」が25.7%、「10～20人未満」が20.0%などとなっています。また、3年以上5年未満では「5人未満」が58.2%、「5～10人未満」が29.9%などとなっています。

【1年以上3年未満】



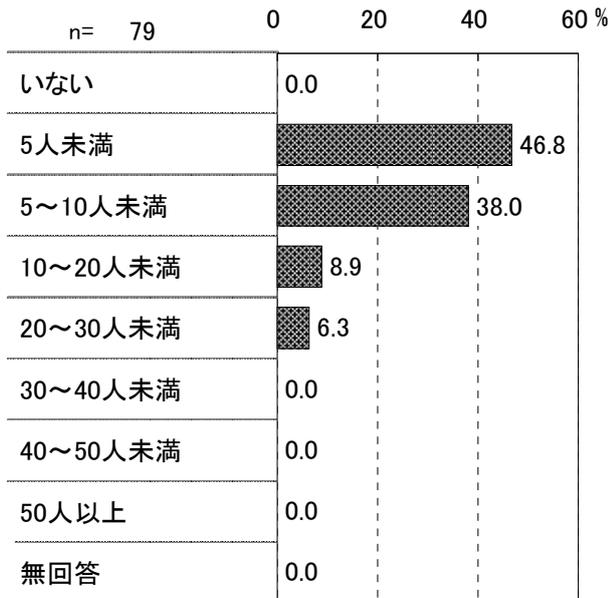
【3年以上5年未満】



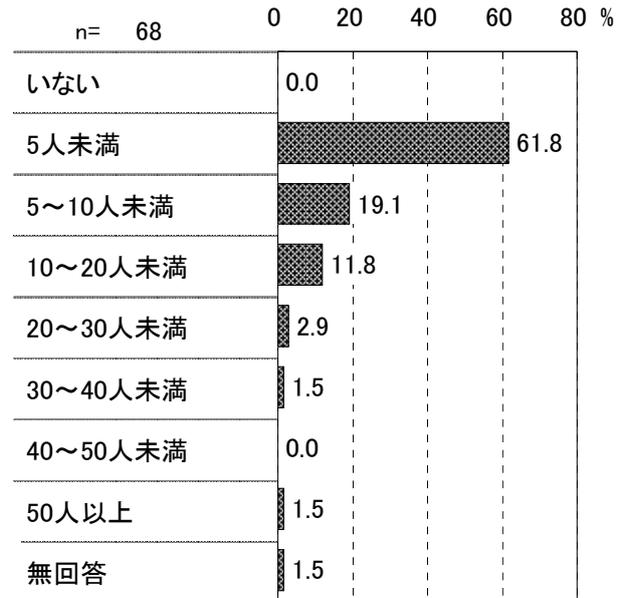
○ 5年以上 10年未満、10年以上

平成 26 年 1 月 1 日現在の経験年数別職員数について、5年以上 10年未満では「5人未満」が 46.8%、「5～10人未満」が 38.0%などとなっています。また、10年以上では「5人未満」が 61.8%、「5～10人未満」が 19.1%、「10～20人未満」が 11.8%などとなっています。

【5年以上 10年未満】

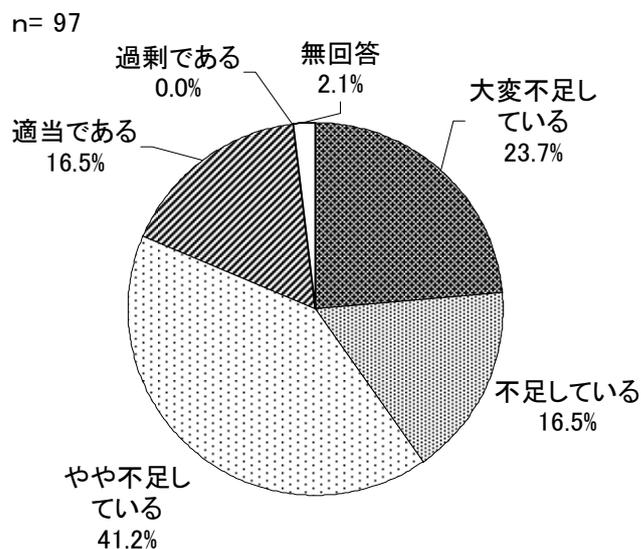


【10年以上】



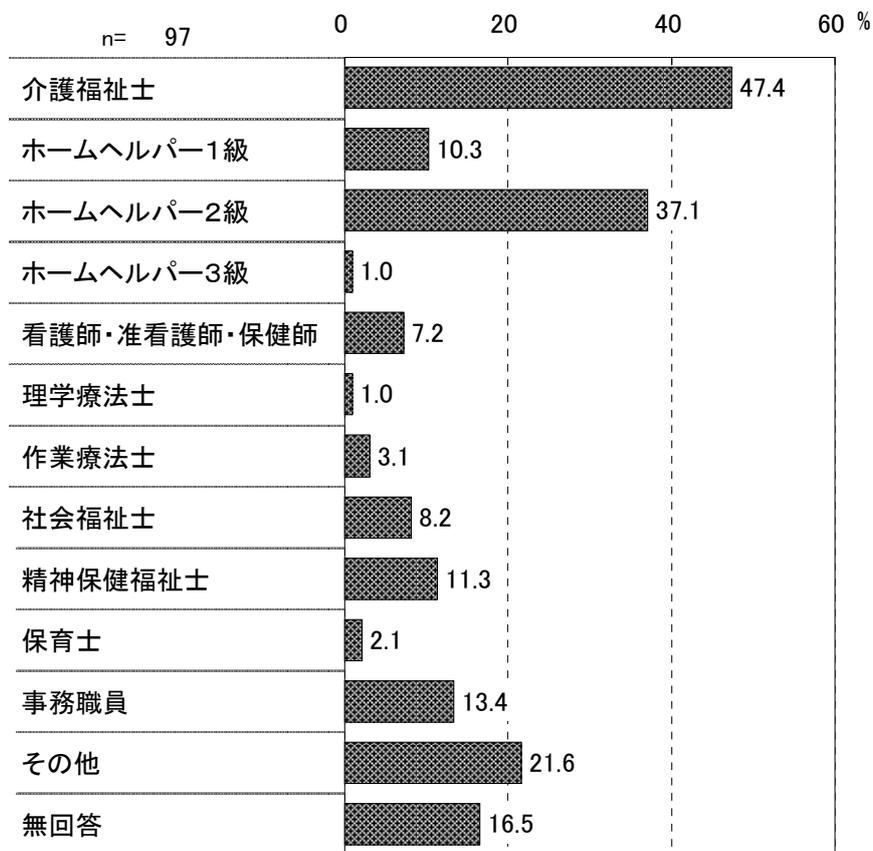
問9 現在、職員の過不足の状況はどれですか。(1つに○)

職員の過不足の状況については、「大変不足している」が 23.7%、「不足している」が 16.5%、「やや不足している」が 41.2%、「適当である」が 16.5%となっています。



問 10 不足している職員の職種は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

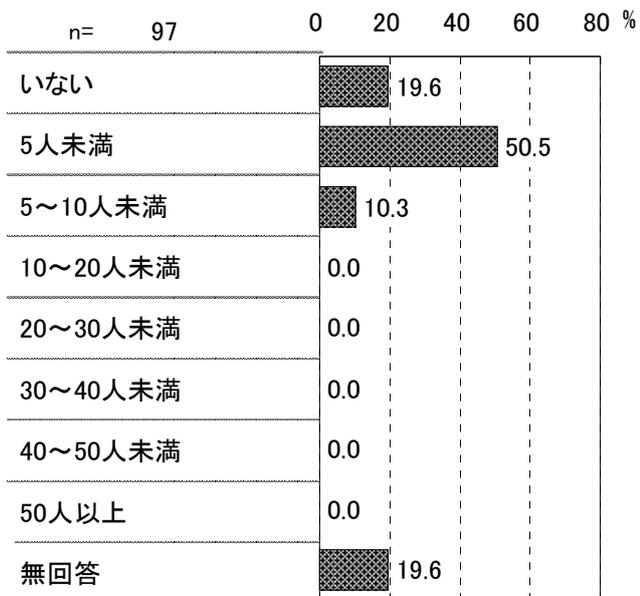
不足している職員の職種については、「介護福祉士」が最も多く 47.4%、次いで「ホームヘルパー2級」が 37.1%などとなっています。



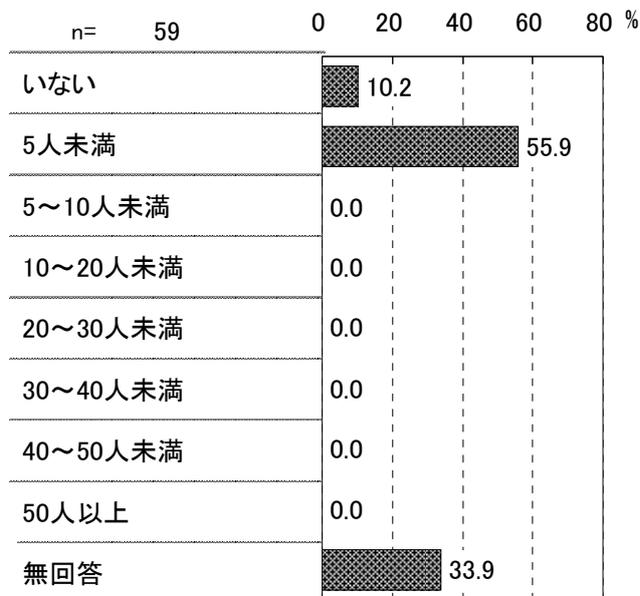
問 11 平成 25 年度中の退職者数をご記入ください。(実人数)

平成 25 年度中の退職者数について、全体では「5人未満」が 50.5%、「5～10人未満」が 10.3%となっています。また、「いない」は 19.6%となっています。常勤では、「5人未満」が 55.9%となっています。また、非常勤では、「5人未満」が 72.9%となっています。

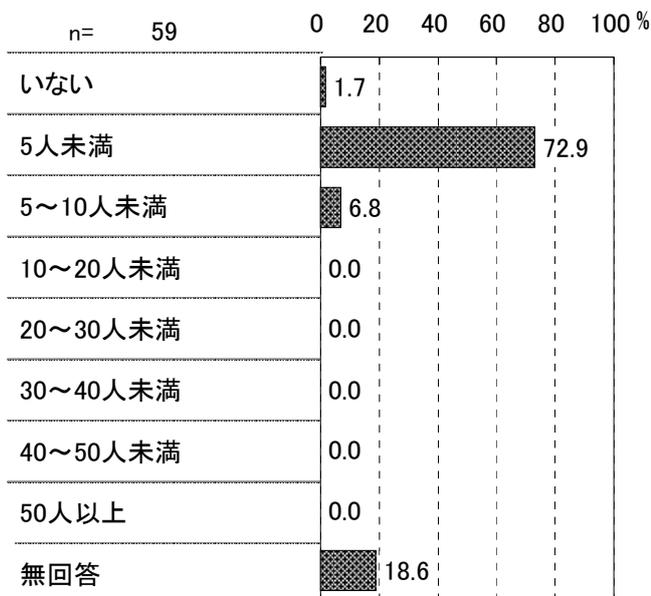
【全体】



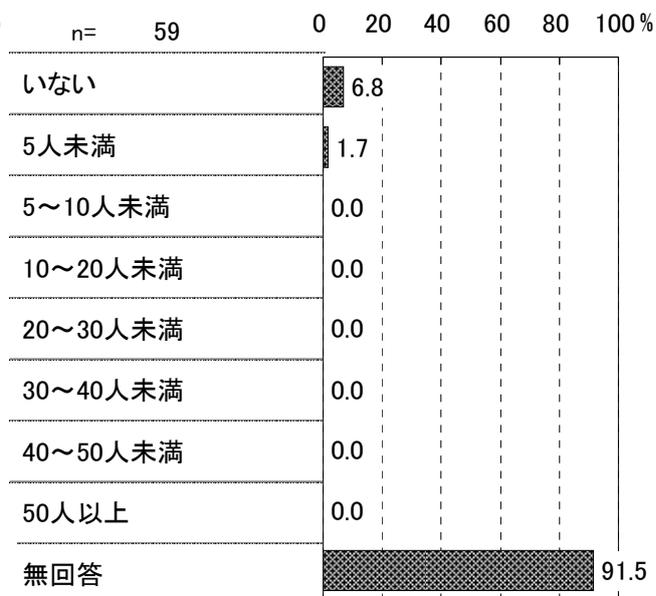
【常勤】



【非常勤】

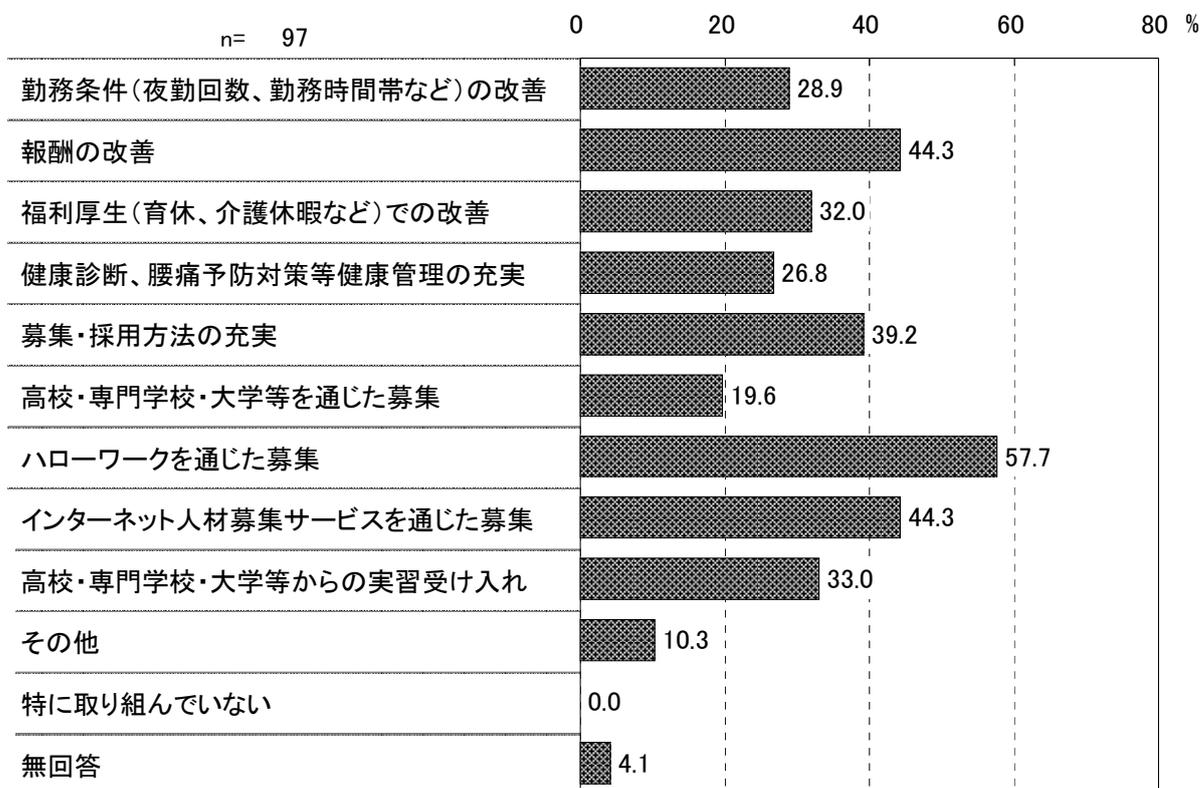


【その他】



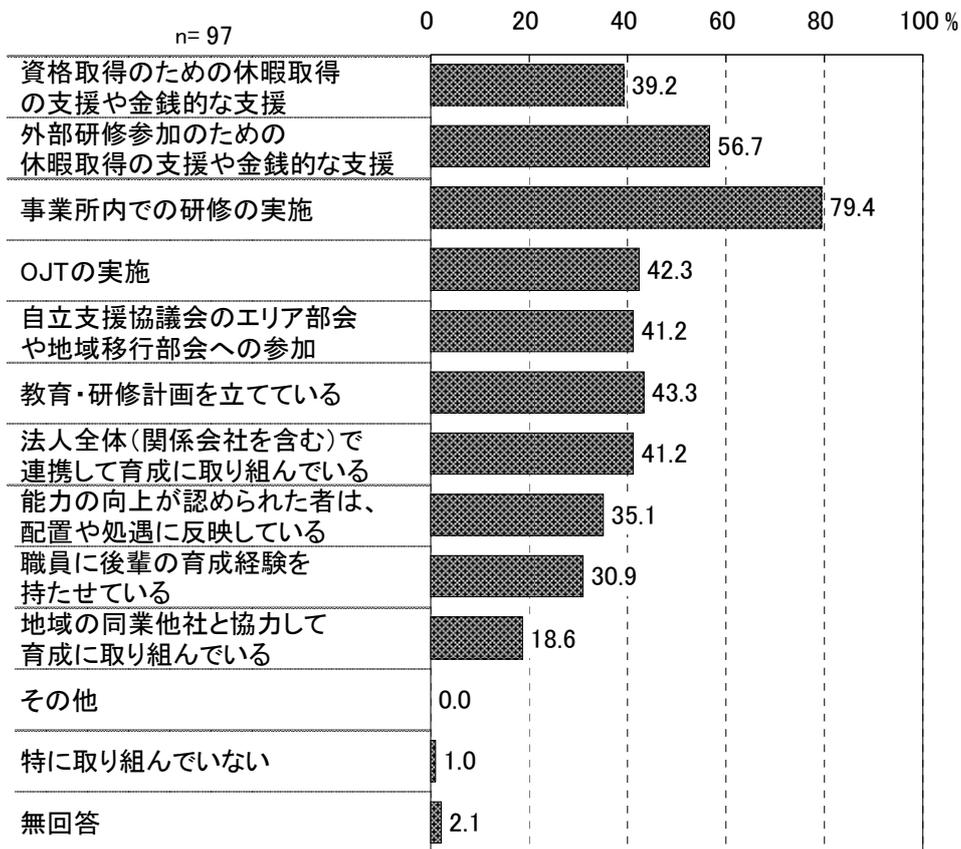
問 12 貴事業所では、人材を確保するためにどのようなことに取り組んでいますか。(あてはまるものすべてに○)

人材を確保するためにどのようなことに取り組んでいるかについては、「ハローワークを通じた募集」が最も多く 57.7%、次いで「報酬の改善」と「インターネット人材募集サービスを通じた募集」がともに 44.3%、「募集・採用方法の充実」が 39.2%などとなっています。



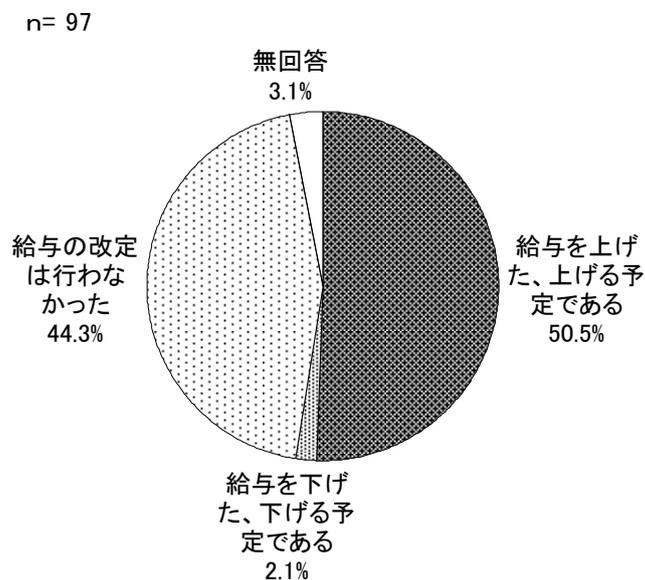
問 13 貴事業所では、スタッフの質の向上など人材を育成するためにどのようなことに取り組んでいますか。(あてはまるものすべてに○)

スタッフの質の向上など人材を育成するためにどのようなことに取り組んでいるかについては、「事業所内での研修の実施」が最も多く79.4%、次いで「外部研修参加のための休暇取得の支援や金銭的な支援」が56.7%などとなっています。



問 14 平成 24 年 4 月のサービス報酬の改定により、給与を改定しましたか。(1つに○)

給与を改定したかについては、「給与を上げた、上げる予定である」が50.5%、「給与を下げた、下げる予定である」が2.1%、「給与の改定は行わなかった」が44.3%となっています。



2. 事業運営の概要について

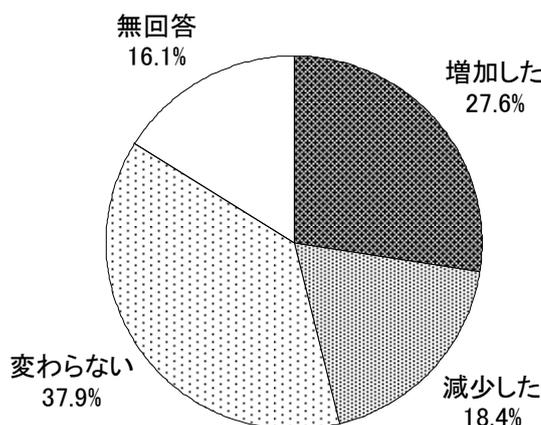
《問 15～問 19 は、自立支援給付の各サービスを提供している事業所がお答えください。
介護保険のサービスだけを提供している事業所は、問 20 へ進んでください。》

問 15 貴事業所における平成 25 年 1 月から 3 月までの収入及び支出の状況は前年同期と比較してどうでしたか。(各 1 つに○)

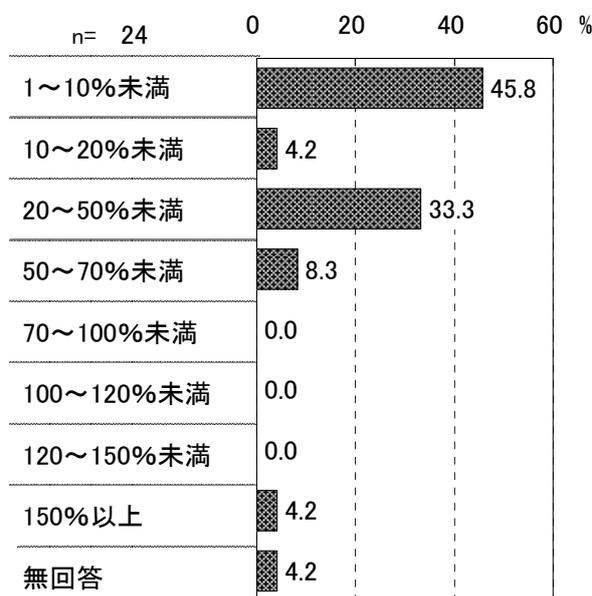
○収入の状況

平成 25 年 1 月から 3 月までの収入が前期と比較してどうだったかについては、「増加した」が 27.6%、「減少した」が 18.4%、「変わらない」が 37.9%となっています。また、増加した場合の増加率については、「1～10%未満」が 45.8%、「20～50%未満」が 33.3%などとなっています。減少した場合の減少率については、「10～20%未満」が 43.8%、「1～10%未満」が 37.5%などとなっています。

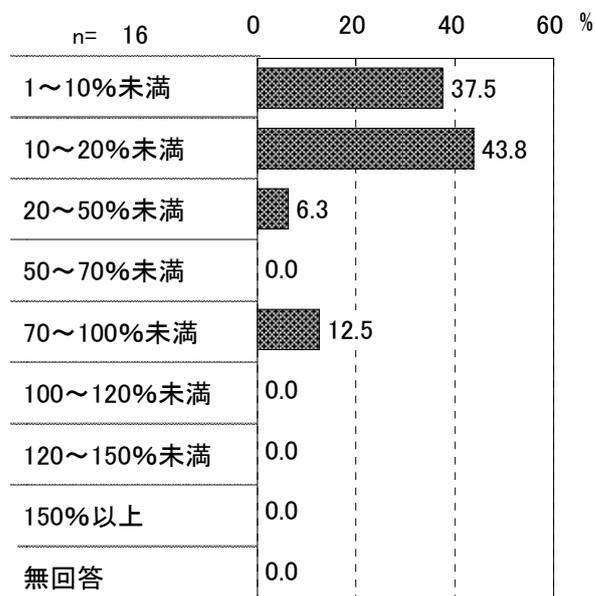
n= 87



【収入増加率】



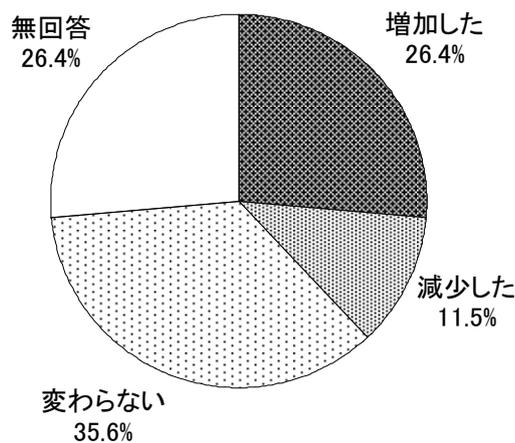
【収入減少率】



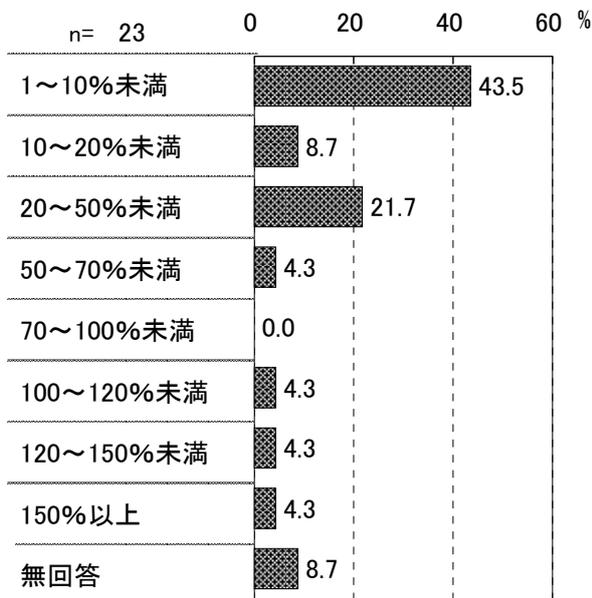
○支出の状況

平成 25 年 1 月から 3 月までの支出が前期と比較してどうだったかについては、「増加した」が 26.4%、「減少した」が 11.5%、「変わらない」が 35.6%となっています。また、増加した場合の増加率については、「1～10%未満」が 43.5%、「20～50%未満」が 21.7%などとなっています。減少した場合の減少率については、「1～10%未満」が 50.0%、「20～50%未満」が 30.0%などとなっています。

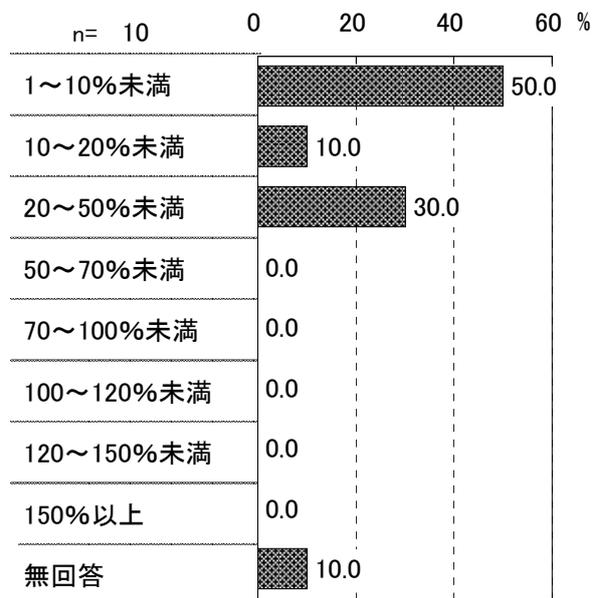
n= 87



【支出増加率】



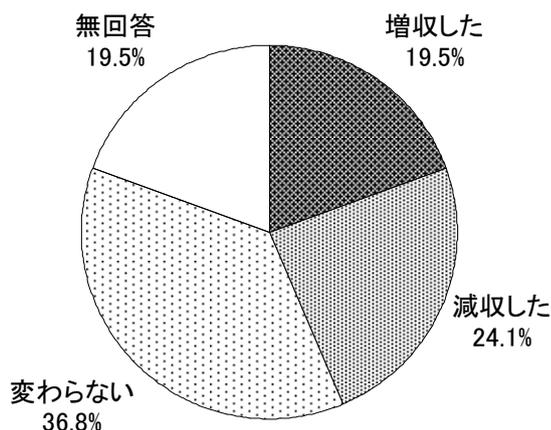
【支出減少率】



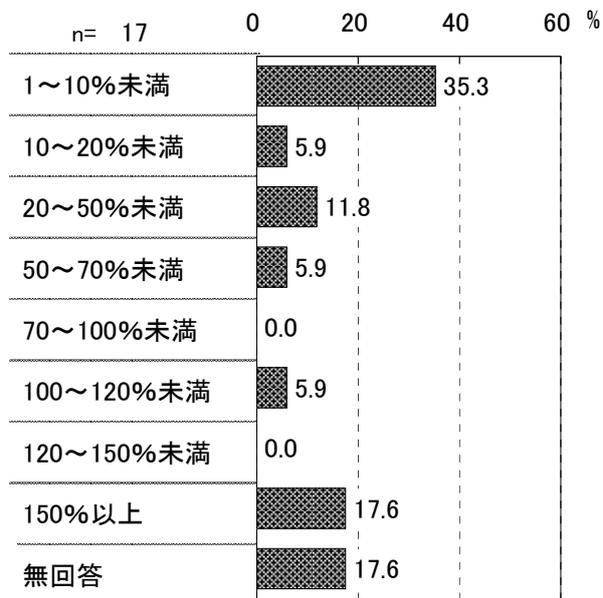
問 15-1 問 15 の結果、収支の状況はどうでしたか。(1つに○)

平成 25 年 1 月から 3 月までの収支が前期と比較してどうだったかについては、「増収した」が 19.5%、「減収した」が 24.1%、「変わらない」が 36.8%となっています。また、増収した場合の増加率については、「1～10%未満」が 35.3%などとなっています。減収した場合の減少率については、「10～20%未満」が 28.6%、「1～10%未満」と「20～50%未満」が 19.0%などとなっています。

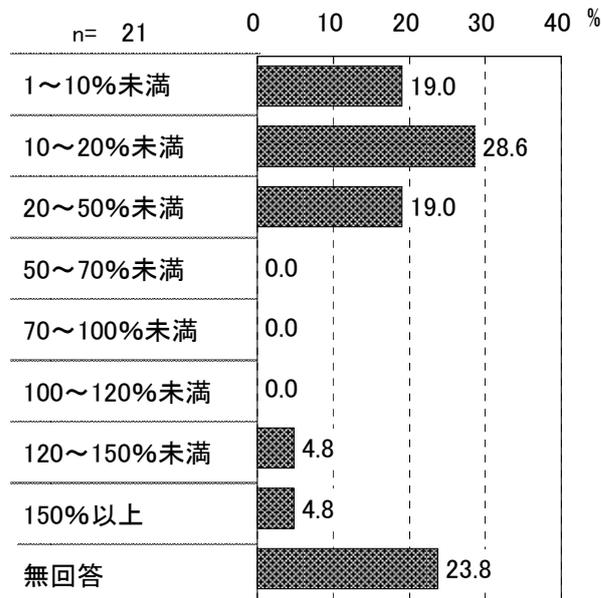
n= 87



【収支増加率】



【収支減少率】

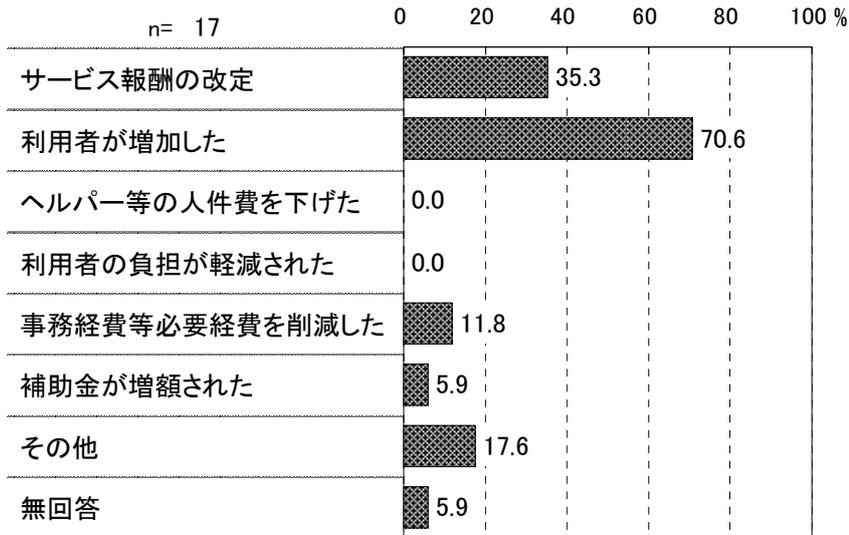


《問 15-1 で「1. 増収した」又は「2. 減収した」とお答えの方におたずねします》

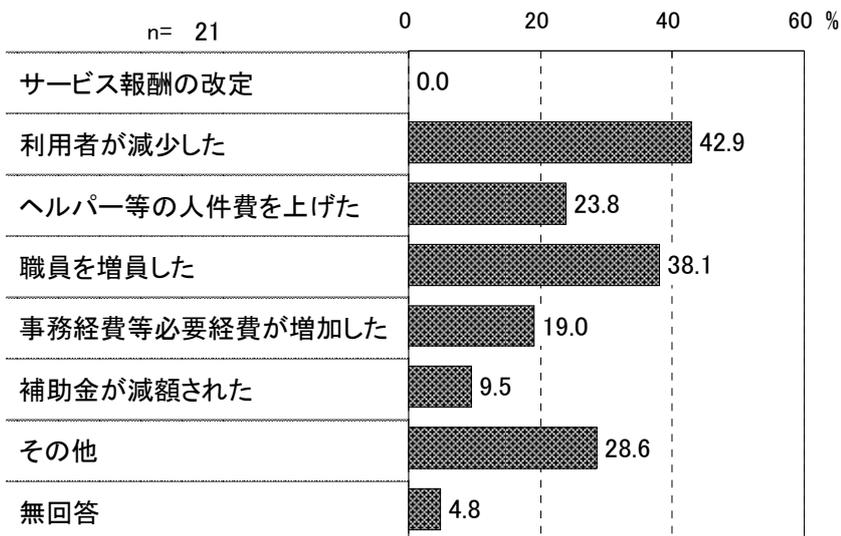
問 15-2 増収又は減収の主な理由は何ですか。(3つまで○)

増収の主な理由については、「利用者が増加した」が最も多く 70.6%、次いで「サービス報酬の改定」が 35.3%などとなっています。また、減収の主な理由については、「利用者が減少した」が最も多く 42.9%、次いで「職員を増員した」が 38.1%などとなっています。

【増収の理由】



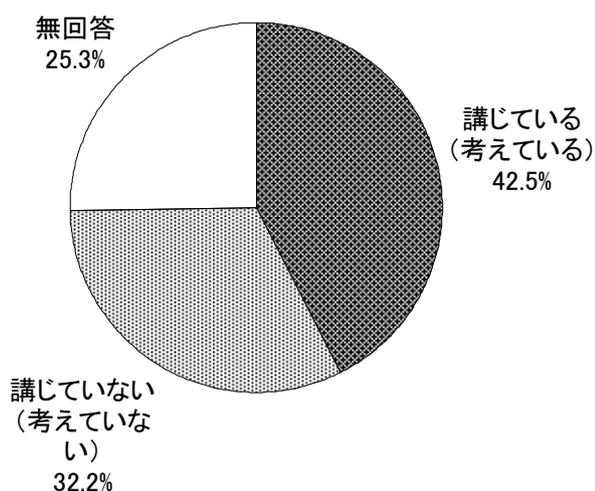
【減収の理由】



問 16 貴事業所では、問 15 の収入の変化に対する対応策を講じていますか。又は考えていますか。(1つに○)

収入の変化に対する対応策を講じているかについては、「講じている(考えている)」が42.5%、「講じていない(考えていない)」が32.2%となっています。

n= 87



問 16-1 対策案の内容をお聞かせください。(自由意見)

回答事業所 37 か所 意見の総数 46 件 (文章は区で要約)

①収入を増やす 22 件

- ・利用者の定着・増加(11 件)
- ・人材の確保・定着(8 件)
- ・介護保険事業の利用増(2 件)
- ・国の制度変更に向けて、区への協力(1 件)

②支出を減らす 22 件

- ・サービス提供内容の見直し(10 件)
- ・事務経費の削減(7 件)
- ・人件費の削減(3 件)
- ・経営の効率化(2 件)

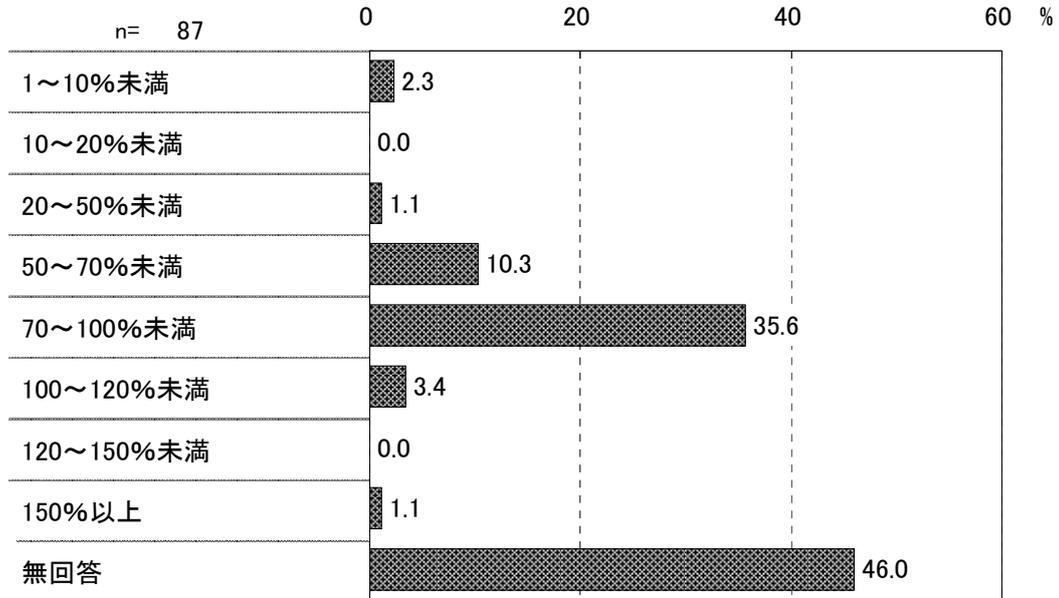
③その他 2 件

- ・職員の意識改革(1 件)
- ・施設長の交代(1 件)

《定員が定められている事業所におたずねします》

問 17 貴事業所における平成 25 年 4 月から 7 月までの平均的な利用率はおおよそ何%くらいですか。

平成 25 年 4 月から 7 月までの平均的な利用率については、「70～100%未満」が 35.6%、「50～70%未満」が 10.3%などとなっています。



問 17-1 上記の利用率についてのご意見をお聞かせください。(自由意見)

回答事業者数 29 か所 意見の総数 29 件 (文章は区で要約)

①利用率が上がっている。高い。安定している 14 件

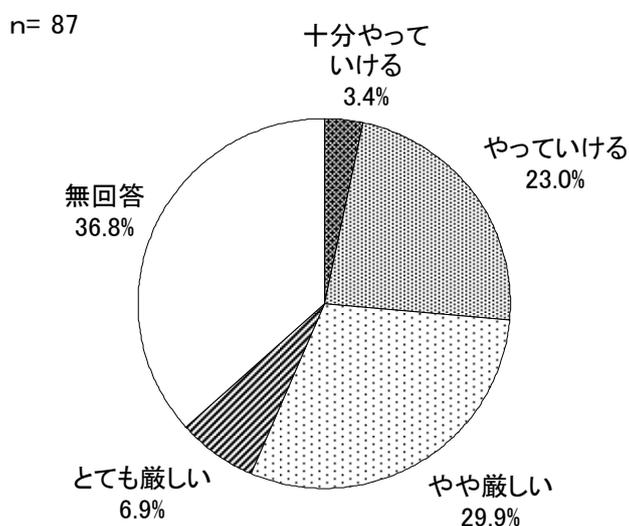
- ・利用率が上がっている。(5件)
- ・高い利用率になっている。(4件)
- ・利用率は安定している。(3件)
- ・障害特性によって出席に波があるため登録利用者の調整が難しい。(1件)
- ・就労継続 B 型のみ事業所なので利用者数の変動が少ない。(1件)

②利用率が下がっている。改善が必要。努力中 15 件

- ・利用率の向上に努めている (5件)
- ・利用率が下がっている。(3件)
- ・利用率を上げることが難しい。(1件)
- ・今後の事業展開を検討すべき。(1件)
- ・精神障害者特有の出席の悪さから、他障害者の受け入れ増も考えていく。(1件)
- ・随時入所を受けても定員には至っていない。(1件)
- ・精神障害の特徴でもあるが、時に補助の出る期間をオーバーするときもある。(1件)
- ・同行援護 2 名の方にスケジュールが合わずお断りしたら、それ以降依頼がありません。(1件)
- ・利用率があがるとよいと思っている。(1件)

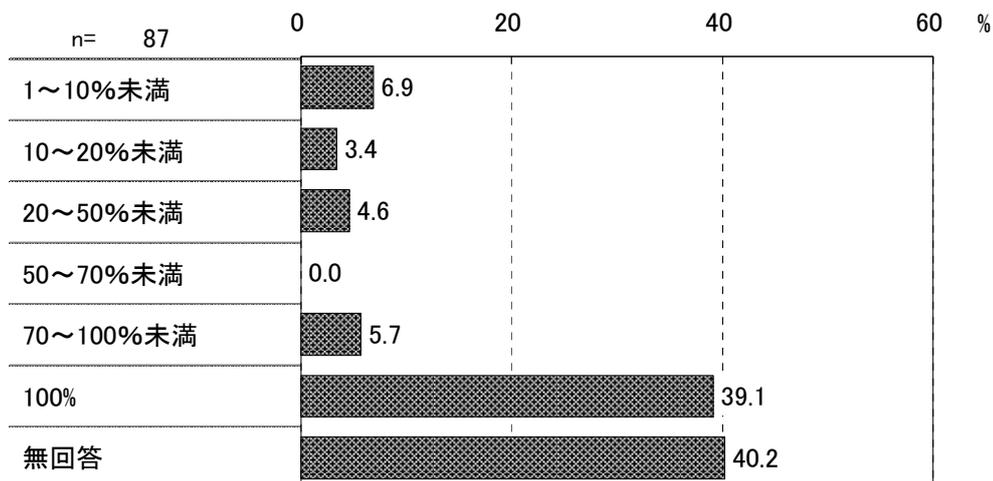
問 18 貴事業所では、事業の採算性についてどのようにお考えですか。（1つに○）

事業の採算性についてどのように考えているかについては、「十分やっいてける」が3.4%、「やっいてける」が23.0%、「やや厳しい」が29.9%、「とても厳しい」が6.9%となっています。



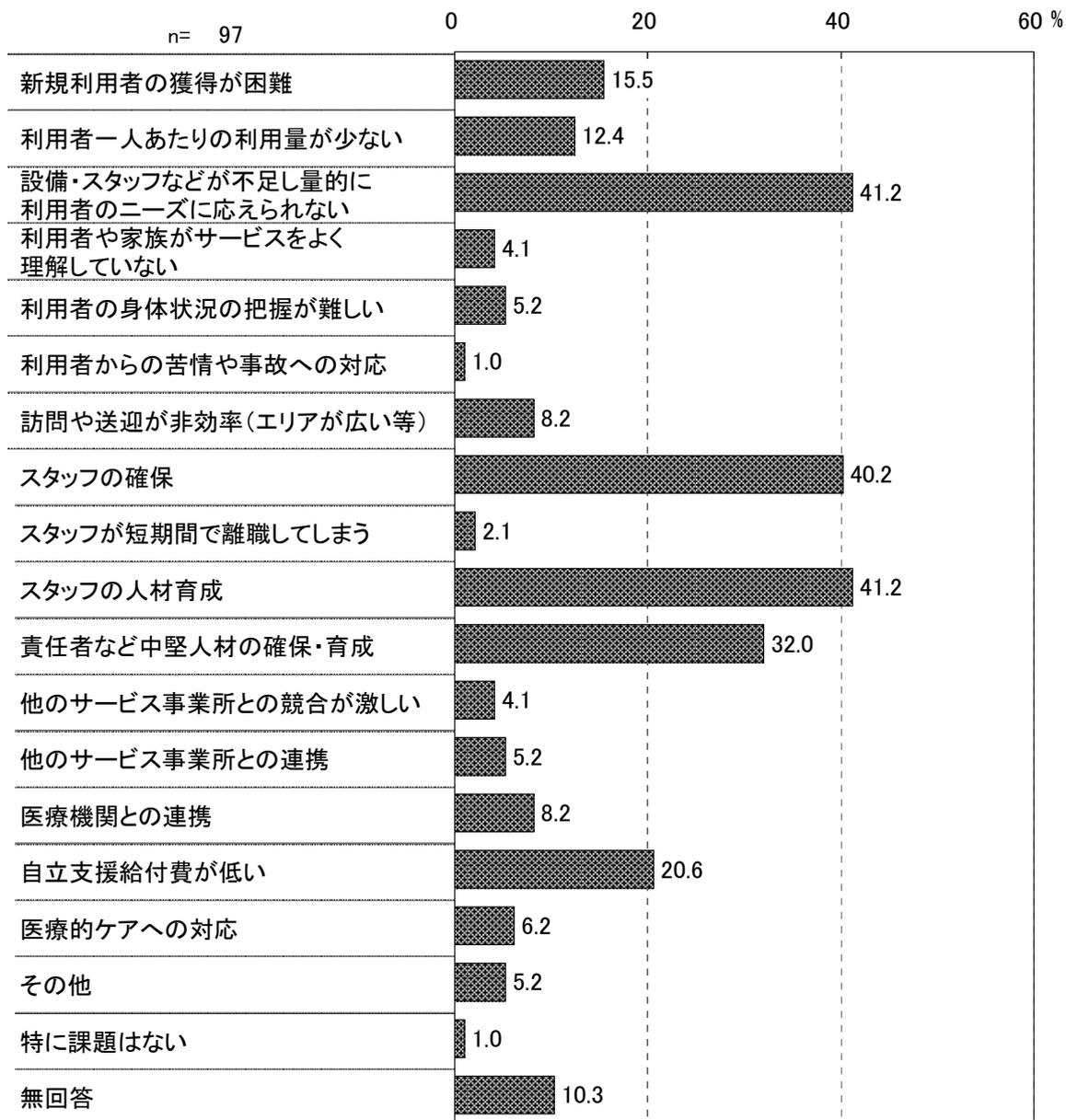
問 19 貴事業所では、サービス供給量全体の中で障害者サービスの占める割合はおおよそ何%くらいですか。

サービス供給量全体における障害者サービスの占める割合については、「100%」が39.1%などとなっています。



問 20 貴事業所では、事業を運営する上での課題は何ですか。（3つまで○）

事業を運営する上での課題については、「設備・スタッフなどが不足し量的に利用者のニーズに
 応えられない」と「スタッフの人材育成」がともに 41.2%、「スタッフの確保」が 40.2%
 などとなっています。



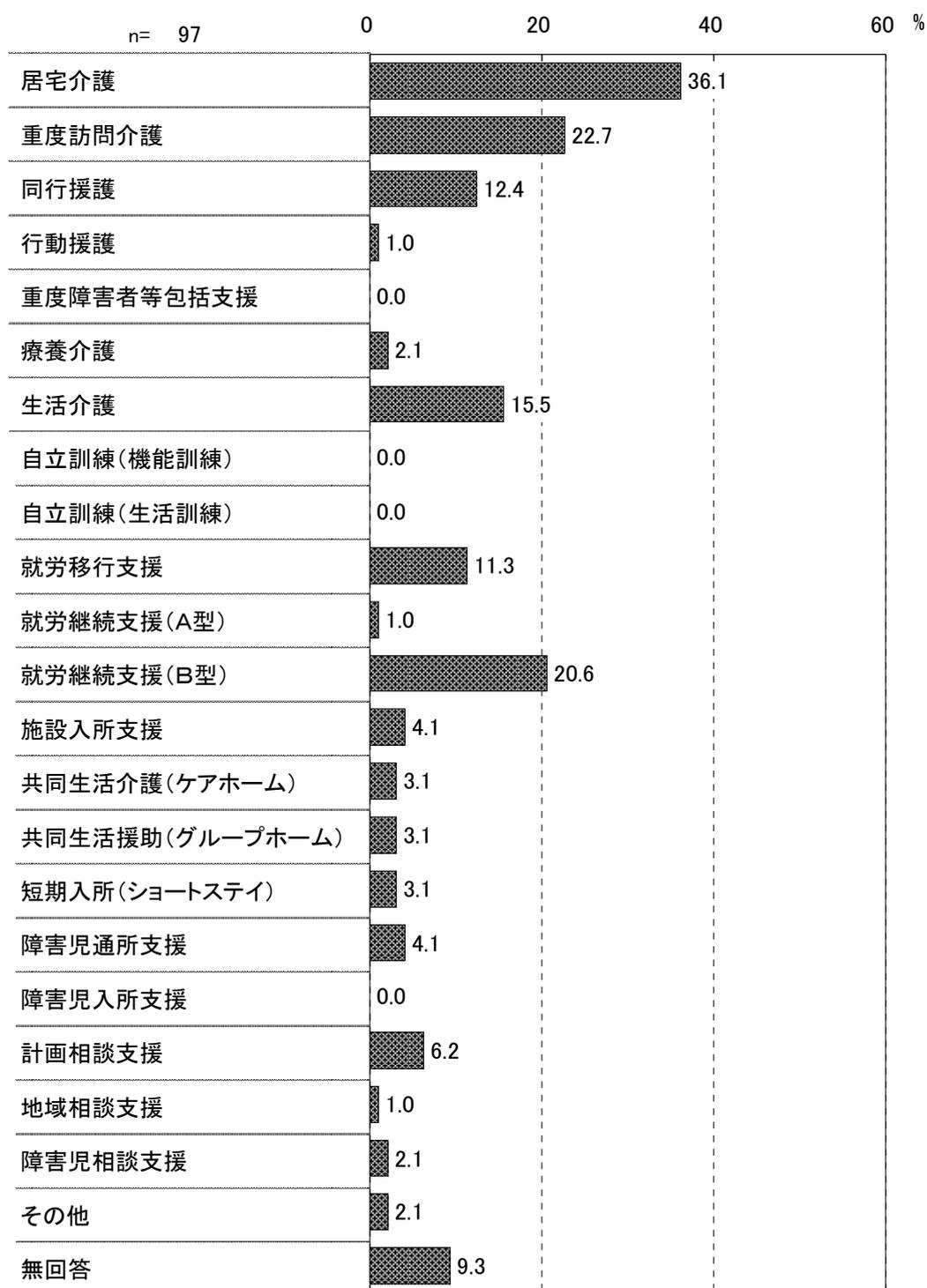
3. サービス提供体制について

問 21 貴事業所におけるサービスの提供体制についておたずねします。提供しているサービスごとにお書きください。

《障害福祉サービス》

○提供しているサービス

提供している障害福祉サービスについては、「居宅介護」が最も多く 36.1%、次いで「重度訪問介護」が 22.7%、「就労継続支援（B型）」が 20.6%などとなっています。

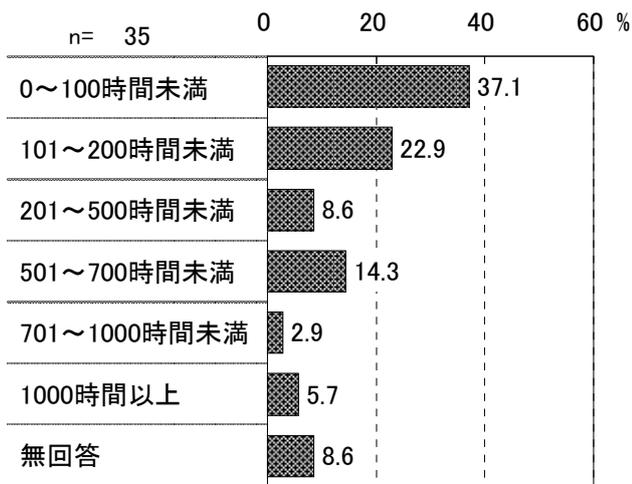


○サービス提供量

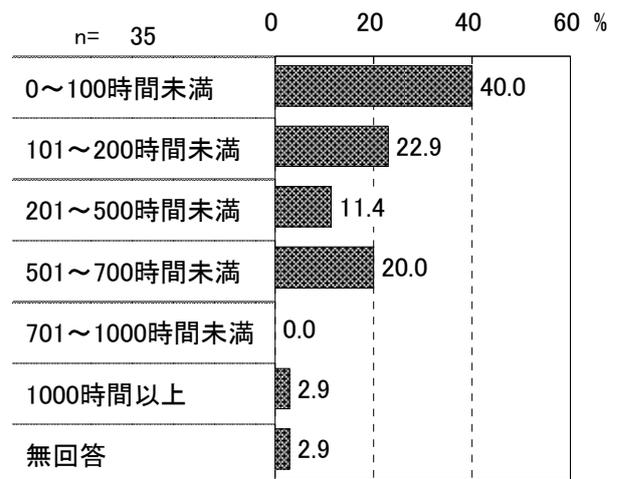
ア 居宅介護

1か月あたりのサービス提供可能量については、「0～100時間未満」が37.1%、「101～200時間未満」が22.9%などとなっています。また、1か月あたりの実際のサービス提供量については、「0～100時間未満」が40.0%、「101～200時間未満」が22.9%、「501～700時間」が20.0%などとなっています。

【1か月あたりのサービス提供可能量】



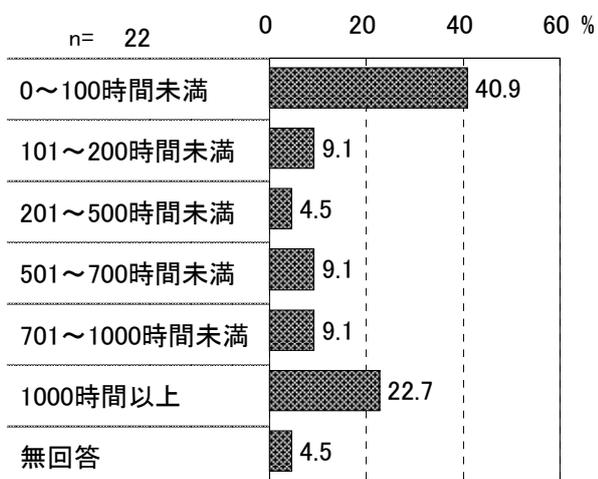
【1か月あたりの実際のサービス提供量】



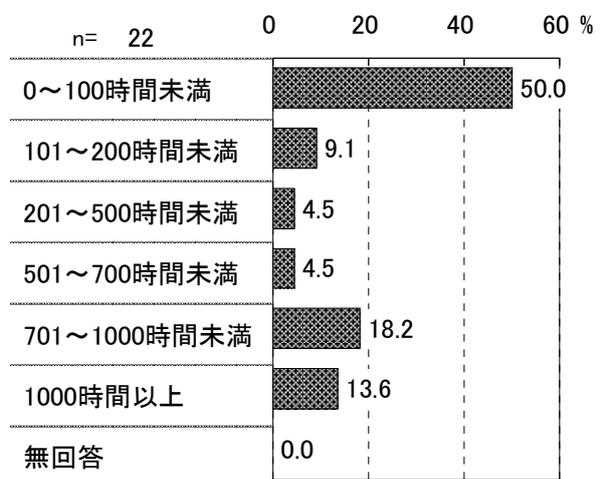
イ 重度訪問介護

1か月あたりのサービス提供可能量については、「0～100時間未満」が40.9%などとなっています。また、1か月あたりの実際のサービス提供量については、「0～100時間未満」が50.0%などとなっています。

【1か月あたりのサービス提供可能量】



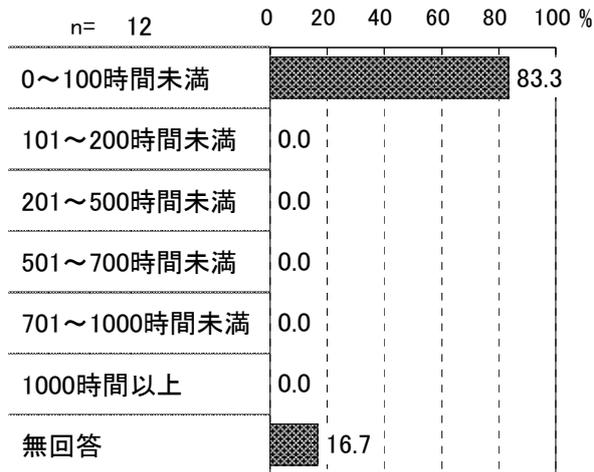
【1か月あたりの実際のサービス提供量】



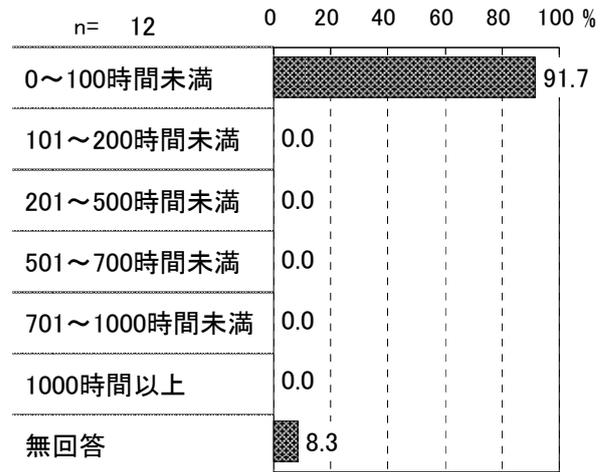
ウ 同行援護

1か月あたりのサービス提供可能量については、「0～100 時間未満」が 83.3%となっています。また、1か月あたりの実際のサービス提供量については、「0～100 時間未満」が 91.7%などとなっています。

【1か月あたりのサービス提供可能量】



【1か月あたりの実際のサービス提供量】



エ 行動援護

行動援護については1事業所の回答が得られ、1か月あたりのサービス提供可能量、1か月あたりの実際のサービス提供量いずれにおいても「0～100 時間未満」と回答しています。

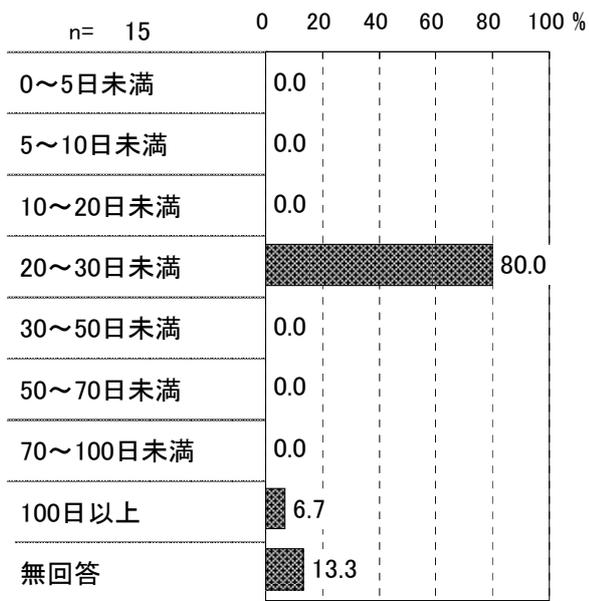
カ 療養介護

療養介護については2事業所の回答が得られ、1か月あたりのサービス提供可能量、1か月あたりの実際のサービス提供量いずれにおいても「20～30 日未満」と回答しています。

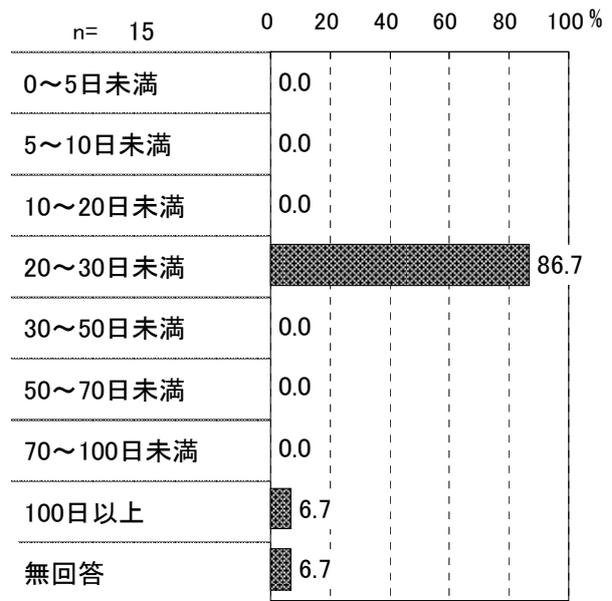
キ 生活介護

1か月あたりのサービス提供可能量については、「20～30日未満」が80.0%などとなっています。また、1か月あたりの実際のサービス提供量についても、「20～30日未満」が86.7%などとなっています。

【1か月あたりのサービス提供可能量】



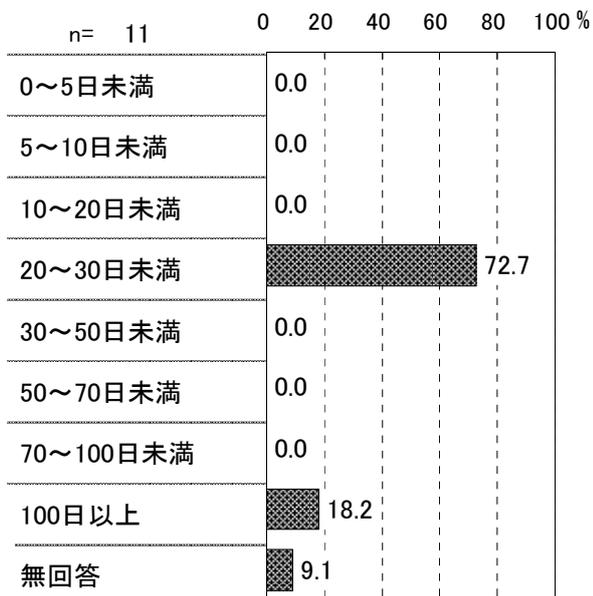
【1か月あたりの実際のサービス提供量】



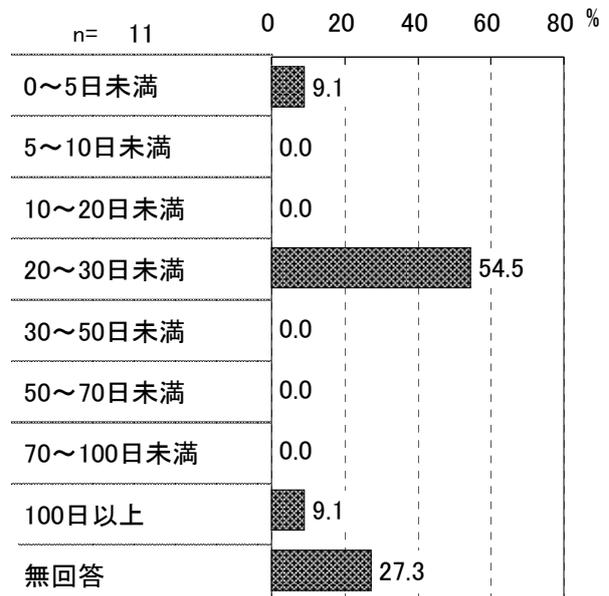
コ 就労移行支援

1か月あたりのサービス提供可能量については、「20～30日未満」が72.7%などとなっています。また、1か月あたりの実際のサービス提供量についても、「20～30日未満」が54.5%などとなっています。

【1か月あたりのサービス提供可能量】



【1か月あたりの実際のサービス提供量】



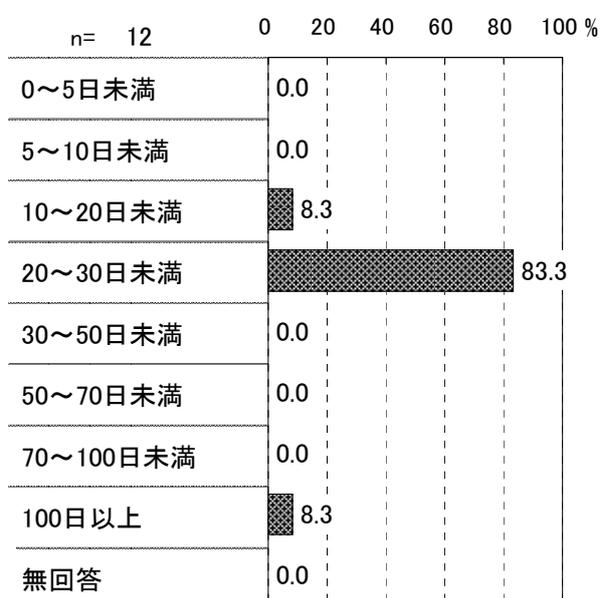
サ 就労継続支援（A型）

就労継続支援（A型）については1事業所の回答が得られ、1か月あたりのサービス提供可能量、1か月あたりの実際のサービス提供量いずれにおいても「30～50日未満」と回答しています。

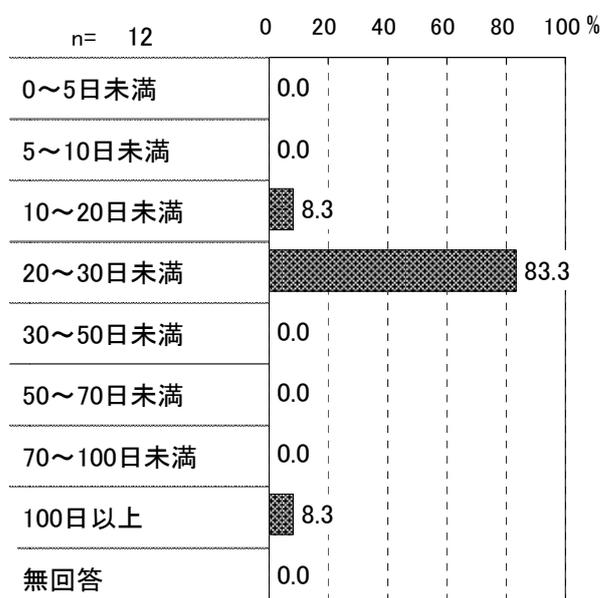
シ 就労継続支援（B型）

1か月あたりのサービス提供可能量については、「20～30日未満」が83.3%などとなっています。また、1か月あたりの実際のサービス提供量についても、「20～30日未満」が83.3%などとなっています。

【1か月あたりのサービス提供可能量】



【1か月あたりの実際のサービス提供量】



ソ 共同生活援助（グループホーム）

共同生活援助（グループホーム）については1事業所の回答が得られ、1か月あたりのサービス提供可能量、1か月あたりの実際のサービス提供量いずれにおいても「5～10人未満」と回答しています。

タ 短期入所（ショートステイ）

短期入所（ショートステイ）については1事業所の回答が得られ、1か月あたりのサービス提供可能量、1か月あたりの実際のサービス提供量いずれにおいても「70～100人未満」と回答しています。

チ 障害児通所支援

障害児通所支援については2事業所の回答が得られ、1か月あたりのサービス提供可能量、1か月あたりの実際のサービス提供量いずれにおいても「20～30日未満」と回答しています。

テ 計画相談支援

計画相談支援については、1か月あたりのサービス提供可能量において4事業所の回答が得られ、「10～20人未満」に2事業所、「20～30人未満」と「30～50人未満」にそれぞれ1事業所が回答しています。また、1か月あたりの実際のサービス提供量においては5事業所の回答が得られ、「10～20人未満」に4事業所、「5～10人未満」に1事業所が回答しています。

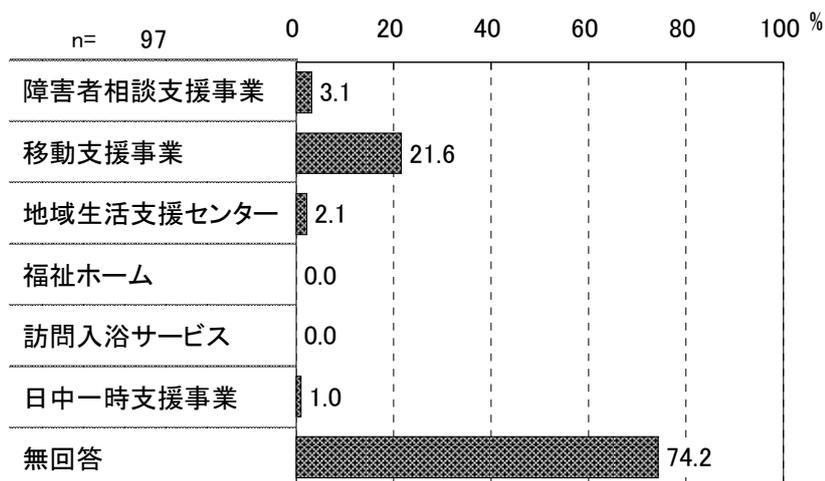
ナ 障害児相談支援

障害児相談支援については、1か月あたりのサービス提供可能量において1事業所の回答が得られ、「5人未満」と回答しています。また、1か月あたりの実際のサービス提供量においては2事業所の回答が得られ、「5人未満」と「10～20人未満」にそれぞれ1事業所が回答しています。

《地域生活支援事業》

○提供している事業

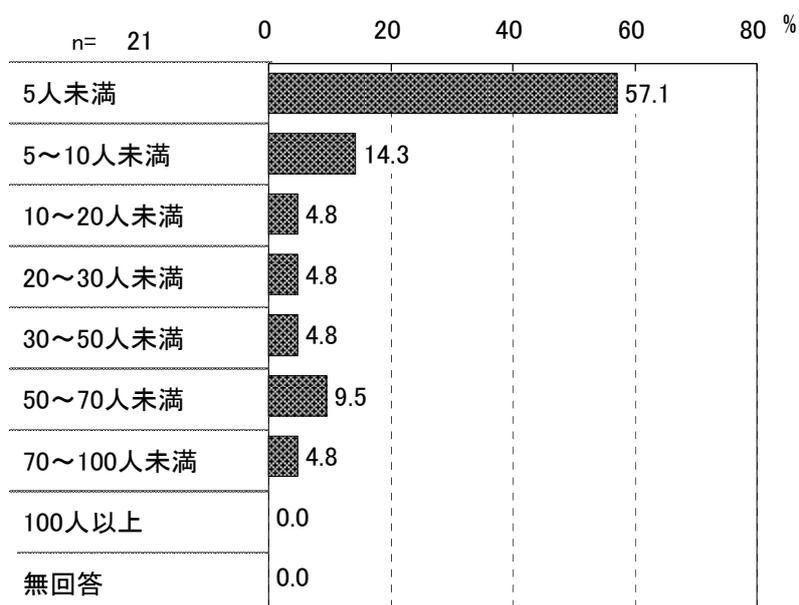
提供している地域生活支援事業については、「移動支援事業」が21.6%などとなっています。



○実利用者数

1か月あたりの実利用者数について、ア 障害者相談支援事業では、2事業所の回答が得られ、「5人未満」と「10～20人未満」にそれぞれ1事業所が回答しています。イ 移動支援事業では、「5人未満」が最も多く57.1%、次いで「5～10人未満」が14.3%などとなっています。ウ 地域生活支援センターでは、2事業所の回答が得られ、「70～100人未満」と「100人以上」にそれぞれ1事業所が回答しています。エ 福祉ホームとオ 訪問入浴サービスでは回答がありませんでした。カ 日中一時支援事業では1事業の回答が得られ、「70～100人未満」と回答しています。

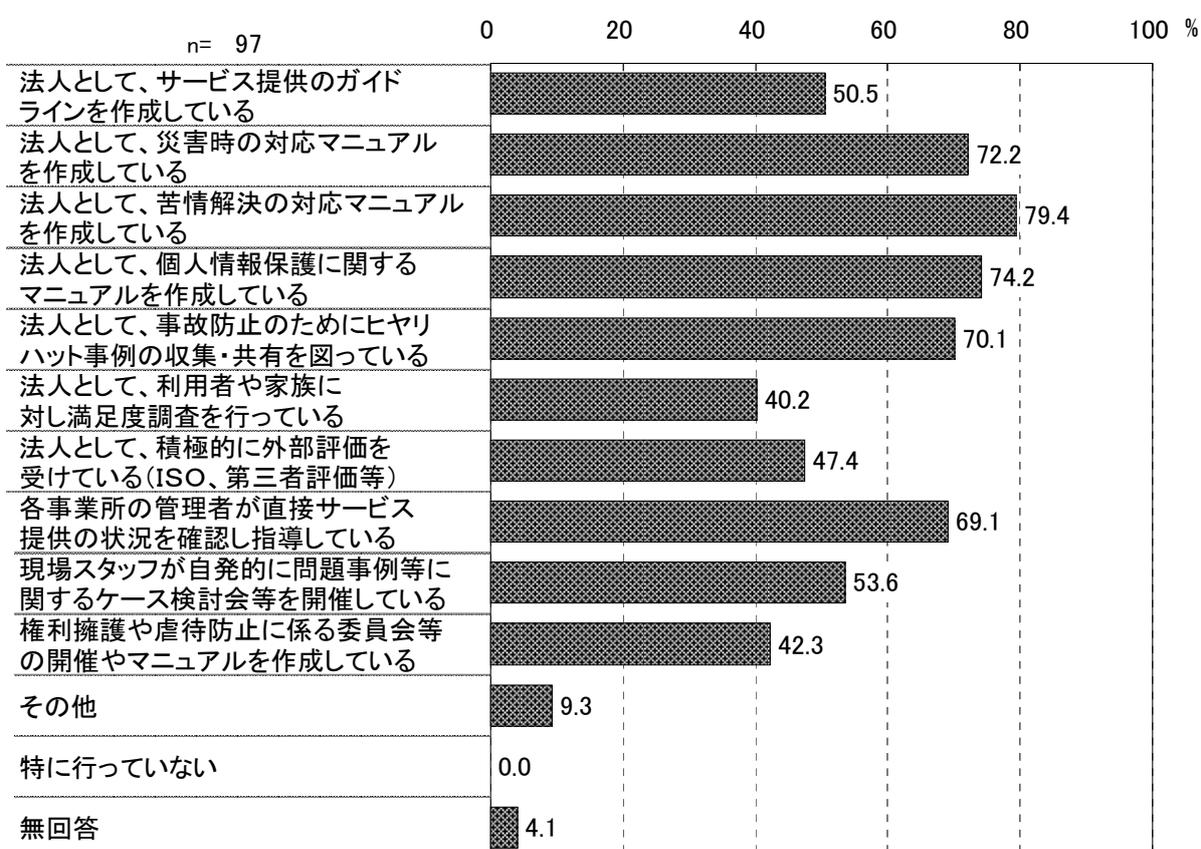
【移動支援事業】



4. サービスの質の向上のための取り組みについて

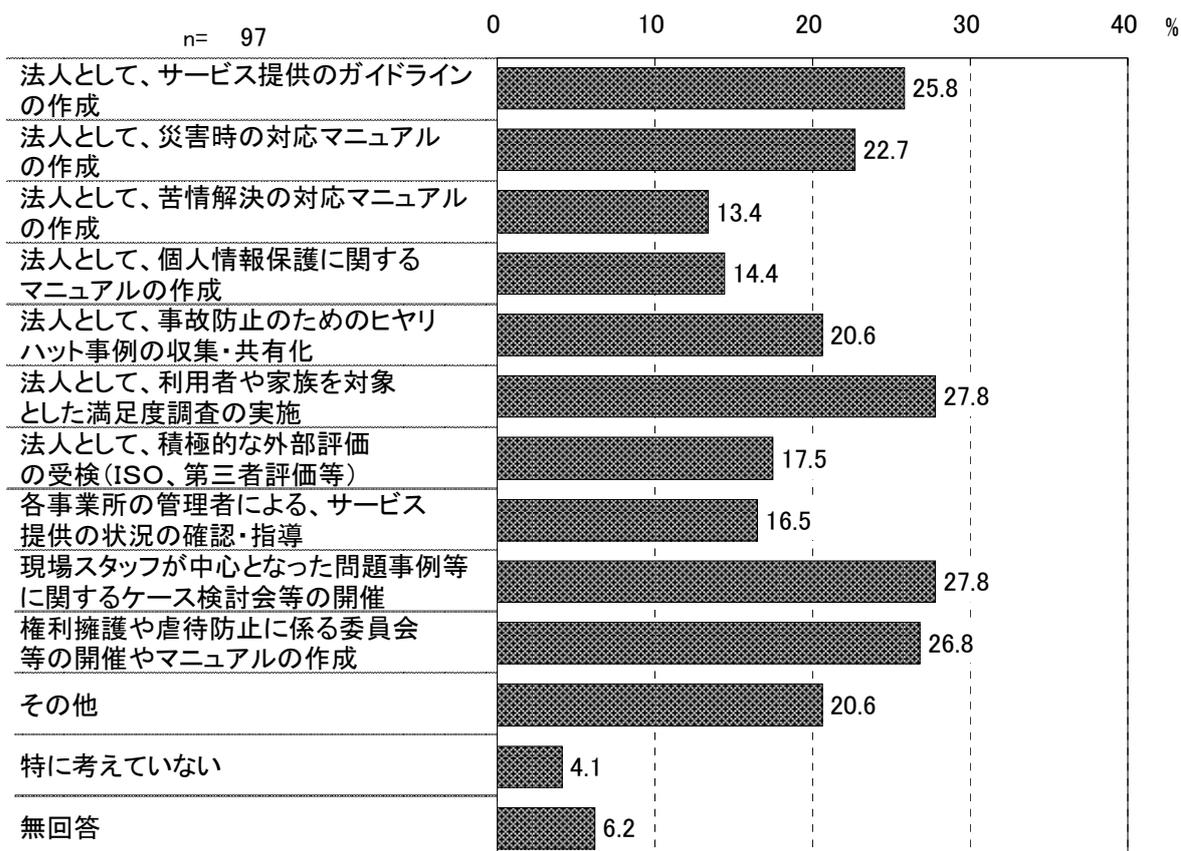
問 22 サービスの質の向上のために、現在どのような取り組みを行っていますか。(あてはまるものすべてに○)

サービスの質の向上のために、現在どのような取り組みを行っているかについては、「法人として、苦情解決の対応マニュアルを作成している」が最も多く79.4%、次いで「法人として、個人情報保護に関するマニュアルを作成している」が74.2%、「法人として、災害時の対応マニュアルを作成している」が72.2%、「法人として、事故防止のためにヒヤリハット事例の収集・共有を図っている」が70.1%、「各事業所の管理者が直接サービス提供の状況を確認し指導している」が69.1%などとなっています。



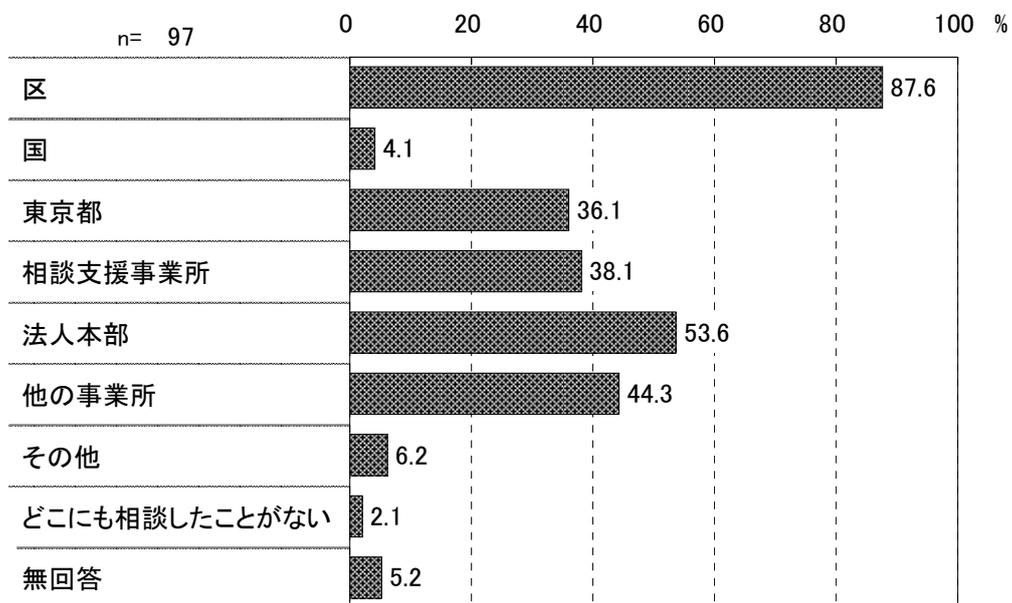
問 23 サービスの質の向上のために、今後どのような取り組みを行っていこうとお考えですか。(あてはまるものすべてに○)

サービスの質の向上のために、今後どのような取り組みを行っていこうと考えているかについては、「法人として、利用者や家族を対象とした満足度調査の実施」と「現場スタッフが中心となった問題事例等に関するケース検討会等の開催」がともに 27.8%、「権利擁護や虐待防止に係る委員会等の開催やマニュアルの作成」が 26.8%、「法人として、サービス提供のガイドラインの作成」が 25.8%などとなっています。



問 24 何か問題が生じた場合に相談したことがある相談先はどこですか。(あてはまるものすべてに○)

何か問題が生じた場合に相談したことがある相談先については、「区」が最も多く 87.6%、次いで「法人本部」が 53.6%、「他の事業所」が 44.3%などとなっています。



問 25 サービスを提供する上で、課題に思っていることは何ですか。(自由記述)

回答事業所 62 か所 意見の総数 120 件 (文章は区で要約)

①人材の確保・質の向上に関すること 39 件

- ・現状のサービス提供を実施していくための人材の確保 (17 件)
- ・増える事業量や事務に対応していくための人材の確保 (9 件)
- ・適切にサービスを提供できる人材の育成 (7 件)
- ・サービス自体の質の向上 (6 件)

②職員間の連携に関すること 5 件

- ・マニュアルの作成 (3 件)
- ・スタッフ間の情報共有 (1 件)
- ・コミュニケーションの機会確保 (1 件)

③サービス・支援内容に関すること 46 件

【利用者・家族の状況】 40 件

- ・利用者個々のニーズに合わせたサービスの提供 (12 件)
- ・家族への支援 (5 件)
- ・利用者の高齢化への対応 (5 件)
- ・作業・工賃の確保 (4 件)
- ・利用者の重度化への対応 (3 件)
- ・利用者の出席状況に対応したサービスや支援内容の調整 (3 件)
- ・利用者の生活面の支援 (2 件)
- ・利用者の確保 (2 件)
- ・利用者のスキルアップ (2 件)
- ・利用者の意思決定支援 (1 件)
- ・医療的ケアへの対応 (1 件)

【サービス内容】 6 件

- ・報酬にはならないが提供が必要なサービスの実施 (3 件)
- ・サービス内容の平準化・標準化 (2 件)
- ・相談支援事業所との連携 (1 件)

④施設に関すること 12 件

- ・サービスを提供する場所が狭い (4 件)
- ・耐震強度不足により使用不可能な空間がある (5 件)
- ・改築や指定相談支援事業の開始を検討しているが、利用者の工賃確保や事業の採算性に課題

がある（2件）

- ・送迎バスの確保（1件）

⑤他機関との連携に関すること 11件

- ・複数の事業所が支援に入っている場合の情報・課題の共有（3件）
- ・他の機関との情報共有や、合同研修の受講（2件）
- ・サービス提供資源が少ない（2件）
- ・行政内の連携（2件）
- ・サービス等利用計画の作成に時間がかかる。また、計画作成単価が安すぎる（1件）
- ・施設が離島にあり、他サービスとの連携が困難（1件）

⑥収益・事業の継続性に関すること 5件

- ・事業の採算性（4件）
- ・事業の開始・継続（1件）

⑦その他 2件

- ・障害者就労に対する社会の理解（1件）
- ・重度訪問介護に対する環境の改善（1件）

問 26 サービスを提供する上で、どのような施策が必要と考えますか。(自由記述)

回答事業所数 50 か所 意見の総数 69 件 (文章は区で要約)

①人材確保・育成について 9件

- ・職員研修の充実 (3 件)
- ・人材育成 (2 件)
- ・区による人材育成
- ・介護人材の確保
- ・ボランティアの確保に向けた合同説明会、施設PRなどの実施
- ・利用者の数の変動があっても常勤職員を配置できる施策の実施

②職員の労働環境について 6件

- ・管理監督者の適切な配置
- ・管理者、責任者が本来の役割を果たせるよう、時間を確保する。定期的なチームカンファレンス、研修会を実施できるよう、働き方を工夫する
- ・職員体制の見直し
- ・常勤職の増員
- ・医療スタッフの充実化
- ・給与の上昇

③重度化・高齢化への対応、介護保険サービス等との連携 4件

- ・介護保険と連携した切れ目のない支援体制作り
- ・利用者および家族の高齢化に伴う対応
- ・医療ケアの必要性や障害の重度化、高齢化に対応した職員配置のできる予算編成。とくに医療従事者の配置
- ・重度訪問介護の発展的継承によるパーソナルアシスタンス制度の創設

④サービス・プログラムについて 32件

【サービスの充実】 8件

- ・サービスの地域格差の解消、個人の能力に合わせた支援、就労支援
- ・自宅で安定して暮らせる行政の支援体制。就労移行できる住居、金銭的支援の施策
- ・就労支援施策の強化
- ・障害児者の短期入所施設の整備。特に医療ケアを必要とする障害児の入所施設の整備
- ・重度知的障害者の生活の場の確保
- ・訪問歯科、訪問理容の利用の促進
- ・サービス等利用計画を作成する事業所の増設

- ・ 幼少期からの福祉、教育支援や家族支援

【相談支援】 3件

- ・ 相談支援、家族支援の拡充。サービス事業所の育成
- ・ 相談支援事業所の充実
- ・ 相談支援専門員の配置

【利用者】 5件

- ・ 利用者との信頼関係
- ・ 利用者の個々の状況にあわせた支援（2件）
- ・ 長時間の電話の相談対応への支援
- ・ 利用者自身のサービスを受けるスキルの向上

【仕組みづくり】 8件

- ・ 区職員（ケアワーカー）あるいは、相談支援事業者を中心としたケアマネジメント体制の構築
- ・ ケアマネジメント機関の増加
- ・ 生活介護の必要な重度障害者に対して、生活介護事業所、あるいは生活介護を含む多機能型事業所がサービス提供を行うこと
- ・ 生活の流れに沿ってサービス提供ができる制度になること
- ・ 同一のヘルパーが継続して支援に入れる仕組みづくり（2件）
- ・ 一人暮らしの方への支援のシステム作り（夜間支援体制の構築など）
- ・ 支援体系を細分化し、きめ細やかな対応ができる社会資源の整備

【新たな制度】 6件

- ・ 24時間介護・介助を行える制度
- ・ 移動を支援するための新たなサービス（循環バス、移動支援事業の対象拡大）
- ・ 家庭支援の必要性及び対応の場合の配置加算
- ・ 既存の体系では対応できないサービスについての制度化
- ・ サービスなどの横断的な複数利用が可能になる施策。65歳以上になっても利用できる柔軟な施策
- ・ 就労系事務所利用者に対する移動支援。精神・発達障害者、難病の方へ専門的な支援を行うための人材育成・事業所支援

【情報・啓発】 2件

- ・ 制度理解の啓発
- ・ 適切な情報提供

⑤事業の運営について 4件

- ・ 事業運営費の安定確保
- ・ 財源の確保、柔軟で透明な制度の運用
- ・ 児童発達支援事業所から、児童発達支援センターに変更の検討。療育スペースの見直し。地

域のネットワークの構築

- 10年後 15年後を見据えた事業計画作り。他の専門家（経営コンサルタント等）を上手く活用した体制作り

⑥報酬体系について 7件

- 給付費の増加
- 短時間のサービスに対する報酬の改定
- 就労Bや移行事業に対する加算項目とA型に対する加算項目の不公平差を無くす
- 支援区分が施設の努力によって軽くなった場合に報酬を加算する
- 離島の施設への特別加算
- 基本給を定期的にベースアップできるような制度設計
- 職員ヘルパーが生活できる介護単価

⑦補助金、予算対応等 5件

- 施設整備に対する区単独の補助制度。指定相談支援事業に関する報酬改定、区単独の補助制度
- 介護分野への予算の増額
- 介護、訓練等給付事業補助金交付要綱の基準額の増額
- 事業拡大の際の場所提供、補助など
- 夏休みの長時間の子どもの受け入れに際しての特別補助金

⑧防災について 1件

- 緊急時、安心してその場にとどまれるような、安全な公共の建物の提供

⑨障害理解、権利擁護について 1件

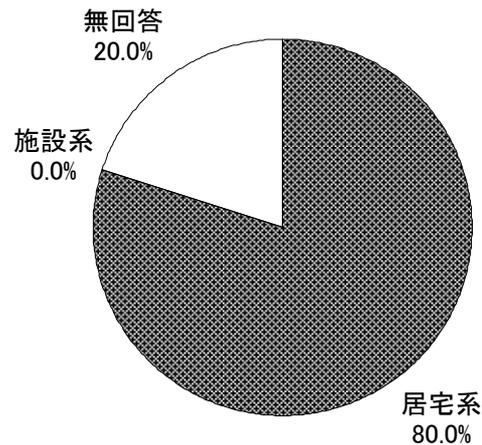
- 障害者理解（地域）のための施策。権利擁護の施策。成年後見人制度の推進

5. 今後の事業展開について

《問 27～29 は、介護保険のサービスのみの提供している事業所及び施設を運営している法人が教えてください》

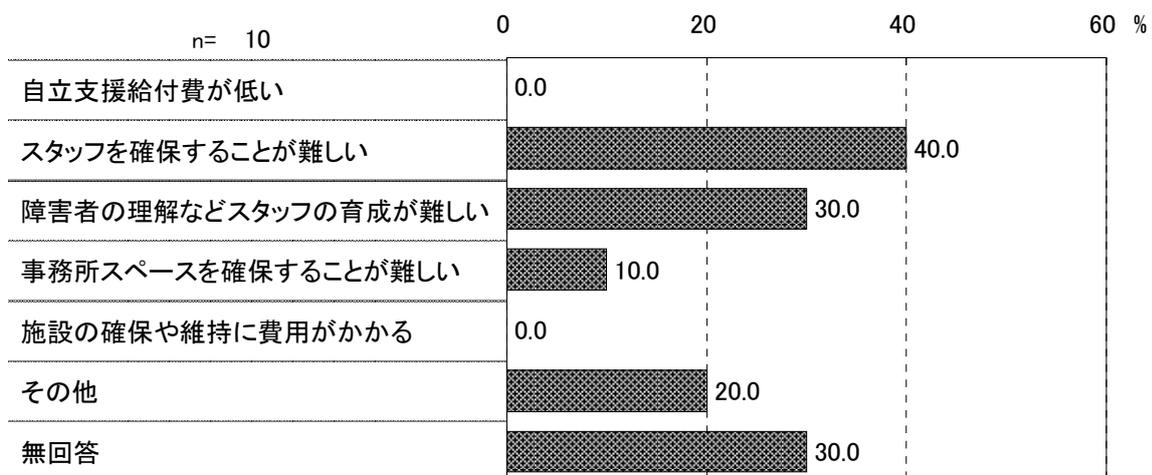
問 27 貴事業所が実施しているサービスは、居宅系ですか。施設系ですか。(1つに○)
実施しているサービスについては、「居宅系」が80.0%となっています。

n= 10



問 28 貴事業所が自立支援給付のサービスに参入していない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

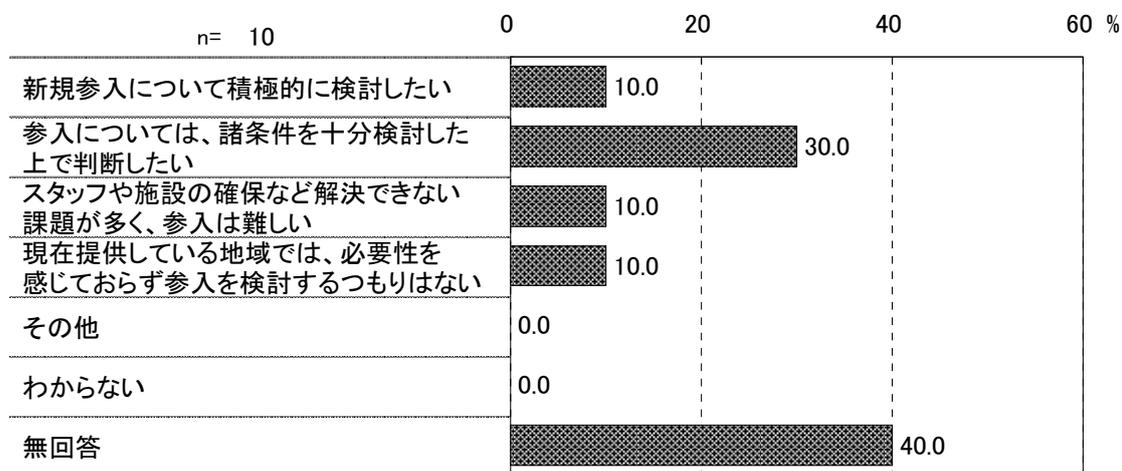
自立支援給付のサービスに参入していない理由については、「スタッフを確保することが難しい」が最も多く40.0%、次いで「障害者の理解などスタッフの育成が難しい」が30.0%などとなっています。



問 29 貴事業所では、自立支援給付のサービスへの参入についてどのようにお考えですか。

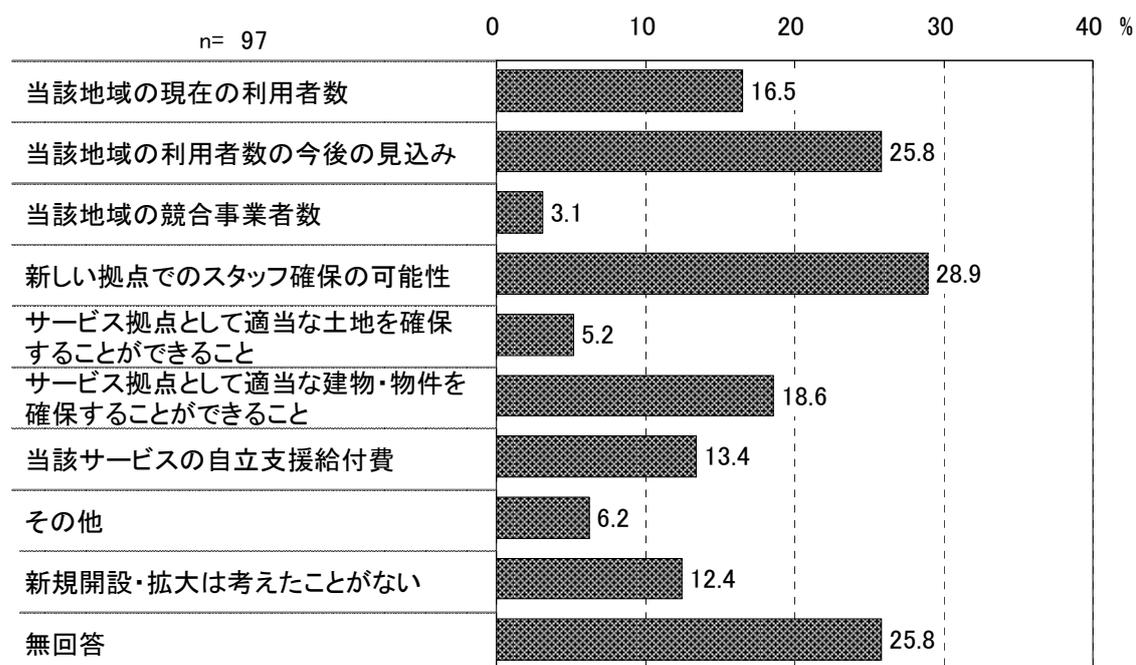
(1つに○)

自立支援給付のサービスへの参入についてどのように考えているかについては、「参入については、諸条件を十分検討した上で判断したい」が30.0%などとなっています。



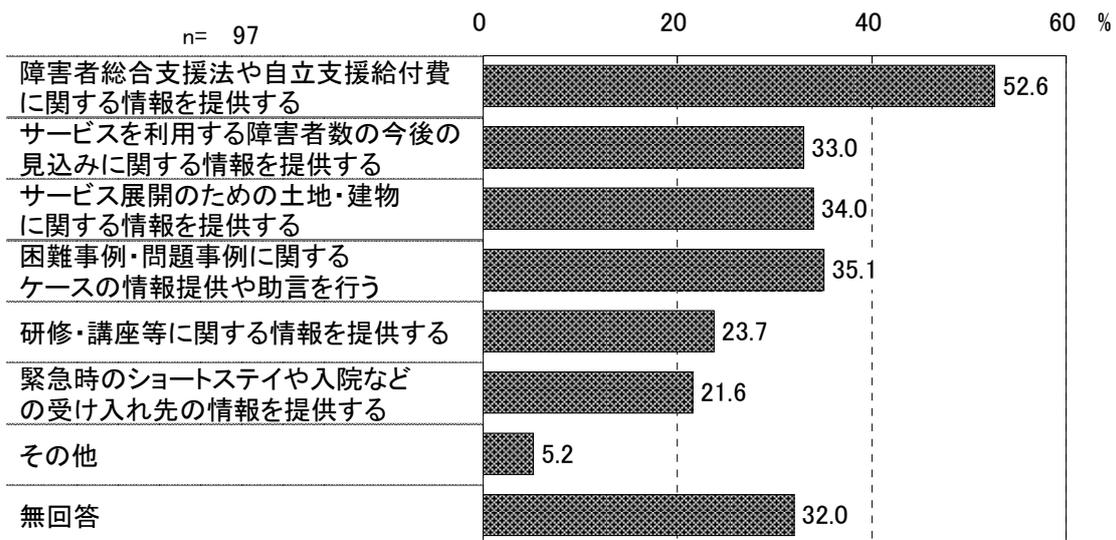
問 30 貴事業所では、事業の新規開設・拡大は、どのような点を重視していますか。(2つまでに○)

事業の新規開設・拡大において、どのような点を重視しているかについては、「新しい拠点でのスタッフ確保の可能性」が最も多く28.9%、次いで「当該地域の利用者数の今後の見込み」が25.8%、「サービス拠点として適当な建物・物件を確保することができること」が18.6%、「当該地域の現在の利用者数」が16.5%などとなっています。



問 31 貴事業所では、今後障害福祉サービスへの新規参入を促進していくためにどのようなことが必要とお考えですか。（あてはまるものすべてに○）

今後障害福祉サービスへの新規参入を促進していくためにどのようなことが必要かについては、「障害者総合支援法や自立支援給付費に関する情報を提供する」が最も多く 52.6%、次いで「困難事例・問題事例に関するケースの情報提供や助言を行う」が 35.1%、「サービス展開のための土地・建物に関する情報を提供する」が 34.0%、「サービスを利用する障害者数の今後の見込みに関する情報を提供する」が 33.0%などとなっています。



問 32 貴事業所において、今後4か年に新たに開始または拡大する予定のサービスの番号すべてに○をつけ、分かる範囲で1か月あたりの受け入れ予定数（時間、日、人）をご記入ください。

○開始または拡大する予定のサービス

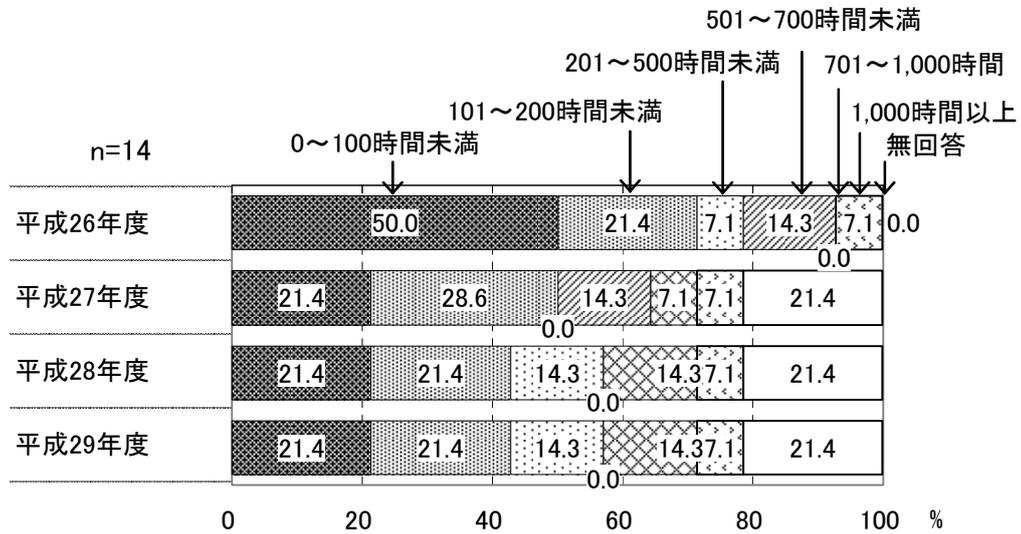
今後4か年に新たに開始または拡大する予定のサービスについては、「居宅介護」が14.4%、「重度訪問介護」が9.3%などとなっています。



○ 1 か月あたりの受け入れ予定数

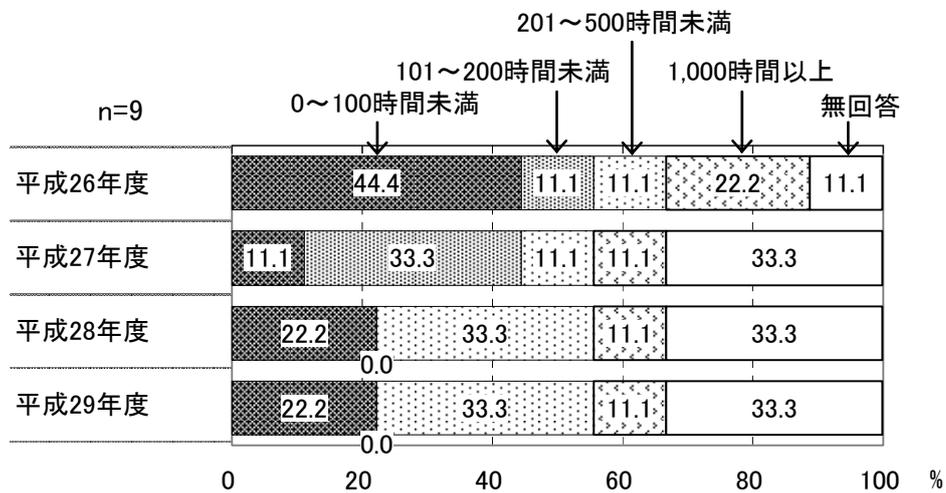
【1 居宅介護】

居宅介護については、平成 26 年度で、「0～100 時間未満」が 50.0%、「101～200 時間未満」が 21.4%などとなっています。



【2 重度訪問介護】

重度訪問介護については、平成 26 年度で、「0～100 時間未満」が 44.4%、「1,000 時間以上」が 22.2%などとなっています。



【3 同行援護】

同行援護については、2事業所の回答が得られ、平成26年度ではいずれも「0～100時間」と回答しています。

【4 行動援護】

行動援護については、1事業所の回答が得られ、平成26年度では「0～100時間」と回答しています。

【7 生活介護】

生活介護については、1事業所の回答が得られ、平成26年度では「20～30日未満」と回答しています。

【10 就労移行支援】

就労移行支援については、1事業所の回答が得られ、平成26年度では「20～30日未満」と回答しています。

【11 就労継続支援（A型）】

就労継続支援（A型）については、1事業所の回答が得られ、平成26年度では「30～50日未満」と回答しています。

【12 就労継続支援（B型）】

就労継続支援（B型）については、3事業所の回答が得られ、平成26年度ではいずれも「20～30日未満」と回答しています。

【13 施設入所支援】

施設入所支援については、1事業所の回答が得られ、平成26年度では「100日以上」と回答しています。

【14 共同生活介護（ケアホーム）】

共同生活介護（ケアホーム）については、回答が得られませんでした。

【15 共同生活援助（グループホーム）】

共同生活援助（グループホーム）については、4事業所の回答が得られ、平成26年度では3事業所が「5～10人未満」、1事業所が「5人未満」と回答しています。

【16 短期入所（ショートステイ）】

短期入所（ショートステイ）については、1事業所の回答が得られ、平成26年度で回答はなく、平成27年度から29年度において「5人未満」と回答しています。

【19 計画相談支援】

計画相談支援については、回答が得られませんでした。

【22 相談支援（サービス利用計画の策定）】

相談支援（サービス利用計画の策定）については、4事業所の回答が得られ、平成26年度では「5人未満」「5～10人未満」「20～30人未満」「30～50人未満」にそれぞれ1事業所が回答しています。

【5 重度障害者等包括支援】【6 療養介護】【8 自立訓練（機能訓練）】【9 自立訓練（生活訓練）】【14 共同生活介護（ケアホーム）】【17 障害児通所支援】【18 障害児入所支援】【19 計画相談支援】【20 地域相談支援】【21 障害児相談支援】については回答が得られませんでした。なお、【5 重度障害者等包括支援】【6 療養介護】【8 自立訓練（機能訓練）】【9 自立訓練（生活訓練）】【18 障害児入所支援】については、回答してきた事業所の中に、現在サービスを提供している事業所がありません。また、【14 共同生活介護（ケアホーム）】については、平成26年度以降、【15 共同生活援助（グループホーム）】に一元化されます。

問32-1 問32以外で参入を予定しているサービスがあればご記入ください。（自由記述）

回答事業所数 4か所 意見の総数 4件（文章は区で要約）

- | | |
|-----------------------------|----|
| ・認知症デイサービス | 1件 |
| ・会社員を対象とした心理相談・相談支援（リワーク事業） | 1件 |
| ・移動支援事業（継続） | 1件 |
| ・今後の状況次第で、他サービスへの参入を検討 | 1件 |

6. 障害者総合支援法に対する意見等

問 33 障害者総合支援法をよりよい制度としていくために、ご意見等があればお聞かせください。（自由記述）

回答事業所数 35 か所 意見の総数 35 件（文章は区で要約）

①実態に合わせた法の見直し等 7件

- ・障害者制度改革推進会議の意見を十分に取り入れ、パブリックコメントなど意見を聞いて改正を続けていくことが必要。
- ・障害者総合支援法は障害当事者の評判は悪い。障害当事者の意見を聞いて見直すべき。
- ・利用者の生活の現状に合わせた内容となるよう、必要な部分は改正していくことが求められる。
- ・生活の実態にあった制度になってほしい。
- ・地域での実績から、都道府県域での実践を通じて法制度をよりよいものにしていく「ボトムアップ」の実践が非常に重要。新ノーマライゼーションプラン及び第4期世田谷区障害福祉計画に、「必要な介助は公的に保障する」「当事者抜きに当事者のことを決めない」旨を明記してほしい。障害者施策推進協議会を障害者政策委員会に拡充し、委員の過半数を当事者にしてほしい。
- ・報酬単価が実質的には上がらず現場の負担が増えている。実態に則した制度にすべき。
- ・「就労」にポイントが置かれているため、就労継続B型の役割と、利用者の実態がずれてきている。高齢化に伴い、介護保険との折衷型のセンター（通所、入所）が必要。精神障害者の「たまり場」のような事業が、知的障害者にも必要。身近な権利擁護センターが必要。世田谷区の入所調整は、措置の時代と変わらない部分もある。障害者総合支援法に違反していないのか。

②施策の充実・改善等 13件

- ・介助員の確保。
- ・利用者の応能負担廃止。
- ・重度訪問介護のサービス利用時間が少ない。しっかり安心できる制度にしてほしい。
- ・ケアホームやグループホームを整備して欲しい。障害者優先調達推進法が施行されたが、作業量が増えたり売上げが伸びる実感がない。通所出来ない障害者の支援の取組みが大切である。年金対象者や生活対象者の生活が脅されているように思う。
- ・福祉用具のレンタルを介護保険と同じようにしてほしい。ケースワーカーが足りない。
- ・居宅介護等の内容を、実際に必要な支援内容に合わせられる柔軟性が必要である。
- ・OT、PTの施設派遣を充実してほしい。センターでのOT、PTの指導内容を共有できるシステムが欲しい。
- ・区分認定調査内容の見直し。相談支援事業に対する報酬単価の見直し。高齢精神障害者が利

用できる居宅事業、入所施設（ショートステイ含む）の拡充。

- 同じ利用者に関わる各機関がもっとつながりをもてる工夫や機会が増えるとよい。障害により専門的な知識が必要なことは理解しているが、必要な資格や研修の細分化やそのための費用の増加は、人材の確保や時間の調整が難しくなるため避けてほしい。
- サービスを継続していく上で、事業者数の拡充と事業の継続が必要。
- 精神障害者は適切なサービスがされにくい。柔軟な支援を行いたい。人材育成に力を入れてほしい。家事援助の評価を高くし、報酬の差をなくしてはどうか。小規模事業所が臨機応変に動いていることを評価してほしい。
- 区内の就労継続支援 A 型事業所を増やしたい。施設整備の優遇制度などを検討してほしい。
- 就労に関する内容の強化。

③利用者に沿った制度運営等 5件

- 障害者総合支援法をよりよい制度にしていくために、障害者一人ひとりの声を重視して一緒に考えていく事が大切だと考える。
- 当事者の思いにそって、安心して暮らしていける保障が大切である。個別の不安や希望を丁寧に汲み取れる仕組み作りや、サービス提供を担う人材確保が欠かせない。あらゆる立場の人が意見やアイデアをもちより、その中から最善の策をみつけられるようになればよい。
- 一人一人の利用者の心情、状況、特性をきめ細かく捉えて、個人支援ができる制度になればよい。ある程度の数値目標は必要だが、そこに捉われてしまうと支援の本質を見失ってしまう危険性がある。
- 利用する側が生活する上で必要なサービスを受けられる制度であってほしい。
- 総合支援法にあるサービス内容だけでは利用者のニーズが充実されないことを把握すべき。それにより必要なサービス内容の提示や必要な給付要件などが明確になる。

④サービス等利用計画について等 4件

- サービス等利用計画に妥当性はあるか。自立支援協議会の活性化（テーマ・課題の共有化）。個別支援計画の妥当性のあり方はどうか。
- 相談支援は施設にとって負担である。区と施設とで共同して作成するプランを認めてほしい。本人のことを最大限考慮した支援計画を作っている。他の相談支援事業所にプランを作成させることが理解できない。
- サービス等利用計画の策定後に受給者証の発行が原則とは聞いているが、指定特定相談支援事業所の実数を鑑みると、利用者の不利益が大きくなると思う。障害者の支援を第一に考え、柔軟に対応してほしい。またサービス種別によっては（重度訪問介護等）事業所数が少なく、利用できないこともある。実現可能な計画を策定してほしい。
- 介護保険と同様に、サービス利用者全員にサービス等利用計画を作成できるよう、相談支援事業所の整備を図るべき。

⑤法制度の周知・啓発等 6件

- 制度のしくみをよりわかりやすく、情報提供していくことが必要。
- 介護保険と同様に、制度を事業者たちにもっと説明してはどうか。事業者が増えればサービスも充実していくのではないかと思う。
- 地域との交流や、行政からの指導等に積極的に参加したい。
- 障害者支援の社会化、地域での生活について、区、事業者、支援者が啓発を続けること。そして当事者ができるだけ外出し、「好きなこと」を楽しむ活動を続けること。
- 当事者のみならず、あらゆる人にわかりやすいものにしていくことが重要。障害者権利条約の批准も含めて、障害者総合支援法を周知していく取組みが必要。学校教育の現場での、啓発授業も行ってほしい。
- 世田谷区でも障害者権利条例を制定することを強く望む。

【問4で「10」とお答えの方におたずねします】

問6 あなたの所属（特定会費）はありますか。
 この調査票の巻末資料（P.18）【1. 東京都福祉保健局等福祉制度の推進推進一覧】
 の中から選んで、該当番号または氏名を記入）

住所番号（ ）または氏名（ ）

問7 主な経費が発生したのは、あなたが所属のとおりですか。（1つに○）

1. 出生前または出生後 2. ()歳 3. 病から強い

問8 あなたの所属者組合員としての経費負担はどのどれですか。（1つに○）

1. 8531 2. 8532 3. 8533 4. 8534
 5. 8535 6. 8536 7. 該当をすべていはい（該当をすべていはい所属をすべて）

【お読みください】

問9 あなたの介護福祉制度の紹介制度はどのどれですか。（1つに○）

1. 紹介員1 2. 紹介員2 3. 紹介員3 4. 紹介員4
 5. 紹介員5 6. 紹介員6 7. 紹介員7

【日常生活に関することについておたずねします】

問10 あなたは、次の項目について一人でできることですか。（それぞれ1つに○）
 介護員や特任介護員、介護員等を使用してできる場合も、「できる」とします。

	一人でできる		一人でできない	
	1	2	3	4
① 家事	1	2	3	4
② 買い物や外出のついで	1	2	3	4
③ 掃除・洗濯・お風呂	1	2	3	4
④ 入浴	1	2	3	4
⑤ トイレ	1	2	3	4
⑥ 服の着脱	1	2	3	4
⑦ 食事	1	2	3	4
⑧ 日中の過ごし方	1	2	3	4
⑨ 入浴	1	2	3	4
⑩ 食事	1	2	3	4
⑪ 服の着脱	1	2	3	4
⑫ 入浴	1	2	3	4
⑬ 食事	1	2	3	4
⑭ 入浴	1	2	3	4
⑮ 食事	1	2	3	4
⑯ 入浴	1	2	3	4
⑰ 食事	1	2	3	4
⑱ 入浴	1	2	3	4
⑲ 食事	1	2	3	4
⑳ 入浴	1	2	3	4



問11 あなたは、あなたの住居から徒歩、自転車利用や徒歩で行くことができますか。（あてはまるものすべてに○）

1. 歩いてはいない 6. 徒歩
 2. 自転車 7. バイク（電子メール等）
 3. 徒歩や自転車利用の両方 8. 徒歩、自転車、バイク、スクーター、オートバイ、スクーター
 4. 徒歩、自転車、バイク 9. 徒歩、自転車、バイク、スクーター、オートバイ、スクーター
 5. 徒歩、自転車、バイク、スクーター、オートバイ、スクーター、スクーター、スクーター 10. その他（ ）

【介護の状況についておたずねします】

問12 あなたは、何らかの介護を受けていますか。（1つに○）

1. 受けていない（-） 2. 受けていない（-） 3. 受けていない（-） 4. 受けていない（-）

【問13で「1」を受けている】とお答えの方におたずねします】

問13 あなたの介護を受けるのは、1週間のうち何日くらいですか。（1つに○）

1. 週に1日は 2. 週に2-3日 3. 週に4-6日 4. 毎日

問14 あなたが介護を受けている期間は、平均すると1日何時間くらいですか。（数字を記入）

1日に、約（ ）時間くらい

問15 あなたが介護しているのはどなたですか。（1つに○）

また、その他に介護しているのはどなたですか。（あてはまるものすべてに○）

7. 主な介護者（1つに○）	イ. 他の介護者（あてはまるものすべてに○）
1. 親（父・母） 7. 近所の人・友人・友人 1. 妻 妻	1. 妻 妻
2. 配偶者（夫・妻） 8. ボランティア 2. ボランティア	2. ボランティア
3. 子（子の配偶者含む） 9. ボランティア 3. ボランティア	3. ボランティア
4. 近所の人 10. 近所の人等 4. その他	4. その他
5. 介護施設 介護士	5. その他
6. その他 11. その他	6. その他

【問16-1-1】 あなたは、介護を受けているのはどなたですか。（1つに○）

また、その他に介護しているのはどなたですか。（あてはまるものすべてに○）

問16-1-1 主な介護者の方の名前を記入してください。（数字を記入）

1日に、約（ ）時間くらい

問16-2 主な介護者の方が介護している1日の平均的な介護時間（数字を記入）

1日に、約（ ）時間くらい



例3-3 至らお新卒の方の就職状況はいかがですか。(1つに○)

1. 標準である
2. 標準とは言いきれないが、十分に支給はない
3. 状況があり、十分に支給がある

例3-4 至らお新卒の方は卒業していますか。(1つに○)

1. フルタイムで就業している
2. パート・アルバイトをしている
3. していない

例3-5 至らお新卒の方は、お断りにあたってどのようなお言葉や返事を返していますか。(5つまで○)

1. 介添・支援の必要性がわからない
2. お断りの理由がわからない(お断り・お断り)
3. お断りにあたっては、お断りした理由がわからない
4. お断りにあたっては、お断りした理由がわからない
5. お断りにあたっては、お断りした理由がわからない
6. お断りにあたっては、お断りした理由がわからない
7. お断りにあたっては、お断りした理由がわからない
8. お断りにあたっては、お断りした理由がわからない
9. お断りにあたっては、お断りした理由がわからない
10. お断りにあたっては、お断りした理由がわからない
11. お断りにあたっては、お断りした理由がわからない
12. お断りにあたっては、お断りした理由がわからない
13. お断りにあたっては、お断りした理由がわからない
14. その他()
15. 何もない

例3-6 至らお新卒の方は、お断りした理由がどのようなものかお聞かせいただけますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 給与・福利厚生が低い
2. 勤務時間や休日・休暇が短い
3. 業務内容がわからない
4. 社風・社風が合わない
5. 社風・社風が合わない
6. 社風・社風が合わない
7. 社風・社風が合わない
8. 社風・社風が合わない
9. 社風・社風が合わない
10. 社風・社風が合わない
11. 社風・社風が合わない
12. 社風・社風が合わない
13. 社風・社風が合わない
14. 社風・社風が合わない
15. 社風・社風が合わない
16. 社風・社風が合わない
17. 社風・社風が合わない
18. 社風・社風が合わない
19. その他()
20. 何もない

例3-7 就職先についてお断りします

例3-8 あなたは、現在、お断りした理由がどのようなものかお聞かせいただけますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 社風・社風が合わない
2. 社風・社風が合わない
3. 社風・社風が合わない
4. 社風・社風が合わない
5. 社風・社風が合わない
6. その他()



例1 あなたは、お断りした理由がどのようなものかお聞かせいただけますか。(1つに○)

1. ある(1-5/10-15)
2. ない(1-5/10-15)

【例1で「1. ある」とお答えの方におたずねします】

例1-1 どのようなお断り理由ですか。(あてはまるものすべてに○を、お断り理由を記入してください)

1. お断りした理由がわからない
2. お断りした理由がわからない
3. お断りした理由がわからない
4. お断りした理由がわからない

例1-2 あなたは、お断りした理由がどのようなものかお聞かせいただけますか。(あてはまるものすべてに○)

1. お断りした理由がわからない
2. お断りした理由がわからない
3. お断りした理由がわからない
4. お断りした理由がわからない
5. お断りした理由がわからない
6. お断りした理由がわからない
7. お断りした理由がわからない
8. お断りした理由がわからない
9. お断りした理由がわからない
10. お断りした理由がわからない
11. その他()

例1-3 あなたは、過去1年間に就職活動を行いましたか。(1つに○)

1. 行っていません
2. 行っていません
3. 行っていません
4. 行っていません
5. 行っていません

例1-4 あなたは、お断りした理由がどのようなものかお聞かせいただけますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 給与・福利厚生が低い
2. 勤務時間や休日・休暇が短い
3. 業務内容がわからない
4. 社風・社風が合わない
5. 社風・社風が合わない
6. 社風・社風が合わない
7. 社風・社風が合わない
8. 社風・社風が合わない
9. 社風・社風が合わない
10. 社風・社風が合わない
11. 社風・社風が合わない
12. 社風・社風が合わない
13. 社風・社風が合わない
14. 社風・社風が合わない
15. 社風・社風が合わない
16. 社風・社風が合わない
17. その他()
18. 何もない



あなたの住まいや暮らし方についておたずねします

問19 あなたの現在の住まいは次のどれですか。(1つに○)

1. 持ち家
2. 民間賃貸住宅
3. 公営住宅・民間賃貸
4. 空き・空室前賃貸
5. グループホーム・ケアホーム
(生活介護含む)
6. 入居施設
7. その他()

問20 あなたは、どのような暮らしをしたいと思いますか、あなたが18歳未満の暮らしは、18歳以降のことを想定してお答えください。(1つに○)

1. 家族と暮らしたい
2. ひとりで暮らしたい
3. グループホーム等で共同で暮らしたい
4. 施設で暮らしたい
5. その他()
6. わからない

問21 あなたが希望する暮らしを実現するために、どのようなことが必要だと感じますか。(5つまで○)

1. カムヘルプサービスの充実
2. 介護施設の増設
3. グループホームの創設
4. ショートステイの整備
5. 住居立退費(リニアフリース)の減額
6. 住居に関する相談や支援の充実
7. サービスの提供開始前の充実
8. 高齢者の通入への理解
9. 介護施設や特等居の整備
10. 相談支援の充実
11. 医師やリハビリテーションの充実
12. 移動支援の充実
13. 駅や施設などのリニアフリース
14. 自立生活のための訓練、指導
15. 働くための訓練、就労に向けた支援
16. 働く意味の増進
17. 仕事を開始するための相談や支援
18. 訪問・訪問時の支援
19. その他()
20. 他にない

問22 あなたが支払っている家賃(住居ローンを含む)は1か月どのくらいですか。(1つに○)

1. 0円(ない)
2. 月に5万円未満
3. 月に6万円～10万円未満
4. 月に10万円～15万円未満
5. 月に15万円以上
6. 家賃・家賃が支払っている

問23 あなたお一人の1か月の平均収入(雑込み)はどのくらいですか。(1つに○)

※ご本人が専業主婦の場合は、専業主婦の1か月の平均収入をお答えください。
※給与による収入や事業収入、人件費、専業・専売による収入等を含みます。
※ボーナスは月額に換算して、算入して計算してください。

1. 収入はない(一応24へ)
2. 月に1万円未満
3. 月に1～3万円未満
4. 月に3～5万円未満
5. 月に5～10万円未満
6. 月に10～15万円未満
7. 月に15～20万円未満
8. 月に20～30万円未満
9. 月に30万円以上
10. わからない

問24 「19」のいずれかをお答えの方におたずねします

問24-1 あなたの収入の項目はどれですか。(あてはまるものすべてに○)

- 18歳未満の場合は、「8. 親等の収入」に○をつけてください。
1. 親に収入(養育費を含む)
 2. 賃金
 3. 年金
 4. 預金(預金・定期預金・活期預金)
 5. 親等の家族からの支援
 6. 生活保護
 7. その他()
 8. 親等の収入

社会参加や日中活動についておたずねします

問24 あなたは、平日の朝晩、至にどのような活動をしていますか。(1つに○)

1. 通学・通学している(一応25へ)
2. 仕事をしている(単位は時給を記入)
3. 施設等に通学している(一応27へ)
4. 至に別荘にいる(一応27へ)

問25 「1. 通学・通学している」とお答えの方におたずねします

- 問25 現在、あなたが通学・通学しているところはどこですか。(あてはまるものすべてに○)
1. 通学施設(養育施設)
 2. 保育園・幼稚園
 3. 特別支援学校(全日制)
 4. 特別支援学校(定時制を含むその他の課程)
 5. 特別支援学校(併設)
 6. 特別支援学校(専修学校)
 7. 特別支援学校(小・中学校)
 8. 通学施設(小・中学校)
 9. 通学施設(小・中学校)
 10. 高等学校(全日制)
 11. 職業訓練校
 12. 専門学校・専修学校
 13. 大学・短大
 14. その他()

問25-1 通学・通学する上で、通っていることはありますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 通学・通学が通い
2. 通学・通学のはじめの段階
3. トイレ等の設備が不十分
4. 給食・給水での対応が不十分
5. 施設・教育の設備が不足
6. 希望する学校に入れない
7. その他()
8. 他にない

問25-2 今後、どのような通学を希望しますか、現在通っている学校・施設の子育ての通学をお答えください。(1つに○)

1. 通学したい
2. 在宅学習したい
3. 通学しない
4. 希望者の施設に通学したい
5. 希望者の施設に入所したい
6. その他()

【欄外で「2. は含まれている」とお答えの方にお知らせします】

欄外 ありたはどのように書いていますか、(1つに○)

1. 毎日作業済	6. パート・アルバイト
2. 自営業またはその手伝い	7. 自営店舗
3. 正社員	8. 専業主婦
4. 臨時社員	9. その他()
5. 派遣社員	

欄外-1 最近1か月の間に書いた日数と、1日あたりの就業時間はどのくらいですか。

(数字を記入)

欄外-1 最近1か月の間に書いた日数()日 21日あたりの就業時間()時間

欄外-2 1か月の間に働きたい日数と、1日あたりの希望する就業時間はどのくらいですか。

(数字を記入)

欄外-2 1か月の間に働きたい日数()日 21日あたりの希望就業時間()時間

欄外-3 現在の仕事について、どのような悩みや不安がありますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 仕事の量が自分の能力にあわない	8. 現在の自分が気になる
2. 現在の給与が生活の維持に足りない	9. 現在の人の手数が減る可能性がある
3. 現在の業務内容がわからない	10. 現在の業務内容がわからない
4. 現在の業務内容が自分の強みやスキルに合わない	11. 現在の業務内容が自分の強みやスキルに合わない
5. 現在の業務内容が自分の強みやスキルに合わない	12. その他()
6. 現在の業務内容が自分の強みやスキルに合わない	13. 他に悩みや不安はない
7. 現在の業務内容が自分の強みやスキルに合わない	(10 ページの欄外へ)

【欄外で「3. 両方とも該当している」「4. どちらにも該当している」とお答えの方にお知らせします】

欄外 ありたは、今後、働きたいですか、(1つに○)

1. 働きたい() 2. 働かない()

【欄外で「1. 働きたくない」とお答えの方にお知らせします】

欄外-1 どのような働き方をしたいですか、(1つに○)

1. 毎日作業済	6. パート・アルバイト
2. 自営業またはその手伝い	7. 自営店舗
3. 正社員	8. 専業主婦
4. 臨時社員	9. その他()
5. 派遣社員	10. わからぬ

欄外-2 どのような仕事を希望していますか、(1つに○)

1. 事務の仕事	6. 教育関係の仕事
2. 接客・販売の仕事	7. 食品の仕分けや食品関係の仕事
3. 営業の仕事	8. 清掃の仕事
4. パソコンを使った仕事	9. その他()
5. 接客・販売の仕事	10. わからぬ

【業種の方にお知らせします】

欄外 働きたい業種が書くために必要なこととはどんなことだと感じますか。(3つまで○)

1. 働くのに必要なスキルや知識の習得	7. 移動のための交通
2. 仕事に関する知識・必要な情報の提供	8. 必要な設備・設備を整えること
3. 仕事を始めるための交通	9. 関係者に業務の進捗を伝えること
(カウンセリングや相談・支援など)	10. 自らの仕事の進捗などの評価
4. 定期的な進捗確認による支援	11. その他()
5. 働く場所の確保	12. 他にない
6. 初期の研修(研修の開始や進捗の把握)	

その他の日中活動についてお知らせします

欄外 あなたは、ここ3か月間の間、次のような作業をどのくらいしましたか。(それぞれ1つに○)

① レンカー、トラック、車など、乗車やつかぎの作業	② 買い物、運動、散歩、通学・通勤など、作業の生活に必要な作業
1. ほぼ毎日	4. 1か月に数回
2. 週3～6日程度	5. ほとんどしない
3. 週1～2日程度	

欄外30 あなたが外出するとき、誰に会うのはどのようなことですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 家族、バス、タクシー等の乗客との関係	10. 移動手段がない
2. 友達、家族、出入りの関係	11. 家族がいない・少ない
3. 職場の上司(エスケーパー)との関係	12. 移動に費用がかかる
4. 家族以外の人	13. 移動手段がない
5. 職場の同僚	14. 外出する場所がない
6. 家族以外の人との関係(遠くにいる)	15. 移動の人が理解してくれない
7. 家族や友達、家族以外の人との関係	16. その他()
8. 家族以外の人との関係(遠くにいる)	17. 外出しない(できない)
9. 家族以外の人との関係(遠くにいる)	18. 他にない

問11 これまでに知り込んだことのある地域や学習、スポーツ、社会活動などがありますか。また、今後知り聞きたい(知り込みかけた)ものはありますか。
(1つずつについて知り込んだもの、知り聞きたいものそれぞれ1つに○)

地域、学習、スポーツ、社会活動など	知り込んだことがありますか	知り聞きたいですか り込みかけたですか
① コンサートや公演、スポーツなどの観賞・見学	1. はい 2. いいえ	1. はい 2. いいえ
② スポーツ活動	1. はい 2. いいえ	1. はい 2. いいえ
③ 旅行	1. はい 2. いいえ	1. はい 2. いいえ
④ 学習や地域の活動	1. はい 2. いいえ	1. はい 2. いいえ
⑤ ボランティアなどの社会貢献活動	1. はい 2. いいえ	1. はい 2. いいえ
⑥ 知恵での交流、自治会などの活動	1. はい 2. いいえ	1. はい 2. いいえ
⑦ 障害者団体などの活動	1. はい 2. いいえ	1. はい 2. いいえ
⑧ パソコンを使った活動	1. はい 2. いいえ	1. はい 2. いいえ

問12 あなたが社会活動、社会活動に参加するためには、どのような条件が必要だと感じますか。
(3つまで○)

1. 活動情報の提供がある	8. 経済的な負担が少ない
2. 友人や仲間がいる	9. 家族や近所の人の理解
3. 身近なところで活動できる	10. 自身の健康状態等の条件・向上
4. 外出しやすさが確保されている	11. 居住地域の環境
5. 負担感が少ない	12. その他()
6. 適切な指導者やリーダーがいる	13. 特になし
7. 練習に必要とした施設や設備がある	

相談や援助の希望についてお答えください

問13 あなたは、毎週のサービスに関する情報をどこから(だから)得ていますか。
(あてはまるものすべてに○)

1. 区の窓口	9. 福祉施設の職員やホームヘルプ要員
2. 障害者のしおり	10. 相談支援センター
3. 区のホームページ	11. 社会福祉協議会
4. 通っている特別支援学校等	12. 障害者団体
5. 民生委員・児童委員	13. 友人や知人、家族
6. 身体障害者相談員、知的障害者相談員	14. 相談やテレビ、雑誌、インターネット
7. 利用している西药・診療所	15. その他()
8. 区の窓口	16. 特になし

問14 福祉の相談をしたいときに、だれに(どこに)相談しますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 家族	9. 福祉相談支援センター
2. 友人や知人	10. 福祉支援センター
3. 学校の先生	11. ホームヘルパー
4. 民生委員・児童委員	12. 社会福祉協議会
5. 身体障害者相談員、知的障害者相談員	13. 障害者団体
6. 西药・診療所	14. あんしん子育てセンター
7. 福祉施設の窓口	15. 子ども家庭支援センター
8. 利用している西药・グループホーム	16. その他()
9. 福祉人	17. 特になし

問15 あなたがみだんの生活で困ったり、不安に感じたりして、相談したいと思っていることはどのようなことですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 活動・習いのこと	10. 福祉サービスに関すること
2. 仕事やびい、生活費のこと	11. 進学、学校生活のこと
3. 日常生活・コミュニケーションのこと	12. 交通手段の確保に関すること
4. 学習支援や福祉の活用など	13. 生活費、食料などのこと
5. 友人関係、近所づきあい	14. 福祉・医療のこと
6. 自身の生活のこと	15. 結婚、育児、介護などに関すること
7. 外出、買い物など	16. 福祉や自治体の関係者のこと
8. 福祉・医療サービスに関すること	17. その他()
9. 住居・生活の環境のこと	18. 特になし

株式会社のサービス等の利用状況と利用態様についておたずねします

当社の提供するサービス等の利用状況と利用態様についておたずねします。

- A. 調査、利用しているサービスにチェックをつけてください。
- B. 利用しているサービスにチェックしていますが、(※)ではある項目に(○)を記入してください。
- C. 当社のサービスは、その項目A、14の7の欄からいくつかをまとめて記入ください。
- D. 調査は利用していないが、今後利用したいサービスに(○)をつけてください。

※サービスの展開について、この調査票の事業・資料（P. 14）は、【2. 経営領域サービス等のA/B】を参照してください。

サービス名	A. 利用しているサービス		B. 利用しているサービスに(○)をつけてください		C. 日曜でやがや、週末にのみ提供しているサービス (P. 14の7の欄からいくつかをまとめて記入ください)	D. (※)ではある項目に(○)をつけてください
	調査している	利用している	調査している	利用している		
記入欄①、調査の進捗	○	1 2 3 (4) 5			1, 5	
1. 契約の進捗		1 2 3 4 5				
2. 事業の紹介		1 2 3 4 5				
3. 取引の進捗		1 2 3 4 5				
4. 行先別の進捗		1 2 3 4 5				
5. 顧客のニーズや要望の調査		1 2 3 4 5				
6. 顧客のニーズ		1 2 3 4 5				
7. 主要な顧客との関係		1 2 3 4 5				
8. 取引の進捗 (契約の進捗)		1 2 3 4 5				
9. 取引の進捗 (営業の進捗)		1 2 3 4 5				
10. 取引の進捗 (顧客のニーズ)		1 2 3 4 5				
11. 取引の進捗 (顧客のニーズ)		1 2 3 4 5				
12. 取引の進捗 (顧客のニーズ)		1 2 3 4 5				
13. 取引の進捗		1 2 3 4 5				
14. 共同生活の進捗 (ケアホーム)		1 2 3 4 5				
15. 共同生活の進捗 (グループホーム)		1 2 3 4 5				
16. 共同生活の進捗 (ショートステイ)		1 2 3 4 5				

(※)のページからチェック

(※)のページからチェック



サービス名

サービス名	A. 利用しているサービス		B. 利用しているサービスに(○)をつけてください		C. 日曜でやがや、週末にのみ提供しているサービス (P. 14の7の欄からいくつかをまとめて記入ください)	D. (※)ではある項目に(○)をつけてください
	調査している	利用している	調査している	利用している		
17. 契約の進捗		1 2 3 4 5				
18. 事業の紹介		1 2 3 4 5				
19. 取引の進捗		1 2 3 4 5				
20. 取引の進捗		1 2 3 4 5				
21. 顧客のニーズや要望の調査		1 2 3 4 5				
22. 顧客のニーズ		1 2 3 4 5				
23. 主要な顧客との関係		1 2 3 4 5				
24. 顧客のニーズ		1 2 3 4 5				
25. 共同生活の進捗 (ケアホーム)		1 2 3 4 5				
26. 共同生活の進捗 (グループホーム)		1 2 3 4 5				
27. 共同生活の進捗 (ショートステイ)		1 2 3 4 5				
28. 契約の進捗		1 2 3 4 5				
29. 事業の紹介		1 2 3 4 5				
30. 取引の進捗		1 2 3 4 5				
31. 顧客のニーズや要望の調査		1 2 3 4 5				
32. 顧客のニーズ		1 2 3 4 5				
33. 主要な顧客との関係		1 2 3 4 5				
34. 顧客のニーズ		1 2 3 4 5				
35. 共同生活の進捗 (ケアホーム)		1 2 3 4 5				
36. 共同生活の進捗 (グループホーム)		1 2 3 4 5				
37. 共同生活の進捗 (ショートステイ)		1 2 3 4 5				
38. 契約の進捗		1 2 3 4 5				
39. あんしん事業 (地域福祉推進)		1 2 3 4 5				

(注)欄)に記入する項目はここからお選びください

- 1. 日曜日の提供がない
- 2. 利用者が多い
- 3. サービス提供の量が少ない
- 4. 利用の仕様がわからない
- 5. サービスが利用できない
- 6. サービス提供の量が少ない
- 7. 事業者と利用者との関係がわからない
- 8. その他 ()



例3 サービスに満足できないときに、どちらかに帰属しましたか。(あてはまるものすべてに○)

1. 飲食店の店員の態度に帰属した
2. 家族の家族相談窓口で帰属した
3. 相談員が家族相談窓口で帰属した
4. 食生活改善指導サービスが家族相談窓口で帰属した
5. その他()に帰属した
6. どこに帰属したかわからないから、帰属しなかった
7. 帰属しなかったが、理由がなかった

例4 あなたが、現在利用しているサービス提供事業者を選んで理由は同ですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 事業者の距離がよかった
2. 駅から近かった
3. サービス内容が良かった
4. 対応が良かった
5. ほかから帰属している
6. 事業者を選択する余地はなかった
7. その他()
8. わからない

例5 あなたが、サービス提供事業者に対して思うことは同ですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 契約に使う手数料が安い
2. 希望する曜日・時間帯に予約がないこと
3. サービス事業者(ホームヘルパーなど)の質の高さ
4. 満足できるサービスを提供できる事業者の確保
5. その他()
6. 知らない

例6 あなたの月額負担金額はいくらですか。(1つに○)
 月額負担額サービス受給希望は記入されている金額をお答えください。

1. 0円
2. 4,600円
3. 9,300円
4. 37,200円
5. その他()円

(多重選択サービス未利用していない例におたずねします)

例7 サービス未利用していない理由は何ですか。(1つに○)

1. サービスを利用する必要がないから
2. 利用したいサービスがないから
3. 医師が薦めてくれるから
4. 相談員に訪問してもらったことなどがあつたから
5. 医師・サービスが全くの未利用
6. 質問中に利用したい
7. 利用が難しい
8. その他()



(例以上の回答例におたずねします)

例43 あなたは、介護保険の次のサービスを利用していますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 訪問介護(ホームヘルプ)
2. 通所介護(デイサービス)
3. 短期入居(ショートステイ)
4. その他()
5. 介護保険サービスを介介していない

例44 介護保険についておたずねします

例43 あなたは、介護などの実費が発生したとき、必要だと認められることは同ですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 介護の料金が介護保険料を向らせてほしい
2. 介護の収入から介護保険料などの請求を受けたい
3. 介護までの経費や家賃を請求したい
4. 介護や在宅生活を確保してほしい
5. 様々な介護や居宅介護/福祉サービスを利用してほしい
6. 多様なコミュニケーションが確保してほしい
7. その他()
8. 知らない

例45 あなたは、実費が起きたときの介護場所を替えていますか。(1つに○)

1. 回っている
 2. 回らない
 3. どちらもない
- 例45 地域など実費が発生したときのために、介護・自治会や民生委員等団体の入にあつたことを知っておいてもらいたいですか。(1つに○)

1. はい
2. いいえ
3. どちらもない

例46 介護保険についておたずねします

例45 あなたは、介護のある人もいない人も月に住み慣れた地域で生活できるように地域の理解を深めていくためには、どのようなことが必要だと感じますか。(9つまで○)

1. 近所行事への参加の促進
2. 学校での参加の促進
3. 介護についての正しい知識の普及
4. 介護者や家族や介護者との交流
5. 介護者の生活や介護についての正しい知識の普及
6. 介護者の一歩踏み出しの支援
7. その他()
8. 知らない



2. サービス提供事業者調査調査票

障害者（児）実態調査

（サービス提供事業者調査用）

ご協力をお願いします

サービス提供事業者の皆様には、日頃から本区の障害者施策推進のため、ご理解とご協力をお願いしております。

さて、この度、聖地地区では、平成27年度からの新たに「ノーマライゼーションプラン」（障害者計画）・障害者計画の策定に向け、実態調査を実施することにいたしました。

本調査は、聖地地区に対してサービスを提供している事業者のサービス提供事業者200社を調査させていただきます。経路上の講師やサービス提供に伴う職能についてご意見をあつかわります。

ご回答いただいた内容はすべて厳格に管理いたします。聖地地区個人情報保護委員会に基づき、秘密の保持には万全を尽くすとともに、調査の目的以外には使用いたしませんので、貴事業者にご迷惑をおかけすることはございません。

つきましては、お忙しいところ誠に恐縮ですが、調査の進捗を十分ご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

平成26年1月

<p>【ご記入にあたってのお願い】</p> <p>1. 回答は、特に説明のない限り、最上または最中に記入してください。質問ごとに（1つに○）（3つまで○）（あてはまるものすべてに○）などの回答がありますので、それに注意して回答してください。</p> <p>2. 回答が「その他」である場合は、具体的な内容（ ）内に記入してください。また、ご意見や数字などを欄外に記入いただく際もあります。</p> <p>3. 回答は、質問から1行ずつお書きください。中には一部の事業者のみお書きいただく質問もありますが、その場合は該当（一）の欄頭に記入して回答してください。</p> <p>4. ご記入が済みましたら、回答の返送封筒（返手は不要）に入れて、2月17日（月）までにお近くのポストにご郵送ください。</p> <p>5. 記入上の不明な点、調査についてのお問い合わせ等は下記までお願いいたします。</p> <p style="text-align: right;">【お問い合わせ】 聖地がくこーる 電 話 03 (5432) 3333 FAX 03 (5432) 3100</p>	<p>聖 地 区</p>
---	--------------

【貴事業所の概要についておたずねします】

<p>問1 貴事業所の名称をご記入ください。</p>	
<p>問2 貴事業所の事業形態は種ですか。（1つに○）</p> <p>1. 社会福祉法人 2. 慈善法人 3. 社団法人、財団法人 4. 類似団体（会社）</p> <p>5. 特定非営利活動法人（NPO法人） 6. その他の法人 7. その他（ ）</p>	
<p>問3 貴事業所の所在地はどこですか。（1つに○）</p> <p>1. 聖地地区の清瀬町 2. 北沢地区の清瀬町 3. 五川地区の清瀬町 ※この3つの地区の清瀬町がわからない場合は、下記に所在地をお書きください。</p> <p>4. 足柄の北清瀬町 5. 相模川の北清瀬町 6. 区 外</p>	
<p>問4 提供しているサービスは種ですか。（あてはまるものすべてに○）</p> <p>1. 居宅介護 2. 就業支援 3. 同行支援 4. 行動支援 5. 高齢障害者等福祉支援 6. 療育介護 7. 生活介護 8. 自立訓練（技能訓練） 9. 自立訓練（生活訓練） 10. 認知症対応 11. 認知機能支援（ADL） 12. 認知機能支援（B/D） 13. 施設入居支援 14. 共同生活介護（ケアホーム） 15. 共同生活施設（グループホーム） 16. 短期入所（ショートステイ） 17. 障害児通所支援 18. 障害児入所支援 19. 引越支援 20. 地域福祉支援 21. 障害児施設支援 22. その他（ ）</p> <p>※ 介護提供のサービスだけを提供している事業所は、右側の1に○をつけてください。 介護提供のサービスだけを提供している事業所は問6にお進みください。</p>	
<p>問5 サービスごとの聖地地区両前期の収人数をご記入ください。なお、置替等は主たる障害でカウントしてください。</p> <p>サービス名： （身は障害者） 名、 其他障害者 名、 障中障害者 名、 （体は障害者） 名、 高次脳機能障害者 名、 障児児 名</p>	

サービス名: （身体障害者） （発達障害者）	名、発達障害者 名、高次脳機能障害者	名、精神障害者 名、障害児	名） 名）
サービス名: （身体障害者） （発達障害者）	名、発達障害者 名、高次脳機能障害者	名、精神障害者 名、障害児	名） 名）
サービス名: （身体障害者） （発達障害者）	名、発達障害者 名、高次脳機能障害者	名、精神障害者 名、障害児	名） 名）
サービス名: （身体障害者） （発達障害者）	名、発達障害者 名、高次脳機能障害者	名、精神障害者 名、障害児	名） 名）

問6 平成26年1月1日現在の職員数を記入ください。（個人数）

名、(内訳：常勤)	名、非常勤	名、その他	名）
-----------	-------	-------	----

問7 平成26年1月1日現在の職員の職歴数を記入ください。

1、介護福祉士	名	7、作業療法士	名
2、ホームヘルパー1級	名	8、社会福祉士	名
3、ホームヘルパー2級	名	9、精神保健福祉士	名
4、ホームヘルパー3級	名	10、保健士	名
5、看護部・看護課長・保健師	名	11、事務職員	名
6、理学療法士	名	12、その他（)	名

問8 平成26年1月1日現在の継続年数の職員数を記入ください。

1、6か月未満	名	4、3年以上5年未満	名
2、6か月以上1年未満	名	5、5年以上10年未満	名
3、1年以上3年未満	名	6、10年以上	名

問9 職住、職員の過不足の状況はどれですか。（1つCO）

1、大欠不足している	9、やや不足している	5、過剰である
2、不足している	4、適当である	

問10 不足している職員の職歴は何ですか。（あてはまるものをすべてCO）

1、介護福祉士	5、看護部・看護課長・保健師	9、精神保健福祉士
2、ホームヘルパー1級	6、理学療法士	10、保健士
3、ホームヘルパー2級	7、作業療法士	11、事務職員
4、ホームヘルパー3級	8、社会福祉士	12、その他（)

問11 平成25年度中の退職者数を記入ください。（個人数）

名、(内訳：常勤)	名、非常勤	名、その他	名）
-----------	-------	-------	----

問12 異業種等では、人材を確保するためにどのようなことに取り組んでい십니까。（あてはまるものをすべてCO）

1、人材紹介（求職支援、新卒採用等）の活用
2、研修の活用
3、専科学生（介護、介護福祉など）での研修
4、健康保険、介護保険等健康増進の充実
5、異業種・業界の活用
6、高校・専門学校・大学等を通じた連携
7、ハローワークを活用した募集
8、インターネット人材検索サービスを通じた募集
9、高校・専門学校・大学等からの実習受け入れ
10、その他（)
11、他に取り組んでいない

問13 異業種等では、スタッフの働き方など人材を確保するためにどのようなことに取り組んでい십니까。（あてはまるものをすべてCO）

1、異業種等からの研修生等の受け入れや合同での募集
2、外資系企業などの人材確保の支援や委託の活用
3、事業所内での研修の活用
4、OUTの活用
5、自立支援協議会やエリア協会や生涯学習部会への参加
6、異業種・異業種連携を促している
7、法人連携（異業種連携等）で連携して取り組んでいる
8、働き方などが定められた場合は、就業や派遣に反映している
9、職員に複数の職種経験を求めている
10、従来の就業態様と異なりして就業に取り組んでいる
11、その他（)
12、他に取り組んでいない

問14 平成24年4月のカーピコ報酬の改定により、給与を改定しましたか。（1つCO）

1、給与を上げた、上げる予定である	3、給与の改定は行われなかった
2、給与を下げた、下げる予定である	

【貴事業所におけるサービスの提供体制についておたすねします】

問 21 貴事業所におけるサービスの提供体制についておたすねします。提供しているサービスごとに回答ください。

[提供施設サービス]		A 1か月あたりのサービス提供回数	B 1か月あたりの提供のサービス提供形態
ア	居宅介護	回	回
イ	車椅子介助	回	回
ウ	認知症	回	回
エ	行動訓練	回	回
オ	車椅子指導等施設支援	回	回
カ	車椅子	日	日
キ	生活介護	日	日
ク	自立訓練（職業訓練）	日	日
コ	自立訓練（生活訓練）	日	日
サ	認知症支援（A型）	日	日
シ	認知症支援（B型）	日	日
ス	高齢者介護	日	日
セ	発達生活介護（ケアホーム）	人	人
ソ	発達生活訓練（グループホーム）	人	人
タ	認知介護（ショートステイ）	人	人
チ	障害児通所支援	日	日
ツ	障害児入所支援	日	日
テ	発達訓練支援	人	人
ト	生活訓練支援	人	人
タ	障害児施設支援	人	人
ニ	その他（ ）（ ）（ ）（ ）	（ ）	（ ）
[地域生活支援事業]		C 1か月あたりの実施回回数	実施する形態について
ア	障害者自立生活支援	人	○単独で「特別」又は「日」の併合・・・
イ	移動支援事業	人	【日-特別】又は【日-併合】
ウ	発達生活支援センター	人	→併合
エ	福祉ホーム	人	○単独で「人」の併合・・・
オ	高齢入居サービス	人	→併合
カ	日中一時支援事業	人	

【サービスの質の向上のための取り組みについておたすねします】

問 22 サービスの質の向上のために、現在どのような取り組みを行っていますか。（あてはまるものすべてを○）

1. 法人として、サービスの提供のガイドラインを作成している
2. 法人として、利用者の対応マニュアルを作成している
3. 法人として、苦情対応の対応マニュアルを作成している
4. 法人として、個人情報保護に関するマニュアルを作成している
5. 法人として、事業休止のためにヒヤリハット事例の収集・共有を行っている
6. 法人として、利用者の安全に対し満足調査を行っている（ISO、第三者評価等）
7. 法人として、施設等に当該評価を行っている（ISO、第三者評価等）
8. 各事業所の管理者が各種サービス提供の状況を確認し指導している
9. 就業スタッフが定期的に個別事例等に就するケース検討会等を開催している
10. 権利擁護や虐待防止に係る委員会等の設置やマニュアルを作成している
11. その他（ ）
12. 他に考えていない

問 23 サービスの質の向上のために、今後どのような取り組みを行っているかとおたすねしますか。（あてはまるものすべてを○）

1. 法人として、サービスの提供のガイドラインの作成
2. 法人として、苦情対応の対応マニュアルの作成
3. 法人として、個人情報保護に関するマニュアルの作成
4. 法人として、個人情報保護に関するマニュアルの作成
5. 法人として、事業休止のためにヒヤリハット事例の収集・共有
6. 法人として、利用者の安全を対象とした満足調査の実施
7. 法人として、個別的な外部評価の実施（ISO、第三者評価等）
8. 各事業所の管理者による、サービス提供の状況の確認・指導
9. 就業スタッフが中心となった個別事例等に就するケース検討会等の開催
10. 権利擁護や虐待防止に係る委員会等の設置やマニュアルの作成
11. その他（ ）
12. 他に考えていない

問 24 別の機関が生じた場合に参照したことのある制置状況はごですか。（あてはまるものすべてを○）

1. 区
2. 市
3. 県庁
4. 福祉支援事業所
5. 法人本部
6. 他の事業所
7. その他（ ）
8. どこにも参照したことがない

世田谷区障害者（児）実態調査
結果報告書

平成 27 年 3 月発行

発行 世田谷区

編集 世田谷区障害福祉担当部障害施策推進課

〒154-8504 東京都世田谷区世田谷 4-21-27

電話 03-5432-2424

FAX 03-5432-3021

<http://www.city.setagaya.lg.jp/>

(広報印刷物登録番号 No.1243)

分析機関 株式会社ジャパンインターナショナル総合研究所